

保健師チームの活動記録

班	月日	
<b>1班</b>		
近藤八重子 (県東部総合事務所) 加須屋陽子 (県西部総合事務所) 森田正幸 (県庶務集中局) 平家恵一 (県庶務集中局)	3/15 3/16	<p>○23:40 石川県の宿に到着</p> <p>○11:00 電話:上越道北上中、新潟中央JCTから仙台方面×、そのまま北上し荒川胎内ICへ、到着遅れそう。</p> <p>○12:00 厚生労働省保健指導室 中西さんから 第1班の到着予定についておたずね。</p> <p>○14:30 仙台まで15km、山形自動車道経由。磐越道を通らなかった理由:磐越道は給油できない情報あり。給油のため日本海側をなるべく走行。</p> <p>○15:40 現在地:仙台市太白区つぼくら、山形自動車道は途中通行止め 緊急車両も通行不可(村田一笹谷間)、地道で仙台市へ入りました。</p> <p>○16:00 宮城県庁Tさんより連絡あり、派遣保健師と携帯が繋がらないので今の居場所を教えてください。</p> <p>○16:30 16:10宮城県庁到着 現在は県庁で打合せ中。</p> <p>○17:30 鳥取県派遣保健師の担当地域は「石巻市」に決定。本日現地へ向かおうと思ったが、暗くなるので難しい。明日から活動する。宿泊地から現場まで2時間かかるので明日からは現場で寝泊まりしたい。→安全が確保されないで現地宿泊はしない、予定どおり宿泊する(宿泊地から県庁までは1時間半くらい)。</p> <p>○21:26 先ほど飯田温泉につきました。福祉保健課T様に相談させていただき現地での宿泊も検討しましたが、宿から通いの方法にしました。また本日これから石巻市に行き宿まで帰ることは状況がはっきりしないので危険と宮城県の方から言われ明日から活動することになりました。明日は石巻市役所で活動場所について指示を受ける予定です。石巻市は携帯は利用できないため 防災無線での連絡方法となります。第2班について出発時間等決まっていることがあれば教えてください。引き継ぎ場所を検討します。</p>
1日目(3/15) 鳥取【公用車】→石川 2日目(3/16) 石川→ホテル(山形市) 3日目(3/17) ホテル(山形市) 4日目(3/18) ホテル(山形市) 5日目(3/19) ホテル(山形市) 6日目(3/20) ホテル(山形市)→新潟 7日目(3/21) 新潟【公用車】→鳥取	3/17	<p>○08:16 派遣保健師よりメール:おはようございます今日からようやく現地入りです。宿から石巻市まで通常なら2時間のところ雪。地震の影響で3時間かかる。ガソリンの確保が大変です。</p> <p>○12:00 保健師2名は石巻市役所の保健師とともに避難所(中学校:くわしくは不明)で活動中、運転士2名は石巻市役所で待機。</p> <p>○19:20 業務終了後のメール連絡: ・避難所である石巻市住吉中学校へ石巻市役所保健師とともに訪問し、個別の健康相談を行いました。 ・避難者は890名余りでしたが昼間は外出等しておられる方もあり、また昨日まで日赤チームが担当しておられたため、本日は支援が行き届いていない体育館、四階の方を中心に50名余の対応しました。 ・震災後6日目之余震が続く中、まだ家族と連絡がとれない一など被災者の方の悲惨な状況に、胸がはりさけそうないがしました。引き継ぎ私たちにできることを精一杯やっつけていきたいと思います。</p> <p>○21:18 宿泊場所到着のメール連絡:先程お宿に到着しました。</p> <p>①報告も兼ねて6時前まででした。本来は全体カンファレンス中でしたが同伴保健師に申し送りが終了していたこと、山形市までの帰路の時間が心配だったことからお先に失礼しました。</p> <p>②訪問箇所は1箇所です</p> <p>③避難所には沢山の方がおられ、希望を聞くにしても、必要な人にお渡しするにしても絶対数が不足するので、石巻市の担当の方が言われ配布はしていません。ただマスクは十分かどうかはわかりませんが、しておられました。</p> <p>④余震が気になりますが大丈夫です。明日の予定はまだ決まっていませんでした。</p>
	3/18	<p>○11:05 平家運転士より電話(石巻市:携帯AUは使用可能、NTTは×):今朝6:30宿を出発、9:30石巻市役所着、昨日に引き続き住吉中学校へ。10:30中里小学校へ、ここで終日活動予定。17:00運転士と集合予定。その間運転士はガソリン探し(かなり厳しい様子)。</p> <p>○12:34 メール 題名:不足物品、日報について:ご心配おかけしております。色々ご配慮いただきありがとうございます。皆さまのお気持ちは運転手さんにもお伝えしておきました。</p> <p>①現場で一番不足しているものについてですが、今日は毛布、ホッカイロだと思いました。本日毛布を配っていただいたのでいくらかはよくなると思いますが、なにしろ寒いと言われるので…</p> <p>②記録様式についてですが 相手方が用紙を準備され、それを使っています。鳥取県の活動日誌と宮城県の報告書の内容が似ているので、宮城県の様式を使ってもよろしいでしょうか? 必須項目がありましたら、併せて教えてください。</p> <p>○15:25 鳥取県庁より電話(20日の宿泊先について):20日(日)の宿は新潟市内のホテル(東横イン新潟駅前)を予約した。 ・第2班の行動予定は?→20日の朝同ホテルを出発し12:00に石巻市役所到着予定。第1班は現在、小学校で活動中。本日19:00~20:30に現場で緊急車両用の給油があるためそれまで石巻に滞在予定。</p> <p>○16:30 鳥取県庁より電話:現在、今日の活動を終わって市役所に戻る車中。これから市役所にて報告会。</p> <p>・第2班の行動予定、メンバー、携帯番号、公用車Noと車種を伝えた。 ・石巻ではドコモが使えない。第2班の保健師分はドコモ、運転士分は?→ドコモ、運転士私用携帯がAU。番号を第1班に伝え済み。 ・ガソリンがないので第2班に伝えておいてほしい。→第2班運転士に伝え済み。今夜、給油ができるかはまだわからない。</p> <p>○18:30 近藤主幹より定時報告 ・訪問場所:2カ所(住吉中学校、中里小学校)、対応者数:46名 ・行った内容:健康相談、トイレの介助。中里小には精神科、小児科医師がつめていた。場合によっては医師への引継ぎをした。資材は、絶対数が必要なので配布はしていない。 ・皆さんの体調:睡眠不足、余震があり眠りにくい全員不調はなし。 ・第2班の保健師と連絡を取り始めている。宮城県庁つめの鳥取県防災局職員がガソリンスタンドの情報をもっている。現在、注油のため順番待ちをしている。19:00から始まる予定。ガソリン確保が本当に難しい。保健師活動中、運転士はガソリンの情報収集している。</p>
	3/19	<p>○09:35 本日は快晴で現場に早く着いた。8:40に現着し打ち合わせの後9:25昨日に続き中里小学校で活動開始。</p> <p>○18:53 近藤主幹からメール報告:昨日と同様に中里小1箇所、50名余りの健康相談を実施、その後カンファレンスに参加し18時すぎ終了。21時過ぎに宿舎へ到着。</p>
	3/20	<p>○17:17 メール報告:今日は中里小学校1箇所に行き12名の健康相談を行いました。引き継ぎは13:30から石巻市役所にて行い、今は新潟に向かっていくところです。帰路、石巻市海岸付近を車で通りました。辺り一帯家屋等が凄まじい壊されようで、身の震える思いがしました。</p>
	3/21	<p>○13:00 森田さんから電話:京都南通過、事故渋滞。</p> <p>○16:28 第二庁舎前に帰着:福祉保健部職員が出迎え、ほっとしたようす。</p> <p>○16:45 災害対策室にて記者会見:4名がひとりずつ感想、記者質疑、以後ぶら下がり取材、新聞社社社TVカメラ2台。</p> <p>○17:30 第二庁舎前で解散、東部福祉保健局へ。</p>
<b>2班</b>		
長谷川理恵 (県西部総合事務所) 岡本詩穂 (県中部総合事務所) 尾崎利彦 (県東部総合事務所) 三澤 立 (県東部総合事務所)	3/19 3/20	<p>3月20日</p> <p>・朝7時すぎに新潟を出発しました。山形に入ると、途端に給油所には長い行列。先陣の連絡で、食べ物売っている最後のコンビニと聞いたセブンイレブンによると、購入制限があります。(飲み物1、菓子2、菓子パン15、食パン2 など)</p> <p>・13時ごろ石巻市役所に到着し、第1班と引き継ぎをしました。市役所は、このごろ多いショッピングセンターとの複合施設? 1階は2日位水につかったままで、公用車は壊れたとのこと。電気は自家発電だそうです。</p> <p>・石巻市保健師のお話では、石巻市は平成17年度に周辺の6町と合併し、その後も各町に支所を置き、そこに2~3人の保健師が駐在しているそうですが、行ってみることもできず、それら旧町の状況がまったくわからないとのことでした。避難所の個所数くらいはわかっているけれど、そこで保健師がそれぞれ支援していると思うがどんなふう支援しているのか情報が集約されていないとのこと、気にしておられました。</p> <p>・市役所も避難所になっていて、ロビーなど庁舎内のそここで住民が避難しておられます。そのうちの一人が書かれると思われる「石巻日日新聞」という模造紙大の壁新聞が張り出されて、避難者や救援の様子が書かれていました。</p> <p>・保健師はすでに石川県や福岡県が入っていると聞いていましたが、引継ぎ中も福岡県の一行が到着しました。医療チームや心のケアチームが様々な自治体から入っています。毎日8時半と4時がミーティングで、情報交換や今後の計画を検討されます。(総勢20人くらい)</p> <p>○今日活動を始めたのは2時すぎでしたが、市街地から少し離れた稲井小学校と稲井公民館の巡回を依頼されました。まず稲井小学校を訪ねました。158人が避難しているとのことでしたが、昨日電気が復旧したことから、100人に少なくなっていました。案内して下さった教頭先生によると、最初は校長先生をはじめとする学校職員で管理していたが、今では役割分担をして、調理室で合同調理をし、トイレの清掃なども係を決めて自主的に運営しておられるとのことでした。避難者は主に体育館で暮らし、症状のある人は教室に移って世帯で生活しておられます。落ち着いた人々の様子は、ニュースでも再三報道される秩序正しい国民性が表れているように思いました。体は動き車を持つ人も、ガソリンがないために通院できない人も多く、治療中断による症状悪化が問題です。特に眠剤と降圧剤のニーズが高いように感じました。お話をうかがっていると、時間はないという間にすぎ、稲井公民館は巡回できませんでした。</p> <p>・大崎東横インまでは30kmちょっとの距離です。宿舎からの行き来がずいぶん短くなり、カンファレンスにも参加しやすくなるのではないかと思います。</p>
1日目(3/19) 鳥取【公用車】→新潟 2日目(3/20) 新潟→ホテル(大崎市) 3日目(3/21) ホテル(大崎市) 4日目(3/22) ホテル(大崎市) 5日目(3/23) ホテル(大崎市) 6日目(3/24) ホテル(大崎市)→新潟 7日目(3/25) 新潟【公用車】→鳥取	3/20	

3/21	<p>3月21日(月) 天候曇り  &lt;避難所巡回&gt;  1、稲井小学校  ・昨日の続きで様子を見に行った。不整脈で治療中断している人が昨日2、3時間の動悸で眠れなかったとのこと。健康相談は合わせて2名。  ・比較的被害の少ない地区。被害の大きい地区からの避難者もある。</p> <p>2、稲井公民館  ・ホールと4つの部屋に分かれて150人が生活。ここでも高血圧の治療中断による血圧の上昇がある。普段は正常値の人も10～20の上昇がある様子。自覚はなくても緊張して生活しておられる様子が伺える。視覚障がいのある人は自然に支援されているし、ストマの人もおられるが、ホールの大人数の中でなんとかすごしている。咳やのどの痛み、軽い頭痛などの風邪の初期症状を訴える人も複数あり。健康相談12名。  ・和式の便座は、腰や膝、股関節の具合の悪いお年寄りには使いにくく、水分摂取を制限しているとの訴えもある。  ・知事の来訪あり。  ・50代男性が突然倒れ、ちょうど巡回していた日赤医療チームが処置。すぐ意識回復したが、救急車で搬送された。</p> <p>3、ヨークベニマル鹿妻(かずま)店・ホームマック  ・被害の大きかった港地区のショッピングセンター。ヨークベニマルはマーケット。隣のホームマックはホームセンター。これらの屋上にそれぞれ50人、15人が避難。ヨークベニマルは当初600人が避難していたとのこと。車内泊が続いているので、エコノミー症候群も心配だが、みなさん元気とのこと。  ・すでに、山口県医療チーム、北海道薬科大学(※)の巡回があったが、有症状者はないとのこと。具合が悪くないと相談できないと思っておられるのかもしれない。医療と保健の役割の違いは少し理解されにくいと思う。少し話を聞くと、「考えても仕方ない」「命があってよかった」などの言葉とともに笑顔がみられる。  ・「津波に巻き込まれ、死にかけていた。瀬戸際だった」と言う男性に「死ぬか生きるかの瀬戸際に、生きることになった決め手は何だったと思われるか?」と尋ねると「これかな」と車の中にいた奥様を指し、笑っておられた。家は流されておられるが「この車で、ふたりで鳥取に遊びに行けるように頑張るわ。いつかな」と。  ※北海道薬科大学、秋田県薬剤師会が宮城県薬剤師会に協力して、数人で活動している。ジェネリックは医療チームの医師にわかりにくいものがあり、類似の薬剤を探すなどをまかされるとのこと。</p> <p>&lt;保健チーム&gt;  ・昨日から、心のケアチームを含む医療関係のチームは石巻日赤が統轄することになった。市役所は保健師及び保健関係チームの調整をするとのこと。  ・鳥取県のほかには、福岡県、石川県、輪島市が活動中。  ・福島県は、市街地に宿泊中。他県の保健師チームから、「夜間避難所を回ると、ビール、チューハイの空き缶が転がっている」と。「保健チームと医療チームとのリンクがよくない。調整役がいらない。調整役は地元自治体では無理で、誰かがその役割を担うべき」と、医療チームの調整会議(毎夕6時から石巻日赤で開催)に参加してみるとのこと。また、ちょうどお昼にノロウイルス発生時の避難所があるとの情報が入る。  ・水道が復旧しているところも節水のため、水を流すのは排便のときのみで排尿の後は流さないことになっている。断水のところでは、排便後は新聞紙に包んでゴミ袋に捨てることになっている。  ・石の森章太郎ゆかりの地?ヒーローが立ち並ぶ通りがある。いずれもヒーローは立派に健在。  ・深刻なのはガソリン不足。そのための医療中断も多い。「通院のための移送サービスも必要だが、手が回らない」と市の職員。緊急車両優先との情報でGSに行っても、警察消防優先でなかなか給油できない。</p> <p>&lt;2班の様子&gt;  ・みんな元気にすごしています。食料の調達は現地では困難です。朝食はホテルのサービスがありますが、持参の食料を昼も夜も食べています。  ・宿泊先の大崎東横インは救援者でいっぱい(国際色豊か)です。  ・街は夜になっても節電で暗く、ホテルはリネン交換など個人にまかされています。  ・とにかく、一同の目下最大の関心事はガソリンです。朝7時の時点で営業するGSには2km?それ以上の行列が続いています。コンビニやマーケットも営業するところには朝早くから行列です。</p>
3/22	<p>3月22日(火曜日) 天候:晴れのち曇り一時にわか雨 余震続く  &lt;保健チームカンファレンス&gt;  ・避難所巡回相談では、多くの人に平常より高めの血圧。避難生活は、自覚されなくても心身に影響を与えている。夜間の咳、咽頭痛、頭痛など、風邪気味の人が増えている。手洗い、うがい薬でのうがいの励行を勧めたい。  ・昨日のノロ疑いケースは、ノロウイルスは否定された。しかし、いつ発生してもおかしくない状況。  ・昨夕石巻日赤での医療チームの会議では、開業再開した診療所に「無料で診療を受けられると聞いた」という受診者があつたと保健チームへの苦情めいた発言あり。無料診療は巡回している医療チーム及び常設の救護所のみ。再開した診療所と調剤薬局は通常の保険診療。かかりつけ医が再開している人も無料と聞いて救護所を受診する人もあるとのこと。  ・内服治療を続けている人については、おくすり手帳など投薬内容のわかるもの、または、残薬持参されれば、調剤薬局で同様の調剤が可能。  ・大津市が新たに参加。</p> <p>&lt;避難所巡回&gt;  1、中央公民館(9時半から12時半)  ・生涯学習センターを兼ねた中央公民館には、1階から3階までのホールを含めた4部屋に140人が避難。電気はすでに開通し電話は昨日から。ガスと水道はまだ。  ・市の職員が常駐しているので、避難者の健康状態を尋ねると、認知症と思われる男性高齢者が夜になると閉鎖した扉を叩いて「ご飯を食べないのだから食べに帰る」と言うがなんとか対応しているとのこと。また、混乱・興奮状態の女性があり、精神科病院に相談して受診を支援し、投薬を受けて落ち着いたらとのこと。治療中断だったと思われる。どこにも相談せずに治療中断となった方の支援をしておられたことに驚く。  ・健康相談は27人に対応。ほとんどは高齢者、ここでも日赤の医療チームが来訪。降圧剤や風邪薬、貼布剤などの処方がある。  ・乳児のお母さんは、哺乳瓶の消毒ができないため、ポットの熱湯で洗って使っているとのこと。乳児は元気。  ・学童期の子どももいるが避難所生活が長引き退屈している。男の子はゲーム女の子はお絵かきにも飽きたというところ。</p> <p>両親が避難所から働きに行っている子どもも避難所でなんとなく見守られている。  ・午前中ではあるが飲酒している人もある。また、飲みすぎて肝硬変の手前だったが被災後飲酒していないという人も。</p> <p>2、第一自動車学校(13時から14時)  ・学校の厚意で50人の被災者を受け入れているが、24日に解散予定。50人の行先は決まり、24日には感謝の大掃除をするとのこと。有志による調理も行われている。  ・若く元気な人が多い。健康相談4人。</p> <p>3、石巻港湾病院(15時から16時)  ・120人が避難する避難所として市が把握しているが、状況を確認してほしいと依頼され訪問。療養系の高齢者の多い135床の病院。被災時132人いた入院者は被災後特養への移行や死亡により100人になった。家を失った20人の職員など計200人が生活している。系列の病院から看護師などの職員を支援してもらい、なんとか入院診療を継続している。1階は使えない状況。ライフラインの復旧が待たれるとのこと。  ○避難所の中には、部屋によっては、同じ部屋の避難者に対し支配的にふるまう人がいると苦情もあり。部屋の出入り、食べるものや時間などを厳しく指示するとのこと。その部屋を訪ねてみると緊張感たど、健康相談は「医療チームに相談した」と断られる。状況の詳細について、市を通じ、常駐の職員に確認していただくこととする。</p> <p>&lt;ガソリン&gt;  ・石巻市が所有しているガソリンを分けていただくことができました。</p> <p>&lt;日和山&gt;  ・津波の被害が一目でわかると被災者に勧められ、移動の途中に立ち寄りました。街全体が破壊されている様子がよくわかります。(携帯カメラでわかりにくいかもしれませんが)  &lt;その他&gt;  ・自衛隊による入浴サービスが始まった。1,000人/日  ・市役所の職員のかんりの疲労が感じられる  ・テレビのない避難所から希望する声がある。テレビやラジオで様々な情報が流れているが、届かない人がある。</p>

3/23	<p>3月23日(水) 天候:晴れ時に雪 余震続く  &lt;保健チーム&gt;  ・基本方針は、応援チームは規模の大きな避難所を2巡め。石巻市はまだ確認できていない避難所を巡回する。(鳥取県は確認できていない避難所を巡回)  ・心のケアチームは石川県、国府台病院、東北大学がそれぞれ2か所ずつ予定された避難所を巡回する。医療チームの動向はあいかわらず把握できない。  ・本日から、とくに要介護者を把握する。主治医、家族状況、特に住所を正確に記録すること。各ケアマネジャーにつなぎ、今後の生活支援をしていく。</p> <p>&lt;避難所巡回&gt;  1、洞源院及びサンファン(午前9時から3時)  ・洞源院は山のなかあいの高さにある曹洞宗の寺院。避難所に指定されていた。避難者が多かったために、その少し下に位置する県の観光施設(慶長使節船ミュージアム)サンファンに分かれた。しかし、食事などは一緒にしている。それぞれ150人、70人が避難している。近隣の地域の人が直後に避難。三陸沖地震と伴う津波には用心していたと、家はすべて流された集落が多いが地域に死者がほとんどない。地域は漁業の町で、まぐろ漁、牡蠣、海苔の養殖をしていたとのこと。その養殖の量は県内一だったと残念な気持ちを覗く。  ・直後は、住職をリーダーに、寺で備蓄していた玄米を放出し、食事の提供もしていたので、食事ができると聞きつけた人が集まり一時300人になった。寺の備蓄食糧は2日で底をつき、3日からは支援物資が届き始め、住職らが独自の調達をした食糧を提供していた。  ・現在では、役割分担し、それぞれの責任者が動いて管理は住職の手を離れている。毎朝全員のミーティングがあり、その時に人数把握している。そのときにうがい薬のうがいをするように勧められるという。刷り込み式速乾性アルコールも十分配置され、その意味も理解し使用されている様子。  ・ここでも医療チーム(熊本大学)と鉢合わせ。健康相談しながら、受診を勧めるケースも多い。どんなことを医療チームに相談するのか、少し支援が必要。医療チームがいつ来るのかかわっていたら外出しなかったのという声はどの避難所でも聞く。  ・ここでも生活習慣病の治療中断が多い。海の男たちのこと、この生活は断酒になって血圧がかえって落ち着いたという人もみられる。  ・子どもたちの姿も多い。寺の一角が「洞源院学校」と名づけられ、中学生までが昼間すごす。子どもたちの相手をしている被災者もある様子。子どもたちの歌声が聞こえることもあり、「子どもたちの声になぐさめられる」と高齢の被災者。「これがほんとの寺子屋」とも。  ・健康相談は、あわせて36人に対応。</p>
3/24	<p>3月24日 天候:晴れ  &lt;避難所巡回&gt;  1、石巻小学校 9時半から11時半  ・被災者50人程度が3教室で生活している。要介護者は、すでにそれぞれ引き取られた。  ・今日は小学校の卒業式で、子どもたちを見送ろうとほとんどの被災者が校庭で待っていたが、卒業式は予定時間をすぎてもなかなか終わらず、寒く帰り帰ってこられたところ20人に健康相談。血圧が上がっている人、風邪の初期症状の人が多い。届いたうがい薬を渡すと喜ばれた。  ・あたりは商店が多く食材を持ち寄って共同調理。プールの水を汲みおきトイレを流すのに使っている。  ・ここは今月中で閉鎖の予定。それぞれ行き先は決まっているとのこと。古布で雑巾を手縫いしている女性があり「子どもたちの雑巾を使ってしまったから、いくらかでも返しておこうと思って」と。  ・再開した開業医も増え、有症状者には近医受診を勧めることもできる。</p> <p>2、湊中学校 11時半から12時  ・状況調査のみ。健康相談は、3班に引き継ぐ。  &lt;その他&gt;  ・援助隊とともに届いたイソジン、歯ブラシは健康推進課を通じ配布。イソジンは一部巡回のために保健チームに取り置く。カイロは2班では配布しなかった(寒さを訴える人がなかった)が、3班にあわせて引き継ぎ、保健チーム全体で使ってもらうことにする。  ・3班が無事到着し、引き継ぎをする。  ・宿泊先の周辺は飲食店再開が進んでおり食事が可能。  ・要介護者、けがなどの人は少なく、医療チームの巡回、救護所、開業医の再開などの様子から、かなり荷物は少なくできると思われる。</p>
3/25	<p>○17:00 県庁に帰着、福祉保健部長室にて部次長他に帰庁報告、避難所の様子や物資の状況など、二人とも元気なようす。</p>
<b>3班</b>	
<p>高橋千晶  (県日野総合事務所)  吹野信浩  (境港市役所)  藤原 洋  (県西部総合事務所)  野口晴樹  (県西部総合事務所)</p> <p>1日目(3/23)  鳥取→【公用車】→新潟  2日目(3/24)  新潟→ホテル(大崎市)  3日目(3/25)  ホテル(大崎市)  4日目(3/26)  ホテル(大崎市)  5日目(3/27)  ホテル(大崎市)  6日目(3/28)  ホテル(大崎市)→新潟  7日目(3/29)  新潟→【公用車】→鳥取</p>	<p>3/23 ○10:00 西部福祉保健局出発。  ○13:00 高橋係長から電話:中国道三田 順調に走行中です  ○17:00 定時報告が入りました。17:00頃報告時点では北陸道を富山県境の辺りまで来たようです。新潟到着は20:30頃の予定。今日先発隊(2班)と話ができたようです。それによると新潟までは道路は大丈夫。ガソリンの確保が困難とのこと。2班は70リットル持参したがヒヤヒヤの状態。西部班(3班)は60リットルなので厳しいかもしれない。給油のできる場所で早めに確保が必要との事。  ○20:25 高橋係長から電話。新潟の宿に到着、途中渋滞等なくスムーズであった。第2班から新潟より先のガソリンが厳しい旨情報ももらっており心配。</p> <p>3/24 3月24日(木)天気:晴れ/くもり(夕方雨)  ○交通の状況について  ・新潟を朝7時に出発し、仙台までは順調。東部自動車道が不通となっており三陸道に乗り換え、予定より約1時間遅れで石巻市役所に到着しました。途中、菅生パーキングで比較的短い時間で給油できましたが、山形県小国町あたりから先のガソリンスタンドは休業しているところが多く、たまに営業していると長蛇の列ができています。  ○第2班との引継ぎ  ・前班と同様に毎朝8時30分と夕方4時からのミーティングは変わらず、引き続き石巻市福祉保健部辺見参事さん、伊藤保健師さんに対応していただきます。今までの石川県、福岡県チームに加えて、大津市と兵庫県チームも入っています。市役所には電気は来ていますが、水道はまだで復旧には1か月位かかるだろうとのこと。  ○本日の活動について  ・2時30分に出発。湊中学校(避難者66名、電気も水道もなし、海岸に近い位置にあり、周囲は津波に破壊された町の風景が延々と続いている)に巡回。道路事情が悪く渋滞もあり車で30分かかりました。3時に到着しましたが、避難者は日中、家の片付け等で不在の方も多く、3名の健康相談で終わり、引き続き明日も同避難所を巡回することとしました。全体的に風邪や便秘、不眠を訴える人が多いようですが、本日も日赤医療チームの巡回があり投薬を受けておられました。被災後約2週間が過ぎ、だんだんと避難者のストレスも高まってきている様子もみられるようす。  &lt;適時、携帯からの連絡等&gt;  ○07:20 新潟出発。  ○12:10 高橋係長から電話、現在塩亀市付近を走行中(石巻まで15KM)、仙台東部自動車道が仙台東から通行止め(地道を走行)、三陸道をめざしている。到着は13時すぎ。(第2班に連絡済み)  ○13:00 三陸道で石巻着。現在市内を市役所に向けて走行中(第2班公用車がインターまで迎え)。途中、PAでガソリン給油できた。  ○17:35 高橋係長から本日の活動報告/13:00すぎに石巻市役所着 第2班から引継、14:30湊中学校へ(市役所から約30分)、3名の健康相談。日中、避難者は自宅等の片付けで帰っているので役者があまりいない。明日も引き続き湊中学校で活動予定。市役所での報告会が終わりこれからホテルに帰る。  ・先ほど申し送りが終わって、宿泊所に移動するところ。本日の活動は、湊中学校と住吉中学校。電気とガスがない。トイレに水が流れないので、排泄物を新聞紙にくるんでいる状況。一方の中学校では、感染性胃腸炎の症状らしき人が多く、市の担当者から消毒用品をもらって対応した。  高血圧などで、巡回医療チームから薬をもらっている人もある。健康相談を通じて、イライラ感、ストレスが高まっていると感じる。  天候は朝方晴れていたが、日中は曇り。夜は冷え込むが避難所は毛布はあるものの、ホッカイロがない。  全体的に物資が行き渡っていない感じがする。</p>
3/25	<p>3月25日(金)天気くもり  &lt;午前中&gt;湊中学校(昨日の続き)  ・教頭先生(避難所管理者)から状況を聞く。/電気・水(未)、ストーブは本部前に置いてある2つのみで高齢者等が暖まりに来るが、各部屋にはない。使い捨てカイロもない。避難所によって届く救援物資に偏りがあり調整できないものかと言われる。  ・健康相談/14名実施。うち2名の高齢者は高血圧の内服中断で、医療チームの診療に繋げる必要あり。血圧が高い人が多いが多くの方は医療チームの診療・投薬を受けている。・避難所の環境について。/トイレは断水のため流せず浄化槽も一杯になっている。汲み取り車も津波に流されおろい、追いつかない状態。大便是新聞紙上にして新聞紙ごと捨てるが、手袋もなく洗ってもできない。手指消毒剤がトイレに置いてある。訪問時、宮城県日赤の境点検チームの巡回あり本部に指導されていたが改善が困難。</p>

3/25	<p>&lt;午後&gt;住吉中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋前に住吉中で嘔吐の症状がある人が複数あり、処理用手袋等が不足しているという情報を鳥取県災害応援隊からもらう。市役所に寄り、次亜塩素酸、ゴム手、ペーパータオル等を持って行く。</li> <li>・住吉中の職員に状況を聞く。電気(未)・水道(未)、次亜塩素酸、ゴム手等は届いており看護師(看護協会ボランティア2名)が処理や、症状の聞きとり等実施しているが500名の避難者がおり手が回らないとのことで、共に巡回することとする。</li> <li>・健康相談、7名の健康相談実施。うち2名嘔吐処理。1名はねたきり(娘が介護)で、褥創り意識レベル低いが医療機関受診拒否、医療チーム巡回での投薬等について市保健師に対応相談中。</li> </ul> <p>※明日も、住吉中訪問予定。</p>
3/26	<p>○07:09 高橋係長から携帯メールで報告。今朝は少し積雪があり冷え込んでいる、現地へ出発。4人とも元気、気分的には今日が山場かなと話している。</p> <p>○17:50 高橋係長から電話報告。今日の活動終了、今日も住吉中で20～30人、嘔吐する人がいるがノロというよりストレスや風邪みたい、消毒薬届き配った。</p> <p>○23:01 高橋係長からの庁内LANメール報告</p> <p>&lt;市の全体状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前・市役所周辺の一角は、今日1日でだいぶ瓦礫の撤去が進み町らしさが戻ってきた。しかし依然として電気・水のない避難所も多くある。公用車専用のガソリン給油所が開設される予定という情報もある。</li> </ul> <p>&lt;本日の活動について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問避難所:住吉中学校1ヶ所で1日活動(昨日からの続き)。避難所の全体状況:昨日嘔吐、下痢等の胃腸炎症状を訴える人が多く感染症拡大の心配をしたが、疲れやストレス等による体調不良もあるのか少し落ち着いている状況。</li> <li>・活動の内容: <ul style="list-style-type: none"> <li>①巡回健康相談 20件(乳幼児1、身体障害1、精神障害4、成人2、高齢者12)うち要継続ケース7件。</li> <li>②同避難所に派遣されている看護協会からのボランティア看護師3人と、心配なケースについて対応を検討した。</li> <li>③携帯用手指消毒の支援物資が多数あり、看護師と共に全避難者に配布した。(管理者了解)</li> </ul> </li> <li>※②の事例概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢女性。一度避難所から救急搬送をされたが、医療機関で入院が難しく、避難所に戻された。訪問診療は可。現在、寝たきりで褥創4か所(いずれも深い)、食事摂取不可、レベル低下あり、バイタル値不良。家族は生命に関わる状況という認識は薄い。→当初、入院可能な医療機関を探し、家族に対象者の状況を伝えたくうえで、救急搬送等、対応を選択してもらったこととしていたが、すでにどの医療機関もいかなる状況でも入院不可の返事。石巻市保健師、日赤と連絡をとり、日赤医療チームに訪問診療してもらうこととなる。それ以外為す術がない現状。</li> </ul> </li> </ul>
3/27	<p>○07:30 高橋係長から朝の電話、宿出発、皆元気</p> <p>○16:45 高橋係長から終了後の電話。ミーティング終了帰路に着いたところ。本日は中里小学校で500人が300人に減っていた、山側の地域は水道一部復旧で帰宅する方もある。とは言え、水量は少なく、トイレはまだプール水。ただし綺麗になっている。鳥取県の応援隊に会い、2班オーダーの消毒薬を受け取り、不足していた湊中学校避難所に持って行った。チーム4名は元気である。</p> <p>○21:40 高橋係長より報告</p> <p>○本日の報告をします。よろしくお願います。</p> <p>3月27日(日) 天気 晴れ/雪</p> <p>&lt;市の全体状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市中心部は昨日よりさらに瓦礫等の撤去が進んでいる。ライフラインの復旧について、海岸近くの被害の大きい地域の見通しは立たないが、市街地は近日中に順次復旧する情報あり。それに伴い、避難所の集約、仮設住宅の受付等が進んでいる。</li> </ul> <p>&lt;本日の活動について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問避難所:中里小学校1か所1日活動。避難所の全体状況:先日までは、嘔吐、下痢等の胃腸炎症状を訴える人が多く救急搬送される人も多かったとのことであるが、既に落ち着いている。電気も通り、一部水道も出ており、衛生環境は比較的良好。また、医療班や看護協会のボランティアも入っている。</li> <li>・活動の内容: <ul style="list-style-type: none"> <li>①巡回健康相談 28件(学童等3、成人6、高齢者19) うち要継続ケース5件</li> <li>②鳥取県から送付されたインソジンの支援物資があり、避難者に配布し風邪予防を呼びかけた。</li> </ul> </li> <li>①の要継続ケース概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護の認知症高齢者について家族から、水浸した家の片付けをする間、みてもらえるサービスはないか相談を受ける。早く家に連れて帰り、落ち着いた環境で介護したい。介護保険サービスが機能しているのかわからない。</li> <li>・母子家庭だったが今回の災害で母親を亡くした小学生の心のケアについて。</li> <li>・不眠があり、かつ、血圧が200以上となっている独居高齢者の今後の生活と医療機関受診について。</li> </ul> </li> </ul>
3/28	<p>○13:45 高橋係長より電話。さきほど4班との引継が終了。これから石巻を出発します。</p> <p>○18:50 高橋係長より電話。新潟ホテルに到着。</p>
3/29	<p>○07:40 先ほど新潟を出発。いい天気で順調に走行中。</p> <p>○13:10 携帯メール。北陸道南条PAを出発順調に走行中。17:30頃には到着できるのではないかと思います。</p> <p>○18:10 高橋係長より電話。西部福祉保健局に到着。皆元気です。次の班からは、だんだんと家庭訪問に切り替わっていきだろ。家も、水なし、物資もなし、悲惨な状況。応援隊から消毒液を受け取り、避難所にもって行った。</p>

4班

<p>洞ヶ瀬川津子 (湯梨浜町役場)</p> <p>大田幸子 (湯梨浜町役場)</p> <p>原田 豊 (県精神保健福祉センター)</p> <p>富山弘道 (湯梨浜町役場)</p> <p>藤田和也 (湯梨浜町役場)</p> <p>1日目(3/27) 鳥取→【公用車】→新潟</p> <p>2日目(3/28) 新潟→ホテル(大崎市)</p> <p>3日目(3/29) ホテル(大崎市)</p> <p>4日目(3/30) ホテル(大崎市)</p> <p>5日目(3/31) ホテル(大崎市)</p> <p>6日目(4/1) ホテル(大崎市)→新潟</p> <p>7日目(4/2) 新潟→【公用車】→鳥取</p>	<p>3/27</p> <p>朝7時に新潟のホテルを出て地震発生の影響は多少あったもののスムーズに市役所に到着し第3班から引継を受けた。</p> <p>○14:00から16:30まで健康相談活動。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動場所:稲井公民館(避難者120人)。保健チームは私たちが3巡目。部屋は晴れだったので、家を片付けに帰宅している人がある。健康相談対象者:38人。避難所はまだ水が復旧していなかった。近隣のボランティアが食事作りや配膳に来ていた。被災者自ら6人体制で管理事務所に詰めていた。喫煙所で喫煙していた。27日から100戸の仮設住宅申し込みが開始された。100あまりの医療機関はまだ20機関ほどしか開業していない。心配事は多々あるが、少しずつ落ち着いてきている様子。</li> </ul> <p>【原田記録】</p> <p>9時05分東北道五百川PA通過、ガソリン規制のためか、走行車は少ない。今朝の地震のためか、国見以降、東北道通行止の情報あり。</p> <p>9時15分安達太良SA到着、ここで給油予定。しかし、給油待ちに長蛇の列。</p> <p>昼食は、車内でカロリーメイト、SOYJOY、ウイダーゼリーなどですませる。</p> <p>11時20分予定変更にて大和インターにて高速を降りる。</p> <p>11時39分松島大郷インターから三陸道へ。鳴瀬瀬松島インター以降は救急車両のみにて、同インター出口付近は渋滞、53分に出る、支援車両は通行料無料。</p> <p>45号石巻河南インターを12時05分にて石巻市街へ。ユニクロ、ケーズ等の入り口付近は多くの住民が列をなしている。市街地は渋滞。12時22分石巻市役所到着。3班と合流。第3班の引継ぎを受け、その後、石巻市役所健康推進課の担当当事に挨拶し、鳥取県派遣隊の山本課長とも会う。</p> <p>○稲井公民館の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲井公民館は、避難者約130人とのことですが、本日は天気もよく、日中は自宅の片付けに出ている人も少なくなく、訪問時は約40人の被災者がおられました。まだ、水が出ないために、駐車場の一角に、朝から夕まで給水車がきて、避難所だけではなく、近隣の方も給水に来ておられました。避難所内は水が出ないため、小便是トイレでも流さず、大便是新聞にして所定の場所に廃棄することになっているようです。入浴も、震災以来できず、本日は市内の中心地区に自衛隊が臨時入浴場を開設したとのことですが、そのままでは歩いて1時間もかかることと、交通手段もなく、行くことはできません。とはいえ、管理や清掃が行き届いているのか、さほど異臭を感じるということはありませんでした。</li> <li>・避難者の多くは近隣の人で、津波で1階がほとんど浸かってしまい、2階部分が何とか使えるという状況で、日中、片付けに出ている方もおられます。自転車40分かけて自宅に帰って来たという人もいました。一方で、自宅はもう流されてしまったという人もいれば、他の避難所が開鎖され、今日からこの避難所に来られたという人もいます。</li> <li>・避難者の大半は高齢者で、高血圧の人が多くおられました。すでに日本赤十字病院を中心とした医療チームが数日に1回巡回しておられ、すでに投薬を受けておられました。病院からの投薬内容の用紙を持っている人も何人もおられました。(医療チームと健康相談チームがだぶる場面も出てきており、市役所のほうで調整に入りたいとのこと)</li> </ul>
---	--

3/28・投薬だけの問題だけではなく、精神的にも肉体的にも不安定な環境での生活のためか、普段よりも血圧が高いといわれる方がたくさんおられました。  
・統合失調症の人が1人おられ、夫と避難をされておられました。通院していた精神科医療機関も被災し、投薬が心配されていましたが、他の機関から投薬を受け、これまでの病院のケースワーカーとも連絡が取れたとのこと。  
・ストーマの方もおられ、処理の場所に困っているとのことですが、当初は排便の状態も悪く、赤十字病院に運ばれ、1日入院をして、また戻ってきたとのこと。  
・ちなみに、石巻市は、100あった開業医が被災し、20か所程度しか機能しておらず、保健所と児童相談所が流され、保健所は石巻西高校に、児童相談所は仙台市内に移動しています。国家試験に合格した看護師などの医療従事者の登録は、本来の保健所ではなく、市役所の健康推進課で行われていました。  
・これまで、市が指定している避難所には、県外の応援チームが訪問し、それ以外の避難所などに石巻市のチームが入っていたとのことですが、医療チームと健康相談チームがだぶる場面もあり、県外の応援チームも、指定以外の避難所や在宅訪問に回ろうか今後検討しているとのこと。4月21日から新学期が始まるということで、これに向けて避難所統合への動きもあるようです。

3/29 3月29日（活動二日目）

【活動スケジュール】

7:00 ホテル出発  
8:10 石巻市役所到着  
8:45 全体ミーティング、他県チーム（福岡県・石川県・兵庫県・川崎市・大津市）  
9:40 派遣先（ビッグバン）に到着、西條保健師とミーティング  
10:20 飯野川第1小学校到着 活動開始  
12:30 活動終了し、ビッグバンに戻る  
13:30 西條保健師に申し送る  
14:30 石巻市役所 辺見保健師・伊藤保健師に申し送る。翌日の活動検討  
16:30 終了した  
17:30 ホテル到着

【活動報告】

○訪問場所 指定避難所ではなく本日からエリア担当方式ということで、河北地区を担当する。河北地区は、3か所の避難所あり。①ビッグバン、②飯野川第1小学校、③飯野川中学校、そのうちの②を担当することになった。  
○②の概要…環境面は、ライフラインはあり、必要な物資もあるし、コミュニティが丸ごと避難しているため、人間関係等も良好（町民も職員も）。120名の避難者、屋間は出かけているため約50人ほど在籍中。  
○健康相談人数…32人 学童1、成人10、高齢者21（うち継続要診察者2＝高血圧未治療者 弘前大学チームが時間差で来所予定とのこと）で管理者に申し送りをした。  
○衛生対策等…水があるので、トイレも流せる状態、仮設トイレの設置あり、虚弱や学童が中のトイレを使用し、健康者が外の仮設トイレを利用する。  
○喫煙場所…外に設置あり、ただし玄関先であり受動喫煙のリスクはある。  
○生活スケジュール…朝6:30＝みんなでラジオ体操、その後清掃活動、10:30食事、16:30食事（1日2食）。  
○市職員の指導でいろいろなこと（ルール）が作られており、乱れると全体にフィードバックして指導が適切に入る。  
○環境調整…高齢者がブルーシートに踏くことがあることから、防止のための固定等を提案した。  
○資材…十分に充足されていた。はじめは、冷たいおにぎり1個とかだったが、今は炊き出しやカップラーメン、パンなどカロリーオーバーくらいにもらっておられるとのこと。  
○職員健康状態…みんな元気でやっています。

【感想】

○町が丸ごと流された「雄勝地区」の方が避難されており、家も車も何にもなくなった状態であったが、あきらめ感とともに受容は少しずつできつつあり、前向き、笑顔もみられた、我々に感謝の言葉をかけられる状態であった。（心理的には「ハネムーン期」というと原田所長のコメントをいただいた）

○管理スタッフの職員さんは、24時間体制で自分自身も被災者でありながら、とても熱心に援助しておられた。

【原田記録】

7時05分ホテル出発しました。メンバー5人、全員元気です。ホテル近くのガソリンスタンドには、すでに30台の車が並んでいます。8時30分から9時まで石巻市役所にて合同ミーティング、今日は、川越市チームとともに、河北地区を担当、10分市役所出発しました。河北地区ビッグバン西條保健師と打ち合わせ、10時20分同地区避難所3か所の一つ飯野川第一小学校にこれから向かいます。飯野川第一小学校は10時30分から朝食との事にて、こちらも昼食（カップラーメン）食べて、11時30分巡回開始しました。同避難所には、地区の大半が自宅を失った雄勝地区の住民です。避難者は120人いるそうですが、訪問時は40人程度、ほとんどが家を失った人です。巡回終了後、再度、ビッグバン西條保健師さんと話をし、石巻市役所に戻ります。

●石巻市役所

・8時30分より、石巻市役所にて打ち合わせ、石巻市には、鳥取県チームのほかに、福岡県、石川県、兵庫県、滋賀県大津市、埼玉県川越市などが入っている。市が指定している避難所には応援チームが、それ以外の避難所を市の担当者が訪問を行っている。指定されている避難所は、健康相談の訪問が、すでに2巡、3巡し始めており、医療チームとのダブリも出てきており、今後の対応について市としても検討を始めている。（医療チームは、明確な予定なく避難所訪問がされることがあり、日中に片付けや手続きに出掛ける人も増えてきて、事前に分かっていると避難所にいるが、不明瞭なため医療に至らない事例もあるらしい）  
・なお、兵庫県から離乳食が大量に送られ、市健康推進課で配分できないので、兵庫県のブースに置いてあるので適時使ってほしいとのこと。離乳食は、子どもだけではなく、流動食などを使用していた高齢者にも、9か月用のものを使ったりもしたとのこと。哺乳瓶が必要な場合には、健康推進課に相談のこと。  
・今後は、応援チームにも、市が入っている小さな避難所や自宅の訪問などをしてもらおう方向で検討している。  
・本日、鳥取県チームと川越市チームは、河北総合支所管轄の河北地区を担当することとなり、河北地区ビッグバンの保健師より、その後の対応を打ち合わせしてほしいとのこと。

●ビッグバン

・河北地区ビッグバン（体育施設？）に移動、西條保健師と打ち合わせ。管轄内には、ビッグバン（避難者600人）、飯野川中学校（雄勝地区と旧河北地区からの避難者160人）、飯野川第一小学校（雄勝地区より120人）の3か所があるとのこと。ビッグバンでは、重症の人がトレーニングルームに入っている、アリーナなどには手の届かない方（ブースで区切られている）、このほかにも、柔剣道場や会議室、廊下などに多くの被災者がいるとのこと。今日は、日赤チームが、午前10時から午後2時30分まで臨時の診療所を1階事務所に開設すること。また、この地域には2か所の開業医があり、いずれも被災しなかったために、当初から診療が続けられるとのこと。ただ、午後の時間帯をみると、それ程忙しそうな雰囲気はない。自発的に訴える人はすでに訴える場面が与えられているので、今後は、自分の方から積極的に訴えたい、訴えることのできない人を対象に健康相談が必要かと思われ。  
・他の2つの避難所の様子がよくわからないということで、本日はその2か所の訪問を考慮、川越市のチームが他の要件で打ち合わせに遅れるとのこと、鳥取チームの意見で、鳥取チームは先に飯野川第一小学校の方を訪問することとした。

●飯野川第一小学校

・ビッグバンから車で10分かかるくらいで、それ程離れてはいない。この地区は、今回被害のひどかった雄勝地区の住民が避難してきている。雄勝地区は、江戸時代から船運で栄えた町らしい、4、300人、1、637世帯で、この地区だけの統計がないので死亡・不明者は分からないが、現在、全人口の30%以上に当たる1、363人が避難しているとのこと。避難しているほとんどの人は、すでに自宅を津波で失っている。被災者の多くは、津波を逃れた数少ない家屋に避難し、そこで生活（あるもので生活、トイレも穴を掘って埋めたり、真っ暗な中で生活していたらしい）、逃げるのも下の道を通れないので、山の道を超え、何とか、河北地区までたどり着いたとのこと。  
・10時20分ごろに、飯野川第一小学校に到着。同小学校では、本日、大川小学校（100数人の全児童の7割が死亡・不明）の初登校日が行われ、多くのマスコミが駆けつけていた。マスコミのインタビュアーに、校長は、本日の登校者は28人だと話していた。避難所は、校舎の裏の体育館が使われている。屋根が高く、窓も大きいので明るい雰囲気だが、体育館の中に日中は、4か所ストーブが焚かれているが、夜は寒いらしく、そのために眠れないと訴える人が多かった。なお、本日、ビッグバンの方で入浴ができるということで、何人かの人がビッグバンまで歩いて入浴に行ったとのこと。  
また、学校の体育館なので、身体的に介護が必要な人は生活が難しく、先日、肺炎になって東京の子どもが引きとって来て入院して安心した、母が介護が必要で他の避難所に移った等の話も聞かれた。  
・また、宮城県や石巻市では、県外への避難について、避難者を対象に今月までに一斉にアンケートをとり、今後の対応を検討するとのこと、同避難所にもアンケートの要請が来ていた。学校が4月21日から始まるということで、それに向けて避難所の統合が始まるかもしれない。  
中学校の体育館は部活も使うので、小学校の方にもという話も聞かれた。（また、地元の人が見地元の体育館に避難してではなく、海岸地区の自宅を失った人たちが、他の地区の体育館で避難をしているという感じ。石巻地区の人が限り、そろそろ各避難所には、それなりの物資が入るようになり、ライフラインは状況はさまざまだが、医療チームも入り、投薬も行われるようになった。しかし、多くの自宅を失った住民に対して、今後、どのように住居を保障していくのが、今後の大きな問題になってくると思われる。そのあたりで、県外避難のアンケートも実施されているだろう。）

3/29・当日は、市役所納税課に勤務しているさんが対応、2日間交代で、夜も寝泊りしてとのこと。Iさん自身も雄勝地区の被災者で自宅は流された  
 ・子ども2人は親戚にあずけていて、これまで休みはなく、そろそろ1日程度の休みが取れそうとのこと。電気、水道は通っている。  
 体育館内のトイレは、高齢者や子どもだけとし、動ける人は屋外の仮設トイレを使ってほしいとのこと。  
 ・避難所は、同じ雄勝地区の住民同士ということで、比較的落ち着いた感じで、プライバシーは保たれないものの、それ程窮屈感はない。  
 同じ被災者で元気な人が、ボランティア的に作業を手伝ってくれていて、ラジオ体操や清掃も時間を決めて行われているとのこと。  
 ・食事は、10時30分と16時30分の1日2回とのこと、ちなみに、今朝のみ、カップラーメンがまとまった数がたまったので、配布したとのこと。  
 到着時が、ちょうど朝ごはんの時間帯であったので、朝ごはんが終わってから巡回相談とした。  
 ・日中は、外に出ている人も多く相談時は、避難所内には50人程度であった。40人近くを面接相談したが、多くの人は、地震があつてしばらくはそれぞれの場所で避難生活を送り、10日目ころに今の避難所に移ってきたとのこと。そのために、高血圧の人なども、薬は10日分服用していない、しかし、近所に開業医があつたり、医療チームも比較的巡回されているので、投薬はすでにきちっと受けておられた。  
 ・不眠傾向や緊張のため血圧が普段よりも高めの人が多いが、むしろ、もともと未治療の人が何人かいて、定期的な血圧計測や必要に応じて医療チームの受診を勧めた。悪い夢(地震の夢)ばかりみて恐ろしく、そのために寝たくないという人もいた。また、寒くて眠れない、頻尿で眠れない、一部、人のいびきで寝付けなと訴えられる人もいたが、大きなトラブルなどに発展することはない。心臓弁治療後や脳血栓の予防にワーファリンを定期服用している方もおられたが、数日間投薬が中断していたとのこと。知的障害のある小学生が時々大きな声を出すような場面があつたが、今のところ、大きなトラブルには発展していない。親御さんの方も、気を使っている感じだった。  
 ●飯野川第一小学校での面接相談ののち、ビッグバンにもどり西條保健師に報告、その後、石巻市役所に報告。今後、河北地区でも、あまり交代なく、一定の相談支援が欲しいとのことで、鳥取チームは明日も河北地区に入ることとなった。明日は、石巻市役所の朝のミーティングには参加せず、直接、ビッグバンに行き、西條保健師さんと打ち合わせの予定。また、西條保健師からは、日中、外出している人たちに、医療や相談の介入ができておらず、夕方～夜間の相談も、辺見参事の方にあつたとのこと。  
 ※なお、避難所によっては、長靴が必要な地域も多いが、鳥取県チームの昨日、本日は、特に長靴は必要とはしなかった。

3/30 3月30日(水) (活動三日目)  
 【活動スケジュール】  
 8:00 ホテル出発  
 9:10 ビッグバン(河北総合センター)  
 9:20 ミーティング及び全館案内 高島保健師  
 10:30 1階 柔剣道の部屋の避難者個別訪問  
 12:30 大分県心のケアチームと調整ミーティング  
 13:00 昼食休憩  
 14:00 1階 アリーナの避難者個別訪問  
 16:00 記録  
 16:30 西條保健師及び高島保健師に申し送る  
 17:30 ビッグバン出発  
 19:00 ホテル到着  
 【活動報告】  
 ○活動計画立案 昨日からエリア活動ということで、鳥取チームは、河北地区を担当することになった。昨日のカンファレンスを元に本日は、ビッグバン(河北総合センター)内の避難者、特に高齢者、要介護者が潜んでいないか等に着目して面接するとともに、避難者マップ作りを行う。マップについては、災害救助活動として、保健師の健康相談チーム以外に「日赤等の医療チーム」「こころのケアチーム」「NPO(介護関係)」など、さまざまな立場の支援者が繰り返し避難者を回り同じことを聞き取ったり迷惑がられ関係を壊さないようにすることや逆に要注意者の見落としがないように適切な支援者に引き継げるようにするためである。  
 ○訪問場所 ビッグバン(河北総合センター)  
 ・1階 トレーニング室、柔剣道室、アリーナ、つどいの部屋、フロア  
 ・2階 ふれあいの部屋、憩いの部屋、廊下  
 ・3階 図書館、オープンスペース  
 ○センターの概要・・・河北地区の避難対策支所として位置づけられているようで、館長はじめ保健師等職員が24時間体制でつめていた。環境面は、ライフラインはあり、必要な物資が集まってくる、ここから他の2か所の避難所へも物資を配送する。担当地区外の避難者もあり、情報がない人も多くいろんな人がこた返しにいて、十分に把握しきれない感あり。570から600名の避難者一旦出ることができた人もユーザーン状態で身を寄せる場所がなく帰ってくる人もある。  
 ○健康相談人数・・・67人(高齢28、寝たきり者3、身体障がい2人幼児1人、学童5人、成人28人(うち 要診察者2人)  
 ・マップ作り・・・個別健康相談をしながら避難者マップを部屋ごとに作っていった。  
 ・本日は、午前=柔剣道室、午後=アリーナ  
 ○衛生対策等・・・換気が十分でないとかインフルエンザ対策および傷ついた心の子供たちをマスコミから守ることも含めて、「シュッシュ隊」を編成=東京の若者ボランティアと小中学生が一緒に各部屋の加湿と換気に一日3回巡回する。  
 ・入浴設備の提供があり、管理運営をボランティアに任せ、男女一日ずつの交代制で入浴が可能となった。他の避難所からも入浴しに来所あり。  
 ○喫煙場所・・・外に設置あり、ただし出入り口であり受動喫煙のリスクはある  
 ○生活スケジュール・・・食事時間が決まっているのみ=8時と18時に1日2回の食事の配給あり、昼食は各自任せ。  
 ○ボランティア 図書館の本を活用して読み聞かせが行われている。  
 ○職員健康状態・・・みんな元気でやっています。  
 【感想等】  
 ○原田所長の指導により、避難者マップを鳥取チームで引き継いで作成するという任務が明確になった。それを通して、一人でも多くの避難者と面談し、健康問題のトリアージができる。  
 ○マップの活用により、被災地側のスタッフの労力の軽減に貢献できること、さらに他チームとの情報の共有、連携がスムーズに取れる。  
 ○被災地側の保健師からの要望として、「自分たちは目の前の問題を次々とこなして対応していくしかなくそれを評価している暇はない、客観的に効果的効率的な活動があれば、どんどん改善案を助言してほしい。」とあつた。

【原田記録】  
 ・今日は直接ビッグバンに行くので、8時00分にホテル出発予定です  
 ・9時05分ビッグバン到着。ビッグバン高島保健師さんと打ち合わせ。ビッグバンには600人の被災者がいるが、まだまだ十分に把握されていない。今後、鳥取県チームは、ビッグバンに拠点を置いて、じっくり被災者が把握できる取り組みをしていきたい。12時30分大分県心のケアチームと打ち合わせ。これからの鳥取県チームは、このビッグバンを中心に活動すると考えて下さい。  
 ・13時15分昼食。4時00分より再度、ビッグバンの被災者の健康相談を実施、西條保健師、高島保健師に報告、石巻市役所辺見参事には電話連絡で済ませ、17時00分ビッグバン出発、ホテルに向かう。明日も直接ビッグバンに向かう予定です。  
 ・18時40分ホテル到着、お疲れ様でした。ちなみに、朝食はホテルのセット、おにぎり・味噌汁。今日の夕食は缶詰めなど。ホテルの近くで外食できる店も1-2件あります。



3/31 3月31日(木) 天気:雨 (活動四日目)

【活動スケジュール】

8:00 ホテル出発  
9:00 ビッグバン(河北総合センター)  
9:10 ミーティング 高島保健師  
10:30 昨日に引き続き1階 アリーナの避難者個別訪問、1階 文化ホール廊下の避難者の個別訪問  
12:00 記録  
12:40 昼食休憩  
13:30 1階 集いの部屋の避難者個別訪問、3階 通路等の避難者個別訪問  
15:00 記録  
16:00 西條保健師及び高島保健師に申し送る  
16: ? 「震度4の余震あり」 鳥取県防災田中さんより安否確認の電話いただく  
17:00 ビッグバン出発  
17:30 石巻市役所で迎見参事・伊藤保健師に今後の計画について合意を得る  
18:00 ビッグバン出発 <渋滞>  
20:00 ホテル到着

【活動報告】

○昨日に引き続き、避難者マップ作りを行う。  
○訪問場所 ビッグバン(河北総合センター)、1階 アリーナ(昨日の続き)、文化ホール廊下、集いの部屋、3階 オープンスペース  
○健康相談人数・・・97人(幼児6人、学童14人、身体障害者2人、成人46人、高齢者29人)、マップ作り・・・今日は、午前=昨日に続きアリーナ・文化ホール廊下、午後=集いの部屋・3階フロア  
○職員健康状態・・・みんな元気でやっています。

【感想等】

○昨日の要診察者について、本日も日赤病院外来が開設され受診していただくことができた。  
○個別訪問して回ると高血圧の人がかなりあり、内服薬が継続して処方され内服している人は安心だが、内服していても主治医が津波で流されて亡くなられて主治医が変わったばかりで薬が合わず全く血圧コントロールができない人、内服中断していても外来受診する認識がなくとも高い値の高血圧が放置されている人があった。・・・これらの人は、日赤病院外来または近くの医療機関への受診勧奨、定期的血圧測定が必要である。  
○糖尿病だが、食事が十分でないために内服やインスリン療法が困難な人、透析の必要な人、在宅酸素療法している人、甲状腺機能低下で内服が必要だが甲状腺の薬製造会社の被災で薬不足に脅かされている人、ガン末期、難病、精神病、ネグレクト疑い、など、地域の病態の縮図のような状態である。  
○被災により、親兄弟子供家族親族の死亡、遺体の確認、家も財産も仕事もすべてを失うという過酷な状況がのしかかっている、今は同じ境遇の人たちと共同生活をしていることや支援者がたくさん入っていることなどでまぎれているが、今後時間の経過とともにのおのの生活が再建し離れ離れになっていけば、現実に向き合い不安感が増幅するであろう。

【原田記録】

・8時00分ホテル出発、直接ビッグバンに向かいます  
○これまで鳥取県チームをはじめとする保健師チームは、毎朝、石巻市役所に入り、必要な避難所に、指示を受け、日替わりメニューで、行き先を変え、健康相談を行っていましたが、多くの避難所に2巡、3巡と支援が入るようになり、医療チームもそれなりに入るようになっていきます。いっぼうで、それぞれの避難所には、長期の支援が必要となり、鳥取県チームは、今後、河北地区(中心となる避難所は、ビッグバン)に拠点を置いて支援を実施しようと考えています。昨日は、河北地区の避難所のひとつ、飯野川第一小学校を訪問しましたが、今日は、1日、ビッグバン内にて活動をしました。今後は、活動の中心は、このビッグバンになると思います。  
○石巻市河北地区の状況です。  
・これまで、石巻市で活動する全国の保健師チームは、石巻市役所に毎朝集合して、その日の指示などを受けていましたが、鳥取県チームは、昨日より河北地区を担当しており、今日は石巻市役所には寄らず、直接、河北地区に赴きました。  
●河北地区の状況  
・現・石巻市は、2005年4月、旧・石巻市と桃生町、河南町、河北町、北上町、雄勝町、牡鹿町と合併したものです。また、旧河北町には、飯野川地区、二俣地区、大川地区、大谷地区があります。今回の震災・津波によって壊滅的な被害を受けたのは、旧北上町、旧雄勝町、旧河北町大川地区です。雄勝町の住民のほとんどは自宅を津波で失い、それぞれ残されたいくつかの住宅で共同避難生活を送ったのち、あるいは車の中で2日間ほど避難をし、山越えをして、他の地区に避難をしてきています。大川地区は、100人以上いる児童の7割が死亡・行方不明になった大川小学校のあるところで、子どもや兄弟を亡くされた遺族が少なからずおられます。河北地区の被災者は、主に、飯野川地区にある、ビッグバン、飯野川第一小学校、飯野川中学校の3か所の避難所に分散しています。これらの住民の多くは、死体をかき分けて泳いできた、逃げてきた、苦しんでいる人・助けを求めの人を見て逃げたなど、多くのダメージを受けています。  
・飯野川第一小学校の被災者(約120人)の大半は、雄勝町住民で、住民同士の連帯感が強く、助け合っています。飯野川中学校には、主に、雄勝町住民と大川地区住民が避難しています(約160人)。各旧町には総合支所がありましたが、北上町支所と雄勝町支所は、存在しません。大川地区の住民は河北町支所が把握していますが、雄勝町の住民は、十分に把握ができていません。  
・もっとも多くの被災者を抱えているのが飯野川地区の中心にビッグバンです。避難しているのは、雄勝町と大川地区の住民が大半ですが、それ以外にも、赤十字病院で治療を受けた方が、いろいろな避難所に振り分けられているため、雄勝町や大川地区・飯野川地区とはあまり関係のない住民が一部避難しており家族と離れた形になっています。ただ、これらの方は、家族に引き取られたり、地元の避難所に移動するなどして、当初よりも人数が減ってきている印象があります。  
・石巻市立病院では消化器系のがん治療が積極的に行われていたとのことですが、同病院も壊滅的な被害を受け、がん治療が中断した状態になっている方もおられるようです。このため、ビッグバンには重症の被災者もおられ、これらの被災者は、事務室に一番近い「トレーニングルーム」でケアを受けておられますが、必ずしも十分な治療が受けられるわけではありません。入院の必要性があっても入院も難しく、遠隔地の病院でなければ難しい状況です。(今日は、入所中に肺炎で亡くなられた方の葬儀があったらしく、同じく避難しているご遺族の方が葬儀に行っておられました)

	<p>・ビックバンの1階の「柔剣道場」「アリーナ」には、高齢の方が多く避難をしておられます。日赤の医療チームがほぼ毎日入られることにより、高血圧や風邪などに対するの投薬は、十分になされるようになりました。高齢者の中には、リウマチやぜんそく・呼吸器疾患、心臓疾患での手術の既往のある人、がん手術の既往のある人も少なくなく、震災から10日間くらい投薬が中断することにより、身体的に苦しかった方も少なからずおられました。また、介護保険サービスやケアマネージャー自身の被災もあり、日中、高齢者の多くが行き場もなく臥床している人も多く、避難生活により、廃用性の委縮をきたし、寝たきりになる恐れの方もおられます。</p> <p>・飯野川中学校や飯野川第一小学校は、日常生活支援の体制が不十分なので、介護の必要な状態の方は、ビックバンの方に移動してきておられます。ヘルパーが4人でローテーションを組んで、10人くらいのおむつ交換をしてくれています。また、NPOや介護福祉士のボランティアも活動は始めていますが、被災者の数が多く、まだこれらの援助が必要であるのかかわらず支援を受けていない人もいるかと思われます。</p> <p>○ということで、感じたいくつかの課題をあげておきます。</p> <p>①避難所にいる被災者が、避難所のある地域の住民ではないこと。</p> <p>・河北地区支所及びビックバンのスタッフは、本来の河北地区の住民と、河北地区以外の雄勝地区などの住民と、2つの住民の支援を行わないといけないなっています。また、ビックバンのある飯野川地区の住民は、ライフラインは当初より保たれ、医療機関も開業医が維持されているものの、食糧事情やガソリン事情が悪く日常生活が十分に行われていない可能性があるが、避難所支援で手いっぱいではなかなか家庭訪問にまで至らないこと。大川地区の住民は、同じ河北町なのである程度把握できているが、雄勝町の住民は十分に把握していない。</p> <p>②現在避難している住民のほとんどが家屋を失っており、ライフラインが復旧したとしても帰宅先がない。</p> <p>・すでに仮設住宅の申し込みが始まっているが、まだまだ戸数は不十分。県外避難に関しての避難者アンケートも明日までに実施されるが、十分な見直しも長期化が予測される。</p> <p>③高齢者も多く、十分なリハビリや介護サービスができないために、ADLの低下が懸念される。</p> <p>・今後は、保健師や医療チーム、介護福祉サービスやボランティアと情報交換をして、連携したサービスが実施できるような体制づくりが必要となる。</p> <p>④子どもの心のケアに関しては長期的な課題。</p> <p>・大川小学校は、マスコミにとっては注目の内容であり、マスコミが個別に子どもにインタビューに入り多くの課題があったようだが、ボランティアが子どもの集団活動を行いながら、マスコミに対しても監視をし、避難所の入り口にもマスコミが勝手に立ち入らないように張り紙をするなどの工夫がなされていた。この1週間、マスコミは福島原発の方に移動したため、強引な取材は急速に減っているとのこと。</p> <p>※鳥取県チームの介入について、これまでは日替わりメニューで様々な避難所を市役所の指示で回っていたが、市役所の担当者・ビックバンの担当者と協議のうえ、今後は、ビックバンを拠点に活動を行い、順次、ビックバンの担当者の指示・連携のもとに、継続的な支援を実施していくこととする。</p> <p>①医療チームが連日避難所に入ることによって、自分で訴えることのできる被災者は自分なりに受診するようになっていく。</p> <p>・むしろ、自ら受診しない、受診できない、受診しようとしていない被災者に対する働きかけ、促しが重要、地道に個別に布団のところで健康相談を実施していく。実際に、自分からは受診していても、声をかけると血圧を測りながら話をすると、様々な身体疾患の既往や高血圧、精神的問題を抱えている事例が多い。</p> <p>②被災者が600人近くおり、減る気配はない。</p> <p>・住居がないということもあるが、今後、4月21日からの学校再開に向けて一部の避難所が閉鎖され移動してくる被災者も出てくると思われる。また、生活環境そのものは決して悪くはないので、移動してくるものもあると思われる。避難当初から、名簿作りがなされ、「トレーニングルーム」や「アリーナ」「柔剣道室」のほかにも、2階、3階の部屋や廊下にも多くの被災者が生活しており、一応、どの部屋に誰がいるかの名簿はあるが、必ずしも一致はせず、移動していたり、新しい人がいる。また、部屋のどのあたりに、誰がいて、どのような支援を必要としているのか、問題を抱えているのかに関しては把握ができず、本日より、順次、各部屋を回り、各部屋の被災者の確認、見取り図のようなものを作成していくこととする。また、これをもとに、介護の必要な人、精神的課題を必要人がいれば、適切に、介護のチームや心のケアチームに繋げていくこととする。理想的には、もう少し詳細に被災者の要支援状況が把握され、連携をとったカンファレンスなどの実施ができればと思います。</p> <p>○16時45分ビックバン出発、石巻市役所にて、鳥取県派遣隊とも情報交換し18時00分石巻市役所出発しました。これからホテルに向かいます。</p> <p>○19時30分ホテルに到着、今日は渋滞に巻き込まれました。明日は、直接ビックバンに行き、12時過ぎに石巻市役所にて第5班を迎え、引き継ぎ。その後、第5班とともにビックバンに移動し再度、引き継ぎをする予定です。今日はホテルで夕食、マジックライズにあさげ、朝バナナゼリー、牛肉すきやき缶詰めです。いずれも、湯梨浜チームからいただきました。</p>
4/1	<p>4月1日(金) 天気:快晴 (活動五日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>8:00 ホテル出発</p> <p>9:10 ビックバン(河北総合センター)</p> <p>9:30 ミーティング 高島保健師</p> <p>10:00 二階 ふれあいの部屋・いこいの部屋およびその周辺廊下避難者個別訪問</p> <p>11:15 記録・引継ぎ</p> <p>11:45 石巻市役所へ出発(移動車中昼食)</p> <p>12:30 石巻市役所到着</p> <p>13:00 伊藤保健師と第5班(県の保健師:馬淵さん、小室さん)に引継ぎ、オリエンテーションおよび第5班の活動の方向性を検討</p> <p>14:10 石巻市役所出発</p> <p>14:30 ビックバンで第5班にオリエンテーションと個別ケース引継ぎ。高島保健師にも本日の活動について引き継ぐ</p> <p>16:00 ビックバン出発</p> <p>16:30 大川方面被災地視察</p> <p>16:45 蛇田小学校に出西隊員激励訪問</p> <p>23:00 ホテル到着</p> <p>【活動報告】</p> <p>・昨日に引き続き、避難者マップ作りを行う。</p> <p>訪問場所 ビックバン(河北総合センター)。2階 ふれあいの部屋・憩いの部屋およびその周辺廊下</p> <p>○健康相談人数・・・28人(幼児1人、学童2人、身体障害者1人、成人11人、高齢者11人 知的1人 精神1人)</p> <p>・マップ作り・・・本日は、二階ふれあいの部屋・憩いの部屋およびその周辺</p> <p>・職員健康状態・・・みんな元気で任務終了しました。</p> <p>【感想等】</p> <p>・最終3日間で、ビックバン(河北地区拠点避難所)の避難者マップ作りを行った。一部の部屋を除き1階から3階までの各部屋のマップがほぼ完成した。早速、このマップを参考に本日から日赤看護チームが継続訪問を開始したとのことで、マップ作成の意義が現場から高く評価され活動の意義を感じた。</p> <p>【原田記録】</p> <p>・8時05分ホテル出発しました。第4班5名全員、すこぶる元気です。今日も直接ビックバンに向かいます。12時過ぎに石巻市役所にて第5班と引き継ぎの予定です。</p> <p>・午前中ビックバンにて相談、11時45分ビックバン出発、石巻市役所に向かいます。車中にて、昼食。</p> <p>・3時00分より石巻市役所にて、石巻市役所伊藤保健師さん、第5班と引き継ぎ、これから再度ビックバンに引き継ぎに行きます。</p> <p>・ビックバンにて、ビックバン高島保健師さんと第5班と一緒に引き継ぎを済ませ、16時00分ビックバンを出発しました。</p> <p>・23時00分新潟のホテルに到着しました。5人全員元気です。</p>
4/2	<p>【原田記録】</p> <p>・4月2日7時40分新潟を出発しました。皆さん、元気です。</p> <p>・小矢部川SA通過、仙台市から米子の夫婦のところにこれから避難しに行くというご夫妻に声をかけられました。</p> <p>・17時05分鳥取市到着しました。5人全員元気です。毎日、暖かい昼食を事務、運転士さんに作って頂いたのが健康維持の秘訣かも。第5班の皆さん、身体に気をつけて頑張ってください。</p> <p>PS チョッパーは石巻においでしました。</p>

追加	<p>【原田記録】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで鳥取県チームをはじめとする保健師チームは、毎朝、石巻市役所に入り、必要な避難所に、指示を受け、日替わりメニューで、行き先を変え、健康相談を行っていましたが、多くの避難所に2巡、3巡と支援が入るようになり、医療チームもそれなりに入るようになっていきました。いっぽうで、それぞれの避難所には、長期の支援が必要となり、鳥取県チームは、今後、河北地区(中心となる避難所は、ビッグバン)に拠点を置いて支援を実施しようと考えています。昨日は、丸一日、ビッグバン内にて活動をしました。今後は、活動の中心は、このビッグバンになると思います。</li> <li>○石巻市河北地区の状況です。</li> <li>・これまで、石巻市で活動する全国の保健師チームは、石巻市役所に毎朝集合して、その日の指示などを受けていましたが、鳥取県チームは、昨日より河北地区を担当しており、本日は石巻市役所には寄らず、直接、河北地区に赴き、午後、第5班との引き継ぎのため、石巻市役所に向かい、その後、ビッグバンにて再度引き継ぎに戻り、その後、ビッグバンを夕方出発し、新潟に向かいました。(4月1日)</li> <li>●石巻市の支援状況(午後の引き継ぎで、石巻市役所清水保健師さんから聞かして頂いた情報も含んでいます)</li> <li>・石巻市には、石巻赤十字病院を通して全国から医師が集まるようになり、石巻市をいくつかのブロックに分けて支援がはじまっており、これに並行して、石巻市役所の保健師応援チームも、重複の無いように、同じような区切りで、各地区単位でおのおののチームが活動を、地区担当保健師と連絡を取って言う方向に進んでいる。そのため、これまでと違って、清水保健師自身も、どこのチームがどの地区の担当かは分かるが、どこの避難所に行っているのかは地区担当に任せているとのこと。</li> <li>・また、石巻市役所内にも100人近く避難者がいたが、石巻市より撤退の指示がでて、午後石巻市に行ったときは、ごく数人の避難者しか見られなかった。</li> <li>●ビッグバンの状況</li> <li>・昨日に引き続き、600人の避難者のうち、日中、いる人を中心に健康相談に回る。統合失調症の方もおられ、10日間薬が中断していたが、家族に連れられ精神科を受診、投薬を受け、安定しておられた。連日、夜間せん妄、徘徊、暴言で問題となっていたおじいさんは、昨日、手持ちの薬で処方変更(心のケアチームを待っている日数も無かった)したところ、昨日は大人しく寝てくれたとのこと。しかし、今後は不明。</li> <li>・2日間林道で避難した後、ヘリで運ばれたという人も何人もいて、逃げる途中で津波で知り合いが飲み込まれたり、逃げた後に林道で無くなったりと、多くの体験を皆さん持っておられます。</li> <li>・知的障害で不安定な青年がいて、他の入所者とトラブルになりかけている。心のケアチームの診察も数日前に受けているが、入院の対象にならない。担当保健師も把握しており、今後、部屋の変更等が検討される予定。</li> <li>・隣の老人施設では入浴が可能になり、介護保険のある人は、入浴サービスが利用できる。</li> <li>・子どもの集団活動も始まっているが、小学生の女の子で拒否的な子も、無理な誘導はせずに声かけだけで。夜中、大きな声で泣きじゃくるようだが、夜驚症という感じ。とりあえず様子を見て行けばよいが、同室者の関係が今後問題。</li> <li>・午前中、救急車で1人運ばれていく(昨日は、職員が運ばれていた)。一方で、先日、多発性骨髄腫の人が受診をしたものの、避難所に返されてきた。午後は、肺炎がかったおばあさん、数日前から心配を患っていた医療チームから投薬を受けていたが、何とか救急車で病院へ、しかし、どの程度入院を受け入れてもらえるのか不安。</li> <li>・一番大きなアリーナ(テニスコートが3つほど張れる)には、新たな入所者らしき集団もみられる。第5班のメンバーにまた、健康情報などとして頂くようお願いしておく。それぞれ、避難所内に避難者の居住場所が固定してきており、新たな入所者が入りづらい状況にある。多くの場合は、アリーナに新たに段ボールで囲まれた一角ができればいい。</li> <li>・少し離れた所に飯野川第一小学校と、飯野川中学校の2か所の避難所がある。学校が4月21日から再開されるにあたり、学校の避難所、特に、中学校の避難所がどうなっていくのか先行き不安。もしかして閉鎖の方向になれば、ビッグバンに移動となるが、ビッグバンに新たなスペースを作るのは難しい。また、飯野川中学校には、児童の7割以上が亡くなった大川小学校の住民が多数いる。一方で、アリーナには、大川小学校で生き延びた児童もいる。親御さんは、自分のところは、〇〇したので、奇跡的に助かったと話されるが、逆に言えば、〇〇をしていればうちの子も助かったのに・・・と言う遺族に対しての自責感や親戚からの攻撃など、非常に同じスペースでの生活はつらいだろう。</li> <li>・ちなみに、大川小学校で生き延びた大人は、たまたま市内に会議で出していた校長と新探の先生と事務の3人だけらしい。校長は、マスコミに私生活までつきまとわれ、生き延びた児童は、避難所でマスコミにつきまとわれ、多くの2次障害の状態だったらしい。マスコミは、福島原発に移動していったらしい。</li> <li>・なお、あまり表だては言えないが、今日のビッグバンの朝食(朝、夕2回、食事があ)は、1人、おにぎり16個、6個入りロールパン2袋だったとか。賞味期限が切れるので全部配ったとのことだが、各自が自分で持ったまま腐らせるのではと言う不安もある。要は、ビッグバンは交通的に便利で、自衛隊などが救援物資をどんどん運び入れるらしい。石巻は、道路の両側にゴミや廃棄物が散乱し、未だに道の横に船が横たわっているところもある。そこまで、トラックが運ぶことができない。それでも、ビッグバンから物資の配布も行っているがなかなか追いつかない。</li> <li>・とにかく、ビッグバンの保健師さんは、重要患者さんへの対応、交渉から、個々の入所者のトラブル、ケア、医療チームの調整や、新たなボランティア希望者への対応(正直言って、応援チームに一人、指示をしている余裕もない。応援チームの自主性も必要、もちろん、保健師さんと仲良く活動しながら)など、よく頑張っておられるが、この保健師さんたちの頑張りやキチツと評価したり支援したりできるだけの余裕も、石巻市には無いと思う。</li> <li>○と言うことで、第4班は、鳥取に帰ってきました。</li> <li>・鳥取のチームは、非常に大変な状況の中での第1班から、まだまだ十分な支援環境の無い避難所への支援、今回の河北地区への固定的巡回から、第5班へと、震災の復興に応じた活動ができていていると思います。</li> <li>・震災の話になったとき、「鳥取県もチームを出しました」と言うことだけではなく、今回の震災の支援を通して、支援のあり方、震災の復興の流れなど、多くのことを互いに学びあえればと思います。</li> <li>・ある程度、チームが続いていく中で、どこかでまた、経過報告や勉強会をしたいと思っておりますので、皆さん、引き続きよろしくお願いします。</li> <li>・石巻市の保健師さん、ビッグバンの保健師さんとは、いろいろと詳しくお話を聞かせて頂くことができ、感謝しています。</li> </ul>
----	--

<p>5班</p> <p>馬淵伊津美 (県東部総合事務所)</p> <p>小村朋子 (県健康政策課)</p> <p>山下隆行 (県中部総合事務所)</p> <p>布広泰典 (県中部総合事務所)</p> <p>1日目(3/31) 鳥取→【公用車】→新潟 2日目(4/1) 新潟→ホテル(栗原市) 3日目(4/2) ホテル(栗原市) 4日目(4/3) ホテル(栗原市) 5日目(4/4) ホテル(栗原市) 6日目(4/5) ホテル(栗原市)→新潟 7日目(4/6) 新潟→【公用車】→鳥取</p>	<p>3/31</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○10:00 県庁出発</li> <li>○11:48 携帯メール:兵庫県の福崎を走行中です。中国道は車も少なく順調に走っています。</li> <li>○13:46 携帯メール:先ほど滋賀県の栗原パークキングエリアで昼食をとり、新潟へ向け出発しました。天気もよく、順調に走っています。</li> </ul> <p>4/1</p> <p>河北町での活動の概要(第4班からの引継ぎ事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■1. 関係職員 <ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻市役所健康推進課…伊藤保健師(課のコーディネーター、活動の大まかな計画を連絡)</li> <li>・ビッグバン(河北総合センター)…実際のエリア活動について、こまめにミーティング。</li> <li>・西條保健師、高島保健師、千葉保健師(4月から介護保険の部署へ異動)</li> <li>・鳥取県対策本部 石巻市役所常駐(30名)…お互いの情報交換、職員の状況を報告、隊長 教育委員会東部事務所音田指導主事</li> </ul> </li> <li>■2. 主な1日のスケジュール <ul style="list-style-type: none"> <li>8:30 石巻市役所ミーティング(直行の場合は省略可)※第5班は省略する。</li> <li>9:00 ビッグバンミーティング(保健師に本日の計画について)</li> <li>(午前) 活動→申し送り(昼) 適宜、昼食(午後) 活動→申し送り/16~17時頃 退庁(場合によって、石巻市役所保健師とカンファレンス)</li> </ul> </li> <li>■3. 使用する記録用紙 <ul style="list-style-type: none"> <li>①一覧表(10名分記載できる血圧、治療歴等の一覧表)</li> <li>②個票(健康相談、介護情報等の個人の情報)</li> <li>③日報(件数報告)</li> </ul> </li> <li>※ ①②は提出、③はコピーをもらう。</li> <li>■4. これまでの活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>○第1~4班1日目まで:公設避難所のスポット対応(課題)医療チーム、心のケアチーム、保健チームが、2~3巡目となり、かち合うようになった。(*)同じ対象者に、違う役割のスタッフが重ねて同じ質問をするなどの問題が浮上。</li> <li>○第4班2日目以降:河北地区を継続して担当</li> <li>*ビッグバン他チームの概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日赤病院外来診療(無料、開設時間は多少不定期、館内アナウンスにより受診可)</li> <li>・近くに開業医開設(有料、掲示板に一覧表掲示)</li> <li>・宮城県看護協会看護師1名(24時間×3日→休み1日の繰り返し)</li> <li>・市立病院看護師2名(避難者=ボランティア的活動)</li> <li>・NPO看護師1名(常駐)</li> <li>・河北地区社協ヘルパー4名(朝、昼、夜のスポット支援)</li> <li>・4月1日~看護師3名、ヘルパー1名のチーム(4日間スポット支援)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
--	--

■5. 石巻市全体の概要(伊藤保健師の情報等)

・現石巻市:平成17年4月に1市6町が合併。  
石巻市/市役所あり。石巻港が壊滅的被害。  
河南町/自宅避難者あり(要訪問)。水被害なし。  
河北町/鳥取県担当地区。津波被害のあった地区から避難者がやって来る。なかなか地域に出られない。

■6. 河北地区の避難所

- ①ビックバン(570~600名)
- ②飯野川第1小学校(雄勝地区メイン、120名)
- ③飯野川中学校(雄勝地区・大川地区、270名)
- ④その他、小避難所19カ所あるらしい。

(参考)・避難者の特徴:津波で家や財産、車、仕事を失った人たち。旧町単位まるとが、避難のかたまりになる。

- ・地区担当保健師は、避難所(ビックバン)の対応が忙しい。
- ・今後、ビックバンに避難者を集める話もあるが、スペースがない。

■7. 特記事項

- ・4月21日から 小学校・中学校が入学式
- ・3月27日から 仮設住宅申し込み開始
- ・3月29日今後行く先のアンケート配布→31日回収
- ・受診 ビックバン内医療チームは無料。医療機関の受診・往診は有料。
- ・救急搬送はめったにできない(受入れが不可)
- ・声かけの例:「鳥取県から健康相談にきました」「この避難所にはいつ来られましたか」「夜は寒くないですか(寝れていますか)よりもこちらが聞きやすい」「体の調子はどうですか」「血圧を測定できますが、測定されませんか」「無理をなさらないようにして、何かありましたら、また、声かけてくださいね」などの会話を終わらせる。
- ・便秘、風邪(インフル?)、高血圧の訴えが多い。

4月1日(金) 天気:晴れ (活動1日目)

【活動スケジュール】7:30 ホテル出発

13:00 石巻市役所到着/引継ぎ(原田所長、洞ヶ瀬係長、太田係長、石巻市伊藤保健師)

14:40 ビックバン(河北総合センター)到着/引継ぎ、ビックバンの内覧、個別ケースの引継ぎ、避難者マップの確認

17:15 高島保健師(河北地区担当保健師)と2日目以降の予定について打合せ

17:50 ビックバン出発(橋や道路が地震で通行どめの箇所があり、車のナビ通りに進めなかった)

21:00 ホテル到着

4/1

【本日の活動報告】

- 第4班と個別ケースや課題の引き継ぎ
- 地区担当保健師と今後の活動計画の検討、および現在の課題の共有

【今後の活動計画(予定)】

- 今後の鳥取県の取組は、河北地区を継続して担当する。(拠点はビックバン)

- 今後の活動内容(高島保健師との協議結果)

1)河北地区内の避難者マップ作り:避難所の避難者の支援、状況把握  
各避難所におられる避難者の避難状況・健康課題を聞き取り、施設内で生活している場所を、1人1人を図にまとめる作業。

【対象避難所】

■ビックバン(避難者600名、雄勝地区・大川地区) →第4班がほぼ作成済み。(残りを第5班で作成予定)

(様子)・医療や介護等の支援者が多く入っていて、巡回相談も重複してきている。

・重傷患者の部屋(トレーニングルーム)あり。

・食料や衛生材料、衣類などの支援物資が余剰している。(国道が近いため、物資が搬入しやすい。他の避難所に物資があるか心配)

・電気や水などは通っていて、避難生活に問題なし。1日おきで男女交代の風呂あり。消毒薬やマスク等の物資が充実し、トイレも水に流せるので、衛生状態も特に問題なし。

・半分以上が高齢者。介護保険が立ち上がっていない(市全部)。

・シュッシュ隊:1日3回小学生とボランティアが、加湿換気を目的に霧吹きで水をまく。(子どもをマスクから守る目的あり)

・チャット隊:救援物資の搬入等、人手が必要ときに、館内放送で呼びかけ。それに応じてくれる避難者の名前。

■飯野川第1小学校(避難者120名、雄勝地区住民が中心)→第6班で作成予定。

■飯野川中学校(避難者270名、雄勝地区と大川地区)→第5班で作成予定。

2)河北地区の家庭訪問:自宅避難者の支援、状況把握

・まずは、乳幼児の家庭を対象に訪問する予定。(4月実施予定の各種乳幼児健診が中止のため、その連絡と、対象児の状況把握を行う。物資が不足する場合は、ミルクやオムツなどを供給することができる。)

※他県の保健師が訪問するには、「物資を届けに来た」「健診のお知らせをしに来た」という訪問理由が明確な方が受け入れやすいのでは、との配慮。

【その他】

- 職員健康状態・みんな元気です。

○ ビックバンは物資が十分だが、他の避難所や在宅避難者には物資が届いていない様子あり。

○ 地区担当保健師が避難所運営に携わっているため、地域に出る等の本来の保健師活動ができていない、と地区担当保健師が悩んでおられる。(避難所設置当初に保健師が運営に携わったため、今、運営の役割をなかなか降りられない。事務職員数名も運営管理はしている。)

・保健師の行っている避難所運営の例:避難所内の医療・介護チームの調整、ボランティアへの指示、薬やおむつ等の物資の管理 等々

・保健師さんの悩み:自宅避難者の様子(生活)が分からない、地区の課題・問題が分からない、避難所の役割を軽減する等ができないか等

<以下、メモです。>

■持ってきたほうがよい物

・USBメモリー(報告をまとめるために。今原田所長にお借りして、大変助かっています。)

・水や食料はホテル周辺やインターで購入可能。鳥取からたくさん持って行かなくても大丈夫。

・ビックバン周辺はお店がないので、昼食を持参する必要がある。

■新潟のホテル(東横イン)

・1階にローソンあり(昼食を購入した)、その他に飲食店がある。駅に近く、ホテルの外も飲食店あり。朝食は無料。朝7時から。

■栗原市のホテル(シティホテルくりはら)

・晩御飯は最寄りのコンビニか、居酒屋。それ以外にお店は少ない。朝食は600円。朝7時から。

■鳥取県からの救援物資

・ビックバンに関しては、不要。(消毒用品、マスク等、余るほどあり)

・他の避難所に必要かは、確認していない。

■余震/21時頃、震度4~5の余震があり、結構揺れた。

4/2	<p>4月2日(土) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:30 ホテル出発/三陸道が渋滞(週末のためか、市内へ向かう一般車両が増えた)</p> <p>10:00 ビックバン到着 本日の計画確認(高島保健師)</p> <p>10:15 ビックバン内の被災者マップ作成:主に、2階(視聴覚室、廊下)、3階。</p> <p>12:20 昼食(車中にて、行きインターで購入したパンやカップ麺を食べる)</p> <p>13:00 ビックバン内の被災者マップ作成:主に、1階文化ホール前。</p> <p>14:45 河北総合支所に到着(高島保健師も同行)。健康福祉課長に挨拶。翌日訪問する予定の家庭を、地図で確認。(6~7か月11件、1歳児6件程度)</p> <p>【訪問時の対応】①健康チェック(身長や体重の測定、発達の確認)、②健康相談(対象児やその家族について)、③予防接種、おむつやミルク等の物資について情報提供(物資のない家庭には配布。予防接種は3カ所の医療機関で。)</p> <p>16:45 ビックバン到着:午前中の事例について報告・引継ぎ。</p> <p>17:40 ビックバン出発</p> <p>21:00 ホテル到着</p> <p>【本日の活動報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ビックバンの被災者マップの作成</li> <li>○ 明日訪問する予定の家庭の確認</li> <li>○ 健康相談:成人17名、学童4名(うち、要診療2名・発熱2名)</li> </ul> <p>* 第5班の活動の方針</p> <p>市保健師が避難所運営を実施し、本来の保健師業務ができないと嘆いておられる現状。一外部から入る鳥取県としてできることは・・・?</p> <p>① 避難者マップの作成、避難所の要支援者を明確にする。避難所から地域へ帰る際に保健師の支援が必要な事例は、きちんと引き継ぐこと。</p> <p>② 自宅避難者の声を聞き、生活を見ながら地域の課題を明らかにしたい。まずは母子から訪問し、今の課題やニーズを見つけていく。何件か鳥取県で訪問してみて、市保健師が訪問すべきと感じれば、相談し、対応を検討する。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員健康状態・・・みんな元気です。</li> <li>◀ 以下、メモです。▶</li> <li>■ 持ってきたほうがよい物</li> <li>・ USBメモリー/訪問したケース一覧等をパソコンで入力し、データで町保健師に提供できる。</li> <li>・ メモリーカードリーダー/私が持参したデジカメのメモリーカードでは、モバイルパソコンで読み込みができなかった。写真は帰鳥してから貼り付けます・・・すみません。</li> <li>■ 栗原市のホテル(シティホテルくりはら)</li> <li>・ 朝食は600円。朝7時から。→和食(白飯、味噌汁、肉ジャガ等)で美味しかった。</li> <li>・ 車があれば最寄りのコンビニや飲食店に行ける。</li> <li>■ ビックバンの様子</li> <li>・ 玄関でボランティアの炊き出しあり。(本日はハンバーグと味噌汁)山本リンダが慰問で来ていた様子。ボランティアは多種多様で、整体師チーム、健康運動指導士チームがおられました。(職員さんが事務所で整体を受けておられました)</li> <li>◀ 以下、山崎主幹等にご相談です。▶</li> <li>○ 高島保健師の「保健師としての悩み」について、阪神大震災や何かのマニュアル等でヒントがもしあればご助言をお願いします。きっと避難所現場の問題なので、一般的な回答なんて無いんじゃないかな～と思っていますが、少しでも高島保健師さんにお返事したいな、と思っています。とても難しい悩みですが。</li> <li>・ 慢性期の避難所の運営方法(今後、避難所で保健師がやるべき事、注意すべき事は?最初に保健師が調整役割を担っており、今後、他職種にどのように調整機能をバトンタッチしていけばよいか?)</li> <li>・ 避難者に対する保健師としての支援(災害後の地域活動をどのように進めていくか・・・具体的な方法は・・・?)</li> </ul> <p>※ 帰り道に1時間あまりかかるので、車の中でモバイルパソコンを使い2人で感想を言い合いながら、作成しています。ざっと入力しているので、わかりにくくてすみません。誤字脱字等あれば、修正をお願いします。</p>
-----	---

4/3	<p>4月3日(日)天気:晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:30 ホテル出発(途中ローソンに寄る)</p> <p>8:30 ビックバン到着:本日の計画確認(高島保健師)、提供物資を受け取る</p> <p>9:00 家庭訪問:4軒(うち1軒不在)→西條保健師・高島保健師へ簡単に報告。</p> <p>12:10 昼食(車中にて)</p> <p>13:00 家庭訪問:4軒(うち1軒不在、1軒避難中)</p> <p>15:45 ビックバン到着、訪問家庭の記録作成(一覧表の作成、訪問家庭をエクセル入力)、ビックバン避難者の健康状況確認(継続事例4件、新規事例1件)、記録まとめ→西條保健師へ本日の活動を報告</p> <p>17:40 ビックバン出発【本日の活動報告】</p> <p>○家庭訪問:6~7か月2件、1歳児6件(うち2軒不在、1軒避難中)</p> <p>(対象の選定方法)4月19日1歳児よちよち相談対象児全12名(うち1名死亡)／4月19日すくすく赤ちゃん相談対象児全4名(うち1名病死)</p> <p>(対応)①健康チェック(身長・体重測定、発達の確認)、②健康相談(対象児やその家族について)、③次回の乳幼児健診・予防接種の市からのお知らせ(次回の乳幼児健診は未定。予防接種は開業している指定医療機関で。)、④おむつやミルク等の物資については保健福祉課で提供できると情報提供(訪問時に物資がない家庭には配布)</p> <p>【訪問した家庭の様子】</p> <p>○どの家庭も物資は自分で購入や親戚等からの提供により、十分足りている。(ガソリンはやや少ないと言う家庭あり)</p> <p>○どの家庭も兄弟が多くとっても賑やかだが、保育園に預けられず母の疲労が見られる。余震が心配で、自宅内で遊ばせる事が多くなる事例もあり。→高島保健師から、ビックバンで行っているNPOボランティア支援を、地域の子ども達も対象に入れたらどうか、との提案あり。</p> <p>【その他】</p> <p>○職員健康状態・みんな元気です。</p> <p>※本日は午前～午後と、乳幼児訪問をしました。ゼンリン地図を頼りに進み、地区の町並みや集落も少し見てきました。</p>
4/4	<p>4月4日(月) 天気:晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:30 ホテル出発(途中ファミマに寄る)</p> <p>8:50 ビックバン到着:本日の計画確認(西條保健師)</p> <p>9:00 家庭訪問:4軒(うち2軒不在、1軒避難中)→西條保健師へ簡単に報告。</p> <p>12:10 昼食(車中にて)</p> <p>13:00 家庭訪問:3軒</p> <p>16:00 ビックバン到着、訪問家庭の記録作成(一覧表の作成、訪問家庭の概要をエクセル入力)、記録まとめ→西條保健師へ本日の活動を報告</p> <p>18:00 ビックバン出発</p> <p>19:30頃 ホテル到着予定</p> <p>【本日の活動報告】</p> <p>○家庭訪問:6~7か月3件、1歳児4件(うち2軒不在、1軒避難中) (対応)昨日と同じ</p> <p>【訪問した家庭の様子】</p> <p>○どの家庭も物資は自分で購入や親戚等からの提供により、十分足りている。逆に、物資の提供を申し出る方もある。</p> <p>○子育て支援センターが倒壊した保育園の代用となっているため、子どもを遊ばせる場所がなく、保護者から子育て支援センター再開の要望があった。</p> <p>【その他】</p> <p>○職員健康状態・みんな元気です。</p> <p>※4班から引継ぎを受け、1週間(実質5日間)活動しました。一緒に同行してくださった運転士さんとても協力的で、わからない土地の中、地図を持って2人が巡回訪問に同行してくださり、本当に助かりました。現在、鳥取県の担当エリアとなった河北地区での活動についてまとめました。今後は避難所の統廃合で、現在把握しているビックバン内の避難者も変わってくるかと思えます。西條保健師・高島保健師・千葉保健師とともに、避難所に多数こられる医療チームの調整や避難所運営に追われている状況で、自分たちとして、何をすればいいのか・・・と戸惑っておられるようです。。。たくさんのチームの応援も、その調整や指示が必要なことになると返って負担になることもあるようです。</p> <p>・鳥取県は継続支援で入っていますが、避難所の統廃合などにより、必要とされる支援もその班ごとに変わってくると思えますので、ビックバンにいる保健師の支えとなれるような支援・・・(何をすればいいのだろうか??と悩んでしまいました。)ができればいいなと感じているところです。</p>
4/5	<p>○07:37メール:おはようございます。今日は快晴です。日中は暖かくなるようです。午前中は直接ビックバンに行き活動し、午後から第6班に引き継ぎます。第5班全員元気です。</p> <p>○18:30馬淵保健師より電話:引継ぎを修了した。これから新潟に向かう。マスク、歯ブラシを提供したいという方がおられたため、石巻市保健師にたずねていただいたところ、マスクは不要。今欲しいものは、入歯を入れる容器300個、ポリドント 500個、学童・乳児用歯ブラシ150個、口臭予防用のうがい薬500個とのこと。</p>
4/6	<p>○07:35メール:おはようございます。先ほど新潟県の宿泊場所を出発しました。班全員元気です。</p> <p>○14:17メール:滋賀県に入りました。昼食をサービスエリアでとり、出発したところです。快晴で、気持ち良く走行しています。</p> <p>○15:16メール:中国道に入りました。到着予定時刻は16時半頃となっています。</p>

**6班**

<p>岸本良子 (大山町役場)</p> <p>余村洋子 (県西部総合事務所)</p> <p>柴田孝志 (県西部総合事務所)</p> <p>中田一幸 (県西部総合事務所)</p> <p>1日目(4/4) 鳥取→【公用車】→新潟</p> <p>2日目(4/5) 新潟→ホテル(松島町)</p> <p>3日目(4/6) ホテル(栗原市)</p> <p>4日目(4/7) ホテル(栗原市)</p> <p>5日目(4/8) ホテル(栗原市)→新潟</p> <p>6日目(4/9) 新潟→【公用車】→鳥取</p>	<p>4/4 ○10:30 西部福祉保健局課長より電話:福祉保健局職員に見送られ、元気よく出発した。</p> <p>4/5 ○21:44 余村保健師よりメール:12:30石巻市役所到着、石巻市役所及びビックバンで第5班と引継ぎする。 *****</p> <p>4月5日(火) 天気:晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:30 ホテル(新潟)出発</p> <p>12:30 石巻市役所到着、引継ぎ(馬淵保健師、小村保健師、石巻市伊藤保健師)</p> <p>14:00 ビックバン(河北総合センター)到着、引継ぎ(馬淵保健師、小村保健師、河北地区担当 高島保健師)、ビックバンの内覧、個別ケースの引継ぎ、避難者マップの確認、2日目以降の予定について打合せ</p> <p>17:00 ビックバン出発、ホテルに行く前に河北地区、雄勝地区(漁師町で特に被害が大きかった)を見に行く、橋が陥落しているところもありナビ通りに行けないところもある</p> <p>19:30 ホテル到着</p> <p>【本日の活動報告】</p> <p>○ 第5班と個別ケースや課題の引き継ぎ</p> <p>○ 地区担当保健師と今後の活動計画の検討、および現在の課題の共有</p> <p>【今後の活動計画(予定)】</p> <p>○ 今後の鳥取県の取組は、河北地区を継続して担当する。(拠点はビックバン)</p> <p>○ 今後の活動内容(高島保健師との協議結果)</p> <p>1)ビックバンの避難者マップの更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内で避難者が生活している場所を図にまとめる。避難者の避難状況・健康課題を聞き取り付け足していく。</li> <li>・継続支援が必要な方には引き続きフォローし、新たに来られた方についてもマップに加えていく。</li> </ul> <p>【対象避難者】</p> <p>■ビックバン(避難者600名、雄勝地区・大川地区) →第4班、第5班がほぼ作成済み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療や介護等の支援者が多く入っていて、巡回相談も重複してきている。</li> <li>・事務所があり、担当保健師3人が順番に勤務。</li> <li>・3階建ての建物で、畳の部屋、柔剣道場、ホールなど多くのスペースがあるも、廊下で生活している方もある。要介護者の部屋(トレーニングルーム)あり。</li> <li>・食料や衛生材料、衣類などの支援物資が余剰している。(国道が近いので、物資が搬入しやすい。他の避難所に物資があるか心配)</li> <li>・電気や水などは通っていて、24時間暖房がついており、避難生活に問題なし。1日おきで男女交代の風呂あり(屋外でとんこにて)。消毒薬やマスク等の物資が充実し、トイレも水に流せるので、衛生状態も特に問題なし。</li> <li>・パソコンコーナーがあり、インターネットで遊んでいる子どももいる。</li> <li>・シュッシュ隊:1日3回小学生とボランティアが、加湿換気を目的に霧吹きで水をまく。</li> </ul>
--	---

4/5 2)健康教育  
 ・避難所での生活が長期にわたり、運動不足の人が多くあったり、口腔ケアが十分でない人も多いため、それらに関する健康教育も視野に  
 入れて活動することも予定。  
 ※河北地区の乳幼児家庭訪問については、第5班が訪問済み。近くのスーパーが再開し、ミルクなど物資が手に入る状況であること、訪問し  
 た様子から家庭で落ち着いて生活できており、引き続き訪問する必要性は低いとのこと。  
 【その他】  
 ○職員健康状態・・保健師、運転手とも元気です。  
 ○ビックバンは物資が十分だが、石巻市役所では水が十分でなくトイレが流せない状態であった。ビックバンの状況を聞き、受付を通さず入  
 られる方もおられる状況。  
 ○地区保健師さんの悩み：4月21日から学校再開に向け、小学校と中学校の避難所を統廃合する予定だが、一緒にすることに利点、欠点  
 がある。(小学校の生徒がほぼ全員津浪で亡くなっているが、その日たまたま休んで家にいた児童など5名が助かっている。亡くなった子の  
 家族と生きている子の家族が現在は別の避難所にいるが、統廃合により一緒にになる。それぞれの親にとってあまりよくないことだと思うが、  
 地区ごとに)  
 <以下、メモです。>  
 ■持ってきたほうがよい物  
 ・水や食料はホテル周辺やインターで購入可能。鳥取からたくさん持って行かなくても大丈夫。  
 ・ビックバン周辺はお店がないので、昼食を持参する必要がある。  
 ・避難所マップ作成などのためマーカーなど筆記用具が必要。  
 ・医療品などはあるので、血圧計と体温計があればよい。  
 ■新潟のホテル(東横イン)  
 ・ローソン、居酒屋等あり。駅に近く、ホテルの外も飲食店あり。朝食は無料。朝7時から。  
 ・7時30分に出発し、石巻保健所に到着したのは12時30分。新潟県ではガソリンの給油制限もなかった。石巻市内では3000円までの規  
 制だった。ガソリンスタンドに並ぶ車はなく、スムーズに入れられる様子。  
 ■ホテル松島大観荘  
 ・事前に連絡していれば朝ご飯(5時30分から)、晚ご飯(7時から)あり。近くのコンビニは営業していない。  
 ■鳥取県からの救援物資  
 ・ビックバンに関しては、不要。(消毒用品、マスク等、余るほどあり)、他の避難所に必要かは、確認していない。  
 ■余震  
 ・5日はゆれを感じる余震なし。

4/6 ※07:56 余村保健師よりメール：おはようございます。今ホテルからビックバン(河北総合センター)に向けて出発したところです。まずは様  
 子を見ながら自分たちのペースでやっていこうねと話しているところです。運転手、保健師とも元気です！！  
 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  
 4月6日(火) 天気：晴れ (活動2日目)  
 【活動スケジュール】  
 7:30 ホテル(宮城県松島 大観荘)出発  
 8:30 ビックバン(河北総合センター)到着／記録用紙、必要書類、物品用意  
 8:50 ビックバン内の被災者マップ作成、健康相談 2階(ふれあい、つどいの部屋)  
 10:00 アリーナにて、宮城県介護福祉士協会さんが、高齢者10名程度に集団レクレーション実施を見学。(指や身体のストレッチ。歌を歌  
 いながらのストレッチでは、参加者の中から歌声が出ていた)  
 10:15 ビックバン内の被災者マップ作成、健康相談 アリーナ／アリーナは昨日の引継ぎのとおり、新規の方が他の場所に比べ、多かつ  
 た。  
 12:20 昼食(快晴のため、車外にて、カップ麺を食べる)  
 13:00 ビックバン内の被災者マップ作成、健康相談：2階  
 13:30 SAVE THE CHILDRENさんの企画の「子ども広場」を見学。少し、そこに参加した子とふれあい。：文化交流ホール／「子ども広  
 場」：日曜以外の13:30～15:30／3歳～中学生まで参加。10名程度。(受付の記名がめんどくさいと不参加の中学生もあり)。本日はドッ  
 ジボールを最初にしていた。毎日メニューはスタッフが参加した子達と決めて行っている。  
 13:45 ビックバン内の被災者マップ作成、健康相談：アリーナ、3階一部  
 15:00 事務室にてマップ作製、記録  
 15:30 高島保健師に報告・引継ぎ  
 17:40 ビックバン出発  
 19:00 ホテル着(昨日は三陸道を利用し、大渋滞だったが、本日は45号線を利用し、スムーズな流れだったので早かった。45号線沿いは  
 津浪による被害が大きい場所が多く、道の状態、最初のあたり、信号も点灯していないところもあった)  
 19:45～20:45 活動記録(この報告書作成)  
 【本日の活動報告】  
 ○ビックバンの被災者マップの作成  
 ○ボランティア団体による活動の見学  
 ○健康相談：成人26名、学童1名  
 ＊第6班の活動の方針  
 市保健師が避難所運営を実施し、本来の保健師業務ができないと嘆いておられる現状。→外部から入る鳥取県としてできることは・・？  
 ① 避難者マップの作成、避難所の要支援者を明確にする。避難所から地域へ帰る際に保健師の支援が必要な事例は、きちんと引き継ぐこ  
 と。  
 ② 避難者のニーズが避難後1、2週間の頃とは大きく変わってきている。／どういうニーズや課題があるのかを探る。(食事、口腔ケア、思春  
 期世代の過ごし方など)  
 ③ 全体ではすぐには健康教育はできないが、マップ作りで行う個々の健康相談時に健康教育も随時おこなう(食事指導、便秘予防、運動、  
 口腔ケアなど)  
 【その他】  
 ○職員健康状態・・保健師、運転手とも元気です。  
 ○シュッシュ隊：子供達が感染症予防(湿度の保持、換気)のため、定時に数名で水を入れた霧吹きで各部屋を巡回。(お年寄りの気持ちを  
 和ませている)。保健師が、養護教諭からのアイデアを聞き、最初は自分たちが回っていたが、子供に回ってもらおうという画期的な方法にした  
 とのこと。  
 ○地区保健師さんの悩み、課題と感じていること：ただ食べればよい状態から、健康維持、持病悪化させない食事へはどうしていくべき  
 か。物資はかたよっている：炭水化物多い。くたものはオレンジのみ；便秘の方多い。  
 ・大人用の歯ブラシはダンボール1箱あるが、子ども用意外に少ない。(大山町より、3～5歳用の歯ブラシを数十本持参したので、お渡しす  
 る)  
 ・認知症の方が同室の人に財布をとられたという幻覚でできている。しかし、認知症の方に限らず、貴重品についての対応、管理についても  
 今後対策の検討必要なのかもしれない。  
 <以下、メモです。>  
 ■持ってきたほうがよい物  
 ・子供達から保健師へ要望あったとのこと。クーピー、画用紙、折り紙など(絵を描いたり、避難所の部屋を飾りつけができるような物を作りた  
 いとのこと)  
 ■鳥取県からの救援物資  
 ・ビックバンに関しては、不要。(消毒用品、マスク等、余るほどあり)他の避難所に必要かは、確認していない。  
 ■余震  
 ・6日は朝食時、軽いゆれあり。日中1回ビックバン中くらいのゆれの余震あり。  
 ■日中の最高気温17度あり。昼食は車外でも十分寒くなく食べれた。朝晩は気温は下がるが、真冬の山用のジャケットなどは、全く不要。  
 ■ビックバン内では下靴を脱いで靴下で歩けるとが主。(上履き不要)

4/7 ※07:48 余村保健師よりメール:今、ホテルを出発しビッグバン(河北総合センター)に向かっているところです。昨日は23時頃、震度4の余震がありました。宮城は、朝晩は冷えますが、日中は暖かくすごしやすいです。保健師、運転手とも元気です!!

※18:34 余村保健師よりメール:子供の口腔ケア指導を考えていましたが、媒体も十分でないので、せっかくなら子供たちの心に残るものを、と。次回の保健師さんにお願ひできたらという話になりました。岸本保健師さんが持ってきた3~5歳用の歯ブラシが80本くらいあるので、物品はありますが、媒体など準備をしていただけたらと思います。→東部福祉保健局にパンフレット、チラシ等準備していただき、4/8第7班に渡す。

※18:40 余村保健師よりメール:ホテルに向かっているところです。今日はすこし曇って肌寒い一日でした。避難所の中にある小さな桜の木にも花が咲いていました。保健師、運転手とも元気で明日もがんばります!!

\*\*\*\*\*

4月7日(木) 天気:曇り (活動3日目)

【活動スケジュール】

7:30 ホテル(宮城県松島 大観荘)出発

8:30 ビッグバン(河北総合センター)到着/記録用紙、必要書類、物品用意

8:50 ビッグバン内の被災者マップ作成、健康相談/ビッグバン全体で昨日不在だったところ、新規に入られたところを中心に巡回

11:30 昼食(快晴のため、車外にて、カップ麺を食べる)

12:30 ビッグバン内の被災者マップ作成、健康相談

14:50 河北地区内の他の避難所(飯野川第1小学校、飯野川中学校)の巡回、見学

16:30 河北総合支所にて西條保健師(河北地区担当)に報告、引継ぎ

17:40 河北総合支所出発

18:20 ビッグバン出発

20:00 ホテル着(途中文具を買うためにコンビニに寄るが、品薄状態で空いている棚もあり)

【本日の活動報告】

○ビッグバンの被災者マップの作成

○河北地区内の他の避難所(飯野川第1小学校、飯野川中学校)の巡回、見学

\*他避難所の状況\*

・小学校:125人、中学校:250人

・水道、電気、インターネットなど通っており、暖房もついている。風呂はビッグバンまで近いので入りに行く。近所の家の好意で入れてくれるところもあり。

・1日おきに医師チームの診察がある。医師の顔を見ることで安心される方が多い。看護師(津浪の被害にあった雄勝病院のNs)が1人在駐。

・体育館が避難所となっているが、しきりが無い。

・避難者同士自主的に掃除しており、衛生状態○。

・特に介護が必要な方はなく、あっても家族がみておられる。子供は少ない。

・夜になると咳をする人がちらほら。血圧が高い人が多い。

・食事は朝、夕2回。(この日の夕食は地元の方からのおにぎり、トマトの差し入れと、菓子パン、レトルトカレー)

○健康相談:成人10名、学童4名、高齢者8名、要介護者1名

・血圧が高くととも内服しておられる方が多く、この震災を機に高くなった人もある。家族内で発熱、嘔吐、下痢がある家族あり。風邪気味が長引いている人が多い。家族でもこの際にと別のスペースにおられる方がいる。

【今後の活動計画(予定)】

○今後の鳥取県の取組は、河北地区を継続して担当する。(拠点はビッグバン)

※人は代わるにしても、きちんと引継ぎをして同じチームの人が入ってくれることがとても助かるとのこと。

【その他】

○職員健康状態:保健師、運転手とも元気です。

○口腔ケア:子供達に話を聞いたところ、歯ブラシはもらっているものの、歯磨きはしたりしなかったり。しない理由は特になく、朝昼晩歯磨きをする習慣がつかない様子。

○CLC:他県からいろんな職種(介護福祉士、看護師など)が集まって常駐し、高齢者の清拭や排泄介助、体操などされている。その方のタイミングに合わせてケアしてくれているので、お願いしていた社協ヘルパーさんは中止にする。

○地区保健師さんの悩み、課題と感じていること:地域での業務ができていないこと。

※河北地区担当保健師さんは9日よりもとの業務にもどるため河北総合支所に戻られる。津浪で流された他地区の役所での業務(母子手帳の再交付など)もすることになるため地域での仕事がしにくくなる。

・2歳児健診の未受診者の訪問ができていないことが気になっている。

・小学校、中学校にも巡回し健康相談をしてもらいたい。

・もともと役所でしていた心の相談を6月くらいから再開したいと考えている。避難所で周りに人がいる中では話せない人も話しやすくなるかも。

◀以下、メモです。▶

■余震/6日夜に震度4あり。(人によっては気づかない人も)

■健康教育/子供の口腔ケアなどの健康教育に使用できる媒体などがあれば。

■服装/松島大観荘は寝間着なし。

23:32 宮城県沖を震源地としたM7.4の余震有り。宮城県では震度6強、余震としては震災後最大規模。

4/8 ○08:24 余村保健師よりメール:今現地に向かっているところですが信号が消えているためなかなか進めない状況です。昨夜の地震は大きく長い地震でした。ホテルは天井が崩れたり、停電があったため宿泊者は大広間に布団を並べて寝ました。私たちもとても怖い思いをしたので、避難所の方々のことが心配です。4人とも怪我なく元気です!!

○12:50 岸本保健師より電話:現在ビッグバンにいる。電気(x)自家発電を利用しているが、部屋の中は暗い。断水のため、バケツの水でトイレを流している。体感的には3月11日の地震より、厳しかったようで、多くの人が不安感を訴えている。携帯電話はAUしか通じないため、運転手さんの携帯電話で電話している。

○山崎より福祉保健部の方針を伝える。第6班の現地での活動は、本日で終了(一日早めて切り上げとなります)。今夜は新潟の東横イン新潟駅前前(仮)に宿泊してください。予約済みです。新潟のホテルで本日到着する第7班と引継ぎをしてください。石巻市、ビッグバンの保健師さんにもその旨をお伝えください。無理はされないようにお願いします。

○14:00 余村保健師よりメール:運転手さんの公用携帯(au)はつながるようなので、そちらで連絡をとるようにしています。第7班とも連絡がとれているので、調整しながら進めていきます。石巻市役所の伊藤保健師さんにも今日で帰る旨伝えました。

4/9 20時頃帰島、4人とも元気

7班

4/8 ○17:45 米原室長よりメール:石川県通過中です。6班とは、新潟のホテルで引き継ぎ予定です。双方遅い時間になりそうです。

○21:30 新潟のホテルまであと100キロ程度あり。

4/9 ※本日は担当者のお話や今後の活動方針の検討を行い、避難所の見学が終わりました。担当地区の河北担当保健師さんは鳥取県が継続して活動してくれて助かることとおられました。7日夜の地震で停電・断水がありましたが、ビッグバンも徐々に復旧し8日夕には断水は解消したようです。本日の活動内容は以下のとおりです。

\*\*\*\*\*

4月9日(土) 天気:雨のち曇り (活動1日目)

【活動スケジュール】

7:00 ホテル(新潟)にて6班から引継ぎを受ける

9:00 朝食後出発

13:50 石巻市役所到着/石巻市伊藤保健師よりオリエンテーション

14:50 河北総合支所 到着/河北地区担当 西條保健師よりオリエンテーション・今後の活動の検討

15:30 3避難所を見学/飯野川第1小学校・飯野川中学校・ビッグバン

17:40 退庁

【本日の活動内容】

○第6班と個別ケースや課題の引き継ぎ

○地区担当保健師と今後の活動計画の検討、および現在の課題の共有

○3避難所を見学

【担当保健師の話】

○9日からビッグバン常駐から総合支所に移った。23年度事業の準備をしながら地区活動を予定。

・おむつ・ミルクの支給は避難所から支所中心とする。今後民生委員の安否確認をして、そこから在宅者のニーズ把握をしたい。

米原祐子  
(県中部総合事務所)

山崎千恵  
(岩美町役場)

上田英樹  
(県東部総合事務所)

尾崎利彦  
(県東部総合事務所)

1日目(4/8)  
鳥取一【公用車】→新潟

2日目(4/9)  
新潟→ホテル(秋保町)

3日目(4/10)  
ホテル(秋保町)

4日目(4/11)  
ホテル(秋保町)

5日目(4/12)  
ホテル(秋保町)

6日目(4/13)  
ホテル(秋保町)→新潟

4/9	<p>○2歳児歯科健診未実施者への対応→近く歯科医の巡回があるのでそれを活用使用か？対象者：10数人○ビックバンで幼児・小児の口腔ケア健康教育をお願いしたい ○飯野川第1小学校・飯野川中学校の避難者マップの作成をお願いしたい。 ・被災者のニーズを把握して対応したい。 ・子供の様子や親の様子を把握して欲しい ○ビックバンの避難者マップの更新 【今後の活動計画(予定)】 ○飯野川第1小学校・飯野川中学校の避難者マップの作成／健康問題やニーズ把握 ○ビックバンの避難者マップの更新 ・施設内で避難者が生活している場所を図にまとめる。避難者の避難状況・健康課題を聞き取り付け足していく。 ・継続支援が必要な方には引き続きフォローし、新たに来られた方についてもマップに加えていく。 ○小児の口腔ケア健康教育</p>
4/10	<p>○22:13 米原室長よりメール：本日は晴天で、日中は暖かくすごしました。飯野川第1小学校を中心に活動しました。 &lt;メモ(別添ワードファイルの記録より抜粋)&gt; ・コンビニ等営業しているところもあり、昼食は購入可。食料を減らすと荷物も減ります。 ・ガソリン：自動車道は3,000円の制限の所もあったが、一般道は満タン給油が可能となっている。 ・記録を要領良くしないと、退所時間が遅くなります。 ・それぞれ避難所におられる常勤看護師と連携をはかる。 ***** 4月10日(日) 天気：晴れ (活動2日目) 【活動スケジュール】 7:35 ホテル出発 9:20 河北総合支所到着：高島保健師に本日の予定を伝える 9:50 飯野川第1小学校にて健康相談・被災者マップ作製 12:15 昼食 13:00 午前の続き、看護婦さんに報告後ビックバンに移動 14:30 ビックバンにて2階・3階一部の被災者マップ更新／記録・マップ作製 17:10 河北総合支所にて記録(報告は明日) 17:45 退所 19:30 ホテル到着  【本日の活動概要】 ○飯野川第1小学校にて健康相談・被災者マップ作製(第1版) ○ビックバンにて2階・3階一部の被災者マップ更新 ○飯野川第1小学校避難所の概要 ・1日のスケジュール6:30ラジオ体操、7:00当番が掃除、9:30～10:00朝食、16:30夕食、20:00消灯 ・本日は日曜日、仕事が休みの人、仕事や自分の地区に帰っている人等あり高齢者が主に在所。子供が少なく、障害児・幼児は見守られのびのび暮らしている。 ・塩分の摂取の多い地区？以前から高血圧治療中の人も多く、震災後高血圧上昇、不眠等が出現した人もあり医療チーム(隔日)・近医に受診や転医するケースが多い。日赤が主治医でも車を失い、受診しにくくなった人もある。 ・震災後ほとんどの人が風邪等呼吸器疾患を経験。夜間咳(+)初期は毛布が少なく寒かった。(今は物資が増えてきた) ・看護師さんが2名常駐され、個人記録をノートに記載している。フォロー可。 ・雄勝地区の学校が再開できないため、近くの廃校をその地区の小中学校に当てるため、近く30人ほど避難所に追加される予定。今後他の場所の2次避難を検討している人もある。 ・家・車を流され人が多く、悲観しながらも親族とまとまって生活。 ・敷布団が自分のスペース。パーティーションもなくプライバシーもない。 ・館内のトイレ(水洗)は75歳以上や歩行困難者等に限定し、他の人は外の仮設トイレ数台を使用。仮設トイレは流水なく手指消毒のみ。入浴は近くのビックバンにて実施。 【その他】 ○職員健康状態・保健師、運転手とも怪我などなく元気です。／他エリアで活動している県職員から心のケアを必要としていると情報提供有り。市保健師に電話で依頼し心のケアチームが派遣された。 &lt;以下、メモです。&gt; ■ コンビニ等営業しているところもあり、昼食は購入可。食料を減らすと荷物も減ります。 ■ ガソリン：自動車道は3,000円の制限の所もあったが、一般道は満タン給油が可能となっている。 ■ 記録を要領良くしないと、退所時間が遅くなります。 ■ それぞれ避難所におられる常勤看護師と連携をはかる。</p>
4/11	<p>※米原室長よりメール：震度6の時は河北総合支所にいきました。ホテルへの移動は雨等で2時間強かかりましたが、無事ホテルに到着しました。本日は1か月目となり、それぞれの思いで、この日をむかえました。本日の活動状況は下記のとおりです。 ***** 4月11日(月) 天気：曇り (活動3日目) 【活動スケジュール】 7:30 ホテル出発 9:20 河北総合支所到着：西條保健師に本日の予定を伝える 9:50 飯野川中学校にて健康相談・被災者マップ作製 12:15 昼食 13:30 子供広場見学 14:40 飯野川中学校にて健康相談・被災者マップ作製 17:00 河北総合支所記録・引継ぎ後 18:00 退所 20:30 ホテル到着 【本日の活動概要】 ○飯野川中学にて健康相談・被災者マップ作製 ○ビックバンにて子供広場見学、口腔ケア指導実施に向けてNPOに協力依頼 ○飯野川中学校避難所の概要／雄勝、長面、尾崎の3地区がブロックを作り生活。200名程度 ・各地区で掃除・配膳・洗濯当番等を決めている ・大川小学校保護者等が生活しており配慮が必要。「マスコミお断りの張り紙あり」ほとんどの人が家・車、親族を亡くしている。 ・高血圧・糖尿病ケース多く近医に受診や転医している。 ・風邪等呼吸器疾患患者多く、長引いている。 ・医療チーム：弘前大学隔日 ・心のケアチーム不定期？ ・看護師：9日頃まで市立病院看護師が常勤していたが、不在となり、養護教諭が救護班の役割を担う。 ・体育館内のトイレ使用(水洗)入浴は近くのビックバンにて実施  【明日の活動計画(予定)】 ○飯野川中学で健康相談、避難者マップ作製の継続 ○ビックバンにて子供広場にて、可能ならば口腔ケア指導実施(NPO返答結果による) 【その他】 ○職員健康状態・保健師、運転手とも元気。 課題：心のケアチームにつなげるケースはあると思うが、上手く情報提供したり、ケース把握をして「心のケアチーム(精神科)」につなげる必要がある。避難者は心のケアチームを医療チームと思っている。 ・運営スタッフや看護職・地区代表者等との連携が必要かと思われる。 ・現在保健チームは身体健康管理を切り口に健康相談をし、話(気持ち)をされる方について傾聴をしています。 ○大・小の余震が続いています。</p>

4/12	<p>※米原室長よりメール：活動4日目終了しました。大小のゆれを感じ、不安を感じながらもどうすることもできず、避難所で皆さんが生活を続けておられます。暖かく送られる物資や全国から集まる支援者に感謝の気持ちを話されます。希望につながればいいですね。本日の活動状況は下記のとおりです。</p> <p>*****</p> <p>4月12日(火) 天気：晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:30 ホテル出発</p> <p>9:40 河北総合支所到着：西條保健師に本日の予定を伝える</p> <p>9:50 飯野川中学校にて健康相談・被災者マップ作製</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 記録、準備</p> <p>14:30 口腔ケア集団指導(対象：子供広場参加者)／高齢者にポリデント配布</p> <p>16:00 飯野川中学校にて健康相談</p> <p>17:00 河北総合支所記録・引継ぎ後、退所</p> <p>18:40 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○飯野川中学にて健康相談・被災者マップ作製</p> <p>○口腔ケア集団指導(対象：子供広場参加者)／小学生が帰ってしまった為、幼児4名のみに実施となった。</p> <p>高齢者にポリデント配布(支援物資)・・・先着50名であったが人気が高く直ぐなくなった。</p> <p>【その他】</p> <p>○余震はあったが職員健康状態・保健師、運転手とも元気。</p> <p>○飯野川中学：市立病院看護師が継続配置となった。</p>
4/13 引継 (抜粋)	<p>＜今後の活動における留意点＞(4月4日西條保健師や高島保健師と日々のカンファレンスを通じて思ったことを記載しました)</p> <p>■河北地区内にある避難所</p> <p>①ビッグバン(570～600名)→鳥取県の保健師が活動している拠点</p> <p>②飯野川第1小学校(雄勝地区メイン、120名)・・・看護師が担当</p> <p>③飯野川中学校(雄勝地区・大川地区、270名)・・・看護師が担当</p> <p>④その他、小避難所19カ所あるらしい。・・・雄勝地区担当保健師3人が担当</p> <p>②・③の避難所は4月21日からの新学期開始により、避難所廃止予定？</p> <p>【今後について・・・(課題?)】</p> <p>・現在鳥取県が支援に入っているビッグバン周辺の避難所として、②飯野川第1小学校、③飯野川中学校があるが、この2つについても以前はビッグバンに詰めている保健師3人が巡回対応していたが、それぞれの避難所に看護師が配置されたこと、ビッグバン内に入り出す医療スタッフの調整等あり、対応が難しくなったことから、②及び③の避難所への積極的な支援は行わなくなっている。</p> <p>→②及び③の避難所については、積極的な介入は行わず、ビッグバンの避難者を中心とした状況把握を継続する。</p> <p>→ビッグバンには鳥取県の他、他チームが多数入っている。そのため、巡回相談が複数回に成ることもあるため、他チームの状況を確認しながらの活動が必要。</p> <p>・原田所長のコメントから、②の中学校には、児童の7割が津浪によりなくなった学校の保護者が多く避難している。③の小学校には反対に助かった子どもと保護者が多く避難している。②及び③の避難所が閉鎖されることにより、大川小学校で子どもを亡くした保護者と助かった子どもの保護者が混在する可能性もあり、子どもを亡くした保護者は「〇〇していれば自分の子どもを助けられたかもしれないのに・・・」と言う自責の念を抱いたり、反対に助かった子の保護者も居心地の悪い状況に陥る可能性がある。</p> <p>※4月14日を目処に②・③の避難所が閉鎖される予定。</p> <p>・現在の市の考えとしては</p> <p>○ビッグバン：物流も安定していること衛生環境も整っていることから支援を必要としない方を中心とした避難所として継続する予定。</p> <p>○飯野川高校(定時制のみ残っている)：日常生活において支援を必要としない方を中心とした避難所として新たに開設予定。(現在は遺体安置所としている)</p> <p>※原田所長のコメントについてはビッグバンの保健師及び石巻市役所伊藤保健師へ伝えておく。</p> <p>・石巻市立病院が津浪により倒壊し、そのスタッフが遊まぐ館に詰めている。今後各避難所にいる要介護の高齢者の介護度を分類し、介護度の高い人は、遊まぐ館へ移動する予定もある。→避難所の統廃合や健康度に応じた避難者の選別が今後される予定となっているため、ビッグバンに詰めている保健師さんや市の伊藤保健師さんから状況把握を行い、避難者マップを随時更新することが必要。</p> <p>・第5班では自宅避難者(乳幼児)を中心に状況把握を実施。(高島保健師と相談し自宅避難者の状況把握も必要かと考え、動向していただいた運転士さんの多大な協力を得て巡回訪問を実施)→河北地区内の自宅避難者(乳幼児宅)については、自宅の被害も少なく、物流も回復しつつあることから、さほど問題は見られなかった。</p> <p>・地震発生後、在宅独居高齢者等、自宅から出られなくなったり十分な介護支援を得られなくなり、死亡するケースが10例に上っており、高齢者の自宅避難者に関する問題が上がっている。→地域の支援として、東京から医師を含むチームが派遣され、そのチームが中心となって、河北地区の高齢者の状況を把握するため巡回訪問を実施予定(千葉保健師が中心となって調整)。</p> <p>(6班)口腔ケア、運動指導の健康教育の開催を要望有り。→4月6日から宮城県介護福祉会がお茶会として高齢者対象にレクを実施。</p> <p>(7班)【今後考えられること等】</p> <p>・ビッグバン・飯野川小・中学校の3避難所の健康相談、避難者マップ更新(看護師と情報共有)・・・7班はビッグバンにはいるゆとりがなかったため、ビッグバンの看護師さんと情報共有していませんので、よろしく願います。総合支所保健師に現状・課題を伝える。</p> <p>・治療中断・未治療、単身高齢者、ストレス障害、障害者(疑い含む)意欲の低下している人など気になる人等を特にフォローしていく</p> <p>・高齢者の介護予防・・・生活不活発病予防・・・小集団で健康教育・軽運動</p> <p>・その他集団指導：口腔ケア等、それぞれ開催計画が必要</p> <p>・避難生活1か月となり、ストレスの蓄積が考えられる。身体・精神面でチェックが必要。必要な人は心のケアチームや、医療チームにつなげる。</p> <p>避難所環境は大きく変更はできない。</p> <p>・学校の始業に向けて、避難所の再編成が行われる？</p>
4/14	<p>○08:13 米原室長よりメール：新潟のホテルを出発しました。4人元気で鳥取に帰ります。</p> <p>○16:40 米原室長より電話：現在加西を走行中。帰庁は19時前ごろになると思われる。</p> <p>○18:40 第7班県庁到着。部長に状況報告。</p>

**8班**

谷口和子  
(県医療政策課)  
永見弥生  
(琴浦町役場)  
山下順一  
(県東部総合事務所)  
白岩晋樹  
(県東部総合事務所)

1日目(4/12)  
鳥取→【公用車】→新潟  
2日目(4/13)  
新潟→ホテル(秋保町)  
3日目(4/14)  
ホテル(秋保町)  
4日目(4/15)  
ホテル(秋保町)  
5日目(4/16)  
ホテル(秋保町)  
6日目(4/17)  
ホテル(秋保町)→新潟

4/12	
4/13	<p>4月13日(水) 天気：晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:15 ホテル出発</p> <p>12:15 石巻市役所着 第7班と引継ぎ(石巻市役所 伊藤課長補佐同席)</p> <p>14:30 昼食</p> <p>15:20 河北総合支所にて引継ぎ(西條保健師同席)</p> <p>15:55 ビッグバン訪問 武山所長へ挨拶</p> <p>16:30 飯野川中学校訪問 常駐看護師(市立病院看護師)挨拶</p> <p>16:40 飯野川第1小学校訪問 常駐看護師挨拶／持参した幼児・学童用歯ブラシ各78本渡す</p> <p>17:00 本日の活動終了</p> <p>19:00 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○飯野川第一小学校看護師に幼児・学童用歯ブラシ渡す。</p> <p>○各避難所の概要確認。</p> <p>【その他】</p> <p>○石巻市役所に、仮設住宅の申し込みのために長蛇の列あり。(最後尾は3時間待ちとのこと)</p> <p>○明日14日から見舞金の手続きが開始されるとのことで、市役所、総合支所とも職員は対応に追われると思われるとのこと。</p> <p>○21日の小学校始業式に向け、飯野川小学校へ15名程度避難者が増えそうとのこと。</p> <p>○18日(火)ビッグバンに、兵庫県警、長野県心のケアチームが来るとのこと。情報交換の場に鳥取県保健師も同席して欲しい。(9班の対応になるため引継ぎしておくことを伝える)</p>

4/13	<p>○石巻市役所伊藤課長補佐より／現在乳幼児健診が中止になっており、6月からは実施したいと思っているが、その際は中止した分開催回数を増加する必要がある。その際、県外の保健師にも協力してもらうなど通常業務の支援をお願いしたいと考えている。今後も派遣継続をお願いしたい。(保健師以外のボランティアも含め、総動員で全戸訪問するという話も出ているとのこと)</p> <p>【職員の体調】 ○余震感じられず、保健師、運転手とも変わりなし</p>
4/14	<p>4月14日(木) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】 7:35 ホテル出発 10:15 河北総合支所到着:高島保健師と本日の活動について打合せ 11:00 飯野川中学校にて健康相談・被災者マップ作製 13:15 昼食 14:30 被災者マップの電子化について検討(運転手さんに依頼) 15:00 ビッグバンにて、健康相談・被災者マップ更新 17:15 河北総合支所到着:高島保健師へ本日の活動報告及び記録 18:30 退所 20:30 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】 ○飯野川中学校にて健康相談・被災者マップ作製継続(第7班からの継続) ○ビッグバンにて健康相談・被災者マップ更新 (アリーナ、文化ホール、集いの部屋、2階ローカ、視聴覚室、会議室1、ふれあいの部屋、憩いの部屋、3階フロア)</p> <p>【今後の課題】 ・身内を亡くした子供、大半の同級生が亡くなった子供など、心のケアを必要とする子供は多いが、気軽に相談できる場がない状況。相談先を明確にした名刺サイズのパンフレットの作成を検討するとともに、心のケアまでは必要ない方でも、保健師等が巡回し気軽に話をする機会を設けることが必要。 ・ビッグバン、飯野川中学校とも、食事の配給は朝9時頃、夕方5時頃の2回で、遅い朝食兼昼食、夕食の2回の食事になっている。ただし、買い出しや支援物資等により、食料は豊富にあるため、3食の方も多い。朝、夕の配給の食べ残しを翌日に食べることも珍しくない状況だが、本日の気温も20度程度あったことから、今後食品衛生上の問題が予測される。嘔吐をする方も、ビッグバンで連日数名あり。(場所がばらばらで集団感染ではなさそう)食品衛生については今後注意喚起が必要。 ・ビッグバンは土足となっているが、部屋に入るときは土足厳禁としている部屋が多い中、「集いの部屋」などの一部は室内も土足としており環境に問題あり。 ・動けるのに動かない方(意欲低下なのか)運動の必要性は理解しているが動くとうしない方への働きかけについて検討が必要。</p> <p>【明日の活動計画(予定)】 ○飯野川中学で健康相談及び避難者マップを完成させる ○ビッグバンの健康相談及び避難者マップを更新できていないゾーンの更新。 ○避難者マップの電子化継続(運転手)</p> <p>【その他】 ○河北総合支所の保健師も今後の活動について悩んでいる部分があり。活動報告をする中で、課題について一緒に検討することも役割だと感じた。 ○河北総合支所高橋保健師から、各避難所の被災者マップを更新してもらうことが最優先だと依頼あり。学校の始業式に向け、各避難所の被災者の出入りが非常に激しく、追跡できていない状況とのこと。今後、だれが、どこへ行ったか後日でもいいから、わかるように記録として残しておきたいとのこと。避難所の統廃合については、現時点では未定。 ○7班から、ビッグバンの子供広場を活用し口腔ケアの集団指導について検討するよう引継ぎを受けていたが、被災者マップ作製を最優先し、今回は見送る予定。 ○ビッグバンが希望していた折り紙が他県から送られていた。(他県より)</p> <p>【職員の健康状態】 ○保健師、運転手とも特に変わりなく元気です。余震ほとんど感じず。 ◀以下、メモです。▶ ・食料品、飲料水ともに、本当に不要です。飲食店あり、コンビニあり。持参した物を食べるとすれば昼食のみ。 ・非常に暖かくなってきており、厚手の上着は不要。 ・スリッパ程度の上履きがあったほうがよい。</p>
4/15	<p>○07:15 谷口副主幹よりメール:07:00出発、昨日朝の渋滞が激しかったため、出発時間を早めて出発、河北総合支所高橋保健師へ本日の活動予定を伝えた後、昨日に引き続きビッグバン、飯野川中学校で健康相談、要注意者の掘り起こし等行いながら被災者マップの作成継続及び修正を行う予定。4人とも、特に体調に問題なく元気です。余震まったくありません。</p> <p>*****</p> <p>4月15日(金) 天気:晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 9:20 河北総合支所到着:西條保健師に本日の予定を伝える 10:00 飯野川中学校にて、健康相談・被災者マップ作製継続 11:10 ビッグバンにて、健康相談、被災者マップ更新(アリーナ、集いの部屋、文化ホール、ふれあいの部屋、3階) 12:45 昼食及び午前中の記録 14:00 午前につき、ビッグバンにて、健康相談及び被災者マップ更新(アリーナ、柔剣道場) 15:40 ビッグバンにて被災者マップの整理及び各種記録 16:30 河北総合支所にて、西條保健師に報告 17:10 退所 19:10 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】 ○飯野川中学校にて、健康相談・被災者マップ作製(第1版)【作成完了】 ○飯野川中学校へ、ポリドント、子供用歯ブラシを渡す。 ○ビッグバンにて健康相談・被災者マップ更新【更新完了】 ・高血圧で塩分を控えたい方が多い中、おにぎりの塩気が辛いという声があり、西條保健師に連絡。(おにぎり作成者へ連絡してもらう) ・飯野川中学校及びビッグバンで、夜間暖房を入れているが、暑過ぎるという声があり、西條保健師及び中学校詰めの市職員に伝える。(場所によって暑さが異なり、全員が快適に過ごすが難しいとのこと。調整はしてみるとのこと) ・アルコールによるトラブルがみられる。 ・ビッグバンの憩いの部屋で、アルコールを飲んだ方が同室者とトラブルを起こし、刃物をちらつかせたため、警察に連絡した。</p> <p>・寝床にビールの缶が置いてある。 ・屋間から、アルコールの臭いがする方がある。 ・避難所の被災者マップは、各避難所に詰めている市役所職員もほしいとのこと。 ・各避難所が、希望する物資と鳥取県が持つて行く時期がずれるため、持って行っても、既に他からもらっておられ、不要な場合がある。(今回の歯ブラシ、デンタルリンスも同様)</p> <p>【職員の健康状態】 ○保健師、運転手とも特に変わりなく元気です。余震まったく感じません。</p>
4/16	<p>○07:39 谷口副主幹よりメール:第8班活4日目の報告をいたします。7:30出発、毎日渋滞が激しいので、ルートを変更しながら行きます。河北総合支所西條保健師へ本日の活動予定を伝えた後、今回の班としては初めて、飯野川第一小学校で健康相談、要注意者の掘り起こし等行い</p> <p>【本日の活動概要】 ○飯野川第一小学校にて健康相談・被災者マップ作製(7班からの継続) ○口腔衛生に関する物資のうち、中学校、小学校、ビッグバン渡した残りを総合支所へ渡す。</p>

	<p>・本日、宮城県職員が避難所のクリーン作戦として、土足禁止、清掃の徹底について各避難所を回り、集団指導された。飯野川中学校でも指導をされていたが、集団指導のみだったため、守られていないゾーンについて、報告し介入してもらうことが必要。</p> <p>・血圧が高い方が多いが、食事が偏っている。朝晩、パンとおにぎりとかだもの牛乳。野菜、暖かい汁物等は、全くでない。</p> <p>・親を亡くした船越小学校の子供数名が、河北高校飯野川分校(廃校)跡地が船越小学校になる予定のため、飯野川第一小学校に避難所を変わってきた。そのような子供に対する心のケアが必要。</p> <p>【明日の活動計画(予定)】</p> <p>○飯野川中学で要注意者を中心に健康相談</p> <p>○第9班と引継ぎ。(石巻市役所、河北総合支所にて引継ぎ。ビッグバン館長に挨拶)</p> <p>【今後の鳥取県派遣保健師の支援について】</p> <p>・河北総合支所、西條保健師、千葉保健師より</p> <p>・2歳児健診の事後フォロー、未受診者フォローなど通常業務に手が付けられていないので、そのような業務の支援もお願いしたい。</p> <p>・避難所運営上の課題の整理、今後の運営方針等について悩んでおり、ミーティング等を一緒にに行い、検討して欲しい。</p> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○本日は、活動中に数回余震がありました。保健師、運転手とも怪我などなく元気です。</p>
<p>4/17 引継 (抜粋)</p>	<p>■第8班経過:ビッグバンの避難者マップ更新、飯野川中学校、飯野川第一小学校のマップ作製継続。</p> <p>&lt;ビッグバン他チームの概要&gt;</p> <p>・日赤病院外来診療(無料、開設時間は多少不定期、館内アナウンスにより受診可)→弘前大学</p> <p>・近くに開業医開設(有料、掲示板に一覧表掲示)</p> <p>・宮城県看護協会看護師1名(24時間×3日→休み1日の繰り返し)</p> <p>・市立病院看護師2名(避難者＝ボランティア的活動)</p> <p>・NPO看護師1名(常駐)</p> <p>・河北地区社協ヘルパー4名(朝、昼、夜のスポット支援)</p> <p>・4月1日～看護師3名、ヘルパー1名のチーム(4日間スポット支援)</p> <p>・CLC(コミュニティーライフセンター)介護福祉士等</p> <p>【今後考えられること等】</p> <p>・避難者の移動があるため、ビッグバン・飯野川小・中学校の3避難所の健康相談を行いながら避難者マップ更新(総合支所保健師へ要フォロー者を報告するとともに各避難所の看護師と情報共有)</p> <p>・避難所の健康相談をする中で把握した課題を総合支所保健師に報告し、対応協議。</p> <p>○高齢者の介護予防…生活不活発病予防…小集団で健康教育・軽運動</p> <p>○ビッグバンでの「子供広場」の場を利用した集団指導(口腔ケア等)</p> <p>・子供広場を見学した上で開催者と協議し、計画する。</p> <p>・学校の始業式を控え、子供を亡くした親、親や友人を亡くした子供の心のケアが必要なケースあり。総合支所保健師に報告し、心のケアチームにつなげる等、対応を協議する。</p> <p>・嘔吐・下痢症状が継続している(集団感染ではない様子)。事例ごとに情報収集し、対応協議する。</p> <p>・今後の鳥取県保健師の活動内容については、石巻市役所や河北総合支所の保健師と協議の上決定。</p> <p>例えば: 乳幼児健診開催時の援助(石巻市役所)、乳幼児健診の要フォロー児の訪問(河北総合支所)、避難所への対応や今後の保健活動の方向性等に関するミーティングを行う(河北総合支所)</p>
<p>4/18</p>	<p>○08:00 出発。保健師、運転手とも変わりありません。快晴です。気をつけて帰りたいと思います。</p>
<p><b>9班</b></p>	
<p>田中洋子 (県東部総合事務所) 三登 梓 (北栄町役場) 西村 聡 (県西部総合事務所) 久留馬博 (県西部総合事務所)</p> <p>1日目(4/16) 鳥取→【公用車】→新潟 2日目(4/17) 新潟→ホテル(秋保町) 3日目(4/18) ホテル(秋保町) 4日目(4/19) ホテル(秋保町) 5日目(4/20) ホテル(秋保町) 6日目(4/21) ホテル(秋保町)→新潟 7日目(4/22) 新潟→【公用車】→鳥取</p>	<p>4/16</p> <p>4/17</p> <p>4月17日(日) 天気:晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:30 ホテル出発</p> <p>13:30 河北総合支所着 第8班と引継ぎ(西條保健師、高島保健師同席)</p> <p>15:00 ビッグバン訪問 副所長へ挨拶</p> <p>15:30 石巻市役所にて引継ぎ(市保健師、県の只野保健師同席)</p> <p>16:50 本日の活動終了</p> <p>19:00 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○各避難所の概要引継ぎ。</p> <p>○河北総合支所と今後の活動方針確認。</p> <p>【明日の活動計画(予定)】</p> <p>○避難所の要フォロー者の健康確認。</p> <p>○警視庁と兵庫のこころのケアチームとの情報共有会議に出席。</p> <p>【その他】</p> <p>(石巻市役所)</p> <p>○市役所では桃生地区の施設を利用して、福祉避難所開設予定。それにあわせて対象者の情報収集を行っている。</p> <p>○市では、他県の保健師やボランティアの協力で、地区ごとの全戸訪問を開始した。8,000戸を訪問した。要支援者への訪問は地元の保健師とボランティアとのペアで訪問。</p> <p>(河北総合支所)</p> <p>○飯野川小学校の避難所に船越小学校の児童とその保護者が、避難してくる予定。(飯野川高校内に設置される船越小学校に通う予定。)</p> <p>○介護サービス事業所や開業医がサービスを開始し、高齢者や障がい者は行き場ができたが、成人の行き場がない。(仕事をなくした人など)</p> <p>○避難所から河北総合支所に保健師がひきあげてきた。今後の保健活動の方向性を決めかねている。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○余震感じられず、保健師、運転手とも変わりなし</p>

4/18 4月18日(月) 天気:晴れ (活動2日目)

【活動スケジュール】

7:30 ホテル出発

10:15 河北総合支所到着:高島保健師と本日の活動について打合せ

11:30 飯野川中学校にて健康相談コーナーの看護師と情報交換

11:50 ビッグバンで健康相談、被災者マップの確認。

13:00 昼食

13:30 飯野川第一小学校で雄勝病院の看護師と情報交換。

14:00 ビッグバンで健康相談、被災者マップ確認。

15:40 河北総合支所到着:高島保健師へ本日の活動報告及び記録

20:30 ホテル到着

【本日の活動概要】

○飯野川第一小学校にて看護師と情報交換。

・状況と課題／看護師が1月単位で昼間に常駐。引継ぎがされており、巡回医療チームの指示で、要治療者、注意者の血圧測定実施。入浴はビッグバン横の施設を利用したり、訪問の入浴車を利用。洗濯機が外においてあり、順番で使用。昼は県の職員がいるが、夜は住民のみ。健康管理は看護師に任せても良いのではないかと。

○飯野川中学校にて看護師と情報交換。

・状況と課題／看護師が1名、昼に健康相談コーナーに常駐。自分からは、健康相談コーナーに来られないが、医師が巡回してきたときは訴えられる。巡回は今月いっぱいなので、今後の心配。(近くに開業医はいるが、自分から受診に行く人が少ない。)

○ビッグバンで健康相談・被災者マップ確認(第8班からの継続)

【アリーナ、文化ホール、集いの部屋、2階ローカ、柔剣道室】

・状況と課題／要フォローの人へのピックアップ訪問しても、留守であったり、昼寝をしている方が多く声かけが難しい。近くの開業医へは、巡回の医師にかかるより受診しにくいという声がある。(こんなことで受診するのは気が引ける、と。)

【今後の課題】

・母子保健(乳児健診)をどのようにして再開させるかを検討していく。

【明日の活動計画(予定)】

・総合支所管内の3地区の母子保健の話し合いに参加。

・ビッグバンのピックアップ訪問。

	<p>【職員の健康状態】 ○保健師、運転手とも特に変わりなく元気です。余震ほとんど感じず。</p>
4/19	<p>4月19日(火) 天気:雨 (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 9:00 総合支所到着。 9:10 前日の活動を報告。 9:30 雄勝地区(八森保健師)、北上地区(浅野保健師)、飯野川地区(千葉保健師、高島保健師、西條保健師)の3地区の保健師で今後の母子保健の方向性の検討と、現状の情報共有。鳥取県保健師も参加。 12:20 昼食 13:15 ビッグバンで被災者マップの要フォロー者のピックアップ訪問。 15:30 西條保健師と、飯野川中学校のS看護師(市立病院看護師)と避難所の情報交換。 16:40 河北総合支所にて記録及び報告。 17:50 退所 20:00 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】 ○総合支所にて3地区(雄勝、北上、飯野川)の母子保健運営検討会に参加。 ○ビッグバンにて被災者マップ要フォロー者のピックアップ訪問。 ○飯野川中学校にて昼間配置された看護師と情報共有。 ○要フォロー者の名簿作成。</p> <p>【明日の活動計画(予定)】 ○飯野川中学、ビッグバンで被災者マップ要フォロー者のピックアップ訪問。</p> <p>【職員の健康状態】 ○保健師、運転手とも元気です。</p> <p>◆メモ◆ ・携行品について/避難所の巡回に必要な物は、記録用のクリップボード、ボールペン、蛍光マーカー、メモ帳、付箋、血圧計、体温計、サージカルマスク、アルコール綿、これらの物を入れる鞆。 ・昼食については、コンビニや飲食店やお店があるので現地で調達可能です。初日と最終日のホテルは出ませんが、2~4日に泊まるホテルでは朝食と夕食がでます。 ・宿泊施設は、普通のホテルなのでアメニティーグッズや浴衣があるので、特に持ってこなくても良いです。電気や水道は問題なく使用できます。現在のところ、長靴や寝袋は使用していません。今日は雪が降って寒いので、寒がりの人は防寒着を用意してください。</p>
4/20	<p>4月20日(水) 天気:くもり (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:45 河北総合支所に到着。西條保健師に前日の報告と、本日の打合せ。/昨夜作成した「要フォロー者リスト」を引き継ぐ。 10:20 1歳6か月健診フォロー一児宅訪問。 11:00 ビッグバン到着。要フォロー者のスポット訪問。 13:20 昼食 14:00 河北総合支所にて西條保健師から訪問対象者の紹介。 14:30 1歳6か月フォロー一児宅到着 15:30 訪問終了。次の対象一児宅へ移動。 15:45 1歳6か月フォロー一児宅へ訪問するが不在。次の対象一児宅へ移動。 16:10 1歳6か月フォロー一児宅到着。訪問。 16:40 訪問終了。 16:45 河北総合支所に到着。記録。西條保健師へ報告。 18:25 退所 20:15 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】 ○1歳6か月フォロー一児宅へ訪問。(4件うち1件不在) ○ビッグバンで要フォロー者スポット訪問。</p> <p>【明日の活動計画(予定)】 ○不在だった1歳6か月フォロー一児訪問。 ○ビッグバンの避難者マップの更新、飯野川小、中の避難者の確認。 ○第10班と引継ぎ。(石巻市役所、河北総合支所にて引継ぎ。ビッグバン館長に挨拶)</p> <p>【今後の鳥取県派遣保健師の支援について】 ・河北総合支所、西條保健師、千葉保健師より ・3、4か月健診、1歳6か月健診、3歳児健診は今後3地区合同(北上、雄勝、飯野川)で開催していく方針。健診実施のときは派遣保健師の協力を得たいと考えられている。2歳児健診の事後フォロー、未受診者フォローなど通常業務に手が付けられていないので、そのような業務の支援もお願いしたい。 ・避難所運営上の課題の整理、今後の運営方針等について悩んでおり、ミーティング等と一緒にいき、検討して欲しい。</p> <p>【職員の健康状態】 ○本日は、活動中に1回余震がありました。保健師、運転手とも元気です。</p>
4/21	
4/22	
10班 柴田由美	4/20 ○18:00 柴田保健師よりTEL:順調に新潟を走行中

<p>(県日野総合事務所) 生田季香 (日野町役場) 福田貞昭 (県日野総合事務所) 川上勝敏 (県日野総合事務所)</p> <p>1日目(4/20) 鳥取→【公用車】→新潟 2日目(4/21) 新潟→ホテル(秋保町) 3日目(4/22) ホテル(秋保町) 4日目(4/23) ホテル(秋保町) 5日目(4/24) ホテル(秋保町) 6日目(4/25) ホテル(秋保町)→新潟 7日目(4/26) 新潟→【公用車】→鳥取</p>	<p>4/21 4月21日(木) 天気:晴れ (活動1日目) 【活動スケジュール】 7:20 ホテル出発 12:10 河北総合支所着  昼食 13:00 河北総合支所で第9班と引継ぎ(西條保健師同席) 15:30 河北地区(大川小学校跡地等)を視察 17:00 石巻市役所にて引継ぎ(市伊藤保健師同席) 17:30 本日の活動終了 19:40 ホテル到着 【本日の活動概要】 ○各避難所の概要引継ぎ。 ○河北総合支所と今後の活動方針確認。 【明日の活動計画(予定)】 ○避難所の要フォロー者の健康確認。 ○乳幼児健診の要フォロー児の訪問。 【その他】 (石巻市役所) ○市では、他県の保健師やボランティアの協力で、地区ごとの全戸訪問を開始した。 ○避難所の食事内容に課題があり、栄養士が対応を検討中。 (河北総合支所) ○避難所の一部で4/2から嘔吐、下痢症状が続いている。 ○本日(4/21)から小・中学校が始業式。学校の始業にあたり、避難所の統廃合の計画もあったが、計画は中断。飯野川第一小学校、飯野川中学校の体育館は避難所として継続して使われている。 ○住民から乳幼児健診、予防接種の問い合わせが入り始めている。河北総合支所としては、6月から通常業務の内、先ず1. 6、3歳児健診を再開していきたい意向だが、医師を始め、健診スタッフの確保が難しい様子。 ○避難所の高齢者、主婦が身体を動かす機会がない。高齢者は食事の受け取り、トイレ以外は横になって過ごし、主婦は避難所ではすることがないと時間を待たせている状況。 【職員の体調】 ○石巻市役所での引継ぎ中、震度3程度の余震があったが、保健師、運転手とも変わりなし</p>
	<p>4/22 4月22日(金) 天気:雨時々曇り (活動2日目) 【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 9:20 河北総合支所到着:西條保健師と本日の活動について打合せ 10:30 飯野川第一小学校にて健康相談コーナーの看護師と情報交換及び健康相談 11:40 健診要フォロー児家庭訪問 12:30 昼食 13:30 ビッグバンで健康相談、被災者マップ確認。 16:00 飯野川中学校で雄勝病院の看護師と情報交換。 16:45 河北総合支所到着:西條保健師へ本日の活動報告及び記録。今後の活動計画 20:30 ホテル到着 【本日の活動概要】 ○飯野川第一小学校にて看護師と情報交換及び健康相談 ・状況と課題/健康相談を8名に実施。(その他、避難所スタッフ2名の血圧測定等実施) ・血圧が震災以後、高めになっている。かかりつけ医への受診が再開できているケースも少しずつ増えつつある。 ・不眠が続くケースがあり、心のケアチームへの相談を勧める。(明日長野の心のケアチームが巡回予定) ○1歳6か月健診が「言葉の遅れ」で要フォローとなった1歳8か月児を訪問。 ・2歳児健診の再開が未定のため、状況を確認する。言葉は増えつつあるが、言葉が遅めと家族も感じている。一状況を西條保健師に報告。継続観察予定。 ○ビッグバンで健康相談・被災者マップ確認(第9班からの継続) 【文化ホール、集いの部屋、2階ロカ、】 ・状況と課題/健康相談を5件に実施。ここでも血圧上昇、不眠の訴えがある。部屋の換気がほとんどできていない部屋がある。要フォローの人へのピックアップ訪問しても、留守であったり、昼寝をしている方が多い。 ○飯野川中学校にて看護師と情報交換。(状況と課題) ・状況と課題/看護師の常駐があり、健康上の訴えも風邪等がある程度。避難所の健康相談は縮小してもよさそう。 【今後の課題】 ・避難所での活動を縮小し、地区ごとの家庭訪問に活動を転換していく予定。 【明日の活動計画(予定)】 ・横川地区の家庭訪問開始(今月一杯かけて全戸訪問予定)</p>
	<p>4/23 4月23日(土) 天気:雨 (活動3日目) 【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 9:00 河北総合支所到着。 9:10 高島保健師と本日の活動について打合及び訪問準備(地図、支援物品の確認) 10:30 横川地区(福地字町)の訪問開始/4月中を目処に福地字町内を全戸訪問し住民の状況を把握予定 12:20 昼食 13:15 河北総合支所で、高島保健師、千葉保健師に訪問状況の報告及び支援物品(とろみ剤)の受け取り 14:30 横川地区(福地字町)訪問 16:00 河北総合支所にて記録及び報告。 19:00 ホテル到着 【本日の活動概要】 ○訪問数:4世帯 ・先ずは区長、健康推進員等の地区役員及び脳性マヒで在宅療養中の家庭を訪問し、各家庭の状況把握と地区内の情報収集を行う。 ○訪問概要 ・防水シート、とろみ剤、エンシュアなど入手困難な状況あり→手配を依頼し、とろみ材を本日届ける。 ・震災後、血圧が高くなり内服治療開始になるケースあり ○地図に要フォロー者のピックアップ作業を行う。 【今後の課題】 ○多数の児童が津波の犠牲になった大川小学校のある地区。まだ、遺体が見つからない児が3人あり。また、子供を全員亡くした家庭や子供の内、小学生は亡くなり中学生だけが残った家庭もあり。 ○遺体が見つからない家族は探しに出かけ、留守番をする子供を近所の方が預かるなどの協力をされているが、協力をしている家族も犠牲にあった家族への声かけなどに悩みながら日々、接している。 ○その他、津波に流されたが助かった児童や遺体処理の従事者などもある。 ○昨日、一昨日と今も少しずつ、遺体が見つかっている。 ○心のケアが必要と思われるケースがかなりの数になることが予測される。心のケアが必要なケースについては地区保健師が介入を図っていく意向。 ○家庭訪問だけでなく地区内にある大川保育所の職員の健康状態の把握も必要 ○地区内に他地区からの転入者があり、把握が必要 ○幼児、小学生で地震以後、夜尿の相談が保健師に寄せられている。訪問時、確認必要。</p>

	<p>○避難所訪問から家庭訪問に活動を転換していくが、避難所でも保健師の訪問を心待ちにしているケースがあり、そういったケースが見捨てられ感を持たないように引き続き働きかけは必要。</p> <p>【明日の活動計画(予定)】</p> <p>○引き続き、全戸訪問を実施</p> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○保健師、運転手とも元気です。余震(震度3程度)は毎日あります。</p>	
4/24	<p>4月24日(日) 天気:晴れ(活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:40 河北総合支所に到着。高島保健師に前日の報告と本日の打合せ。要フォロー対象者への支援方法について検討。</p> <p>10:20 横川地区全戸訪問継続</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 全戸訪問継続</p> <p>15:00 訪問終了。</p> <p>15:30 河北総合支所到着。記録。高島保健師に報告。今後の住民フォロー体制及び通常業務について検討。</p> <p>17:30 退所</p> <p>19:20 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○全戸訪問(5世帯)</p> <p>○今後の業務運営等について保健師内でミーティング(石巻市としては6月末を目処に通常体制に戻していきたい意向)</p> <p>【明日の活動計画(予定)】</p> <p>○第11班と引継ぎ。(石巻市役所、河北総合支所にて引継ぎ。)</p> <p>【来週の鳥取県派遣スタッフの支援について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河北総合支所、高島保健師、千葉保健師より</li> <li>・全戸訪問(88世帯中9件終了)の継続実施</li> <li>・心のケアが必要なケースについては、原田所長と地区保健師の対応が望ましい。</li> </ul> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○時々、余震はありますが、保健師、運転手とも元気です。</p>	
4/25	<p>【今後考えられること等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所訪問から地区の全戸訪問に主な活動を転換したが、要フォローの避難者への継続支援も並行して行い、避難者が見捨てられ感を持たないように留意する。</li> <li>・今後、仮設住宅への入居等により要フォロー者の移動等が予測されるが、避難者マップの更新及び個人台帳の整備を行い、要フォロー者が所在不明により支援中断とならないように留意する。(各避難所の看護師と要フォロー者の情報共有)</li> <li>・全戸訪問を開始したことにより、心のケアなど継続支援が必要なケースの増加が予測される。また、通常業務(各種健診、予防接種等)の開始も必要となってくるため、かなり業務量が増大する。効率的な運営方針の検討、活動の優先度の整備等の検討が必要</li> <li>・今後の鳥取県保健師の活動内容については、基本的には地区の全戸訪問を継続し、要フォロー者をピックアップして地区保健師につなげていく。</li> <li>・訪問時は問題がないケースでも時間の経過とともに、フォローが必要になってくる場合がある。いつでも保健師(河北総合支所)が相談対応できることを知らせるチラシを訪問時に配布したり、健診等で住民に接するあらゆる機会に状況の変化を聞き取るなどして情報把握を行う。</li> <li>・津波被害等による心のケアが必要な児童、生徒に関しては学校と十分な連携をとり支援を行っていく。</li> </ul>	
4/26		
<b>11班</b>		
大下早苗 (県中部総合事務所)	4/24	○16:00 大下補佐より電話:無事ホテルに到着
向井聖子 (倉吉市役所)	4/25	4月25日(月) 天気:晴れ一時雨(落雷有)(活動1日目)
原田 豊 (県精神保健福祉センター)		【活動スケジュール】
吉田孝也 (県中部総合事務所)		7:20 ホテル出発
		9:30 河北総合支所着/河北総合支所で第10班と引継ぎ(西條保健師同席)
		11:15 河北総合支所出発石巻市役所へ
		11:55 石巻市役所にて引継ぎ(市伊藤保健師)10班の引継書を渡し挨拶程度(10班の活動終了)
		12:30 昼食
		13:30 大川保育所訪問 園長、保育士から状況把握
		14:05 横川地区訪問
		16:30 河北総合支所にて引継ぎ(西條保健師、千葉保健師同席)
		18:20 本日の活動終了
		20:10 ホテル到着
		【本日の活動概要】
		○横川地区家庭訪問の概要及びピックアップの状況引継ぎ。
		・88世帯全戸訪問予定。現在9世帯訪問済み。家屋は津波の被害は免れたが、家族(幼い子供、大人等)を亡くした家庭を含んでいるため、巡回相談として入り家族状況を把握する。また、地区内の保育所の職員が子どもの対応等に悩んでいるので保育所の訪問をお願いしたい。
		○保育所:園児全員無事。また、家族を亡くした子どももいないため、現在のところ特に問題はないが、職員の中に被災した方がおられた。
		○家庭訪問:6戸訪問(2班に分かれて訪問)
		・家族を亡くされた方等のハイリスクの家庭:原田所長、保健師
		・比較的問題がないと思われる家庭:保健師
		※家族(幼い子ども)友達、知り合いを亡くした方がおられ、現実を受け入れられない方、罪悪感等で不眠等を訴えられる方がおられ対応の難しさを感じた。
		○河北総合支所と今後の活動方針確認。
		・家庭訪問を中心に行うもピックアップ、飯野川中学校の巡回もできれば行う
		【明日の活動計画(予定)】
		○家庭訪問
		【職員の体調】
		○原田所長、吉田運転手、向井、大下保健師全員元気です
		【原田記録】
		・7時30分ホテル出発、仙台市内および仙台から石巻入り口にかけて渋滞が厳しい。
		・9時30分河北支所に到着。河北支所・西條保健師さんを含め、第10班と引継ぎ。引継ぎ終了後、石巻市役所に向かう。
		・11時30分、石巻市役所伊藤保健師と引継ぎ。第10班は、報告書を渡し、簡単な状況説明。第11班は、ごく簡単な挨拶と、各自、石巻市役所の帳簿に、氏名と支援期間を記載。5分程度で、引継ぎは終了する。
		・昼食は、道の駅にて、この間、30分ほど、豪雨、落雷。その後、天気は改善。
		・14時 大川保育所。本日の朝のミーティングでは、保育士さんが悩んでいるかのような話であったが、実際のところ、所長等と話をしたが、それほど大きな問題は感じなかった。
		・その後、大下保健師と、向井保健師+私(原田)の2チームに分かれて、戸別訪問。各3件、計6件で本日終了。
		・大川小学校区でもあり、子どもが亡くなった家も数件あり、そのほかにも、聞いてみると、いろいろな状況にあり、いずれの家も、さまざまな問題を抱えている。近所同士も、どのように付き合っていくのか、悩んでいる。
		・16時 河北支所に戻り、記録の整理。その後、西條保健師・千葉保健師と状況報告。
		・18時20分 河北支所出発。当初は、渋滞が激しかった。
		・20時 無事に、ホテル到着。4人、全員、普通に元気です。

4/26	<p>4月26日(火) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】  6:55 ホテル出発  9:10 河北総合支所着/河北総合支所でミーティング(西條保健師)  9:45 横川地区訪問  12:30 昼食  13:30 横川地区訪問  16:10 河北総合支所にて引継ぎ(西條保健師)  17:30 本日の活動終了  20:15 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】  ○横川地区終日家庭訪問(1日目と同様2班に分かれて訪問)  状況把握戸数:26戸、不在:12戸(現在までに41戸済み)  ・家族を亡くされた方等のハイリスクの家庭:原田所長、保健師、比較的問題がないと思われる家庭:保健師  ※継続フォローが必要なケース1件/その他、家族を亡くした方の場合、話せない、話したくない等深く掘り下げて話を聞くことができない場合が数件あった。集落の高齢者同士でお茶のみ友達が多く、住民同士で支え合っている状況もあった。住んでいる形跡のない家も何戸かある。</p> <p>○河北総合支所と今後の活動方針確認。  ・家庭訪問を横川地区に追加して、針岡地区【家屋の倒壊、半壊】も行うことになる。また、ピックアップ、飯野川中学校の巡回も一回は行う。</p> <p>【明日の活動計画(予定)】  ○家庭訪問(横川地区、針岡地区)  【その他】  ・訪問時に配布する「心のケア」に関する資料を検討したが、各家庭で状況が違うため、現時点で一律のものは難しい。今後市報等を配布する時に一般的なものをさりげなく同封すること等を検討する。  ・家庭訪問では状況把握が主なため、血圧を測るケースは現在のところない。また、高血圧等で震災以前から病院通院中の方も多い。</p> <p>【職員の体調】  ○原田所長、吉田運転手、向井、大下保健師全員元気です</p> <p>4/26 【原田報告】  ○本日は、1日中、横川地区の戸別訪問を実施する。昨日同様、大川小学校児童で遺体が見つからないという母親が、朝から、遺体を捜しに出かけている。昨日から、自衛隊などの大きな体制で、捜索活動が行われているとのこと。  ○同地区は、直接の被災は免れたものの、当初は、電気、ガス、水道などのライフラインがたたれ、その後、徐々に改善、本日、最後に電話回線が回復したとのこと。数日間は、地区内のお寺で共同生活をしていたとのこと。その生活後、高齢者の体調不良などがあり、急性ストレス反応やせん妄を起こした方も。ディサービスやショートステイを利用している人も。訪問しても、留守の家もあれば、まれにはあるが、拒否的な雰囲気をかもし出す人もいる。  ○同地区の半分程度の訪問は終了、明日は、午前中は、同地区を訪問し、午後は、同地区の次に、戸別訪問を予定している針岡地区の訪問も予定。  ○なお、徐々に火葬が可能になってきたが、これまで土葬してきた人の中には、不公平感を感じる人もいたり、土葬を掘り起こして、火葬にする人もいたとか。  ○幼児で、急性のストレス反応を起こしている事例もあり。</p>
4/27	<p>【原田報告】  ○7時00分、ホテル出発  ○9時00分、河北支所到着、西條保健師と打ち合わせ。今後は、現在、戸別訪問を行っている横川地区より、より海岸沿いに近い、福地地区、針岡地区、釜谷(入釜谷)地区への戸別訪問も、実施していきたいとのこと。  ○今後の予定も考慮して、ピックアップに避難していた在宅酸素の男性が自宅に戻って一人暮らしをしているとのこと訪問するが、不在。  ○その後、横川地区の気になる世帯で、留守などでまだ訪問できていなかった家をいくつか訪問。  ○子どもを亡くされたご家族から、残された兄弟への関わりについての不安なことなどのお話を聞く。  ○小学校が始まるまで、子どもたちが、とても不安定だったという家も訪問。亡くなった友達が遊びに来るなどと母に話したりするようだが、これらは正常範囲内の反応と話しておく。  ○途中、大川保育所の横を歩いていると、3-4歳の子ども5人が、園長と園庭を散歩中。自宅が流され、当地区に引越してきた園児もいるとのこと。別の男児は、「〇〇ちゃんは、死にました」とブツブツ言いながら歩いていたが、これも正常範囲内。  ・このほか、横川地区には、未だ遺体が見つからない子どもを持つ親御さんもいます。  ○12時00分、河北支所にもどる。昼食後(道の駅)、今後の対応を検討。  ○午後は、結果的には、訪問を取りやめ、今後の戸別訪問の準備に取り掛かる。  ・福地地区、針岡地区、釜谷地区の住宅地図の一覧を作り、大下保健師、向井保健師は、住民台帳から、それぞれの家族構成などを住民台帳から取り出す作業に。(これがなかなか、大変な作業です)今後は、これらの住宅地図の一覧に、訪問が終了すれば、「問題なし」「要注意」「要継続訪問」「全壊・居住不可」などを色分けして記載し、河北支所内で共有していくこととする。  ・介護保険関係で、同地区を、介護保険担当の千葉保健師も訪問しているの、千葉保健師とも話をし、介護保険関係での訪問結果も、この住宅地図に記載していくようにした。  ・なお、大下保健師、向井保健師がこれらの作業をしているあいだ、原田の方は、「子どもの相談Q&amp;A」を今回の巡回相談の経験から作ってみました。多くのリーフレットが巻に存在しますが、リーフレットは、予防的な意味合いを持つものが多く、子どもをなくされた家族や、自宅や財産を失った被災者向けのリーフレットは、難しく作れず。  ※避難所の中での飲酒によるトラブルあり。管理者が、明確な態度をとり、必要に応じ、警察保護を求めるなど、きちっとした態度で挑むことも重要だが、情的に難しい一面もあるようである。また、個人からの救援物資の中に、アルコールが入っていることもあるらしい。避難所は原則禁酒、救援物資でアルコールを送ることは不可。ただ、ピックアップは、震災後、地元以外から自宅を失った人が一気に入ってきた経過もあり、なかなか秩序を保つのも難しい。  ○17時30分、河北支所、出発。  ○19時30分、ホテル到着。  ○西條保健師、千葉保健師と話している間にも、予防接種や介護保険の問い合わせに、両保健師が対応し、じっくりと集中して業務に取り組むのが難しい多忙な状況。  ○今後、鳥取県チームは、横川地区に加え、より海岸沿いに近い、福地地区、針岡地区、釜谷(入釜谷)地区の戸別訪問、必要に応じ、避難所の訪問を実施していくこととする。住宅地図に、情報を共有していきたい。なお、新たな3地区は、津波被害地区で、生活環境は厳しい。  ・釜谷地区は、大半が津波で家屋が流されているが(大川小学校周辺)、入釜谷地区には、住民が生活を続けている。(雄勝地区へのトンネルの手前)  ・明日は、今後の3地区の戸別訪問に向けての準備を午前中に行い、避難所の巡回、新たな地区の情報収集も含めて、いくつか戸別訪問もしたいと思っています。今週、休暇をとっておられた高島保健師も、明日から出勤予定とのこと。  ※なお、支援の一番のストレスは、ホテルと河北支所との往復。時には、2時間以上かかり、ホテルが近ければ、もう少し、夕方も時間をかけて業務ができると思われる。なお、第12班との引継ぎは、できれば、29日の金曜日の夕方、河北支所で行いたい。石巻市役所への報告は、場合によっては、メールでも可能かと思われる。もちろん、一度は、立ち寄ったほうが良いとは思われるが。(名前と支援期間をいつも台帳に記入しています)</p>

4/28	<p>【原田報告】(若干、時刻は記憶に頼っていますので、正確な時刻は、大下補佐の報告を参考にください)</p> <p>○7時ホテル出発、9時10分河北支所到着。高島保健師さんも、本日から出勤です。</p> <p>○午前中は、所内で昨日の作業の続きをしました。今後、福地地区(横川地区はここに含まれる)、針岡地区、釜谷地区(大半が壊滅、入釜谷のみ)の3地区の戸別訪問を中心に行うための、準備を行う。</p> <p>○昼食後、避難所ピックバンを見学。1か月前と比べて、雑然とした雰囲気、アリーナの中にも、ダンボールで高い敷居が作られているなど、あまり安心できるような雰囲気を感ぜない。十分な秩序が守られていない。避難が長期化していることや、管理の難しさなど、さまざまな問題を感じさせる。現地の保健師によれば、登録人数は減っているはずだが、実際には、親戚や知人が入ってきていて、減ってきているという印象がないという。</p> <p>○14時より、釜谷地区入釜谷に戸別訪問。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・途中、大川小学校に手前の道を通過。タクシーが数台止まっている。四十九日で、現地を訪れている家族がいるという印象。</li> <li>・入釜谷の付近は、まだ、瓦礫や壊れた車が放置され、道路を除いてほとんど捜索もなされていない印象。</li> <li>・幸い、津波は免れたが、未だ、水道と電話は復旧せず、一部は山水で、大半を給水車に頼っている。週に1回、医療チームが入るが、近いうちに、撤退される。ピックバンに入浴に通っている人も。洗濯も山水が出る場所である。今日は、震災で亡くなった人の四十九日の合同慰霊祭。それで、留守の人も?</li> <li>・集落は、およそ30戸。精神的不安・不眠から、医療チームから抗不安薬をもらい服用している人もいる。壊滅した地区の親戚家族が同居している家庭もあり。消防隊員などで遺体の引き上げをした人が、PTSDと診断されたとの話も。小学生のいる家庭は、いずれも留守だった。(大川小学校児童、安否は良くわからない、死亡している場合は、住民台帳でわかるが、不明の場合は、住民台帳では、把握できない)</li> </ul> <p>○15時40分終了。河北支所に戻る途中、昨日、訪問をした横川地区の家族で、昨日、児童のご遺体が見つかり、その自宅前で、葬儀の後か、喪服を着た家族が自宅前に集まり、お母さんが大きな遺影を持っておられた。</p> <p>○16時 河北支所に戻る。記録の整理。また、4月上旬に、他のチーム(p-cat、JIM-NETなど)が針岡地区を訪問しており、その記録を、今回作成した。住宅地図に落とす。針岡地区は、大きな損壊はまぬがれ、同居家族にも大きな変化はないが、同居していないが、孫をなくしたという家族がいくつかある。それぞれの地区によって、抱えている問題がさまざまである。西條保健師、高島保健師と状況報告。</p> <p>○17時50分 河北支所 出発</p> <p>○20時 ホテル到着。活動においては、全員、元気。ただ、往復の時間は疲れる。</p>
4/29 引継 (抜粋)	<p>■ 第11班:横川地区、針岡地区、入釜屋地区訪問、地区のマップづくり(医療情報・家族情報を地図に落とす)</p> <p>&lt;ピックバン他チームの概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日赤病院外来診療(無料、開設時間は多少不定期、館内アナウンスにより受診可)→弘前大学</li> <li>・近くに開業医開設(有料、掲示板に一覧表掲示)</li> <li>・宮城県看護協会看護師1名(24時間×3日一休み1日の繰返し)</li> <li>・市立病院看護師2名(避難者=ボランティア的活動)</li> <li>・NPO看護師1名(常駐)</li> <li>・河北地区社協ヘルパー4名(朝、昼、夜のスポット支援)</li> <li>・4月1日～看護師3名、ヘルパー1名のチーム(4日間スポット支援)</li> <li>・CLC(コミュニティーライフセンター)介護福祉士等</li> </ul> <p>【今後考えられること、活動方針等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点で避難所の介入は難しいが、今後仮設住宅への入居、連休に家を探して避難所を出て行く者等があり、避難所の状況に変化が出てくる可能性がある(取り残され感等)その対応も必要となる。</li> <li>・今後、鳥取県保健師の活動は戸別訪問を中心に、地区の状況把握、課題の整理を行い、地区保健師につなげていく。現地に出かけてみるといういろいろな課題を把握することができる。避難してきている家族、外孫を亡くした家族等現地でない把握できないことがたくさんある。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・該当地区のマップを作り、地図上に他団体の得た情報等必要な情報を載せ、情報の共有化を図るとともに、要フォロー者を整理、今後の支援に活用できるように整備する。(誰が見ても分かるものにする)</li> <li>・今後、要フォロー者を誰がどのようにフォローするかの検討することが必要。</li> <li>・河北地区の全貌をつかみ、支援の漏れているところの有無の確認</li> </ul> <p>【原田報告】</p> <p>○7時10分、ホテル出発。</p> <p>○8時45分、河北支所、到着。休日のため、普段よりも渋滞が少なかった。午前中、大下・向井保健師は、午前中、戸別訪問に向けての資料作り。また、長野県心のケアチームが、横川地区を訪問するとのことで、高島保健師を交えての情報提供、打ち合わせ。</p> <p>○午後は、長野県心のケアチームがピックバン避難所に行くとのことで、高島保健師、鳥取チームを交えて、打ち合わせ。その後、今後の戸別訪問の情報を集めるために、鳥取チームは、針岡地区などを巡回、個別訪問は、本日は実施せず。</p> <p>○夕方、第12班到着し、引継ぎを行う。</p> <p>○なお、「子どもの相談を受けられる方に」という資料を作りました。コピーは、引継ぎの中にしていますが、西條保健師のパソコンの中にも、ファイルをいれています。</p> <p>※高島保健師は、心のケアチームと横川地区に。遺体の見つからない子どもを持つ家庭が1件残っている。</p> <p>・今後、鳥取県チームは、個別訪問を中心に、引き続き活動を行うが、これまで戸別訪問したところ、課題を感じたところへのフォロー、また、避難所に関しては、仮設住宅への転居や、連休中に転居される家庭も出てくることも考えられ、どこかの時点で、再度、情報の整理が必要になってくるかと思われる。</p>
4/30	<p>【原田報告】 30日は、石巻市渋滞の情報もあって、直接、仙台に向かい、東北新幹線経由、羽田、鳥取にて無事に帰ってきました。</p> <p>今後の方向性としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 戸別訪問</li> <li>・第10班が横川地区の戸別訪問をはじめ、それを11班が引き継ぎました。</li> <li>・横川地区は、津波の被害は免れたものの、大川小学校の児童が住んでいた地域です。第11班が入ったときは、ご遺体の見つからないご家庭が3家族あり、親御さんたちが毎日、ご遺体を探しに出かけておられましたが、帰る頃には、2つのご家族でご遺体が見つかったとのことです。</li> <li>・今後、横川地区から、大川小学校よりの、釜谷地区(入釜谷のみ、それ以外は大半の家屋が津波で流されている)、針岡地区、福地地区の戸別訪問も行っていききたいと思います。すでに、12班は、針岡地区の個々の集落への訪問をはじめています。このあたりは、大川小学校地区にあり、子どもを亡くされた家族、孫を亡くされた家族もあり、集落から、小学生だけが亡くなっているという地区です。</li> <li>・また、被災された地域の家族が、一緒に住んでいると言うことでもあります。これまで、単発的な地域の団体の訪問記録もあり、これらを住民台帳に落とすとして、かつ、住宅地図に、要訪問、要支援なども、記載しています。おそらくこれらの地域を、12-13-14班で回っていくこととなります。</li> <li>・それが終われば、横川地区の西側の、福地地区も一部、訪問されても良いと思います。こちらは、まだ、住民台帳を印刷していません(休日は、住基ネットが使えません)。これらの戸別訪問の経過は、日々、地元の保健師さんを情報交換をして行きます。なお、一通り終われば、再度、課題のある家族(住宅地図で把握できます)を中心に、フォローの訪問もできればと思います。</li> <li>・ちなみに、戸別訪問は、効率は悪くても、1人ずつではなく、2人一組の方が良いかと思えます。台帳上は、老夫婦のみでも、外孫を亡くしていたり、台帳上は、死亡になっていなくても、行ってみると、まだ遺体が見つからないなどの現状があります。</li> <li>・訪問は、無理をせず、「河北支所からの巡回の健康相談」として入り、「鳥取県が応援を行っている」という形で、特定の家庭ではなく、地域全体を見ていこうと言うことで入って下さい。河北支所からは、巡回相談を鳥取県にお願いしていると言う証明書を頂いているので、必要に応じて、それを提示しています。</li> <li>・なお、「子どもの相談を受けられる人のために」というリーフレットを河北で作成しましたが、一部訂正をして、再度、アップします。家族を亡くしている子ども、子どもを亡くしている家族もいるので、家族と一緒に楽しんでいるようなイラストは使えません。「お父さん、お母さんへ」というリーフレットも作りましたが、親を亡くしている家族もいるので、「ご家族の方へ」という文章に、少し変更しようかと思えます。児童相談所は、まだ、それ程、入っていないようです。(前回も、震災孤児の調査で入っただけの様です)</li> <li>● 避難所巡回</li> <li>・河北地区には、ピックバン、飯野川第一小学校、飯野川中学校の3か所がありますが、ピックバンは、あまり人数が減っているという印象はなく、むしろ、各地域の避難所の閉鎖に伴い、人が流れ込んできているのではと言うような印象もあります。そのため、1か月前に比べて、アルコール依存症の問題や、若者の集団夜更かしなど、様々な問題が出て来ています。以前に比べて、避難所内の連帯感も薄れてきている部分もある気がします。(いわゆる、ハネムーン期からの移行ですね)</li> <li>・5月の連休に、一部の家族は、借家などに出て行くのではと言う話もあり、一方で、仮設住宅の抽選の話もありますが、いざ、ふたを開けてみると、河北地区の人は、河北の仮設住宅に、雄勝地区の人は、雄勝の仮設住宅にとなっているようです。</li> <li>・河北の仮設住宅は、飯野川高校の校庭とも聞いていますが、まだまだ、すぐには入居という感じではないようです。雄勝地区は、少し高い丘に建てるとも聞いていますが、ピックバンの中には、雄勝地区の人が多く、なかなか、ピックバンの避難者数は減りそうにありません。どこかで、再度、入ってみたいと思いますが、管理の問題がうまくいっていないのが気になります。</li> <li>・また、医療チームも、一部、撤退をはじめているので、医療チーム撤退後の問題も出て来るかも知れません。</li> </ul>

● 河北支所の通常業務(予防接種や検診)  
 ・河北支所自身の保健師の不足の課題もあります。予防接種は、ポリオを除いて、個々の医療機関での接種のようですが、それぞれの機関が、ワクチンを津波でやられて、対応できず、その苦情が、支所にも入ってきているようです。6月から、これらの検診や予防接種などの、通常業務が復活する方向にあり、これらのバックアップも出て来るかも知れません。  
 ・いずれにしろ、今回の東日本大震災の、支援の基本は、「継続した支援」にあります。鳥取チームの方は、うまく、河北の保健師さんと連携をとれて、活動ができていていると思っています。無理の無いように続けて行けたらと思います。  
 ・なお、石巻市役所そのものは、各地域の保健師チームの活動をそれ程把握していません。個々の地域担当の保健師が分担しているようです。そのため、石巻市役所に行っても、それ程情報は無く、11班は、報告はメールで済ませました。石巻市役所の渋滞が激しいという課題もあります。  
 ・仙台、秋保、石巻市役所、河北支所、地図で見た感覚よりも、実際の移動時間は、日によっても異なり、渋滞も激しく、かかります。特に、石巻市役所周辺の渋滞は、激しいです。

12班	
長谷川ゆかり (県福利厚生課) 阿部恵太 (県西部総合事務所) 井上広世 (県庶務集中局)  1日目(4/29) 鳥取→【ANA・JR】→仙台 2日目(4/30) 仙台→ホテル(秋保町) 3日目(5/1) ホテル(秋保町) 4日目(5/2) ホテル(秋保町) 5日目(5/3) ホテル(秋保町) 6日目(5/4) ホテル(秋保町) 7日目(5/5) ホテル→【JR・ANA】→鳥取	4/29 4/30 4月30日(土) 天気:晴れ (活動1日目) 【活動スケジュール】 * 昨日(29日)(金)16:30に河北総合支所に到着し、11班から引継ぎ(高島保健師同席) 7:20 宿舎出発 9:10 河北総合支所着/河北総合支所で武山保健福祉課長にあいさつ。千葉保健師に昨日の引継ぎ済みの旨と本日の活動スケジュールを報告 10:00 針岡地区の家庭を全戸訪問(震災後の健康状態・生活で困っていることがないか確認) 13:10 昼食 14:00 針岡地区を家庭訪問 16:00 河北総合支所にて千葉保健師と以下の方とミーティング ・JIMネット(ジャパン・イラク・メディカル・ネットワーク):看護師(震災直後から支援) ・PCAT(日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト):医師2名 看護師1名(コーディネーター)、理学療法士、作業療法士 ・日本栄養士会派遣の栄養士 18:00 河北総合支所出発 19:40 宿舎着 【本日の活動概要】 ○針岡地区を家庭訪問 ○上記3団体とミーティングを行い以下について確認。 ・毎日16:00からミーティングを実施し情報交換を行う。 ・一つのMAPにそれぞれの訪問の状況を記入し情報の共有を図る。 【その他】 ・災害支援隊に到着を連絡 【職員の体調】 ○全員元気です。
	5/1 5月1日(日) 天気:曇り (活動2日目) 【活動スケジュール】 7:00 宿舎出発 8:30 河北総合支所着/本日の活動スケジュールを報告 10:00 針岡地区の家庭を全戸訪問(震災後の健康状態、生活で困っていることがないか確認) 12:30 昼食 13:00 家庭訪問の整理、今後の訪問地区について情報収集 16:00 河北総合支所にて関係団体とミーティング 17:20 河北総合支所出発 19:30 宿舎着 【本日の活動概要】 ○針岡地区を家庭訪問 ○16時からミーティング実施 ・それぞれのチームが訪問した家庭で以下の家庭について報告・情報交換。他のチームの訪問が必要な家庭、今後継続が必要な家庭 ・MAPにそれぞれの訪問の状況を記入 【その他】 ・連休であることから県外等に出ている親族等が支所に多く手続きに訪れていらっしやる様子 【職員の体調】 ○全員元気です。
	5/2 5月2日(月) 天気:曇り (活動3日目) 【活動スケジュール】 7:00 宿舎出発 8:30 河北総合支所着/本日の活動スケジュールを報告 10:00 針岡地区の家庭を全戸訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認) 12:30 昼食 13:00 針岡地区の家庭を全戸訪問 16:30 河北総合支所にて訪問家庭の状況について報告 17:30 河北総合支所出発 19:30 宿舎着 【本日の活動概要】 ○針岡地区を家庭訪問を継続 【その他】 ・本日、道路が比較的空いていた。 【職員の体調】 ○全員元気です。
	5/3 第12班 5月3日(火) 天気:晴れ (活動4日目) 【活動スケジュール】 7:00 宿舎出発 8:30 河北総合支所着/本日の活動スケジュールを報告 10:00 針岡地区の家庭を全戸訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認) 12:00 昼食 13:00 避難所の巡視/福祉避難所「遊学館」(介護を必要とする人の避難所の視察:河南地区)。河北地区内の避難所「ビッグバン」の巡視(高島・千葉保健師に同行)。 16:00 河北総合支所にてJIMネット等とミーティング 17:30 河北総合支所出発 19:30 宿舎着 【本日の活動概要】 ○針岡地区の家庭訪問を継続 ○介護を必要とする人が入所している河南地区の福祉避難所の視察/現在の入所者87人 ダンボールのベットを使用/医師、看護師、理学療法士、介護士等様々な職種が支援に入り、医療と介護を提供している。 ○河北地区内の避難所「ビッグバン」の巡視 【その他】 ・避難所では避難生活が長期となり人間関係のトラブル等の問題が起こってきている様子。 【職員の体調】 ○全員元気です。

5/4	<p>5月4日(水) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 宿舎出発</p> <p>8:30 河北総合支所着/本日の活動スケジュールを報告</p> <p>10:00 針岡地区の家庭を全戸訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)</p> <p>13:00 昼食</p> <p>13:00 活動の整理・引継ぎ準備</p> <p>16:00 河北総合支所にてJIMネット等とミーティング</p> <p>18:45 河北総合支所出発</p> <p>20:30 宿舎着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○針岡地区の家庭訪問を継続</p> <p>○活動の整理と引継ぎの準備</p> <p>○第13班へ引継ぎ</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○全員元気です。</p>
5/5 総合 記録	<p>【今後考えられること、活動方針等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後必要と考えられる事項は「避難所の課題への対応」「被災地域の住民の課題への対応」「町の今年度の保健計画の策定」(別紙)</li> <li>・鳥取班は以下を中心に活動</li> </ul> <p>○津波被災地域の家庭訪問を実施し、地域の状況把握、課題の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、地区に訪問している他の団体と16時に支所でミーティングを行い情報共有を図り、誰がフォローしていくか決め連携した活動を行いつつある。</li> <li>・同じ地図に訪問状況を落とし地区の状況を目に見える形にしつつある。</li> </ul> <p>&lt;他団体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JIMネット(ジャパン・イラク・メディカル・ネットワーク):看護師(震災直後から支援)</li> <li>・PCAT(日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト):医師2名、看護師1名(コーディネーター)、理学療法士、作業療法士</li> <li>・日本栄養士会派遣の栄養士 等</li> </ul> <p>○要フォロー者を整理、今後の支援に活用できるように整備する。(誰が見ても分かるものにする。)河北地区の全貌をつかみ、支援の漏れているところの有無の確認を行う。</p> <p>【阿部報告】</p> <p>○チーム12は針岡地区の狼、芦早、桃木沢、相沢、姥懐、館山、梨沢、小向、向田上道、六角、中道、蜂ヶ沢と釜谷地区の天神山を訪問しました。ビッグバンと福祉避難所の遊楽館にも行ってきました。</p> <p>○訪問では、住宅等の被害は少なくライフラインもほぼ問題は無かったですが、大川小学校の小学生が津波で亡くなったご家庭もあり、それを機に気が減退している方が多かったように思います。「亡くなった孫が夢に出てくる」と話されたり、自責の念に悩んでいる方もおられました。</p> <p>○4月28日が合同慰霊祭で、一時落ち着いていた気持ち慰霊祭を機に悲しみを追体験しているようでしたが、仕事や学校には行かないといけなしい、いつまでも悲しんではいけなしいと無理やり前を向いているような、気を張っているような感じを受けました。</p>

○血圧も180～200代の方がおられ、JIM-NET・PCATにつないだり、継続訪問の必要性ありとしてチーム13等をお願いしたところもあります。私たちは訪問していないですが、そっとしておいて欲しいというご家庭もあったようで(小学生の孫が津波で亡くなったご家庭で、JIM-NETが一度訪問したときにそう言われたようです)。そういうご家庭への付かず離れずの支援はどのようにしたらいいのだろうかと思いました。

○また、昔から農家をされているご家庭も田んぼが海水に浸かってしまって、これからの生活をどうしようかと悩まれていたり、空き家も何軒もあり家族ごと親戚の家に避難されているようでした。

○ビッグバンでは、アルコールの問題や子どもの問題、遊楽館では要介護者や認知症の方が多く避難されていましたがこの先行く当てがどこにもないとのことでした。

○私自身、ただただ話を聞くに徹した一週間でしたが、人に話をするだけで気持ちが楽になると話された方もおり、被災者の方々から多くのことを学び、逆に元気付けられた一週間だったように思います。

**13班**

<p>玉川陽子 (鳥取市役所) 有田 静 (県東部総合事務所) 本田和昭 (県日野総合事務所)</p> <p>1日目(5/4) 鳥取→[ANA・JR]→仙台 2日目(5/5) 仙台→ホテル(秋保町) 3日目(5/6) ホテル(秋保町) 4日目(5/7) ホテル(秋保町) 5日目(5/8) ホテル(秋保町) 6日目(5/9) ホテル(秋保町) 7日目(5/10) ホテル→[JR・ANA]→鳥取</p>	<p>5/4</p> <p>5/5</p> <p>5月5日(木) 天気: 晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>※昨日、16:40～19:00河北支所にて12班から引継ぎ(西條保健師同席)</p> <p>7:10 ホテル出発</p> <p>8:45 河北総合支所着、本日の活動内容について検討(高島保健師同席)</p> <p>10:00 訪問準備後、家庭訪問開始。針岡地区の家庭を全戸訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)※不在等で状況確認ができていなかった家庭に訪問</p> <p>12:10 昼食</p> <p>13:30 横川地区の家庭訪問 ※不在等で状況確認ができていなかった家庭に訪問</p> <p>15:00 訪問状況一覧表等の整理</p> <p>17:30 河北支所出発</p> <p>19:10 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○針岡地区、福地地区の家庭訪問(不在等で訪問できていなかった家庭を訪問)</p> <p>訪問世帯 11世帯</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人1名、高齢者11名</p> <p>・針岡地区は浸水被害があり、家で片付けをしている方が多かった。横川地区は浸水被害がなかったため、普通通りの生活に戻っている人が多い。</p> <p>・高齢者が多く、高血圧の治療中の方が多く、かかりつけ医が震災でなくなってしまい、離れた診療所まで受診に行っている人もおられた。</p> <p>・訪問したお寺が3月17日まで避難所になっていたが、避難者もお寺の方もほとんど眠れなかったとのこと。現在は、避難者はすべて家に戻っていったが、「毎日のように遺骨を持ってこられるので忙しい。」とのことだった。</p> <p>○12班から引き継いだ訪問状況一覧表のまとめ</p> <p>【その他】</p> <p>・本日はJIMネットが地区訪問を実施していなかったため、16時のミーティングはなかった。</p> <p>・今後の乳幼児健診の実施方法について、苦慮しているとのこと。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	<p>5/6</p> <p>5月6日(金) 天気: 曇り (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:30 河北総合支所着/昨日の家庭訪問の申し送りと本日の活動内容について検討(西條保健師、高島保健師同席)</p> <p>9:30 入釜屋地区臨時診療所の状況把握と健康相談(千葉保健師からの依頼による)/入釜屋地区の家庭を全戸訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)/※不在等で状況確認ができていなかった家庭に訪問</p> <p>12:30 昼食</p> <p>13:30 入釜屋地区、針岡地区の家庭訪問/※不在等で状況確認ができていなかった家庭に訪問</p> <p>14:50 訪問状況一覧表等の整理</p> <p>16:20 河北総合支所にてJIMネット等とミーティング</p> <p>18:00 河北支所出発</p> <p>19:40 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○入釜屋地区臨時診療所の状況把握と健康相談</p> <p>○入釜屋地区、針岡地区の家庭訪問(不在等で訪問できていなかった家庭を訪問)</p> <p>・訪問世帯 5世帯、不在 5世帯/対象者(話を聞き取った者) 成人1名、高齢者6名</p> <p>・入釜屋地区は浸水被害があったが、現在は自宅や畑が被害を受けながらも生活はほぼ普通通りの生活に戻っている人もいる。しかし、現在も上水道・電話は復旧しておらず、給水車が毎日きている。</p> <p>・身内の方を亡くされ孫を引き取ることとなる方や、今でも大津波があった日の恐怖を訴えられる方もおられ、今後の心身の健康状態や生活状況等を継続して訪問してケアする必要のある方もおられた。高齢の方が多く、住み慣れた地区で暮らしていきたいという声も聞かれる。</p> <p>・部落内生活センターでの臨時診療所は、車で市内の病院までいくことができない高齢者にとっては「ありがたい」との声が聞かれる。近所の方同士が談話する機会にもなっている。</p> <p>○訪問状況一覧表のまとめ等</p> <p>【その他】</p> <p>・昨夜、日中も時々小さな余震がある。本日はやや気温が下がり、風が冷たい。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p> <p>【連絡事項】</p> <p>○渋滞について/河北支所から、宿までは約1時間半で帰れます。宿から河北支所へ行く時も約1時間半で到着しています。日祝日、平日ともに軽い渋滞はありますが、スムーズに動きます。</p> <p>○食事について/活動中の昼食については、河北支所周辺の飲食店は空いているので、利用できます。訪問に入っている釜谷、針岡、横川地区で飲食できる場所はありません。私たちは、いつも道の駅のレストランで昼食をとっています。</p> <p>○必要物品について/個人で用意していただく必要物品はほとんどありません。筆記用具くらいだと思われます。アルコール消毒も家庭訪問ではあまり使わないので、余っています。(避難所訪問をすれば需要が出てくるかもしれませんが)</p> <p>○服装について/今は少し肌寒いですが、薄手のものにウィンドブレーカーを一枚羽織って、鳥取県のベストを着用しています。</p>
	<p>5/7</p> <p>5月7日(土) 天気: 晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:15 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(西條保健師)/訪問状況一覧表の整備</p> <p>10:00 横川地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)/※不在等で状況確認ができていなかった家庭に訪問</p> <p>12:20 昼食</p> <p>13:00 横川地区の家庭訪問再開</p> <p>15:00 河北総合支所へ戻り、記録記載、復命書作成等</p> <p>16:00 河北総合支所にてJIMネット等とミーティング</p> <p>18:10 河北総合支所出発</p> <p>19:40 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○横川地区の家庭訪問(不在等で訪問できていなかった家庭を訪問)</p> <p>・訪問世帯 21世帯、不在 6世帯/対象者(話を聞き取った者) 成人11名、高齢者12名、精神障がい1名</p> <p>・横川地区は、水害はなかったものの、震災直後はライフラインが絶たれ、生活が大変だった様子。また、横川地区の中で6名の小学生が震災で亡くなっており、訪問した方々が口々に「小学生が亡くなった家庭のことを思うといたたまれない。」と言っておられた。</p>

・余震後、息子さんの調子が悪くなり、イライラして大声を出したり、幻聴が活発になって両親が心配している家庭があった。近隣の方は息子さんのことをよく理解しており、調子が悪化した時に救急車での受診に協力したり、普段から声をかけて外に連れ出してきている様子。カンファレンスの結果、長野県こころのケアチームに一度訪問してもらうこととなった。

・余震が続いていることで不安な状態が続き、夜いつでも逃げられる服装で寝たり、避難物品を準備しておられる方が数名おられた。「自分だけが助かってしまって申し訳ない、被害のあった人々を助けたいが自分には何もできない。」と自責感を涙ながらに訴えられる方もおられ、家の被害はなくても余震の不安や自責感を抱えている人が多い。

○訪問状況一覧表のまとめ等

【その他】

- ・本日は天候良く暖かいが、風が強かった。
- ・避難所で無料診療を行っていた日赤チームが5月いっぱいでは撤退する予定。
- ・避難所の食事に関して、国から指導が入っている(1日2食から3食にすること、栄養バランスを改善すること)が、現場は職員が1日2食準備して配布することで精一杯であり、改善していくことが難しい状況であるとのこと。

【職員の体調】

○保健師2名、運転手、全員元気です。

5/8

5月8日(日) 天気: 晴れ一時雷雨 (活動4日目)

【活動スケジュール】

6:50 ホテル出発

8:15 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(西條保健師)

8:30 ビックバンの巡回(高島保健師同席)

11:00 飯野川中学校巡回(高島保健師同席)

12:00 昼食

13:00 飯野川小学校巡回(高島保健師同席)

14:30 支所に戻り、記録記載及び訪問状況一覧表整理、引継書作成

16:00 河北総合支所にてJIMネット等とミーティング

18:10 河北総合支所出発

19:40 ホテル到着

【本日の活動概要】

○避難所(ビックバン、飯野川小学校、飯野川小学校)の巡回

- ・ビックバンは、震災当初は横になれないくらい人が多く、スペースが狭かったものの、あまり文句やトラブルが出てこなかった。しかし、現在は避難所から家に帰る人が増え、一人ずつのスペースが広がったものの、秩序がなくなり、トラブルや苦情が増えてきている。
- ・ビックバンは隣の壁をダンボールで高く作っている人が多く、飯野川中学校は低い区切り(卓球の壁)、飯野川小学校は区切りなしで生活している。それぞれの避難所で雰囲気も異なっており、飯野川小学校は同じコミュニティの顔見知りが多いことで、和やかな雰囲気であった。
- ・ビックバンでは、毎日10時からボランティアの介護士によるお茶会が行われており、1日2食でお昼に水分を取らない高齢者が多い中、水分補給できるような機会としたり、気分転換の機会となっている。
- ・避難者からは、「先行きが見えない不安」「避難生活も2か月になろうとしており、毎日が単調。世間の人々にも忘れられていっているのではないかと思ってしまう。何か楽しみや、激励の機会を設けてもらいたい。」との声があった。

○訪問状況一覧表(エクセル)のまとめ/横川、針岡の一覧表が完成。

○第14班への活動引継書を作成

【その他】

- ・午前中に突然の雷雨があったが、午後には回復した。
- ・河北総合支所保健師は連休土日等休みもなく、当直勤務等をこなしつつ働き続けており、保健師、他職員の健康面も心配される。

【職員の体調】

○保健師2名、運転手、全員元気です。

5/9

5月9日(月) 天気: 晴れ (活動5日目)

【活動スケジュール】

6:50 ホテル出発

8:45 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(西條保健師)

9:15 横川地区、福地地区の家庭を全戸訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)/※不在等で状況確認ができていなかった家庭に訪問

12:00 昼食

13:00 支所に戻り、記録記載及び訪問状況一覧表整理、14版への引継準備

16:00 河北総合支所にてJIMネット等とミーティング

16:30 第14班と引継(西條保健師同席)

18:00 河北総合支所出発

20:00 ホテル到着(予定)

【本日の活動概要】

○入釜屋地区、針岡地区の家庭訪問(不在等で訪問できていなかった家庭を訪問)

- ・訪問世帯 5世帯、不在 8世帯/対象者(話を聞き取った者) 成人3名、高齢者3名
- ・連休期間中は、不在家庭が少なかったが、平日は仕事や畑に出ている人が多く、不在家庭が多い。
- ・福地地区の浸水被害があった地域は、1階部分が壊滅的であり、2階で生活している人や、同じ部落の家へ転居している人がみられた。水や電気は通っている様子。
- ・福地地区の国土の多くの人が、集団で高い場所にある被害を受けなかった家に避難していたらしく、一軒家に一時40人が避難して生活していたとのこと。救援物資はたいぶ時間が経ってから一度届いたくらいで、その家にあった物資を何とかやりくりして過ごしていて、大変な思いをされていた様子。

第14班へ引継ぎ

- ・福地地区の家庭訪問を実施してもらう。福地地区の訪問が終了すれば、さらに西の地区へ訪問をしていく予定。

【その他】

- ・平日は道路が渋滞しており、宿から支所までに2時間かかる。次班以降は、ホテルが少し近くなるため、支所への往復の負担が軽減すると思われる。
- ・現在は石巻市役所には寄らず、支援開始日と終了日に石巻市役所保健師へ電話で挨拶をしている。日々の報告は、西條保健師にメール送信をお願いしている。

【職員の体調】

○保健師2名、運転手、全員元気です。

5/10

●現地での引継ぎがスムーズにできるように、実務内容を記載した引継書を作成しました。

災害支援引継書(第13班)

【一日の流れ】

7:00 宿出発

8:30 河北支所到着/保健師に当日の活動予定を報告(西條保健師、高島保健師、千葉保健師)午前 現地活動 → 昼食 随時 午後 現地活動

15:00 支所に戻り、記録整理

16:00 JIMネット等とミーティング(千葉保健師がいない日はなし)

17:00 活動記録を西條保健師に提出し、報告

17:30 河北支所出発

19:00 宿到着

【活動内容】

○地区の全戸訪問

- ・13班は、前回の班まで訪問していた地区(入釜谷、針岡、横川)の不在だった家庭を再訪問した。今後は、福地地区への訪問を実施する予定。

【訪問前の準備】

- ・訪問地域の地図を印刷、訪問家庭の家族状況把握のために住民台帳を印刷。異動者一覧表で震災による死亡者を確認。地図と台帳に番号をふる。

【訪問実施の流れ】

- ・訪問前に、訪問に行く過程の住民台帳をコピーして用意する。※台帳のコピーはなくさないよう要注意！
- ・訪問の携帯品／訪問依頼証明書、血圧計、体温計、アルコール消毒、筆記用具、記録用紙、板、鳥取県ベスト
- ※訪問の際には河北支所からの証明書を携帯し、証明書を見せながら「河北支所から依頼を受けて、地区にお住まいの方の震災後の健康状態や生活の困りごとを確認させていただいている鳥取の保健師です。」と伝える。
- ・訪問が終わったら、地図や住民台帳への状況記載を行う。(所内用、持ち出し用)また、支所保健師へ提出する様式(①保健活動実施報告書(日報)、②家庭訪問一覧表、③健康相談表(要支援継続ケースのみ))の記載をする。
- ・他団体(JIMネット、P-CAT、日本栄養士会)とミーティングを実施し、訪問済み家庭にチェックをして、訪問家庭がかぶらないようにする。
- ケースの必要に応じて、JIMネットの看護師やPCATのDR、PT、OTに訪問を依頼する。(ミーティング16時～)ミーティングでは、要継続支援ケースや、他団体の支援へつなげるケースのみ報告すること。
- ※横川地区の統合失調症のケースを6月10日のこころのケアチームに引き継いでいるため、ミーティングでケアチームの支援状況を聞きとっておいてください。
- 訪問一覧表の整理／パソコン005に入っている訪問状況一覧表のエクセルデータに訪問状況を記載すること。
- 鳥取県への報告／1日の活動が終了した後(18時を目途)に、福祉保健課林課長補佐に電話あるいはメールで簡単に報告。(「今日の活動が終わり、今から宿舎に戻ります。みんな元気です。」程度で良い。休日の報告はメールの方が良い)一日の活動概要復命書を作成し、災害DBに貼り付ける。リンクメッセージで、福祉保健課 林課長補佐、医療政策課看護係 山崎主幹、谷口保健師にメール送信。
- その他
- ・現在は、石巻市役所には行っておらず、西條保健師から石巻市役所石巻市役所保健師に報告様式(紙様式)をメール送信してもらっている。支援開始日、終了日に伊藤保健師へ電話し、挨拶をすること。
- 【今後考えられること、活動方針等】
- ・被災地区(入釜屋、針岡、横川)の訪問については、ほぼ終了。(不在で把握できていない家庭も数件あり)今後は、福地地区への全戸訪問を実施し、地区の状況把握を行う。実態把握が必要な地域への訪問が終了したら、被災地域の地域課題を整理する必要がある。被災していない地域でも、被災者が避難してきていたり、不安感を抱えている家庭もあると思われるため、地区全体の家庭訪問の必要性もあるのではないかと考えた。
- ・現在、避難所は地区担当保健師が対応しているが、様々な問題が出てきており、避難所のトラブルへの対応で手いっぱいである。再度、避難所への介入も必要となってくるかもしれない。
- ・12班から実施している他機関とのミーティングを継続し、それぞれの役割分担を明確にしなが、連携して支援を行う体制を構築していくことが必要。

**14班**

<p>生田真由美 (米子市役所) 石原英莉 (米子市役所) 二宮博昭 (県中部総合事務所)</p> <p>1日目(5/9) 鳥取→【ANA・JR】→仙台 2日目(5/10) 仙台→ホテル(秋保町) 3日目(5/11) ホテル(秋保町) 4日目(5/12) ホテル(秋保町) 5日目(5/13) ホテル(秋保町) 6日目(5/14) ホテル(秋保町) 7日目(5/15) ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>5/9 5/10</p>	<p>5月10日(火) 天気:晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発 9:20 河北総合支所着／本日の活動内容について報告(高島保健師) 9:25 中野・牧野巣地区の全戸訪問の準備(世帯台帳打ち出し) 12:00 昼食 13:00 避難所の状況確認(ピックアップ・飯野川中学校、高島保健師同行) 15:10 河北総合支所に戻り明日訪問する予定の針岡・福地地区の場所・状況確認。 16:00 JIMネット等とミーティング 17:00 記録記載 17:30 河北総合支所出発 19:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○全戸訪問の準備(世帯台帳打ち出し・場所の確認)</p> <p>・明日以降に新しく訪問する予定の中野・牧野巣地区の世帯状況の確認(世帯台帳打ち出し)と、針岡・福地地区(前回までの班が訪問できていない世帯)の場所・状況確認を行う。</p> <p>○避難所の状況確認(ピックアップ・飯野川中学校、高島保健師同行)</p> <p>・避難所で状況の確認と4名の方と面談を行う。</p> <p>・海辺で暮らしていたが震災をきっかけに仙台で暮らしている女性とお話する。「海辺での生活が一転、「陸」での暮らしが不安…」という表現をされたのが印象的だった。</p> <p>・子どもと避難してきた高齢女性。ほとんどベッドでの生活で医療的な支援も必要であり、不安も強いが子どもがいてくれて本当に心強い。不安もとても強いようで1度手を握ると強く握り返し、なかなか放すことができなかった。「また絶対会いにきてね」という言葉を何度も繰り返しておられた。継続的な支援が大切であると改めて感じた。</p> <p>○JIMネット等とミーティング</p> <p>・明日訪問予定の福地地区は被害が大きい地域。家屋そのものの状況、住居の確認から行う必要がある。</p> <p>・JIMネット等の支援活動は医師同行の診療活動は減り、看護師単独の訪問看護活動の頻度が増えてきている(担当看護師が当初より継続介入)</p> <p>【その他】</p> <p>・本日は道路が大変渋滞しており、宿(仙台市)から支所までに2時間以上かかった。</p> <p>・支援開始日ということで石巻市役所保健師へ電話で挨拶・報告を行った。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	<p>5/11</p>	<p>5月11日(水) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:20 ホテル出発 9:00 河北総合支所着／本日の活動内容について報告(西條保健師) 9:15 谷地地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認) 12:00 昼食 13:00 谷地地区の家庭訪問再開 15:30 河北総合支所へ戻り、記録記載、復命書作成等 16:00 西條保健師に活動報告・ミーティング 16:20 記録記載、復命書作成等 18:40 河北総合支所出発 19:40 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○谷地地区の家庭訪問</p> <p>・訪問世帯 12世帯、うち不在 2世帯。</p> <p>・対象者(話を聞き取った者) 成人6名、高齢者4名谷地地区(大川中学校周辺)は、家屋の1階部分は壊滅状態になるほどの津波の大きな被害に見舞われた地区。辺り一面、茶色の海のような光景。がれきやさまざまなゴミ・家具などが散乱していた。震災直後はライフラインが絶たれ、「最近、ようやく電話やテレビが復旧したところなんですよ」という話も聞かれた。津波から3週間あまり、全く周囲から部落が孤立してしまっていた。また、小学生や高齢者が震災で亡くなった家族も多い。</p> <p>・高地に立地しているため、家屋の被害の少なかった方も、津波から3週間の間全くの孤立状態が続く、その間周囲の部落には入っていた物資も支援の手も全く入らなかった。その間、20人もの人たちが3つの世帯にわかれて生活していたとのこと。「今頃来て、もっと大変な時に来て欲しかった。行政は何もしてくれなかった。」と不満を訴える方もいた。</p> <p>・5月から自宅に戻ってきた女性は、2か月間避難所生活をしてきたが、介護の必要な父が施設入所となったのを機に、母と1室を片付けて二人暮らし。津波の被害から眠れない日々が続いているとのこと。特に2週間ほどはほとんど眠れていないよう。表情も暗く、疲れた様子。安定剤等の内服も含めて今後フォローが必要と考えられる。</p> <p>【その他】</p> <p>・日中は天候良かったが、朝昼の寒暖差が大きい。風も強かった。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>・保健師2名、運転手、全員元気です。</p>

5/12	<p>5月12日(木) 天気:くもり (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:10 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(高島保健師)</p> <p>10:00 谷地地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)</p> <p>13:00 昼食</p> <p>14:00 谷地地区の家庭訪問再開</p> <p>15:30 河北総合支所へ戻り、記録記載、復命書作成等</p> <p>17:00 西條保健師に活動報告・ミーティング</p> <p>17:30 記録記載、復命書作成等</p> <p>18:00 河北総合支所出発</p> <p>19:30 ホテル到着(予定)</p>
5/12	<p>【本日の活動概要】</p> <p>○ 谷地地区の家庭訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問世帯 10世帯、うち不在 5世帯</li> <li>・対象者(話を聞き取った者) 成人 5名</li> <li>・谷地の中でも国土・大正地区を中心に昨日、訪問できなかった部落を訪問してきた。本日まわった世帯のほとんどが、当初高知に建つ1軒に避難していたとのこと。(約1か月間)</li> <li>・多いときで50人近くの方が避難していた。避難所となっていた家の方は、避難者が役割分担し、協力し合って生活していた。生活物資もしばらく届かなかつたため、交代で避難所まで取りに行ったり、購入しに店をまわったり、仮設のトイレを自ら作成したりと集団の力を感じたとお話して下さる。当初は本当に大変な状況であったが、その中でも1人1人が自身だけでなく、他の方々の健康状態に気を配り、みな元気に前向きに生活することができたとお話された。当初の適切な判断や協力し合う心により救われた命があったことを目の当たりにした。</li> <li>・訪問した国土・大正地区のほとんど世帯が1階部分が天井近くまで浸水、がれき・ゴミ・ヘドロの害に見舞われた地区だが、今後被災した家を再建し再び生活していこうとする意志を強く感じる。ボランティア等の協力もあり、家の中のヘドロ・がれきの撤去、床板の撤去が終了した状態の家屋が多く、大工を待っている状態。状況が少しずつよくなっている実感があり、日に日にもとの家に住むことに前向きになっておられるようだった。あの地区に暮らすつもりなのかと驚く行政スタッフとの意識の違いを感じた。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は気温が下がり、かなり肌寒く、風も強かった。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師2名、運転手、全員元気です。</li> </ul>
5/13	<p>5月13日(金) 天気:くもり (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:10 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:30 牧野地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 牧野地区の家庭訪問再開</p> <p>16:00 河北総合支所へ戻り、記録記載、復命書作成等</p> <p>17:00 西條保健師に活動報告・ミーティング</p> <p>17:30 記録記載、復命書作成等</p> <p>19:00 河北総合支所出発</p> <p>20:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○ 牧野地区の家庭訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問世帯 22世帯、うち不在 4世帯</li> <li>・対象者(話を聞き取った者) 成人 6名 高齢者 12名</li> <li>・昨日訪問した谷地地区より上流(支所側)北上川対岸の牧野地区に訪問した。牧野地区は牧野山を中心とする全28世帯の小さな地区。小さな地区のため、他世帯の状況を皆よく把握しており、被災当初の状況、今の状況まで詳しく話される。谷地に比べると被害は少なく、床の上まで浸水するような被害はなかった。その反面、ほとんどの世帯は農家で田んぼや、畑の塩害に苦しんでおられたり、今まで孤立状態で誰にも来ても来ず、見捨てられたと感じていたと行政に対する不満を話される方もいた。(避難所や被害の大きいところばかり…せめて顔をみせて、話を聞いて欲しかった)また、被害が他の地区に比べ少なかったため、親戚や友人が避難し、ともに生活をしている世帯が多かった。</li> <li>・高齢女性。家自体は無事でほぼ普段通り生活しているが、友人を津波で亡くしたことで、被害が大きかった地区のことを思うとどうしても“戦争”体験を思い出すと涙みながら話す。家も人も見た目は依然と変わらないような地区だが、地震・津波の体験は深く、様々な苦しみを残しているということを感じた。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は気温は高かったが、風がとっても強かった。</li> <li>・連日渋滞が行き帰りとひどく1時間半以上かかる状態が続いている。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師2名、運転手、全員元気です。</li> </ul>
5/14	<p>5月14日(土) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:10 ホテル出発</p> <p>8:30 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:00 牧野地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認) / ※不在等で状況確認ができていなかった家庭に訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 支所に戻り、記録記載及び訪問状況一覧表整理、15班への引継準備</p> <p>17:10 第14班と引継(西條保健師同席)</p> <p>19:00 河北総合支所出発</p> <p>20:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○ 牧野地区の家庭訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問世帯 8世帯、うち不在 2世帯</li> <li>・対象者(話を聞き取った者) 成人 4名、高齢者 3名</li> <li>・本日は、昨日に引き続き牧野地区に訪問した。沿岸部に近い地区に比べると被害は少なく、床の上まで浸水するような被害はなかったが、住民の中には津波に巻き込まれた人、津波がおそって来るのを目撃した人もおられた。そんな中、他の被害の大きかった方の事を思うと自分の思いなんて…と慮慮されるような発言や、当時のことを思い出して恐怖や不安の思いから眠れないという不眠の症状が聞かれた。また、この地区の方は特に私達の訪問を大変喜んで下さった。被害の大きいところが優先なのは大切なことだが、その反面、被害の小さく見える地区でも、同じ津波の被害を経験した住民としてさまざまない感情と戦っておられるのが伝わってきた。その思いをくみ取る、支所の保健師につなぐという意味ではこの地区の訪問は意味のあったものだと考える。</li> </ul> <p>○ 第14班へ引継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・谷地、牧野地区の不在で訪問できていなかった家庭訪問から開始していただき、その後、中野地区の家庭訪問を実施してもらう予定。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日は道路が渋滞しており、ホテルから支所までに2時間以上かかるが、本日は祝日(土曜日)であったので、1時間半弱で到着した。</li> <li>・現在は石巻市役所には寄らず、支援開始日と終了日に伊藤保健師へ電話で挨拶をしている。日々の報告は、西條保健師にメール送信をお願いしている。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健師2名、運転手、全員元気です。</li> </ul>

		<p>〔連絡事項〕</p> <p>○寒暖の差があり夕方の気温は12・3℃ぐらいで肌寒いです。</p> <p>○スマイルホテル塩釜は夕食が食べられる所がホテルから2キロぐらい離れたところしかありません。コンビニもホテルから片道15分の所が一番近いところです。</p> <p>○塩釜市内信号機が5～7機動いてません。朝は警察官が交通整理をしていますが、夜はそのままです。交差点では注意が必要です。</p>
	5/15	<p>【今後考えられること、活動方針等】</p> <p>・被災地区（入釜屋、針岡、横川）の訪問については、終了。（14班まででまわられていなかった世帯から訪問活動を開始した）</p> <p>・今回、被災の少なかった牧野地区を全戸訪問し、「誰も支所の人がきてくれず、見捨てられた思いがした」等の意見が聞かれたことから、今後も被害の少ない地区も引き続き、顔を合わせ状況を確認し、声をかけて行政側と住民との信頼関係を構築していくことが大切であり、訪問活動の重要性を改めて感じた。また、被災者が避難している家庭が多かったことから、避難者の把握し、まとめておくことが必要になってくると考える。</p> <p>・現在、避難所は地区担当保健師が対応しているが、様々な問題が出てきており、避難所のトラブルへの対応で手いっぱいである。</p> <p>・12班から実施している他機関とのミーティングを継続し、それぞれの役割を明確していくことが必要である。今後は他機関による医療の支援だけでなく、住民にとって一番身近な保健師の訪問や、電話等での声かけなど「あなたのことをいつも心配している。見捨てているわけではない」というメッセージを継続して伝えていくこともより大切になってくると考える。今後も支所保健師の代弁者として訪問活動を続けていくべきだと考える。</p> <p>・仮設住宅の建設状況により、巡回活動も必要となるかもしれない。</p>
<b>15班</b>		
片平志保 (県西部総合事務所)	5/14	
後藤法子 (琴浦町役場)	5/15	<p>5月15日(日) 天気:晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:30 ホテル出発</p> <p>8:10 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師)、石巻支所伊藤保健師に挨拶(TELにて)</p> <p>9:00 谷地地区、牧野地区(不在等で確認できなかった家庭)3件訪問。中野地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 中野地区の家庭を訪問</p> <p>15:00 河北総合支所にて記録作成</p> <p>17:00 高島保健師に本日の活動について報告</p> <p>17:30 河北総合支所出発</p> <p>19:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○谷地地区、牧野地区の不在家庭訪問。中野地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 19 世帯</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人 10名 高齢者 9名</p> <p>・本日は休日であったため、今まで不在であった家庭も全ての方にお会いすることができた。</p> <p>・現在訪問している地区は、津波による直接的な被害を受けているところは少なかったが、農耕地に海水があがってきたため、今後の農作業に影響がある家庭もみられた。</p> <p>・ある事業所では、従業員が被災、避難所で生活を送っており、事業所のほうでできる限りのことをしていると報告もあった。</p> <p>・地震による建物の被害がある家もみられている。</p> <p>・他の地区から親戚を頼って避難してこられている方や、空いている家に越してこられている世帯もあった。まだ住民票を異動しておらず仮に住んでいるというお宅もあった。</p> <p>・親ごさんを亡くされたお孫さんが最近になって悪夢を見ることを話すようになったとの相談。カウンセリングを受けさせようと思っていると涙ながらに語られる方もあった。2か月たって、張り詰めた糸が切れるような状態である様子。特に家族を亡くされた方に対しては、引き続きフォローが必要であることが窺われた。</p> <p>【その他】</p> <p>・本日は休日のため、交通渋滞もなく、仙台のホテルから支所まで1時間半程度で到着した。</p> <p>・晴れて風が強いが気温は高く、温室では気温が30度以上になるため、田植え前の苗の管理が大変だと住民さんが話しておられた。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
小西康之 (県西部総合事務所)		
1日目(5/14)		
鳥取→【ANA・JR】→仙台		
2日目(5/15)		
仙台→ホテル(塩釜市)		
3日目(5/16)		
ホテル(塩釜市)		
4日目(5/17)		
ホテル(塩釜市)		
5日目(5/18)		
ホテル(塩釜市)		
6日目(5/19)		
ホテル(仙台市)		
7日目(5/20)		
ホテル→【JR・ANA】→鳥取		
	5/16	<p>5月16日(月) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:45 ホテル出発</p> <p>8:30 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(高島保健師)</p> <p>8:50 中野地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 中野地区の家庭訪問を再開</p> <p>15:00 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 JIMネット、PCAT、千葉保健師、西條保健師とのミーティング</p> <p>17:20 高島保健師に本日の活動について報告</p> <p>18:00 河北総合支所出発</p> <p>19:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○中野地区の家庭訪問</p> <p>・訪問世帯 35世帯、うち不在 9件/対象者(話を聞き取った者) 成人 13名、高齢者 13名</p> <p>・本日は平日のため、不在の家庭も多かった。</p> <p>・訪問時に語られる内容は、建物の被害についての訴えが多く、職場が津波で流され職を失って、収入の少ない中で、家の修繕をどうするかという課題を抱えているお宅もあった。</p> <p>・家族が津波によって流され、行方不明のままである家庭もあり、遗体確認の時の生々しい体験を語られる方もあった。</p> <p>・現在訪問しているエリアでは、直接的な津波の被害はないが、被害のあった地区から避難してきておられる方も何名か確認した。</p> <p>【その他】</p> <p>・本日は道路の渋滞の関係で、塩釜のホテルから支所まで1時間半程度で到着した。</p> <p>・天気は良いが、午後から強い風が吹いていた。農作業に出かけられている人も多くいた。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	5/17	<p>5月17日(火) 天気:晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:45 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:00 河北地区～女川～石巻市街地視察(福祉保健課長同業)</p> <p>13:00 昼食</p> <p>14:00 中野地区の家庭訪問(前日訪問で不在の家も含む)</p> <p>15:00 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 JIMネット、PCAT、リカバリーフォージャパン(臨床心理士チーム)、難病支援事務局(NPO)、千葉保健師、西條保健師とのミーティング</p> <p>17:00 西條保健師に本日の活動について報告</p> <p>17:30 河北総合支所出発</p> <p>19:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○中野地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 12世帯、うち不在 4件/対象者(話を聞き取った者) 成人 2名 高齢者 6名</p> <p>・午前中は、石巻市を一周し、被害のあった地域を視察した。現在は自衛隊をはじめとする瓦礫の撤去作業が各地域で行われていたが、まだ相当の時間がかかると思われる。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻市街地は、商店街が津波の被害により店を閉めているところが多かった。しかし、中でも野菜や果物を売るお店など、何店舗か開店しているところもあり、徐々に復興に向けて進んでいる様子が窺われた。</li> <li>・午後からは、昨日訪問して不在であった中野地区の訪問を再開した。</li> <li>・高齢で独り暮らしの家庭もあり、「夜の地震が怖い」という話もされていた。</li> <li>・被害が少ないためか、「自分たちのところはいいほうだ。自分たちがボランティアをしないとイケないくらいだ」という話も聞かれた。</li> <li>・集落の中では、家族を亡くされた方や避難して来られている方の話をよく知っておられ、近隣での情報がよく伝わっている。</li> <li>・本日は、臨床心理士のボランティアチーム(リカバリーフォージャパン)、難病支援専門家チーム(NPO難病支援事務局)が新たにミーティングに参加。それぞれ震災支援で活動しているので、それぞれのチームの支援が必要なおときには連絡をくださいという申し出があった。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤道路の渋滞は依然として続いている。</li> <li>・晴れて気温は高く、日中は長袖Tシャツ1枚で過ごすことができる。朝晩は若干冷え込みあり。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
5/18	5月18日(水) 天気:晴れ (活動4日目)	<p>【活動スケジュール】</p> <p>6:45 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:00 中野地区の家庭を訪問</p> <p>13:00 昼食</p> <p>14:00 河北総合支所にて記録、訪問一覧表作成</p> <p>16:00 JIMネット、PCAT、千葉保健師、西條保健師とのミーティング</p> <p>17:00 西條保健師に本日の活動について報告</p> <p>18:00 河北総合支所出発</p> <p>19:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○中野地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 24世帯、うち不在 7件/対象者(話を聞き取った者) 成人 8名 高齢者 9名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日訪問した中野地区では、大きな被害なく継続的に支援が必要な世帯はなかった。</li> <li>・被災前から精神科治療を受けておられる方や難病を抱えている方について、西條保健師から情報提供があったため、今後は、問題のありそうな家庭については、詳細に聞き取っていく必要があると思われる。(事前に地区保健師から聞き取りが必要)</li> <li>・また津波の被害の大きかった地域からの避難者が数世帯あり、今後訪問活動の中で確認していく必要あり。</li> <li>・視覚障害者の安否確認、状況確認の依頼あり、それも含めてローラー訪問時に確認をしていく。</li> <li>・田植の時期であり、玄関のカギは空いていても不在の家庭が多かった。(訪問時間によるので、昼前頃は比較の出会える可能性が高い)</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤道路の渋滞は依然として続いている。</li> <li>・本日も天候は晴れ、気温も高かった。訪問時には水分補給や、天気の良い日は帽子をかぶるなど、体調管理に配慮して活動することが望ましい。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
5/19	5月19日(木) 天気:晴れ (活動5日目)	<p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:40 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:00 中野地区の家庭を訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 河北総合支所にて記録、訪問一覧表作成、引継ぎ関係事務整理</p> <p>16:00 JIMネット、PCAT、千葉保健師、西條保健師とのミーティング</p> <p>17:00 西條保健師に本日の活動について報告</p> <p>17:10 第16班との引継ぎ</p> <p>18:40 河北支所出発</p> <p>20:40 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○中野地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 19世帯 うち不在7件/対象者(話を聞き取った者) 成人 3名 高齢者 9名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中野地区についての全戸訪問終了。不在宅が12件あり、引き続き16班に訪問していただくよう引継ぎを行った。</li> <li>・本日訪問した家庭は、建物の被害も少なかつた。地盤がしっかりとしている地域であることが関連していた様子。</li> <li>・東松島市や雄勝地区から避難されてこられている若い世帯あり、引き続き避難状況を確認した。</li> <li>・避難をしてきている世帯のお子さん、時折、遊んでいて突然「水が怖い」と言い出したり、甘えがでるなどの症状がみられるとのことであった。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。(第16班チームも全員元気です)</p> <p>【連絡事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半と同様、交通渋滞は続いており、7時前に出発すると、9時までには河北支所に到着できます。</li> <li>・塩釜のホテル周辺は、ファミレス等の飲食店が少ないです。(車で出かけるほうが無難です)</li> <li>・晴れていると、汗ばむくらいの陽気です。薄着で羽織るものを用意するのがベストです。</li> </ul>
5/20	【今後考えられること、活動方針】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災の少なかつた地区の訪問を中心に行った。(中野地区から開始)</li> <li>・訪問地区では、被害が少なかつた関係で、被災地から避難してきている方(若い方が多い)がおられたため、避難者の状況を把握するために訪問一覧表に黄緑色で印を付けている。(地図にも付箋で印を付けている)</li> <li>・避難者については、氏名とどこの地区から避難してこられたかを確認している。(一時的な避難のため住民票を異動させていない方も多い)</li> <li>・直接の被害はなくても、身近な家族を亡くした方もおられ、配慮を必要とする家庭もあった。</li> <li>・全戸訪問(ローラー訪問)のため、健康や暮らしの状況を把握することが目的であるが、事前情報から配慮がいきりそうな家庭については、家族の状況など詳しく聞き取りを行うことも必要である。(支所保健師から事前情報をもらうこと)</li> <li>・特に障害者や難病患者などいる家庭については、上記の配慮が必要となる。</li> <li>・避難者の中には、小さいお子さんのおられる家庭もあり、支所でおむつやミルクを配布していることなど、情報提供を行っている。</li> </ul>
16班		
森田ゆみ子 (大山町役場)	5/19	
酒嶋里美 (県東部総合事務所)	5/20	5月20日(金) 天気:晴れ (活動1日目)
依藤 保 (県日野総合事務所)		【活動スケジュール】
		6:55 ホテル出発
		9:00 河北総合支所着、本日の活動内容について打合せ(高島保健師)
		9:15 馬鞍地区訪問準備(世帯情報打ち出し・地図マーキング)
		11:30 中野地区 家庭訪問
		12:15 昼食
		13:15 馬鞍地区 家庭訪問
		15:45 河北総合支所にて記録、訪問一覧表作成
		16:10 JIMネット、PCAT、千葉保健師、西條保健師とのミーティング
		17:55 西條保健師に本日の活動について報告
		18:00 河北支所出発
		20:00 ホテル到着(予定)
1日目(5/19) 鳥取→ANA・JR→仙台		
2日目(5/20) 仙台→ホテル(塩釜市)		
3日目(5/21) ホテル(塩釜市)		
4日目(5/22)		

ホテル(塩釜市)  
5日目(5/23)  
ホテル(塩釜市)  
6日目(5/24)  
ホテル(仙台市)  
7日目(5/25)  
ホテル→【JR・ANA】→鳥取

5/20	<p>【本日の活動概要】 ○ 中野地区の家庭訪問 訪問世帯:4世帯 うち不在:4件、うち情報入手:1件(震災前から長男の所に転居) ・中野地区について第15班からの引継いだ4世帯を訪問。 ○ 馬鞍地区の訪問 訪問世帯:20世帯 うち不在:5世帯 対象者(話を聞き取った者) 成人 1名 高齢者 14名 ・本日から馬鞍地区の家庭訪問スタート。 ・馬鞍地区は、全体的に被害の少ない地区だった。 ・震災後、夜泣きがひどくなり、2時間くらい泣き続けたことがあるという幼児があり、少しずつ落ち着いてはきているものの、余震があると怖がって直ぐにしがみつくとのこと。 【その他】 ・本日は、気温も高く、半袖でも良いくらいだった。 ・今後、帽子を用意した方が良い。 【職員の体調】 ○ 保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
5/21	<p>5月21日(土) 天気:曇り時々雨 (活動2日目) 【活動スケジュール】 6:50 ホテル出発 9:00 河北総合支所着、本日の活動内容について打合せ(高島保健師) 9:20 馬鞍地区家庭訪問 12:00 昼食 13:00 馬鞍地区 家庭訪問 15:40 河北総合支所にて記録、訪問一覧表作成、高島保健師に本日の活動について報告(血貝地区世帯情報打ち出し:依藤運転手) 17:50 河北支所出発 19:50 ホテル到着(予定) 【本日の活動概要】 ○ 馬鞍地区の訪問 訪問世帯:37世帯 うち不在:7世帯 対象者(話を聞き取った者) 成人 10名 高齢者 20名 ・他地区から親戚が避難し、現在も一緒に生活している世帯が8世帯あった。 ・その中には、津波に流され、屋根に捕まっていた人に助けられた経験をしていて、精神的に不安定になっている中学生(兄弟)があった。(支所保健師に引き継ぐ) ・血圧治療中の方の中には、一時期高くなった方も何人かあったが、現在は安定してきている様子。 【その他】 ・雨に備え、昨日傘を購入。他の物品と一緒に引き継ぐ。 【職員の体調】 ○ 保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
5/22	<p>5月22日(日) 天気:曇り時々雨 (活動3日目) 【活動スケジュール】 7:20 ホテル出発 8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について打合せ(西條保健師) 9:00 引継ぎケース記録作成(昨日訪問分7件)(血貝地区世帯情報打ち出し:依藤運転手) 9:50 避難所での巡回健康相談(飯野川中学校体育館) 12:00 昼食 13:00 避難所での巡回健康相談(ピックバン) 15:40 河北総合支所にて記録、相談一覧表整理、西條保健師に本日の活動について報告(血貝地区世帯情報打ち出し:依藤運転手) 16:10 JIMネット、PCAT、千葉保健師、西條保健師とのミーティング 17:30 河北支所出発 19:30 ホテル到着(予定) 【本日の活動概要】 ○ 避難所巡回相談(AM:飯野川中学校 PM:ピックバン) 相談者:9人(成人 6名 高齢者 3名) ・避難所生活にも慣れてきたと話されるものの、夜がなかなか眠れないとのこと、医療チームから眠剤をもらっている人が多かった。併せて、高血圧があり一時的に高かった人、現在も依然として高い人もあり、医療チーム、看護師にも相談、計測してもらおう助言した。 ・血圧治療中の方の中には、一時期高くなった方も何人かあったが、現在は安定してきている様子。 ・今回の津波で妻や孫を亡くし、男性一人で避難所生活している同じような境遇の人が数人一緒に昼間から飲酒していた。若い子達が深夜まで騒いでいて眠れない等の訴えもあり。飲まないやっつけられないという気持ちも理解できるが、継続したフォローが必要。 【職員の体調】 ○ 保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
5/23	<p>5月23日(月) 天気:晴れ (活動4日目) 【活動スケジュール】 6:50 ホテル出発 8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について打合せ(高島保健師) 9:05 馬鞍地区家庭訪問(血貝地区世帯情報入力:依藤運転手) 12:15 河北総合支所着、高島保健師に本日の活動について報告 12:30 昼食 13:30 馬鞍地区 家庭訪問(血貝地区世帯情報入力、住宅地図マーキング:依藤運転手) 15:50 河北総合支所にて記録、訪問一覧表作成 16:05 JIMネット、PCAT、千葉保健師、西條保健師とのミーティング 17:55 河北支所出発 19:55 ホテル到着(予定) 【本日の活動概要】 ○ 馬鞍地区の訪問 訪問世帯:29世帯 うち不在:10世帯 対象者(話を聞き取った者) 成人 9名 高齢者 10名 ・子どもの頃から仲の良かった従兄弟や親戚の方が死亡・行方不明であるという高齢者があり、震災以後不眠、食欲不振が続いている。本日は地区の人に誘われ、初めてゲートボールを一緒に行ったが、楽しめなかったと。孫の話をすると笑顔が見られたり、好きな甘酒を作ったり、畑の様子を見に行ったりはできているが、経過観察が必要と思われる。 ・本日で、馬鞍地区の全世帯の一通りの訪問を終了。 【その他】 ・本日から、PCATの医師2人が交替。(杉山医師、信川医師 → 長尾医師、伊藤医師) 【職員の体調】 ○ 保健師2名、運転手、全員元気です。</p>

5/24	<p>5月24日(火) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について打合せ(西條保健師)、馬鞍地区前日訪問分健康相談表記録</p> <p>9:20 馬鞍地区家庭訪問(これまでの不在)、皿貝地区家庭訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 皿貝地区家庭訪問</p> <p>14:20 河北総合支所に戻り、記録記載及び訪問状況一覧表整理、引継書作成</p> <p>16:05 JIMネット、PCAT、西條保健師とのミーティング</p> <p>17:10 第17班と引継ぎ</p> <p>18:15 河北支所出発(予定)</p> <p>20:15 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○ 馬鞍地区の訪問</p> <p>訪問世帯:10世帯 うち不在:7世帯</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人 2名 高齢者 1名</p> <p>○ 皿貝地区の訪問</p> <p>訪問世帯: 9世帯 うち不在:1世帯</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人 5名 高齢者 3名</p> <p>・本日から、皿貝地区の家庭訪問開始。</p> <p>・これまで受診していた医療機関が診療できなくなったため、妊娠後期になってから他の医療機関に変わり、まもなく出産を迎えるという妊婦さんがあり、一時心配された様子。</p> <p>・インシュリン治療を継続中の方で、震災の前日に受診し、1か月分のインシュリンをもらって帰っていたものの、冷蔵庫保存しないといけなののが停電してしまって心配だったと。もし、暑い時期だったらどうなったのだろうと心配そうに話された。</p> <p>【その他】</p> <p>・モバイルパソコンNo11が不調のため、第16班が持ち帰る。代わりに第17班がNo12を持ってきた。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○ 保健師2名、運転手2名、全員元気です。</p>
5/25	<p>【今後考えられること、活動方針】</p> <p>・被災の少なかった地区の訪問を中心に行った。中野地区:不在世帯、馬鞍地区:全家庭訪問済(不在者 15…特に問題がありそうな世帯なし)、皿貝地区:5/23から開始</p> <p>・新しい地区の訪問前には、支所保健師から事前情報を得るとともに、区長、民生委員、健康推進員宅を始めに訪問し、挨拶及び情報があれば得ておく。</p> <p>・被災地からの避難者がいる世帯があるため、氏名、住所、健康状態の把握が必要。</p> <p>・各班活動中1日は避難所の巡回訪問を継続し、要注意者の状況把握を行うとともに、避難者マップの更新も行う必要がある。</p>

**17班**

<p>竹中啓子 (倉吉市役所)</p> <p>山根仁子 (県子育て支援総室)</p> <p>浅田 巧 (県東部総合事務所)</p> <p>1日目(5/24) 鳥取→【ANA・JR】→塩釜</p> <p>2日目(5/25) ホテル(塩釜市)</p> <p>3日目(5/26) ホテル(塩釜市)</p> <p>4日目(5/27) ホテル(塩釜市)</p> <p>5日目(5/28) ホテル(塩釜市)</p> <p>6日目(5/29) ホテル(仙台市)</p> <p>7日目(5/30) ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	5/24	<p>5月25日(水) 天気:晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:00 皿貝地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 皿貝地区の家庭訪問を再開</p> <p>15:00 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 JIMネット、PCAT、千葉保健師とのミーティング</p> <p>17:10 高島保健師に本日の活動について報告</p> <p>17:30 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○ 中野地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 10 世帯 うち不在 2件</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人 2名 高齢者 8名</p> <p>・現在の訪問地区は、代々農業を営んでおられる住民の方が多く、何世代同居で大家族が多い地区である。</p> <p>・地震や津波の被害は比較的少ない地区ではあるが、避難者の方が親族に身を寄せておられ遠慮しながら生活されていたり、親戚・友人・知人の死を経験されている方があった。</p> <p>・被害の多い地区に比べたら自分達は恵まれているから少々の我慢は仕方ない等話される方もあった。</p> <p>・避難者の方は、以前住んでいた町からの情報が入らないため、衣類・お金もなく困っている等訴えられたため、西條保健師へ相談。生活支援情報等再度訪問し伝えることとした。</p> <p>【その他】</p> <p>・本日は道路の渋滞の関係で、塩釜のホテルから支所まで約2時間程度で到着した。</p> <p>・天気は日中暑い位の気候で、日差しが強く、日焼け対策や水分補給が必要。朝・晩は冷え込むため、衣類の調節が必要と思う。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○ 保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	5/26	<p>5月26日(木) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:45 ホテル出発</p> <p>8:40 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師)</p> <p>9:15 皿貝地区民生委員、区長宅を高島保健師とともに訪問、あいさつ。皿貝地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 皿貝地区の家庭訪問を再開</p> <p>15:40 河北総合支所にて記録作成</p> <p>17:00 高島保健師に本日の活動について報告</p> <p>18:00 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○ 皿貝地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 32 世帯 うち不在 7 件</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人 10名 高齢者 24名 幼児 2名</p> <p>・震災後親類・友人が避難されてきて、食事の世話等気を遣い大変だったことを話される家が多かった。現在は市内のアパートや仮設住宅に移られ、元の生活リズムに戻りつつある状況を確認した。中には一端親類の家に避難しながらも、再度避難所へ移られ生活された方もおられ、避難された方も避難を受けられる方も気遣いが大変な様子であった。</p> <p>・震災直後から町内の医療機関は往診や薬の配達、送迎バス等実施されたため、治療中断することなく、本日訪問した方々は病状は安定していた。</p> <p>・津波の影響で田んぼが浸かっている地区の代わりに、減反していた田んぼの田植が必要であり、再度準備をされており、例年に比べ倍の忙しさがあるとのことだった。</p> <p>・アルコール臭がする方、精神疾患があり出てこない方等あり→高島保健師へフォローを依頼</p> <p>【その他】</p> <p>・天気は良く、農作業に出かけられている人も多くいた。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○ 保健師2名、運転手、全員元気です。</p>

5/27	<p>5月27日(金) 天気:晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:45 ホテル出発</p> <p>8:40 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師)</p> <p>9:00 皿貝地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 皿貝地区の家庭訪問を再開</p> <p>15:00 河北総合支所にて記録作成</p> <p>17:00 高島保健師に本日の活動について報告</p> <p>17:30 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○ 皿貝地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 28世帯 うち不在 11件</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人 11名 高齢者 6名 幼児 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業が忙しく不在の家が多かった。</li> <li>・訪問した家庭の中には、家族を亡くされこれから葬儀予定の方や、親類、友人等亡くされた方が多かった。</li> <li>・反面被害がなかった方は、ボランティア活動や地区で被害のあった家庭を支援したり、避難所での炊き出し等地域のために献身的に活動されている方もあり、日頃から地域で支える仕組みが出来ている地区であった。このたびも区長さんの声かけでボランティアの方が集まり、世代を超え若い人から高齢者の集まりが出来、継続した活動を地区の中で行われている。気を張ってボランティア活動をされている方もあり、疲れを一切訴えられなかった。</li> <li>・被害の多い地区が近いので、仕事を失った方も有り、今後の生活の不安を話される方もあった</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気は良く、農作業に出かけられている人も多くいた。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○ 保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
5/28	<p>5月28日(土) 天気:雨 (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:15 ホテル出発</p> <p>8:40 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師)</p> <p>9:00 皿貝地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 皿貝地区の家庭訪問を再開</p> <p>15:30 飯野川第一小学校避難所訪問</p> <p>16:30 高島保健師に本日の活動について報告</p> <p>17:15 河北総合支所出発</p> <p>19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○ 皿貝地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 19世帯 うち不在 7件</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人 12名 高齢者 11名 幼児 0名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家に避難者(3世帯)家族が避難されており、被災と慣れない土地での避難生活で体調不良を訴えられる方もあり受診勧奨を行った。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家等に避難されている方が数件あった。空家を仮設住宅として活用されていたり、友人に貸したりされており、地図と名簿にはない家族等があった。今後は地図や名簿にのってなくても、生活されている様子があれば声かけ訪問が必要と思われる。</li> <li>・毎日16時から実施されているJIMネット、PCAT、支所保健師とのミーティングについて、高島保健師より、活動地区が違う事や医療につなげるケースがない場合もあるため、必要時の参加で良いとの事。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○ 保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
5/29	<p>5月29日(日) 天気:雨 (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:15 ホテル出発</p> <p>8:35 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(千葉保健師)</p> <p>9:00 皿貝地区の家庭を訪問(震災後の健康状態の確認、生活の不都合な事がないか確認)</p> <p>11:00 ビッグバン訪問</p> <p>12:20 昼食</p> <p>13:00 皿貝地区の家庭訪問を再開</p> <p>14:00 支所にて記録、訪問記録一覧表作成</p> <p>17:00 千葉保健師に本日の活動について報告</p> <p>17:10 第18班との引継ぎ</p> <p>18:00 河北支所出発</p> <p>20:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○ 皿貝地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 24世帯 うち不在 10件</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人 11名 高齢者 4名 幼児 名 学童 2名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皿貝地区訪問本日で終了。不在世帯も多かった。葬儀が何件もあり喪服姿の方が多かった。</li> <li>・他地区から親戚宅に避難されてきた高齢女性は、近所に知り合いもなく、日中話し相手もなく気分が沈む。津波のショックで体重が8キロ減少したと涙ながらに話された。→支所保健師へ相談し経過を見ていただく事とした</li> </ul> <p>○ ビッグバン訪問</p> <p>健康相談3名(成人)→高血圧にて血圧測定希望</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月11日で震災から3か月で行方不明者は死亡とされるとの事で合同慰霊祭等行われる予定であり、3か月が1つの節目になるとの事</li> <li>・今週より愛媛県医療チームが週1回(日曜日)午前10時から12時まで診療予定。ビッグバン以外でも避難者の方なら利用可能</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○ 保健師2名、運転手、18班チーム全員元気です。</p>
5/30	<p>【今後考えられること、活動方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皿貝地区の訪問はほぼ終了。被災の少ない地区ではあるがゆえ、避難者が身を寄せられていたり、空家を借りて複数世帯で生活されていた。災害支援情報が入らなかつたり、支援物資も貰えてない方もあった。地図や名簿にない家でも避難生活をされている場合があり、確認や声かけをしていく必要がある。</li> <li>・避難所巡回訪問の継続/ビッグバン→愛媛県医療チームが週1回(日曜日)、心のケアチーム月2回巡回予定、必要時は医療機関受診勧奨をされている。</li> <li>・様々なチームが巡回相談を実施されており、重複しないために事前に支所保健師に確認してから巡回相談を行う事が必要(避難所を転々としている人や出入りが複数回の人等様々な方がおられるため、事前の情報収集して対象を絞って入った方が良いと思われる)</li> <li>・毎日16時から行われる医療チームとのミーティングは必要時参加する(医療チームや心のケアチームにつなぐ必要がある場合等のケースがある時)</li> <li>・支所保健師が地区把握が十分出来ているため、新しい地区に入る前に地区の特徴等事前に情報収集して入ると活動しやすい。</li> <li>・次回訪問地区は「中島地区」予定。こちらも被災の少ない地区であるが、避難家族が生活されている可能性があるため、皿貝地区の不在家庭の中で支所保健師さんが気になる家庭のみ訪問し、中島地区での訪問を早めに開始し、避難者等の健康・生活相談にあたる必要があると思われる。</li> <li>・避難所のマップの更新については、今回出来なかった。</li> <li>・支所スタッフも疲労が濃かったり、被災されているため早く帰宅できる方向に。17:30までには支所を出発出来る様に午後の訪問調整等を行う必要がある。(鳥取県のチームが帰るまで残っておられ帰れないため)引き継ぎも早く終わらせること。最終日は記録や引き継ぎ準備を行い、簡潔に引き継ぎができるように活動計画をたてる必要がある。</li> </ul>

18班	
植木芳美 (県西部総合事務所) 山根葉子 (若桜町役場) 中島 寿一 (県八頭総合事務所)  1日目 (5/29) 鳥取—【ANA・JR】→塩釜 2日目 (5/30) ホテル(塩釜市) 3日目 (5/31) ホテル(塩釜市) 4日目 (6/1) ホテル(塩釜市) 5日目 (6/2) ホテル(塩釜市) 6日目 (6/3) ホテル(仙台市) 7日目 (6/4) ホテル—【JR・ANA】→鳥取	5/29 5/30 5月30日(月) 天気:暴風雨 大雨・暴風・洪水・波浪警報発令中 (活動1日目) <b>【活動スケジュール】</b> 6:50 ホテル出発。 9:00 河北総合支所着。西條保健師に第18班の活動計画を報告。石巻市役所健康推進課伊藤保健師に電話にて挨拶並びに活動計画を報告。中島上区・下区行政委員、民生委員へ電話連絡。(民生委員は不在。) 9:30 避難所(飯野川中学校)で、おう吐した者があるとの支援要請が入り、西條保健師とともに避難所対応。成田医院へ搬送。 11:15 民生委員宅へ家庭訪問。要支援者や他地区からの避難者の居住状況等を把握。 12:30 昼食 13:30 中島上区行政委員宅へ家庭訪問。要支援者や他地区からの避難者の居住状況等を把握。 14:45 河北総合支所にて記録作成。(関係機関ミーティングについては本日中止。) 17:00 千葉保健師に本日の活動について報告。 17:15 河北総合支所出発(予定)。 19:30 ホテル到着(予定)。 <b>【本日の活動概要】</b> ○避難所体調不良者への対応。 ・飯野川中学校で「おう吐」をした者があり、保健師の支援要請があった。 ・健康状態の観察、母親からの健康状況・生活状況等聞き取り、おう吐物の処理・消毒の実施。往診を依頼するも実施できないとのことで、支所のワンボックスカーで搬送。(毛布担架) ・精神科受診を勧めているケースもあり、今後の支援のあり方について医療チームと協議予定。 ○地区の概況把握 ・民生委員及び上区行政委員(区長)に面接、下区行政委員へ電話連絡(妻)により、要支援者や他地区からの避難者の状況を把握した。 ・地震や津波の被害は比較的少ない地区(ブロック塀や屋根瓦が壊れた程度)ではあるが、沿岸部に仕事に出ていた者や病院に入院していた者で津波により亡くなった方があり、仮埋葬していた者の葬儀が次々に行われているとのことだった。 ・避難者の方が親族に身を寄せておられる世帯も減ってきてはいるが数世帯ある。そのうち、介護サービスの必要な者については、ケアマネジャーの訪問が予定されていた。 ・田植えはほぼ終わり、今後は味噌や納豆用の大豆(減反による転作)づくりが始まる予定。  <b>【その他】</b> ・早朝からの暴風雨で塩釜のホテルから支所まで約2時間程度で到着。 ・高齢者の足である住民バスの運行が、6月1日から再開される予定。(週2日運行) <b>【職員の体調】</b> ○保健師2名、運転手、全員元気です。
	5/31 5月31日(火) 天気:くもりのち晴れ (活動2日目) <b>【活動スケジュール】</b> 6:50 ホテル出発 8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(西條・高島保健師) 9:10 避難所(飯野川中学校)訪問。昨日の搬送患者の健康観察及び入所者の健康状況把握 10:30 中島地区の家庭訪問。 11:45 昼食 12:45 被災地視察 13:30 中島地区の家庭訪問を再開 15:40 河北総合支所にて記録作成 16:00 JIMネット、PCAT、西條保健師とのミーティング(要フォロー者の支援方針検討) 17:15 河北総合支所にて記録作成・西條保健師に訪問結果報告 18:30 河北総合支所出発(予定) 20:30 ホテル到着(予定) <b>【本日の活動概要】</b> ○避難所(飯野川中学校)訪問。 ・昨日、成田医院に「おう吐」にて搬送(成田医院から石巻赤十字病院に緊急搬送)した者の健康観察及び入所者の健康状況の確認を行った。(新たなおう吐・下痢症状の有症状者なし。) ○中島地区の家庭訪問 訪問世帯 5世帯のうち不在1件 対象者(話を聞き取った者) 成人3名 高齢者4名(うち独居1名) ・昨日民生委員や行政委員から把握した要支援家庭(及びその近隣)を優先訪問とした。 ・震災前に介護保険認定申請をし、震災後認定調査を受けたが、介護認定審査会が機能しておらず(システムが壊れ手作業となっている。)サービスが開始されていなかった。→介護保険担当につなげ、暫定的にサービス提供を開始してもらおう検討予定。 ・避難所は、避難生活が長期に及んできたため、人間関係のトラブルや精神的負担が増し、苦情を受け止める者の疲労も蓄積してきている。→トラブルの原因となっている者を退所させてほしいという要望が高まってきている。→ストレス解消に屋間から飲酒をする者もある様子。 ・独居高齢者も、近隣や親戚のつながりがある。また、緊急通報システムによる安否確認が毎日されており安心感があるようだった。(震災後、親戚に身を寄せていた高齢者も住み慣れた家がいと戻ってきている者があった。)  <b>【その他】</b> ・天気は良かったが、風が強く肌寒い1日だった。 ・避難所(感染症)サーベランスシステムが5月14日から開始され週1回の報告がされているとのこと。 <b>【職員の体調】</b> ○保健師2名、運転手、全員元気です。

6/1	<p>6月1日(水) 天気:くもり (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着、昨日の要フォロー者について千葉保健師に訪問状況報告、本日の活動内容について報告(高島保健師)</p> <p>9:30 中島地区の家庭訪問</p> <p>11:45 昼食</p> <p>12:45 中島地区の家庭訪問再開</p> <p>15:15 河北総合支所にて記録作成、避難所(飯野川中学校)入所者の健康状態確認</p> <p>16:00 JIMネット、PCAT、西條保健師、千葉保健師とのミーティング</p> <p>17:15 西條保健師に訪問結果報告</p> <p>17:30 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:15 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○昨日の要フォロー者について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険認定調査終了後、介護認定審査会が開催されず中断している者(訪問入浴を希望)の訪問状況を報告。できるだけ早期に暫定的にサービス開始できるよう調整を依頼した。→地域包括支援センターと当該サービスの提供について調整し、公的サービス提供が困難であれば、ボランティア団体に入浴サービスを依頼することを確認した。</li> </ul> <p>○中島地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 18世帯 うち不在3件</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人6名 高齢者17名(うち要フォロー者1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者も畑仕事をするなど、自立した生活を送っている者が多い。</li> <li>・夏に向けて、「セリ」の準備をしている世帯が多かった。</li> <li>・住民バスの運行が再開し、中島地区は火・木曜日に運行されることから、楽しみにしている様子が伺えた。(友人を誘い合って出かけるとのこと)</li> </ul> <p>○直接的な被害は少ないものの、被災者をしばらくの間受け入れていた世帯が数世帯あった。</p> <p>6/1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工透析を受けていた者は、通院していた医療機関が被災し、2週間程度は遠く仙台市まで通院しており本人・家族とも負担が大きかったと報告があった。</li> <li>・在宅介護を受けている者の訪問看護が休止状態の者があり、訪問時、食欲不振等一般状態の悪化があったため、ミーティングにて支援方針を検討した。取り急ぎPCATが訪問し、主治医へ報告することとなった。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災後、初めての介護認定審査会が開催された様子。(要介護度4・5を優先審査。)3月から認定待ちの者も認定結果が出るのは7月から8月になる場合もあるとのこと。</li> <li>・乳幼児健診が6月から再開される予定で準備が進められている。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/2	<p>6月2日(木) 天気:くもり (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師)、本日訪問予定の精神科疾患ケース(生活保護)について高島保健師から引き継ぎ</p> <p>9:30 中島地区の家庭訪問</p> <p>11:15 被災地(雄勝地区)視察</p> <p>12:45 昼食</p> <p>13:30 中島地区の家庭訪問再開</p> <p>15:15 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 JIMネット、PCAT、千葉保健師とのミーティング(依頼したケースの状況把握)</p> <p>17:00 西條保健師・高島保健師に訪問結果報告</p> <p>17:15 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○中島地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 14世帯 うち不在5件</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人7名(うち要フォロー者1名) 高齢者7名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科疾患(うつ病)にて継続支援しているケースを訪問。震災後、余震に対する不安が強く不眠傾向が続いているが、不安な気持ちを誰にも言えずイライラしている。病院も、エレベーターに閉じ込められるかと思うと行けない等ストレス状態が続いている。→高島保健師が継続訪問予定。</li> <li>・ねたきり状態で要介護状態であった者は、4月末から震災前からの介護サービス(デイサービス)が受けられるようになった。今後も、いつ停電があるか心配で、電動ベッドより手動の方が安心。停電によりエアマットが使用できず、介護サービス休止期間が続く、一時は褥瘡が数か所できてしまったとのこと。紙オムツがしばらく供給されなかったことや、仕事も休止するなど家族の苦勞、生活に影響が大きいことが伺えた。</li> <li>・中島地区も本日から住民バスの運行が再開し、早速、高齢者は道の駅の温泉(ふたごの湯)等に出かけていた。</li> <li>・病院入院中、津波被害で亡くなり仮埋葬していた父親の葬儀が先日終わり、「これでようやく一区切り」とのことばが聞かれた。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第19班以降の鳥取県保健師支援について、支所保健師の要望を確認した。全戸訪問(地区選定の優先順位)及び乳幼児健診の運営(問診)を担当してほしいとのこと。</li> <li>・各種がん健診、特定健診等の他事業の開始は、秋以降になる見込み。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>

6/3	<p>6月3日(金) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:30 中島地区の家庭訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 中島地区の家庭訪問再開</p> <p>14:00 避難所(ビッグバン)施設見学・避難所(飯野川中学校)巡回相談</p> <p>15:00 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 第19班への引継書作成・西條保健師訪問結果報告</p> <p>17:45 第19班への引継ぎ</p> <p>18:30 河北総合支所出発(予定)</p> <p>20:15 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○中島地区の家庭訪問</p> <p>訪問世帯 14世帯 うち不在2件</p> <p>対象者(話を聞き取った者) 成人8名 高齢者12名(うち要フォロー者2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災後、閉じこもり傾向が続く、同居家族はあるが、介護予防の働きかけが必要な高齢男性訪問。</li> <li>・家族が入院中(心臓疾患など)で、退院又は転院に向けての調整が始まろうとしているケースについては、早期の介護認定申請を勧めた。</li> </ul> <p>→支所保健師フォロー予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災後、津波で家を失い、中島地区の実家に身を寄せている世帯もあり。いずれも仮設住宅への入居が決まり、安堵している様子が伺えた。</li> <li>・2か月半以上に及ぶ同居生活の中で、気苦労や生活習慣の違いから生活のしづらさ等精神的負担が大きいとの訴えがあった。(親族でも、つらさを理解してもらえないことへの腹立たしさから口論に発展したこともある。)また、避難所で生活している者に比べ支援物資が届かず、不公平感が強かった。</li> <li>・民生委員に、本人・家族の同意を得た要フォロー者の訪問状況を報告した。</li> </ul> <p>○避難所訪問(ビッグバン・飯野川中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第17班から継続相談を引き継いだ者は、不在で面接できず。→第19班へ引き継ぐ予定。</li> <li>・飯野川中学校:健康相談 成人3名</li> <li>・津波から必死で逃れてきた様子や孫(大川小学校)や娘を亡くしたこと、あれから時間がストップしているが、生かされた命を大事にしなければと最後は気丈に話された。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取に帰ったら、地震や津波の怖さ、防災訓練の必要性などは非伝えてほしいとのことだった。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/4	<p>【今後考えられること、活動方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中島地区を全戸訪問中。初日に、民生委員及び行政委員(区長)に面接し、地区の概況や気になるケースを把握した。要支援家庭については、訪問済み。</li> </ul> <p>→全戸訪問ではあるが、今後も優先順位を定め適切な支援を行うためには、支所保健師及び上記地区役員から情報を得た上で訪問した方がよいと思われる。</p> <p>→要フォロー者は、医療チームとのカンファレンスに提出し、支援方針を協議。支援がつながり、それぞれの役割分担が整理されてきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接的な被害は、家屋の一部(屋根・塀)が壊れた程度であるが、沿岸部の職場や入院中の家族を津波被害で亡くしたり、一度に十数人の親族を亡くされた者もあった。</li> <li>・介護保険申請をした者も、認定調査後の審査会開催の休止状態が続く、介護認定、サービス開始が遅れている。→介護度の悪化や家族の介護負担が大きくなる可能性がある。暫定的な公的サービスの提供が困難であれば、当面、ボランティアによるサービス提供が必要となるかもしれない。</li> </ul>

	<p>6/4 ・避難所生活も2か月半経過し、対人関係のトラブルが生じている。また、衛生状態も悪化し、避難所によっては『ダニ』の発生が報告されている。今後、湿度や気温の上昇とともに、食中毒や感染症の集団発生に留意する必要がある。          ・次回訪問地区は、支所保健師との協議の結果、「元相野谷地区」に決定。今月から乳幼児健診(相談)が開始となる。→鳥取県保健師に健診・相談運営(問診や計測)に協力してほしいとのこと。          ※事前学習のため、健康診査票1式を植木が受理。医療政策課をとおして派遣保健師に送付予定。</p>
<b>19班</b>	
佐野佳代子 (日吉津村役場) 吉川朋子 (北栄町役場) 安田 実 (県日野総合事務所)  1日目 (6/3) 鳥取→【ANA・JR】→塩釜 2日目 (6/4) ホテル(塩釜市) 3日目 (6/5) ホテル(塩釜市) 4日目 (6/6) ホテル(塩釜市) 5日目 (6/7) ホテル(塩釜市) 6日目 (6/8) ホテル(仙台市) 7日目 (6/9) ホテル→【JR・ANA】→鳥取	<p>6/3</p> <p>6/4 6月4日(土) 天気:晴れ (活動1日目)          【活動スケジュール】          6:50 ホテル出発          8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師)          9:30 民生委員さん宅訪問          9:40 中島地区の家庭訪問          12:00 昼食          13:00 中島地区の家庭訪問再開          15:20 河北総合支所にて記録作成          16:30 高島保健師訪問結果報告          17:15 河北総合支所出発(予定)          19:15 ホテル到着(予定)          【本日の活動概要】          ○中島地区の家庭訪問          訪問世帯14世帯、うち不在5件          会えた方 高齢者6人 成人4人 独居(高齢者)1人 児童(中2)          ・高島保健師より 感染症(破傷風・レジオネラ)予防接種再開(ポリオ)被災地の赤ちゃんのケア・オムツ生理用品配布について)のチラシを民生委員さんへ預けて欲しいとのことと最初に訪問し説明することづける。          ・夜間眠れなかったり、余震の影響でめまいが続くというかたがおられた。→かかりつけ医がいる。          ・中島地区は被害が少なかったため、救援物資や支援もあまりなく県外(鳥取)から訪問に来たのがはじめてだと話されていた。          ・震災前から介護保険の認定は受けているが(認知症)だんだん進行してきたようなので、サービスを使おうかと思つているとのこと。(本人だと思われる高齢者が屋間川の近くで草をむしっていた。話けると鳥のえさをとっているとのことだった。)          【その他】          ・7月からポリオ予防接種再開          【職員の体調】          ○未明にけっこうな余震がありました保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	<p>6/5 6月5日(日) 天気:晴れ (活動2日目)          【活動スケジュール】          7:00 ホテル出発          8:40 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師)          9:10 中島地区の家庭訪問          12:00 昼食          13:00 避難所見学(飯野川小学校:『みやぎジョネット』DV相談)          13:30 避難所健康相談(ビッグバン)鳥取県チーム継続支援ケース支援          15:40 河北総合支所にて記録作成          16:40 高島保健師訪問結果報告          17:15 河北総合支所出発(予定)          19:15 ホテル到着(予定)          【本日の活動概要】          ○中島地区(上区)の家庭訪問          訪問世帯13世帯、うち不在 3件          会えた方 高齢者 2人(内1名 独居) 成人 8人          ・下区行政委員(区長)に面接に行くが不在にて、家族に下区内を家庭訪問すること説明し伝言頼む。          ・今日の訪問では、震災後の体調不良を訴える方少なく、元の生活に戻りつつあるように感じたが、訪問した世帯の家族が震災後職場が流れ、解雇になったという話を2件聞き、これからの生活の変化に言葉には出されないが、不安を感じておられるようだった。          ・高齢独居男性、困っていることはないと話されるが、不全片麻痺等にて、転倒リスクが気になり、介護予防につなげる必要性あり。自宅玄関前の犬ばしりも地震の前からありそうな破損があり、移動がしにくい状況など、今後日常生活にて問題が出てくる可能性が高いと高島保健師に情報提供。          ・避難所健康相談(ビッグバン)鳥取県チーム継続支援1ケース。昨日より発熱あったが、駐在看護師よりクーリング受け訪問時解熱していた。血圧も昨日は高かったため、駐在医師より診察うけ降圧薬処方受け内服スタート。今日はお酒飲んでいないとのこと。CLC(コミュニティライフセンター)のスタッフも気にかけて声をかけている状況であり、鳥取県チームの継続訪問を依頼される。          【職員の体調】          ○天候も良く保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	<p>6/6 6月6日(月) 天気:晴れ (活動3日目)          【活動スケジュール】          6:50 ホテル出発          8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(西條保健師)          9:10 中島地区の家庭訪問          11:40 被災地(雄勝地区)視察          12:45 昼食          13:30 中島地区の家庭訪問再開          15:00 河北総合支所にて記録作成          16:00 JIMネット、PCAT、千葉保健師とのミーティング(ケースなしだが挨拶のため参加)          16:30 西條保健師訪問結果報告(予定)          17:15 河北総合支所出発(予定)          19:00 ホテル到着(予定)          【本日の活動概要】          ○中島地区の家庭訪問          訪問世帯19世帯、うち不在 1件          会えた方 高齢者 12人(内 独居 3人) 成人 6人          ・土・日曜日に不在で会えなかった家庭を訪問すると、ほとんどの方に見える。平日の方が見える可能性が高かった。          ・家庭訪問中、昨日家庭訪問にて、近所同士集まって茶話会中の方に会うと、気さくに声をかけてきて下さる。→家庭状況について隠される方少ない。          ・独居の高齢者が数名おられたが、子どもが仙台など、連絡が取り合っている家庭がほとんどだった。→支援者が全く無い家庭はゼロ。          ・孫の子守と高齢の親の介護をされている女性。今になってやっと気持ちが落ち着いたとの訴えあり。(親族・親しい医療機関のスタッフに、津波で数名死亡者あり。自分も、受診の時間によっては津浪に巻き込まれていた可能性あったと不安だった頃の気持ちの表出あり。)          ・高齢者女性は、下肢(膝)痛あるため、杖の使用者が多いように感じたが、皆さん閉じこもることなく生活している。          【職員の体調】          ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	<p>6/7 6月7日(火) 天気:晴れ (活動4日目)          【活動スケジュール】          7:00 ホテル出発          8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(西條保健師)          9:00 中島地区の家庭訪問          12:00 昼食</p>

6/7	<p>13:00 中島地区の家庭訪問再開  15:40 河北総合支所にて記録作成 西條保健師・高島保健師報告  16:30 記録  17:15 河北総合支所出発(予定)  19:00 ホテル到着(予定)【本日の活動概要】  ○ 中島地区の家庭訪問  訪問世帯24世帯、うち不在4件  会えた方 高齢者9人(内 独居1人) 成人11人 児童(小学5年)  ・親戚を頼って避難している家族、妻の職場が流され現在休職中。子どもは保育所に入って落ち着いている。仕事に対する不安あり涙ぐまれる。  ・独居高齢者(聴覚が不自由)の方、筆談で訪問。震災直後は近所の親戚に避難していた。仙台にいる子どもが定期的に行き支援している。  ・この地区は1件の土地が広くどの家庭も家庭菜園をしている。またゲートボール場もありそれらが生活の中に入り自然に介護予防につながっているのではないかと(茶飲み友達も多い)  ・90代高齢者、介護保険申請すれば要支援になりそうだが、本人拒否、家族も心配している。特定高齢者のような感じで介護予防教室に呼んだ方がいいのでは? 高島保健師に報告相談。→特定高齢者の位置づけで介入  【その他】  ・孤立した地区に対してJIMネットがバスをだし1週間に1回ふたごの湯(道の駅)に入浴サービス提供:無料  ・避難家族震災直後は中嶋地区にあったが今はほとんどおらず。</p> <p>【職員の体調】  ○ 保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/8	<p>6月8日(水) 天気:晴れ(活動5日目)  【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(西條保健師)  9:20 被災地(雄勝地区 雄勝町)視察  11:00 中島地区の家庭訪問  12:00 昼食  13:00 中島地区の家庭訪問再開  14:20 関根民生委員へ情報提供あったケースの訪問状況報告  15:20 河北総合支所にて記録作成 西條保健師・高島保健師報告  15:30 記録  17:15 河北総合支所出発(予定)  19:30 仙台のホテル到着(予定)  【本日の活動概要】  ○ 中島地区の家庭訪問  訪問世帯11世帯、うち不在2件  会えた方 高齢者8人(内 独居1人)、成人4人  ・70代・80代の高齢者が留守番をしている3世代同居が目立った。下肢の痛みを訴える人もいるが、杖使用にて日常生活に支障ないケースばかりだった。  ・1世帯ごとの敷地が広く、庭で草花を育てている家庭が多かった。また、経済的に困窮している様子は見受けられなかった。  ・民生委員に、要フォロー者の訪問状況を報告し、7世帯訪問済み残しを20班に引き継ぐこと説明する。  ○ 被災地(雄勝地区 雄勝町)視察  ・北上川の downstream、大川小学校付近を右折して雄勝町を視察した。湾の周辺には、小学校・中学校、公立病院など主要な建物が建ち並んでいたが、3階建ての鉄筋コンクリートは、ことごとく窓が割れ全てのものが流され廃墟となっていた。復興の際には、津浪で被害を受けた場所を避けると、湾のすぐ後ろに山がせまっているため、町の再建をするにあたって場所の確保が課題になるのではないかと。  【その他】  ・事務整理について/記録様式等が3月より1冊のファイル【鳥取県チーム保健活動報告】に綴ってあったが、一杯になったためファイルを購入し3・4月分を分けた。記録物がファイルに綴ってはいるが、見出しが無く欲しい情報が探しにくいいためインデックスを貼る作業を →第20班へ引き継ぐ。  ・18班にて訪問時介護サービス必要なケースに申請をすすめてあったが、今週家族が窓口申請に来られた。  【職員の体調】  ○ 保健師2名、運転手、全員元気です。(19班)</p>
6/9	<p>【今後考えられること、活動方針】  ・中島地区を全戸訪問中。初日に、民生委員及び行政委員(区長)に電話し、18班より引き継いだこと挨拶。18班よりの引き継ぎ事項継続。→全戸訪問ではあるが、今後も優先順位を定め適切な支援を行うためには、支所保健師及び上記地区役員から情報を得た上で訪問した方がよいと思われる。  →要フォロー者は、医療チームとのカンファレンスに提出し、支援方針を協議。支援につながり、それぞれの役割分担が整理されてきている。  ・地域のローラー訪問では、高齢者の不活発病の確認や運動機能の確認に重点を置き聞き取りをおこない気になるケースは保健師に引き継いだり、地域の特色としては、高齢者も役割があったり、高齢者同士の繋がりも深く自主的な介護予防ができていたが、家庭によって、介護度の悪化や家族の介護負担が大きくなる可能性がある場合は、介護保険の申請を勧めたいと欲しと支所介護担当保健師より要望あり。  ・避難所での(健康相談)活動場面が少なくなっているが、避難所(ビッグバン)にて鳥取県チームを待っている継続ケースがあり。他のボランティアチームの関わりがあるが、継続的に関わって欲しい要請あり。→要フォロー者ではないが、意欲の維持向上のため受ける。  ・また、今後の湿度や気温の上昇とともに、食中毒の集団発生に留意する必要がある。  ・次回訪問地区は、18班と支所保健師との協議の結果、「元相野谷地区」に決定。今月22班から乳幼児健診(相談)が開始となる。→鳥取県保健師に健診・相談運営(問診や計測)に協力してほしいとのこと。  ※事前学習のため、健康診査票1式を植木が受理。医療政策課をとおして派遣保健師に送付予定。</p>

<b>20班</b>	
<p>岩佐詩織  (日南町役場)  坂本裕子  (県中部総合事務所)  笹谷芳美  (県西部総合事務所)</p> <p>1日目(6/8)  鳥取→【ANA・JR】→塩釜  2日目(6/9)  ホテル(塩釜市)  3日目(6/10)  ホテル(塩釜市)  4日目(6/11)  ホテル(塩釜市)  5日目(6/12)  ホテル(塩釜市)  6日目(6/13)  ホテル(仙台市)  7日目(6/14)  ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>6/8</p> <p>6/9</p> <p>6月9日(木) 天気:晴れ(活動1日目)  【活動スケジュール】  6:50 ホテル出発  8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(西條保健師)  9:10 被災地(大川小学校周辺)視察  10:10 中島地区の家庭訪問  12:00 昼食  13:00 元相野谷地区の家庭訪問、行政区長さん、民生委員さん宅訪問(いずれも不在のため妻に挨拶)、行政配布物を配布中の地区の当番さんに地区の様子を聞く  15:00 河北総合支所にて記録作成  16:00 訪問結果について報告(西條保健師)  16:05 JIMネット、PCAT、支所保健師とのミーティング(ケースなしだが挨拶のため参加)  17:30 河北総合支所出発  19:30 ホテル到着  【本日の活動概要】  ○ 中島地区、元相野谷地区の家庭訪問  訪問世帯18世帯 うち不在2件  会えた方 高齢者16人 成人3人 独居(高齢者)1人  ・高齢女性。震災後に脳梗塞疑いで赤十字病院に10日間入院、退院後はかかりつけ医でフォロー中。いつもは秋しか起こさなかった喘息発作を春先に起こし、現在、痰が切れにくいことも心配。→主治医に相談を。</p>

6/9	<p>・家族を津波で亡くした高齢女性。昨日火葬した。葬式のあと、津波の被害が大きかった海側の故郷を震災後初めて訪れた。とても悲しくつらかった。疲れたので午前中は寝ていた。</p> <p>・子供たちが震災後、テレビの地震速報の音に敏感に反応していた。</p> <p>・震災で住まいを失った親戚が身を寄せている世帯が3世帯あった。その他、震災直後や入浴時のみ親戚が訪れる世帯も複数あった。力にはなりたいたが、普段と違う生活に疲れを感じることもある。</p> <p>・津波の直接的な被害を受けなかった地区であるため、「地震後の片付けで膝が痛くなったが、もっとひどい人で病院もいっばいだろうから」「多少ひびがいったところがあるがこれぐらいなら不自由はないから」と我慢されている様子がうかがえた。</p> <p>・本日訪問した世帯は概ね受け入れが良かった。近所の方の様子を気にかけておられる方も多かった。</p> <p>【職員の体調】 ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/10	<p>6月10日(金) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】 6:50 ホテル出発 8:30 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師) 9:00 元相野谷地区の家庭訪問 12:00 昼食 13:00 元相野谷地区の家庭訪問 14:30 河北総合支所にて記録作成 16:00 JIMネット、PCAT、支所保健師とのミーティング(6/9訪問ケースについて情報提供・検討) 17:00 訪問結果について報告(西條保健師・高島保健師) 17:30 河北総合支所出発 19:30 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】 ○元相野谷地区の家庭訪問(津波の直接的被害のない地区) 訪問世帯38世帯 うち不在13件 会えた方 高齢者6人 成人19人 独居(高齢者)3人 幼児2人 学童1人 (不調等の訴え) ・震災後余震が続く、夜眠れないため、眠剤をもらって飲んでいる。 ・震災後、テレビ映像や余震で不安になり、心臓がドキドキ。何も言えない圧迫感がある。 ・中年女性。親戚が数名死亡したがまだ火葬がすすんでいない者もあり、喪服がしまえない。くよくよしないように心がけている。何かしていないと落ち着かない。 ・ヘリコプターの音などに不安になる。一人の時余計不安になる。片麻痺があるため、速く逃げられるかを考えると不安。ドキドキして血圧があがる(内服治療中)。 (行政等に対する不満) ・震災で失業したが、自宅(市営住宅)が直接被災していないため、何の支援も受けられない。義援金もなく、給料も入らないため、家賃が払えなくなり、浮浪者になる。津波で死んでいた方が義援金ももらえてよかったと思う。行政の対応に腹が立つ。 ・雨漏りで自宅(市営住宅)1階の畳が濡れており、2階で生活している。役場にもお願いしても、被災者が優先と言われ対応してもらえない。何とかしてほしい。 ・震災直後、電気も水も食料も無かつた。自宅被災者には何の支援も情報提供もなかった。避難所に避難している知り合いからこっそり食料を分けて貰ったりした。</p> <p>【その他】当面の乳幼児健診予定:6/14 1歳児よちよち相談(医師なし)、6/21 3-4か月児健診、6/28 3歳児健診、7/12 1歳6か月児健診、7/26 2歳児健診(歯科)</p> <p>【職員の体調】 ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/11	<p>6月11日(土) 天気:雨~晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】 6:50 ホテル出発 8:30 河北総合支所着、記録まとめ、本日の活動内容について報告(高島保健師) 9:45 避難所(ビックバン、飯野川第一小学校見学・声かけ) 10:30 中島地区の家庭訪問・地区民生委員さんへの報告・挨拶 12:00 昼食 13:00 避難所(ビックバン)の継続ケースの訪問 14:00 東京歯科保険医巡回診療の見学・受診者との面接 14:40 河北総合支所にて記録作成・台帳整理等 16:40 訪問結果について報告(高島保健師) 17:00 河北総合支所出発 19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】 ○避難所(ビックバン、飯野川第一小学校見学・声かけ) ・若い世代は仕事や片付け等で出かけている方が多く、高齢者がテレビなど見て過ごされていた。週末ということで大学生ボランティア等が団体で来所し、イベント準備や炊き出し等していた。震災からちょうど3か月、各所で地震のあった時刻に黙祷。(合同慰霊祭は18日) ○中島地区・避難所(ビックバン)の訪問(継続ケース等) ・訪問世帯6世帯 会えた方 高齢者4人 成人2人 独居(高齢者)1人 ・高齢男性。胃がんと手術後、一度にたくさん食べられないので少しずつ食べている。子どもと二人暮らしなので、自分の食べたいものを自分で作って食べている。 ・痰が切れにくいことを心配していた高齢女性。ミーティングで検討し、医師から助言されたことを家族に伝える。(現在服薬中の薬内容から考えて、痰の切れにくいことは副作用とは考えにくいこと。予防のため、毎朝の散歩時にマスク・うがいを行うこと等)→マスクは家族も動いているが息苦しいといやがる。介護認定の申請についてもいやがるため、タイミングを見て、相談したい。(支所保健師に申し送る) ・聴覚障害のある高齢女性。実家に避難してきていた子どもの家族が来週仮設住宅に転居するため、独居となる。民生委員から家族に緊急時のサービスを何が考えた方がよいのではないかと提案。(緊急通報システムの対象者とならないか確認して欲しいと民生委員→要確認)</p> <p>○東京歯科保険医巡回診療(2週間に1回)の見学・受診者との面接 ・避難所生活が長くなり、歯磨き等が不十分で口腔内の状態が悪い人が増えている。ここは設備がないため、できることには限りがあるため、治療が必要な方には歯科受診を勧めている。(近くの歯科医が仮設診療所で診察を開始したそうなので、そちらを紹介している。と。)</p> <p>【職員の体調】 ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/12	<p>6月12日(日) 天気:晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】 6:50 ホテル出発 8:30 河北総合支所着、前日の訪問結果及び本日の活動内容について報告(西條保健師・千葉保健師) 9:45 中島地区民生委員・元相野谷地区行政区長さんへの挨拶・報告 10:00 元相野谷地区の家庭訪問 12:00 昼食 13:00 元相野谷地区の家庭訪問 14:30 河北総合支所にて記録作成・不在家庭連絡カード作成 16:40 訪問結果について報告(西條保健師) 17:00 河北総合支所出発 19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】 ○元相野谷地区の訪問 ・日曜日であるため、仕事等で平日不在となっている家庭を中心に訪問予定を組んだが、天気がよいためか、野良仕事や買い物など、午前中から出かけられている家庭が多かった。 ・訪問世帯42世帯 不在17世帯 会えた方 高齢者9人 成人16人 独居(高齢者)2人</p>

6/12	<p>・本日面接できた方で震災前から治療中の疾患があった方については、皆、治療中断することなく受診出来ていた。</p> <p>・震災直後は不安が強く、精神的に不安定になった方が数名あったが、3か月たち、最近、落ち着いてこられた様子だった。</p> <p>・震災後、予防接種(乳幼児)が受けられなくなった。再開すると聞いたが予約が取りにくいとの声があった。</p> <p>・独居の高齢者は二人とも男性で、かかりつけ医を定期的を受診できており、食事についても、それぞれ自転車や自家用車で買い物に行き、食べたいものを食べておられた。</p> <p>【その他】</p> <p>・日にちを変えて2回訪問しても不在の家庭が多かったため、西條保健師の助言により「不在家庭用伝言メモ」を作成した。→ 特に問題のない世帯については、支所保健福祉課保健師の連絡先入りの「不在家庭連絡カード」を置いて帰り、何か気になることがある場合、連絡を入れていただくようにすることとした。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/13	<p>6月13日(月) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(西條保健師・高島保健師)</p> <p>9:45 元相野谷地区の家庭訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 河北総合支所にて記録作成・引継書作成/元相野谷地区の次の訪問予定地区(三輪田地区)のマップ等作成</p> <p>16:50 訪問結果について報告(西條保健師)</p> <p>17:00 21班への引継ぎ</p> <p>17:30 河北総合支所出発</p> <p>19:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○「不在家庭用伝言メモ」配布</p> <p>・6/10~13に複数回訪問したが不在だった世帯のうち、六本木住宅(2階建・4階建)の世帯に対して、「何かあったら気軽にご相談ください」と支所の連絡先を記載した「不在家庭用伝言メモ」を各戸ポストに配布した。</p> <p>○元相野谷地区の訪問</p> <p>訪問世帯24世帯 不在5世帯 会えた方 高齢者13人 成人10人 独居(高齢者)1人</p> <p>・元相野谷地区(世帯番号99番まで)を訪問した。自宅周辺で野良仕事等されている家庭も含め、比較的在宅の家庭が多かった。</p> <p>・家自体大きな被害はなかったが、余震が続くことで眠れなかったり、体調不良や頭が重たい感じがすると訴えた方が数名あった。(かかりつけ医あり)</p> <p>・震災直後は気が張っていて、一生懸命、生活水を運んだり、片付けをしたが、3か月が経過し、疲れが出てきたと言われる方もあった。</p> <p>・家族の複数人が喉をやられて風邪気味、なかなか良くならない。疲れが出る頃かもしれないと言われる家庭もあった。(外出時のマスク使用や帰宅後のうがいを助言)</p> <p>・仕事(就労状況)については、移動販売車で定期的に巡回していた地域が津波に流され、お得意様を失って、商売が成り立たなくなった方や職を失った方もあれば、電気工事や建築工事関係の仕事をしており被災家庭の修理等で土日もないくらい忙しいと言われる方もあった。</p> <p>○次の訪問予定地区(三輪田(上・中・下)地区)のマップ等作成</p> <p>・現在訪問中の元相野谷地区のうち、未訪問家庭が16世帯(世帯番号100番以降)となったため、三輪田(上・中・下)地区の世帯台帳の打出し、住宅地図のコピー、世帯番号の記入等を行った。(運転手・保健師で作成)※訪問実施状況一覧(エクセル台帳)の作成は未</p> <p>○第21班への引き継ぎ</p> <p>・6/14(活動第1日目)は震災後中止となっていた「1歳よちよち相談」の再開実施日。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/14	<p>【今後考えられること、活動方針】</p> <p>〈家庭訪問〉</p> <p>・20班は元相野谷地区を全戸訪問中。世帯番号99番まで訪問。面接できた世帯は一覧名簿にオレンジ色でマークした76世帯。不在宅22世帯のうち、昼間の在宅が見込めない六本木住宅(市住)の16世帯については「不在家庭用伝言メモ」を配布した。(西條保健師と相談の上、再々訪問はしないこととした。)</p> <p>※残りの6世帯については要確認(再訪問)</p> <p>・次の訪問予定地区は三輪田(中・下)地区</p> <p>・新たな地区の訪問を開始する時には、初日に、民生委員及び行政委員(区長)宅をまず訪問し、挨拶を行うとともに地区内の気になる家庭等について情報収集を行う。</p> <p>→全戸訪問ではあるが、優先順位を定め適切な支援を行うためには、支所保健師及び上記地区役員から情報を得た上で訪問した方がよいと思われる。</p> <p>→要フォロー者は、医療チームとのカンファレンス(16:00~)に提出し、支援方針を協議。</p> <p>・地域の全戸訪問では、健康状況、受診状況、運動機能の確認や生活状況(特に独居高齢者)、介護申請状況等の確認に重点を置き聞き取りを行い、気になるケースは支所保健師に引き継いだ。</p> <p>※地域の特徴としては、高齢者も役割があったり、高齢者同士の繋がりも深く自主的な介護予防ができていたが、家庭によって、介護度の悪化や家族の介護負担が大きくなる可能性がある場合は、介護保険の申請を勧めて欲しいと支所介護担当保健師より要望あり。</p> <p>・避難所への訪問活動は少なくなっているが、避難所の状況は変化しているため、活動期間中1回は避難所を訪問し、状況を把握する。</p> <p>※避難所(ビッグバン)にて鳥取県チームを待っている継続ケースがあり、他のボランティアチームの関わりがあるが、継続的に関わって欲しいと要請あり。</p> <p>→19班活動時に発熱あり、服薬中断等も見受けられたため、CLCと鳥取県保健師で継続的に関わっていくこととなった。(継続支援をいつまで行うかについては時期を見て再検討)</p> <p>〈乳幼児健診〉</p> <p>・6/14~震災後中断していた乳幼児健診(相談)が開始となる。→鳥取県保健師の役割:運営協力(準備、問診や計測等)</p> <p>〈その他〉</p> <p>・今後の湿度や気温の上昇とともに、食中毒の集団発生に留意する必要がある。</p> <p>・医療チームとのカンファレンス時に派遣医師から、被災地でのガレキ撤去・ヘドロ撤去時に粉塵の吸い込みや、目への飛散を受けて健康被害を生じる恐れがあるが、現場では防塵マスク等を使用していない作業員・ボランティア等が多い。また、長靴や底の厚い靴を履かずに現場に入り、釘やガラス片が刺さるケースもあり、破傷風等の感染症も増える可能性があるとの指摘あり。(できれば破傷風の予防接種したほうがよい。)</p> <p>→予防啓発用のリーフレット等については医療チームで検討予定。保健師も訪問時に被災地で作業される世帯に対して、マスクの着用等啓発する。</p> <p>・本日石巻市役所保健師から「毎週水曜の午後4時から開催する『石巻市に全国から派遣されている保健師等の情報交換会(仮称)』に鳥取県チームも参加しませんか」と連絡あり。河北総合支所保健師と相談の上、河北地区における活動の参考になるかもしれないとの理由で参加することとなる。次の21班から参加する予定。</p>

<b>21班</b>	
<p>中尾有佳 (鳥取市役所) 宮脇香織 (県西部総合事務所) 七瀬康弘 (県日野総合事務所)</p> <p>1日目(6/13) 鳥取→[ANA・JR]→塩釜 2日目(6/14)</p>	<p>6/13</p> <p>6/14 6月14日(火) 天気:晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:50 ビッグバン着</p> <p>9:00 母子保健事業(1歳児よちよち相談)会場準備</p> <p>10:00 スタッフ事前カンファレンス</p> <p>11:10 昼食</p> <p>12:00 1歳児よちよち相談受付開始、計測(身長、体重)及び問診、保健指導</p> <p>15:00 健診終了、スタッフ事後カンファレンス、要フォロー児についてスタッフ全員で確認</p>

<p>ホテル(塩釜市) 3日目(6/15) ホテル(塩釜市) 4日目(6/16) ホテル(塩釜市) 5日目(6/17) ホテル(塩釜市) 6日目(6/18) ホテル(仙台市) 7日目(6/19) ホテル【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>6/14 16:00 JIMネットのミーティングにてスタッフに挨拶 16:10 河北総合支所にて記録作成 17:30 河北総合支所出発 19:30 ホテル到着 【本日の活動概要】 ○母子保健事業(1歳児よちよち相談)へ参加 ・対象家庭:34組 出席:28組 欠席:6組 ・スタッフ:保健師6名(河北、雄勝、北上各地域から1名、県1名、鳥取県2名)、栄養士3名(雄勝、北上各地域から1名、県1名)、歯科衛生士(石巻本所)1名 ・以前使っていた会場が使えないため、今回初めてビッグバンにて事業実施。今後も健診等の事業はビッグバンにて実施予定。 ・事業の流れとしては、受付→ブラッシング指導→計測→問診・保健指導→栄養指導。鳥取県保健師は計測及び問診・保健指導を担当。 ・1歳児相談ではブラッシング指導と離乳時期に伴う栄養指導が中心だが、発達や育児不安等についても保健師が関わり、気になる家庭については1歳6か月児健診や訪問、保健所の発達相談等によりフォローする。・震災後、すべての母子保健事業においてこころの健康相談票を対象家庭に送付し記入してもらうようになった。震災以後のメンタル面においても相談票に基づいて聞き取りを行い、必要時には心のケアチームや心の相談会等につなげる。 ・今後の健診においてはNPO法人ジャパンハート(児童精神科医、臨床心理士)が入る予定。 ・石巻市役所保健師からの勧めにより、毎週水曜に石巻市役所本庁の保健センターで行われている他県からの派遣者同士の情報交換会に参加させていただくことになった。 【その他】 ・今後、母子保健事業に参加する際にはエプロンを持参した方がよい。 【職員の体調】 ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	<p>6/15 6月15日(水) 天気:晴れ(活動2日目) 【活動スケジュール】 6:55 ホテル出発 8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師) 9:00 被災地(大川小学校・旧雄勝町)視察 10:00 三輪田地区の家庭訪問、三輪田行政地区長さんへ挨拶 12:00 昼食 13:00 河北総合支所にて記録作成、訪問結果について報告(西條保健師・高島保健師) 15:00 河北総合支所出発 16:00 他県派遣者の情報交換会に出席(石巻市本庁保健センター) 17:30 石巻市本庁保健センター出発 19:30 ホテル到着 【本日の活動概要】 ○三輪田地区の家庭訪問(津波の直接的被害のない地区) 訪問世帯10世帯 うち不在3件 会えた方 高齢者6人 成人4人 独居(高齢者)なし 〈被害が少ない家庭について〉 ・地震による建物の被害は比較的少ない。(小屋の茅葺き屋根が少し崩れた、瓦が落ちた等) ・地震以降での家族の中で体調不良になった者はいない。→ほとんどの家庭が被害少なく、日中は仕事に出るなど通常通りの生活となっている。 〈不調等の訴え等〉 ・地震以降、余震のたびに胸がキュッと締め付けられたようになることがある。 ・以前は相談できる相手がいたが今はいなくなり、ストレスが大きく、発散できることがなくなった。→支所にもTEL相談あり。西條保健師も把握。 ・家族が行方不明(?)の家庭あり。本人も嘔気あり体調不良であったが近医受診中とのこと。 〈情報交換会について〉 ・10の自治体からの派遣者が参加。その多くが石巻市役所本庁管内の避難所及び仮設住宅への訪問を実施。被災後の石巻市における保健活動計画に基づき、避難所や仮設住宅での健康課題のアセスメントを実施。 ・仮設住宅では日中の訪問時には若い世代が不在のことが多かった。受け身の状態から自発的な行動が見られる時期になってきていると感じた。また、時間の経過とともに被災者本人が落ち着いて語れる時期になってきた。 ・仮設住宅担当や福祉保健など、市役所各課での情報共有がもっとなされれば現場の保健師も活動しやすくなる。被災者からも情報がほしいとのニーズあり。 【職員の体調】 ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	<p>6/16 6月16日(木) 天気:晴れ(活動3日目) 【活動スケジュール】 6:50 ホテル出発 8:50 河北総合支所着、前日の訪問結果、情報交換会及び本日の活動内容について報告(高島保健師) 9:30 三輪田(下)地区の家庭訪問 12:00 昼食 13:00 元相野谷地区の家庭訪問 15:00 河北総合支所にて記録作成 16:40 訪問結果について報告(高島保健師) 17:00 河北総合支所出発 19:00 ホテル到着(予定) 【本日の活動概要】 訪問世帯 25世帯 うち不在12件 ○三輪田(下)地区の訪問 ・比較的建物の被害は少なく、体調の悪くなっている人も少ない。 ・昨日不在であった世帯及び医療介入の必要な可能性のある世帯に再度訪問。不在の世帯には連絡メモを入れる。後者の世帯については、再度訪問したところ本人は体調回復し、他の家族も全員健康とのこと。終了とした。 ・石巻市赤から県外(東北地方)の医療機関に入院した事例については21日に退院予定。その他にも高齢の家族があり、脳梗塞と心筋梗塞の薬を内服中。PCATが介入。家族としてはデイサービスを利用したいが本人は拒否している。 ・被害の大きかった地域から避難してきた親戚と同居している世帯あり。 ○元相野谷地区の訪問 ・比較的被害の少ない地域。家族も全身体調の変化ない世帯が多い。 ・PCATが1回介入している事例あり。震災後1か月は近所の子どもの家にて同居。足腰が弱っており、受診が難しいため子どもが薬をもらいにつれてくれるとのこと。→時期は入院していたが、先月退院し、デイサービス週2回利用。 ・アパート入居者については若い世代が多く仕事に出ていると思われ、ほとんどが不在。 ・以前住んでいた家族は住所を移転、震災後に被害の大きい地域から両親2人が居住している世帯あり。 【職員の体調】 ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	<p>6/17 6月17日(金) 天気:曇り(活動4日目) 【活動スケジュール】 6:50 ホテル出発 8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師) 9:10 三輪田(下)地区の家庭訪問 12:00 昼食</p>

6/17	<p>13:00 三輪田(中)地区の家庭訪問  14:30 河北総合支所にて記録作成  16:40 訪問結果について報告(高島保健師)  17:00 河北総合支所出発  19:00 ホテル到着(予定)  【本日の活動概要】  訪問世帯 23世帯、うち不在 7件  会えた方: 高齢者6人、成人7人、独居高齢者1人、小児(18歳)1人  ○三輪田(下)地区の訪問  ・訪問したすべての世帯で受け入れがよい。高齢者も多い地域ではあるが、独居高齢者よりも大家族が多い。  ・自身の家にも建物にヒビが入るなどの被害はあったものの、亡くなったり家が流された人に比べれば何もないようなもの、と言われる方もあった。  ・高齢の方では震災前から持病があり定期受診(脊柱管狭窄症で整形外科受診など)や内服治療している方が多い。  ・呼吸器疾患にて通院中男性。地震前から眠れないことはあったが、眠剤は内服していない。不眠については主治医にも相談しているとのこと。  ・夫は震災時に病院に骨折で入院していたが退院し杖歩行。妻は肝臓疾患にて、服薬はしていないが検査のため定期受診はしている。  ・中年女性。元々は血圧が高いが、最近2～3年は安定。受診しておらず服薬もしていない。血圧の測定やPCATの訪問等について提案するも、自分のことは自分でなんとかするため必要ないと断られる。  ・住基上は住民登録あるものの、訪問しても不在で人の住んでいる気配のない住居もあった。  ○三輪田(中)地区の訪問  ・建物の被害は比較的少なく、健康面でも特に問題の見られる世帯はなかった。  ・高齢女性。現在は1人で暮らしている。市内に住んでいる子どもが、夜など頻りに様子を見に来てくれる。また、知人も何度か様子を見に来てくれたり世話をしてくれているとのこと。  【職員の体調】  ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/18	<p>6月18日(土) 天気: 晴れ (活動5日目)  【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所着/本日の活動内容について報告(高島保健師)  9:10 ビッグ・バン訪問  9:45 元相野谷地区の家庭訪問  12:00 昼食  13:00 河北総合支所にて記録作成・引継書作成/元相野谷地区の次の訪問予定地区(三輪田地区)のマップ等作成  16:00 訪問結果について報告(高島保健師)  16:30 21班への引継ぎ  17:00 河北総合支所出発  19:30 ホテル到着(予定)  【本日の活動概要】  ○ビッグ・バン訪問  ・本日震災から100日目の慰霊祭が石巻市であり多くの方が出席しており、人はまばら。  ・高血圧未治療で避難所にいる引継ぎを受けたケースを訪ねるも不在。(慰霊祭に出席のためと思われる)  ・ビッグ・バンに常駐している看護師に避難所の状況について確認。看護師は5人交代で常駐。最近では風邪をひいた人が数人いたが、その他には感染症等の発生はないとのこと。  ・服薬している人については基本的には自己管理してもらっているが、主治医から依頼があった方等については看護師が服薬管理している。  ・上記の引継ぎケースについては、当初は現在内服治療しているとのこと。治療開始当初は飲まなかったりしていたが最近では自己管理できている。血圧も安定しており、服薬するようになってから胸部不快感もなくなったとのこと。  ○元相野谷地区の訪問  訪問世帯15世帯 うち不在9世帯 会えた方 高齢者1人 成人5人 乳幼児4人  ・元相野谷地区(20班訪問時不在及び16日訪問時不在)を訪問。土曜であったが、慰霊祭があるということもあり、不在の家庭が多かった。  ・震災後、子どもの家に避難してきた世帯あり。子どもが亡くなったが、その兄弟には、孫が生まれる。喜ぶべきか悲しむべきなの複雑、と涙ぐみながら話される。   ○次の訪問予定地区(三輪田(上)地区)のマップ等作成  ・現在、三輪田(中)地区訪問中。(上)地区の世帯台帳の打出し、住宅地図のコピー、世帯番号の記入等を行った。(運転手が作成)※訪問実施状況一覧(エクセル台帳)の作成は未  ○第22班への引き継ぎ  ・母子保健事業や情報交換会及び継続訪問が必要なケース3件について引継ぎを行った。  【職員の体調】  ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/19	<p>【今後考えられること、活動方針】  〈家庭訪問〉  ・21班は元相野谷地区及び三輪田地区を訪問。元相野谷地区は終了。今後は三輪田下区の不在であった世帯と中区の訪問を継続。面接できた世帯は一覧名簿にマークした世帯。不在世帯のうち、2回目以降訪問しても不在であった世帯については「不在家庭用伝言メモ」を配布。  ※残りの世帯(世帯番号)については要確認(再訪問)  ・次の訪問予定地区は三輪田(中・上)地区  ・新たな地区の訪問を開始する時には、初日に、民生委員及び行政委員(区長)宅をまず訪問し、挨拶を行うとともに地区内の気になる家庭等について情報収集を行う。  →全戸訪問ではあるが、優先順位を定め適切な支援を行うためには、支所保健師及び上記地区役員から情報を得た上で訪問した方がよいと思われる。  →要フォロー者は、医療チームとのカンファレンス(16:00～)に提出し、支援方針を協議。  ・地域の全戸訪問では、健康状況、受診状況、運動機能の確認や生活状況(特に独居高齢者)、介護申請状況等の確認に重点を置き聞き取りを行い、気になるケースは支所保健師に引き継いだ。  ・避難所への訪問活動は少なくなっているが、避難所の状況は変化しているため、活動期間中1回は避難所を訪問し、常駐の看護師に状況を把握する。  ※避難所(ビッグバン)にて鳥取県チームを待っている継続ケースがあり。他のボランティアチームの関わりがあるが、21班は本人に会えず。  →内服治療中。当初は薬をのまないこともあったが、最近では自己管理し血圧も安定している。服薬開始してからは胸部不快感もなくなった、とのこと。  〈乳幼児健診〉  ・6/21 3～4か月児健診。→鳥取県保健師の役割: 運営協力(準備、問診や計測等)  〈その他〉  ・今後の湿度や気温の上昇とともに、食中毒の集団発生に留意する必要がある。  ・21班から、石巻市に派遣で来ている全国の自治体保健師と石巻市役所、石巻保健所による情報交換会に出席。それぞれの活動状況について報告を行っている。  →毎週水曜、16時～石巻市役所本庁近くの保健相談センターにて開催している。</p>

22班	
<p>西村敬子 (三朝町役場) 長谷川恭子 (県東部総合事務所) 原田 豊 (県精神保健福祉センター) 西村光貴 (県日野総合事務所)</p> <p>1日目 (6/18) 鳥取→【ANA・JR】→塩釜 2日目 (6/19) ホテル(塩釜市) 3日目 (6/20) ホテル(塩釜市) 4日目 (6/21) ホテル(塩釜市) 5日目 (6/22) ホテル(塩釜市) 6日目 (6/23) ホテル(仙台市) 7日目 (6/24) ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>6/18 【原田報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月18日は、東日本大震災から100日目を迎え、被災地の各地で慰霊祭が営まれました。</li> <li>・22班、午後4時に石巻市役所河北支部に到着、21班と引継ぎを行い、河北支部の入り口で行われていた慰霊祭で、22班も花を添えました。</li> <li>・最近の状況についてお聞きしました(あくまでも、個人の意見です)／雄勝地区に仮設住宅ができましたが、交通の不便なことだけではなく、雄勝には帰りたいという気持ちも強いのか、入居希望者が少ない。原則的には、各地区の住民は、それぞれの地区設置された仮設住宅に入居予定としていたが、上記の理由などにより、必ずしも雄勝地区を望んでいない住民もあり。石巻北高校飯川グラウンドの仮設住宅は、設置場所は河北町だが、雄勝住民が優先入居。また、仮設住宅は、4畳半2間と狭く、入居した住民から不満も出ている。そこに、30Lの大型冷蔵庫、洗濯機、32型テレビなどがあり、非常に狭い。(もともと、広い家に住んでいた人が多い)</li> <li>・避難所の人数が減っている一方で、震災から3か月が過ぎ、親戚に引き取られ同居していた家族が、同居のくたびれが出てきて、避難所に入ってくるという事例もあるらしい。</li> </ul> <p>仮設住宅は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●河北 三反走地区(90世帯) 6/15抽選 6/20入居予定</li> <li>●河北 追波川河川運動公園川前グラウンド(91世帯) 6/20抽選 6月末入居予定(以前、自衛隊がキャンプ地に使っていた場所です。)</li> <li>●雄勝 雄勝町水浜(旧水浜小学校跡地)(32世帯) 6/15抽選 6/20入居予定</li> <li>●雄勝 石巻北高校飯野川校第二グラウンド(70世帯) 6/5抽選 随時入居中(設置場所は河北だが、雄勝地区住民が優先入居)</li> </ul> <p>6/19 【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発 8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(西條保健師) 9:00 被災地(大川小学校・旧雄勝町)視察 10:30 三輪田(中区)地区行政區長さんへ挨拶、三輪田(中区)訪問 12:30 昼食 13:30 三輪田(中区)訪問 15:00 河北総合支所にて記録作成 16:10 2階会議室にてPCAT、西條保健師、千葉保健師に訪問結果について報告。 17:00 河北総合支所出発 19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問世帯18世帯のうち不在2世帯</li> <li>○三輪田(中)地区の訪問</li> <li>&lt;行政區長に挨拶&gt;</li> <li>・本日は、地区の住民(子どもから5、60代くらいまで、40名くらい)集会所に集まり、バーベキューをしていた。高齢の方は自宅にいた様子。三輪田(中)地区の行政區長も参加していたため、挨拶をする。気になるケースは特にはないが、高齢の方が多いとのこと。地区の訪問には了解を得られた。</li> <li>&lt;地区の様子&gt;</li> <li>・浸水被害はなく建物の被害は比較的少ない。揺れにより塀やブロックが所々倒れて壊れている。</li> <li>・酪農や農業を営んでいる世帯が多く、所々に牛舎がある。</li> <li>・1軒1軒の家は、車が数台あり、敷地の広い家が多い。</li> <li>&lt;住民の様子&gt;</li> <li>・体調不良の方は少ないが、世帯に高齢者がおられる家庭が多く、高血圧の方が多い。このため、それぞれ主治医があり、服薬している。震災後に一時血圧が上がったが、今は落ち着いている方が多かった。</li> <li>・被害の大きかった地域から避難してきた親族と同居している世帯あり。避難された方は、以前は、介護保険の訪問看護を利用してしたが、避難してきてからは利用していないため、再利用したいとのこと。河北支所介護保険担当の千葉保健師に引き継ぐこととした。</li> <li>・大工の仕事をしている夫が、元々神経質だが、最近眠れていないと、妻が心配しているケースあり。仕事柄、修理を頼まれることが多く、お金を請求する訳にもいかない場合もあり、半分ボランティアでやっているとのこと。</li> <li>・独居の家庭。人の気配があるが、出てこず。西條保健師、千葉保健師と相談し、ヘルパー支援が入っているため、再訪問しないこととした。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○原田所長、保健師2名、運転手、全員元気です。</li> </ul> <p>【原田報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9時、西條保健師と千葉保健師に挨拶をし、本日は、三輪田(中区)の戸別訪問を実施。現地に行く前に、大川小学校や雄勝地区に行ってみました。前回(4月末)は、大川小学校手前まで北上川沿いに鉄板が張られその上を車で走っていたのが、今回は、堤防上に道がきれいに完成されており、驚きました。また、入釜谷地区も、4月末は、瓦礫に車も埋まったままの手つかず状態でしたが、その地区も、瓦礫は撤去されていました。</li> <li>・雄勝地区は、道路はできてはいるものの、家屋の大半は流された状態のまま。公民館の屋上にも、大型バスが乗り上げたままの状態です。ちなみに、自衛隊の道路を作る工事は終了したのか、4月末のような頻繁な自衛隊の車の行き来はありません。道の駅の近くの自衛隊のキャンプ地だったところには、すでに、仮設住宅が建設されています。</li> <li>・午前10時より、三輪田(中区)の戸別訪問を開始しました。この地区は、地震による被害も少なく、津波の影響もありませんでした。当初は、停電・断水があり、沢から引いている水を当初は使っていたとのことでした。時々、給水車が来ても、なかなか十分な状態ではなく、また、水を買いに行くにもガソリンが手に入らなく苦労したとのこと。</li> <li>・この地区は、3世代の家族もあり、子どもも良く見かけました(小学校は、二俣小学校区)。大きな家が多く、農業に加え、酪農をしている、以前はしていたという家も多く、ところどころに、牛がいました。</li> <li>・地区の公民館では、地区の男性たち10数名が、バーベキューをして酒を飲んでいました。子どもたちや奥さん方も、公民館の中で食事をおられたようです。子どもも、10数人いたようです。今年は、いろいろな地区の行事が中止になり、本日日曜日に久しぶりにこういった会をしたとのこと。一緒に、肉を食べたりすることも進められましたが、すでに、皆さん、楽しそうに出来上がっていましたので、ご挨拶だけで、戸別訪問に向かいました。</li> <li>・自分の所は無事だったが、知り合いがたぐさなくなった。週に数回、葬儀があるので、喪服は部屋にかけたままにしている。葬儀に行くと、家族は気丈に振舞っている。こちらのほうは、その都度、いろいろなことを思い出してつらくなる。夫や子どもを亡くした方もおられ、今日も、自分のところに来て、泣きながら話をしてくれました。</li> <li>・震災時、妊娠中だったという方もおられ、出血もあって、一時期入院もしていたとのこと(今は、安定している)</li> <li>・旧石巻市から河北の家族と同居しておられる高齢女性。日中、行くところがなく、できればデイサービスに行きたいが、河北は知らない人ばかりなので、これまで通っていた地区に行きたいとのこと→千葉保健師と連絡し対応。</li> <li>・一人暮らしの高齢者だけの世帯も数世帯あり。一部は、ホームヘルプサービスが入っている。→千葉保健師に報告。</li> <li>・なお、雄勝地区の被災者が入所する石巻北高校飯野川校第二グラウンドにあがってみました。すでに、多くの方が生活を始めていましたが、高校は高台にあり、高齢者にとっては、買い物などがとても大変そうです。</li> </ul>

6/20	<p>6月20日(月) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:50 門脇中学校(原田所長視察のため降車)を経由。</p> <p>9:15 河北総合支所着(保健師2名、運転手)、本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:30 三輪田(下区)訪問。前回不在であった6軒、要フォロー1軒を訪問。</p> <p>13:00 昼食</p> <p>14:00 河北総合支所にて記録作成、訪問台帳作成。</p> <p>16:00 訪問結果について報告。</p> <p>16:15 2階会議室にてPCAT、JIM-NET、西條保健師に要フォロー者引き継ぎ。</p> <p>17:00 河北総合支所出発</p> <p>19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>訪問世帯8世帯 うち不在3世帯</p> <p>○三輪田(下区)地区の訪問</p> <p>・前班が訪問し、不在であった三輪田(下区)6軒と要フォロー1軒を訪問。</p> <p>6/20 &lt;住民の様子&gt;</p> <p>・「心臓が痛いことがある」と話されていた要フォロー者自宅を訪問するも、フォロー者は不在にしていたため、状態確認できず。→西條保健師に報告。</p> <p>・60代女性。震災後、夜間は眠れず心療内科薬剤の処方を受けている。保健師訪問には快く対応される。旧石巻市に住んでいた子どもも避難し同居。余震の備え、枕元にリュックを置いている。先週末までは、靴も置いていた。</p> <p>・肝臓疾患で寝たきり状態者のいる家族。石巻市立病院で通院治療を受けていたが、病院が津波で使えなくなり、石巻赤十字病院に移ったが、肝臓担当の医師が5月までいなかった。石巻市立病院では、肝臓に薬を入れる治療ができていたが、日赤病院ではできないと言われた。専門の治療ができる仙台市内の病院は遠いため、どうしたら良いか、医療難民のようだ。→介護保険担当千葉保健師より、担当ケアマナに連絡を入れることとした。</p> <p>・50代女性は、震災後安心して眠れず、服を着て寝ているとのこと。自身は高血圧で内服治療中であるが、家族は元気とのこと。</p> <p>・40代女性は、「みんな元気だが、ストレスを抱えている」と1時間強、保健師に思いを話される。明るく話され、みんなに頼られる存在で友人も多い印象。しかし、夜は眠れず午前1時～3時の間は起きることが多い。また、自分の気持ちを話せる人がいない。実家が浸水被害を受けたが、元のきれいなままの実家のイメージが崩れてしまうのではないかと、震災後、様子を見にいけない。中学生の子どもが震災後、「お母さん手をつないで寝て」と赤ちゃん返りを起こしている。</p> <p>【明日の活動予定】</p> <p>・ビッグバンにて、3～4か月児健診対応。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○原田所長、保健師2名、運転手、全員元気です。</p> <p>【原田報告】</p> <p>・本日より、高速道路の割引がなくなり、今後、交通事情が変わるかも知れません。</p> <p>・私の方は、本日は、保健師チームとは別行動をとらせていただき、行きがけに、石巻市立門脇(かどのわき)中学校で降りていただきました。ということで、保健師チームの活動は、長谷川保健師の報告をご覧ください。</p> <p>・門脇中学校には、先月から、2週間交代、3クール、計6週間の予定で、鳥取県教育委員会からスクールカウンセラーが派遣されており、今週は、2人目2週目です。現在、東部教育局の今西カウンセラーが派遣されており、今西さんに会いに行きました。</p> <p>・午前8時40分、門脇中学校到着。門脇中学校・門脇小学校の両校長に挨拶、旧石巻市の中央部に高台があり、その上に、門脇中学校・石巻中学校が隣接してあります。中学校が2つ、隣接しているのは不思議な光景ですが、以前は、これに加えて、住吉中学校も含め、3つの中学校が隣接し、もっと昔は、4つの中学校が隣接していたとのこと。</p> <p>・門脇中学校は、門脇小学校と大街道小学校の2つの校区から構成されていますが、今回の震災で、門脇小学校は、津波と火事で、すでに、焼け焦げた校舎になっています。そのため、門脇中学校は、2階と4階が中学校、3階が門脇小学校が入っています。また、1階部分と、体育館が、避難所になっています。この体育館は、今年の3月に新築され、11日の午前中に卒業式が行われ、その日の午後後に震災となり、そのままだけになっています。体育館の入り口には、被災者の方の犬と、小さめのウサギがいました。</p> <p>・なお、となりの石巻中学校の体育館も避難所になっており、ご挨拶に行きました。両者の避難所に、鳥取県のチームが派遣され(門脇中3名:県、琴浦、米子市、石巻中2名:県)であり、いずれの中学校の校長先生からも、鳥取県チームの派遣に関しては、とても感謝されていて、おかげで、鳥取県から来ましたというだけで、受け入れは良好です。こちらのほうも活動がしやすかったです。</p> <p>・門脇小学校は、地震があつて、すぐに先生や児童は、学校裏の高台に駆け上ったとのこと。お墓があり、その横に階段があり、そこを使ったり、窓から墓地に木で橋渡しして墓地からかけのぼったとも聞きました。迅速な対応のおかげで、学校にいた子どもは、全員助かったとのこと。近くに、保育所もあつたようですが、その保育士さんも、一気に子どもを抱えて階段を上っていったとのこと。</p> <p>・子どもたちですが、親御さんを亡くされた子どもも、何人かいるとのこと。また、もともと、母子家庭の家や、何らかの支援を受けていたという家もあるようです。祖父母が話し相手になっていて、津波でその祖父母が亡くなったという家もあります。大川小学校地区は、子どもを亡くした親のケアはどうするのかという課題が大きいです。門脇小学校地区は、むしろ、親や、面倒を見てくれていた祖父母を亡くして子どもをどうするのかという課題が多くありそうです。</p> <p>・それに、家もありません。面接した女子児童に、「家に何時に帰るの?」と聞いたところ、「家はありません」とあっさりと言われました。</p> <p>・祖父母を亡くした子にとっては、じっくりと1対1で相手をしてくれる大人がいなくなったということ。専門的な面接でなくても、1対1で誰か大人が話せる時間を作っておきたいところ。親を亡くした子どもも、淡々と話をする子もいます。ちなみに、この地区は娯楽がないからとかで、小学生がイオンのゲームセンターに行くのは公認されているようです。</p> <p>・仮設住宅の抽選も始まっていますが、蛇田地区の仮設住宅への入居となると小学校区が異なります。転校はしたけど、なじみず、仮設先から、1時間かけて門脇小学校に通っている子もいるようです。</p> <p>・私の方は、小学校の子どもを2人ほど面接をして、養護の先生から、いくつかの子どものことについて相談を受けました。また、週に1回来ておられるというスクールカウンセラーや今西さんと、いろいろ話を聞かせていただきました。門脇中学校、門脇小学校、ともに受け入れ状態はよく、養護の先生や週1回のスクールカウンセラーの方からも、スクールカウンセラーが、鳥取から来て常駐してもらっていることで、とても助かっていると話しておられました。</p> <p>・今回の震災の支援は、ひとつの地域をじっくりと、いかに継続して支援をしていくかですね。継続も、派遣されたチーム同士で、きちんと引継ぎがなされているということが重要です。派手なパフォーマンスをしなくても、鳥取県の避難所派遣のチームや、河北の保健師チームは、地道だけれども、責任ある、そして真摯で継続的な活動は、地元の支援者の人たちは、きちんと評価してくれていると思います。</p> <p>・なお、昼食のことは何も考えずに行つたので、どうしようかと思いましたが、今西さんと、もうひとりのスクールカウンセラーの方のご配慮で、給食をいただきました。(今西さんは、毎日、200円で注文しているようです)メニューは、パン、ウィンナー1本、ケチャップ、牛乳、冷凍プリンでした。子どもたちの給食です。</p> <p>・帰りがけに、燃えてしまったという門脇小学校周辺を歩いて来ました。高台から海側に降りると、一気に、瓦礫だらけで景色が一変します。</p>
------	---

6/21	<p>6月21日(火) 天気:晴れ (活動3日目)</p> <p><b>【活動スケジュール】</b></p> <p>6:50 ホテル出発  9:00 ビッグバン着  9:00 3~4か月児健診会場準備(ビッグバン内 文化交流ホール)  10:00 スタッフ事前カンファレンス  11:00 ビッグバン内を視察  11:15 昼食  12:30 3~4か月児健診受付開始、栄養チェック、問診、計測(身長、体重、頭囲、胸囲)  13:30 内科診察  14:00 個別栄養指導、母子手帳返却、ブックスタート事業  15:00 健診終了、会場片付け  15:30 スタッフ事後カンファレンス、要フォロー児についてスタッフ全員で確認  17:00 河北総合支所にて日報作成  17:30 河北総合支所出発  20:00 夕食後、ホテル到着</p> <p><b>【本日の活動概要】</b></p> <p>○母子保健事業(3~4か月児健診)へ参加  ・対象家庭:38組、参加:31組、対象児:平成22年12月~平成23年3月生まれ  ・スタッフ:小児科医1名、保健師6名(河北、雄勝、北上各地域から1名、保健所1名、鳥取県2名)、栄養士2名、読み聞かせボランティア7名程度、原田所長(母のこころの相談)、東北大学(事前視察) 精神科医1名、臨床心理士1名、研修医1名</p> <p>&lt;会場準備、事前カンファレンス&gt;  ・ビッグ・バン入って右側の文化交流ホールが健診会場。  ・低出生体重児ケースや新生児訪問の際に気になった家庭についてスタッフが情報共有。</p> <p>&lt;健診の様子&gt;  ・鳥取県保健師は計測及び問診・診察介助を担当。  ・3~4か月児健診票は事前に送付していたが、こころの健康相談票は送付できていなかったため、受付後に記載して貰った。  ・問診では、事前に記載して貰っていた健診票を元に保健師が家庭での様子を聞き取った。  ・母のメンタルが気になるケースについては、原田所長が別室にて面接。</p> <p>&lt;事後カンファレンス&gt;  ・事前カンファレンスにて気になった家庭の健診での様子を、問診をとった保健師が報告。その他にも、健診時気になったケースの情報共有。  ・3~4か月児は、母乳やミルクのみで育てた方が多いが、ミルク以外の物(白湯やイオン飲料)を飲ませているケースが多かったと栄養士より報告があった。  ・今後もフォローが必要なケースは、電話や面接を行ったり、心のケアチームに繋ぐこととした。</p> <p>&lt;その他&gt;  ・ユニセフより、手作りのパッチワークのお包み・手提げ袋・メッセージが寄付され、受診者にプレゼントされていた。  ・雄勝・北上・河北地区住民を対象に、毎週火曜日(乳幼児健診の日)にちに関係なくビッグバンにて、東北大学精神科のこころのケアチームが、メンタル相談を行うこととなった。精神科医や臨床心理士が対応予定。  ・雄勝地区住民を対象に、厚生労働省のアンケートが入る予定。</p> <p><b>【今日の東北弁】</b></p> <p>・「びーさん(びーちゃん)」  曾祖父・曾祖母(男女問わず)の意味。家族構成の記録で見かけることあり。訪問家庭で話されたこともあり。</p> <p><b>【職員の体調】</b></p> <p>○健診時に弱い余震がありましたが、原田所長、保健師2名、運転手、全員元気です。</p> <p><b>【原田報告】</b></p> <p>・ビッグバンにて3~4か月児健診(本来は、河北支所にて実施されるが、十分な場所が確保されていないため、ビッグバンでの開催となった)  ・9:00 ビッグバンに集合、健診準備に取りかかる。河北地区に加え、雄勝地区、北上地区も対象、一部の家族の中には、これら三町以外の所に住居を移しているものもある。  ・参加スタッフは、河北地区保健師、雄勝地区保健師、北上地区保健師、保健所保健師各1名に、栄養士2名。これに、鳥取県チームが支援に入りました。準備のあと、各地区で気になる事例がそれぞれ3~4名有り、事前にその事例についての検討も行いました。  ・11:30 準備が終了、早めの3地区の保健師さん達と一緒に昼食を控え室でとりました。それぞれの地区の震災時の大変な状況に加え、北上支所では、職員も数人津波被害で亡くなっていますが、具体的に誰が亡くなったのかは公表されていないとのこと。また、石巻市立雄勝病院は、医師・看護師の多くが津波で亡くなり、残された数人の看護師が、今は、各避難所で勤務をしているとのこと。また、石巻市立病院も、今回津波で甚大な被害をうけ、再開の方向性で検討しているとの話もありますが、一方で、医師がどんどん辞めて行っており、現在は10人程度しか医師が残っておらず、その存続が危ぶまれているとのこと。具体的に、市立病院勤務の看護師さんは市の職員なので、これらの看護師さんに対して、事務職員として市職員として残るかどうかと言う話もあるようです。  ・12:15 受け付け開始。(12時半受付開始予定でしたが、早くより来所されている方がおられたので。)  ・健診は、受付→問診→身体測定→小児科診察の流れで行われ、長谷川保健師は、身体測定担当、西村保健師は、問診・診察開始後は診察につく。ちなみに、私は、最初は受付で、荷物が多くて母子手帳が鞆から出せないお母さんの為に、一時的に赤ちゃんを抱っこしたりしていました。  ・身体測定開始後は、長谷川保健師が活動しているのを見学、今回、心の健康調査票の記入も受付時に記入してもらっており、その中で何らかの記載のあった人をちょっと気にかけて様子を見ていました。  ・また、精神科医の面接希望について、あり、今日は希望しないが先々はあり、なし、のうち、「あり」にチェックのあった人1名について、面接をしました。</p> <p>・今回は、3~4か月健診ですが、震災後初めてと言うこともある、すでに6か月を経過している子供もいました。38名の対象の内31名が来られ、結構、時間がかかりました。大半は、震災時に新生児だった子供が多いですが、一部は、震災以降に出産をした子供もいました。  ・自宅が全壊し、仮設住宅に住んでいる人、実家にもどっている(折り合いが悪い)人もおられ、ストレスフルな環境でも生活を強いられている人も居ます。  ・また、夫を亡くした人も、数人おられました。  ・健診終了後は、各地区の保健師さんをお会い、ケースカンファレンスを実施しました。</p>
------	---

6/22	<p>6月22日(水) 天気:晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(高島保健師)</p> <p>9:00 ビック・バンにて常駐看護師に挨拶、避難所の状況聴取。要フォロー者を訪問</p> <p>9:40 三輪田(中区)民生委員さんへ挨拶、三輪田(中区)訪問</p> <p>12:10 昼食</p> <p>13:40 二俣小学校前の民間アパート建設予定地視察</p> <p>14:00 河北総合支所にて記録作成(原田所長は要フォロー者自宅訪問)</p> <p>15:00 西條保健師に訪問結果について報告</p> <p>15:15 河北総合支所出発</p> <p>16:00 他県派遣者の情報交換会に出席(石巻市本庁保健センター2階指導室)</p> <p>17:05 石巻市役所及び周辺を視察</p> <p>18:00 石巻市役所出発</p> <p>20:00 夕食後、ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>訪問世帯14世帯、うち不在5世帯</p> <p>○ビック・バン常駐看護師に避難所状況を確認</p> <p>・避難者は少なくなってきたが、300人程度が生活している。うち、高齢者は150人以上。就学前の幼児は10人くらい。仮設住宅に移る家庭あり、子どもは減ってきている。</p> <p>・ライフラインは、電気・ガス・水道・電話全て復旧している。</p> <p>○三輪田(中)地区の訪問</p> <p>&lt;民生委員に挨拶&gt;</p> <p>・地区の気になるケースの状況の聴取。</p> <p>&lt;地区の様子&gt;</p> <p>&lt;住民の様子&gt;</p> <p>・浸水被害もなく沿岸部に比べ被害はかなり少ないが、地盤の影響か、三輪田(下)地区より屋根や塀、天井が壊れている家が多い印象。</p> <p>・ほとんどの家が、現在は家族も元気に生活していると話されていた。それぞれの家に何らかの物理的被害がある。塀や瓦、家の壁や障子等が割れており、役場に修理を頼んだり、知人に頼んで直して貰ったとのこと。</p> <p>・震災後の停電中は、睡眠時無呼吸症のための夜間C-PAPが使えなかったこと、別ケースもベッドのエアマットが使えず、床ずれが出来てしまったとのこと。</p> <p>・震災後、水道が使えなくなった際に、山から水を引いて、飲料水にしていた。しかし、裏山に今回の地震で出たガレキを細かくチップにして運ぶことになり、1日5台の大型ダンプが来ているよう。塩分を含んでいるので、山水に影響が無いか、木が枯れないか心配。</p> <p>○他県派遣者の情報交換会に出席(石巻市保健相談センター2階指導室)</p> <p>・各県の派遣支援者(保健師、精神保健福祉士等)が参加し、支援の進捗状況を情報共有。</p> <p>・本日は10自治体が参加。(島根県・東京都・兵庫県・大分県・大津市・焼津市・石川県・福岡市・柏木市・鳥取県)、石巻市役所伊藤補佐、石巻保健所保健師が参加。</p> <p>&lt;各自治体の報告と今後の方針&gt;</p> <p>・兵庫県のチームは浸水地区を訪問。悪臭あり、ハエが多い。3日前から異常発生しているとのこと。今後は蚊の発生が懸念される。</p> <p>・浸水被害がある地域では、建築制限がかけられている区域があり、リフォームは良いが、新築が出来ない。</p> <p>・避難所を回っているチームは、熱中症予防のチラシを配布しているとのこと。</p> <p>・1階が浸水被害を受け、2階で生活している高齢者は、2階にこもりがち。ストレッチのパンフレット持参して運動指導すると喜ばれた。</p> <p>・仮設住宅の入所は7~9月に進んでいく予定であり、石巻市としても、今後の支援方針をプロジェクト・チームで検討しているところ。</p> <p>【その他】</p> <p>・日本テレビ(NEWS・ZERO)より電話あり。河北地区で活動している鳥取県チームの情報を聞き連絡したとのこと。「熱中症」の特集をしており、その対策、訪問での様子取材したいとのこと。</p> <p>&lt;対応&gt;</p> <p>・河北地区では、ライフラインも復旧しており、現時点で熱中症が気になる家庭はなく、暑さ対策が出来ていない程の方は少ない。高齢者の場合も介護保険担当と連携を取っていると伝えた。→「分かりました」と話が終わった。「熱中症」がテーマであり、こちらの話は面白くなかった様子。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○原田所長、保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/22	<p>【原田報告】</p> <p>・本日は、仙台市の最高気温の予測が、33度になっています。</p> <p>・午前中は、ビックバンを訪問し、常駐の看護師さん3名とビックバンの状況についてお聞きしました。</p> <p>・その後、引き続き、三輪田地区(中区)の訪問をしました。このあたりは、津波被害も少なく、家屋も一部損傷ですんでいます。瓦が壊れたり、壁の一部が崩れたりして、他の地区よりは損傷が強い気がします。震災後は、水が出なかったようですが、多くの地区が沢水を引いていたとのこと。ただ、大工さんとかがとて多忙で、いつ修理ができるのかわからない状況で、梅雨に入っても雨漏りが直らず心配という家庭もありました。</p> <p>・大家族も多く、小学校低学年の子供の中には、余震があると不安で直ぐに家族の所に跳んでくるという子もいましたが(正常範囲)、徐々に安定してきているようです。</p> <p>・被災地区から親戚を受け入れているという家族もありましたが、牡鹿地区から避難された家族は、牡鹿地区の仮設住宅にあたったものの、牡鹿地区がまだ不便な状況にあること、仮設が狭くて大家族が生活するには難しいこと、(このあたりは、二股小学校校区ですが)子ども達が、すでに二股小学校や二股保育所での生活になじんできているので、すでに二股地区内でアパートを探しているとのこと。</p> <p>・なお、午後、二股小学校の前にアパートが出来るとい話を住民さんから聞き、見に行ってきましたが、よく分かりませんでした。二股小学校の向かいに、「売り地」の看板の立っている空き地があったのでそこかも知れません。</p> <p>※長谷川保健師さんも書かれているかと思いますが、こちらの方では、「曾祖父」のことを、「おっぴい」「びーちゃん」と呼ぶそうです。実際に、訪問した家の中には、「びーちゃんが、地震後亡くなりました」という家がありました。(震災後の停電で、寝たきりのびーちゃんのエアマットに十分空気が入らず、床ずれが出来たりもしたとか)</p> <p>※釜神さま。何件かの家に、大きな窯神さんがいました。黒い巨大な顔が神棚に飾っています。以前は、釜でご飯を炊いていたときは、その柱にかけたりしたようです。ちなみに、窯神様は、道の駅で、10万円から20万円くらいで売っています。北上地区から嫁いだ奥さんは、三輪田にきて、初めて知ったといっておられました。</p> <p>※とあるおばあさんが、沢水を引いているが、チップが時かたれたら沢水がダメになるかもしれないと言っていました。他の住民さんからも話を聞きましたが、瓦礫の処理に困っていて、それを細かく砕いてチップにして、山の上の方に捨てるのではないかと聞いていました。チップには、塩分も含まれていて、どうい問題が起きるのか全然想像はつかないが、これについては、全然、県や市からも話が無く分からないとのこと。</p> <p>・4時から、石巻市に出向き、各派遣の保健師チームの連絡会に参加しました。浸水地区や大街道地区では、腐った魚類や化学薬品など異臭が強く、蠅や蚊が多くで大変だと話しておられました。2階が残り1階がやられていて、住んでいるのかわからないところもあり、2日かけて10人も会えないところもあるとかです。</p> <p>・帰りがけに、石巻駅周辺を歩いてみました。石巻駅からもJRが一部復旧、ただ、塩竈行きは普及しておらず、JRバスで行かないといけません。駅前通も、サイボーグ009の像の周りがきれいになっていました。駅の喫茶店やコンビニも復活していました。</p>

6/23	<p>6月23日(木) 天気:雨のち曇り (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:10 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着、本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:15 三輪田(中区)訪問(原田所長は要フォロー者自宅訪問)</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 河北総合支所にて記録・引継書作成(原田所長は要フォロー者自宅訪問)</p> <p>15:30 西條保健師に訪問結果について報告</p> <p>17:00 23班へ引継ぎ</p> <p>18:00 河北総合支所出発</p> <p>20:00 仙台市ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>訪問世帯19世帯 うち不在5世帯</p> <p>○三輪田(中)地区の訪問</p> <p>&lt;住民の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨のため、自宅で過ごされていた方が多かった。</li> <li>・ほとんどの家庭の建物に部分的に被害はあるが、身体は健康に過ごしておられた。</li> <li>・三輪田地区は建物被害が少ないため、津波の被害の大きかった雄勝や石巻市内から避難されている家庭があった。</li> <li>・雄勝地区から5人で祖母の実家に避難している家庭は、仮設住宅が当選し、近々入居予定。しかし、仮設住宅が6畳と4畳半しかスペースがないため、祖母だけしばらく実家に避難したままになるとのこと。石巻市から避難してきた家庭は、車を流され、今は軽自動車を買って乗っているとのこと。</li> </ul> <p>○次の訪問予定地区のマップ等作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三輪田(上)地区マップ作成、エクセルへの入力終了。</li> <li>・辻堂地区は、住基台帳の出力、ナンバリング、地図へのマッピングは終了。エクセル台帳への入力が必要。</li> </ul> <p>○第23班への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健事業や情報交換会及び継続訪問が必要なケースについて引継ぎを行った。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○朝方震度4の余震がありました。原田所長、保健師2名、運転手、全員元気です。</p> <p>【原田報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中は、引き続き、三輪田(中区)を訪問、前半部分は、2手に分かれ、私の方は、19日に長谷川・西村保健師さんが訪問して、抑うつ状態で再訪問となった女性宅に行かせて頂きました。その後合流し、午前の訪問を終えて、午後は、引継ぎの準備に入りました。</li> <li>・心的なストレスを抱えている人の多くは、より身近な人に話をすることが多く、むしろその話をされた人たちをこちらがフォローするというのが一番スムーズな感じ。一方で、外部から来た人だからこそ、話せると言われる方もおられます。</li> <li>・その他、事例の相談も受けました。「これまで1人で生活していた発達障害者(2次障害もある)が、震災で家を無くし、避難所生活になったが、精神的に不安定になり、夜に独語をしながら徘徊している。」「統合失調症のようだが、なかなか面接に乗らず、近々、仮設住宅に入る予定。」「発達障害がいのある子が、今度小学校に入学するが、大丈夫だろうか」など、さまざまです。</li> <li>・これから、仮設住宅への入居も始まり、あらたな展開もあるかと思えます。また、避難所から出られない人もいます。まだまだ、多くの課題があります。3歳児検診なども、これから始まっていきます。</li> <li>・東京都は、一時的に今月末辺りで撤退すると言うような話も聞きました。また、チームの訪問先の再編成もありとか言う話も聞きました。が、河北地区としては、まだ、支援が必要と言うことで、鳥取県チームは、可能な限り、河北地区の支援継続でやれればと感じています。</li> </ul>
6/24	
<b>23班</b>	
<p>田端久美子 (境港市役所)</p> <p>中村智美 (江府町役場)</p> <p>高塚博之 (県西部総合事務所)</p> <p>1日目(6/23)</p> <p>鳥取→【ANA・JR】→塩釜</p> <p>2日目(6/24)</p> <p>ホテル(塩釜市)</p> <p>3日目(6/25)</p> <p>ホテル(塩釜市)</p> <p>4日目(6/26)</p> <p>ホテル(塩釜市)</p> <p>5日目(6/27)</p> <p>ホテル(塩釜市)</p> <p>6日目(6/28)</p> <p>ホテル(仙台市)</p> <p>7日目(6/29)</p> <p>ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>6/23</p> <p>6/24</p> <p>6月24日(金) 天気:曇りとときどき雨 (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:45 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着 本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:15 三輪田(上区)地区行政区長さん、民生委員さんへ挨拶に行くも留守(家族に伝言)、三輪田(上区)訪問</p> <p>11:45 昼食</p> <p>13:00 三輪田(上区)訪問、再度地区行政区長さんへ挨拶に行くも留守</p> <p>14:10 ビッグバン(鳥取県チーム対応事例)訪問</p> <p>15:00 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:10 2階会議室にてPCAT、西條保健師、千葉保健師に訪問結果について報告。</p> <p>17:00 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>訪問世帯11世帯、うち不在0世帯、ビッグバン訪問</p> <p>○三輪田(上)地区の訪問</p> <p>&lt;行政区長に挨拶&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いとこの葬式のため不在。午後には帰られると伺い、屋から再度訪問するが、まだ帰ってこられなかったため、息子さんと話をし、伝言をお願いする。</li> </ul> <p>&lt;民生委員に挨拶&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不在で、帰宅は夜になるとのことなので伝言をお願いする。</li> </ul> <p>&lt;地区の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害はなく建物の被害は比較的少ないが、かなり揺れたため、家のなかの家財道具は倒れたり壊れたものが多かった。高齢者の世帯は、近所の若い人が倒れたものを起こしてくれたが、食器などの中身をしまうことはまだ手つかずのものもあるとのこと。</li> <li>・上水道、電気、ガスは普及しているが、下水道はまだ完全ではなく、排水制限がある。</li> <li>・屋根や風呂釜など大きな修理は仮設住宅が終わらないと業者が対応できない状態。</li> <li>・高齢者が自宅にいる家庭が多い。</li> </ul> <p>&lt;住民の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の世帯が多く、口をそろえて、「私たちは恵まれているから」と発言される。落ち着いたと言われる方がほとんどである。</li> <li>・持病を持つ人が多いが、受診は皆さんできている。しかし、一部の人は電車が不通のための不便さや、腰痛のがあるため、でこぼこしている道路では腰に負担で車の移動が困難なことなど、制約がある。</li> <li>・1名震災後から血圧の上昇や不安感、不眠などの状態が続いており、現在も話ながら涙がでる人がある。最近落ち着いたといわれるが、不眠もあるため、医師に相談するよう勧める。</li> <li>・たまたま風邪を引いて在宅におられた男性より、最近放射能が上がったと聞いたが大丈夫だろうかと話がある。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○運転手、保健師2名、全員元気です。</p>

6/25	<p>6月25日(土) 天気:くもり (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:00 被災地(大川小学校・旧雄勝町)視察  9:00 河北総合支所着(保健師2名、運転手)、高嶋保健師より、今の状況について話を伺う。本日の活動内容について報告  10:00 三輪田(上)訪問(保健師)  12:30 昼食  13:00 三輪田(上)訪問(保健師)  14:50 河北総合支所にて記録作成。今後訪問予定地区(大森)の資料作成(運転士)  16:00 訪問結果について報告  16:30 河北総合支所出発(予定)  19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】  訪問世帯23世帯、うち不在6世帯  ○昨日に引き続き、三輪田(上)地区の訪問  &lt;地区の様子&gt;  ・建物の被害/昨日と同じくほとんどない人から半壊と言われている家もあるが、口をそろえて、津波には遭っていないからまだと話をされる。  &lt;住民の様子&gt;  ・高齢者夫婦と面談。息子嫁と孫は無事だが、息子は現在も行方不明。誕生日が過ぎたら死亡届けを出すつもり。孫を育てなければという前向きな発言もあるが、父の落胆が強く、話をしている最中にも息子の写真などを持ってくる。相談場所もあることを伝える。  ・旧石巻市で被災し、三輪田地区に引越してきたご家族。お金がないこと、食べ物がいないこと(滞りがち)が困っていると。支所に話をしておく伝える。  ・自宅療養中の男性。支所保健師から依頼のあった紙おむつを届ける。ヘルパー訪問の時間に併せて訪問し、面談できる。よく話をされ元気そうだが、東北弁が聞き取れず、横でヘルパーさんが通訳をしてくださる。  ・孫が死亡した、いとこが死亡した等身近な人を亡くされた話がでる。職場を失った人も多く、会社の社長だが、会社を流された。しかし、家が残っているからと話をされる。  ・今回の被害は少なかったが、今後についての希望がある。  ① 神社では低いので、裏山に逃げられるような整備(避難所)をして欲しい  ② 無線が聞こえなかったので整備して欲しい  ③ 現在も新聞に当番医が載っていない(自分で病院に連絡するとのこと)</p> <p>【職員の体調】  ○ 運転士、保健師2名、全員元気です</p>
6/26	<p>6月26日(日) 天気:雨 (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:00 被災地視察  8:50 河北総合支所着 昨日の状況、本日の活動内容について報告(高島保健師)  10:00 三輪田(中区)不在宅を訪問  12:20 昼食  13:10 三輪田(上区)訪問  15:15 河北総合支所にて記録作成  17:00 河北総合支所出発(予定)  19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】  訪問世帯19世帯 うち不在5世帯  ○三輪田(中区)の訪問  前回不在世帯8世帯 うち不在2世帯  &lt;住民の様子&gt;  ・高齢男性。独居。言語不明瞭で状況が聞き取れない。支援が入っているのか、確認する必要がある。  ・震災後難聴のある母と身体障害のある息子世帯は、その子どもやヘルパーの支援があった。  ・現在人が住んでいる様子が見られない家があったが、三輪田(上区)で今日訪問した家に避難していたことがわかった。  ○三輪田(上区)の訪問  前回不在世帯6世帯 うち不在2世帯、新規世帯3世帯、うち不在1世帯  前回訪問し、要フォローになった1世帯  &lt;住民の様子&gt;  ・中年女性。夫婦2人暮らし。母や親戚も大半を亡くし、いろいろな手続きが一段落した今のほうが食欲もなくなってきたと話がある。一食欲不振など続くようなら支所に相談するよう伝える。  ・中年男性。独居。家も無事で元気。仕事も無くなったが、「再就職できた」と普通に話をしていたが、突然に泣かれる。「当時は思い出して、大丈夫と言われるが、支所保健師に報告する。→訪問の際に、今は必要でなくても、連絡先が分かるものをおいてもよいかと思われる。  ・先日訪問した女性→支所保健師の依頼で再訪問。こころのケアチームまたはカウンセリングの紹介をする。カウンセリングを希望されたため、支所保健師に報告する。  ○辻堂の訪問  ・訪問世帯1世帯(高島保健師の依頼により、訪問。同居家族の人数と状況を確認する。)、他地区から避難している家族(5人)が同居している。震災直後、不安定だった幼児も落ち着いてきているが、洗濯物が揺れても地震を思うなど、敏感な状態は続いている。  &lt;その他&gt;  ・土日は高速道路の交通量が少なく、1時間程度で支所に着きました。  【職員の体調】  ○ 運転士、保健師2名、全員元気です。</p>
6/27	<p>6月27日(月) 天気:雨 (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所着 本日の活動内容について報告(西条保健師)  10:00 三輪田(上区)不在宅を訪問  12:30 昼食  13:30 河北総合支所にて記録作成  15:15 西条保健師、千葉保健師に訪問結果について報告  17:00 河北総合支所出発(予定)  19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>6/27 【本日の活動概要】  訪問世帯22世帯 うち不在6世帯・前回不在世帯1世帯  ○三輪田(上区)の訪  &lt;地区の様子&gt;  ・先日に引き続き雨で気温も低く、上着をきても肌寒い。訪問先ではこたつに入っていたり、ストーブをつけている家庭もあった。先週末までは30度を超えていたため、かぜを引いている人も数名あった。月曜日で不在も多いが、小中学校が代休のため子供が在宅の家もあった。  ・地区の傾向として、津波の被害がなかったことで、家屋の被害はあっても、うちは大丈夫だという言葉が多い。しかし、同居の家族や親戚を亡くした方や、仕事を無くした人、本人が津波に巻き込まれた人もあり、他と比較すれば大丈夫だとがまんしている印象を受ける。  &lt;住民の様子&gt;  ・被災後の家屋調査について、家族不在のときに調査にきたこと、その後の対応について不満がある世帯。再度調査にいくと言われたが連絡がないことについて、その旨を伝えることとする。体調は良い。  ・今回の災害とは関係ないが、妻が脳卒中後遺症による麻痺があり、家を開けると臭いも気になり、失禁もあるのではないかとと思われる世帯。介護保険につながっていないため、相談するよう伝える。  【職員の体調】  ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>

6/28	<p>6月28日(火) 天気:雨 (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着 本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>10:00 ビッグバン着、3才児健診会場準備(ビッグバン内 文化交流ホール)、スタッフ事前カンファレンス</p> <p>11:30 昼食</p> <p>12:30 3才児健診受付開始・尿検査・計測・栄養チェック・問診・(歯科エプロンシアター)・内科診察・歯科診察・チンパノメトリー・栄養個別・母子手帳返却</p> <p>15:15 健診終了、会場片付け</p> <p>15:45 スタッフ事後カンファレンス</p> <p>16:40 終了</p> <p>16:50 河北総合支所にて記録作成</p> <p>17:00 24班へ引継ぎ、河北総合支所出発(予定)、仙台市ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○母子保健事業(3才児健診)へ参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象家庭:29組、参加:26組、対象児:平成19年9月~12月生まれ</li> <li>スタッフ:東北大:内科1、歯科1、看護師2、栄養士1、歯科衛生士1、市:保健師3、鳥取保健師2、栄養士2、歯科衛生士1、託児ボランティア2</li> </ul> <p>・今までは市内の医師に健診を依頼していたが、震災後医師が体調を崩すなどで、確保が困難となる。震災支援として東北大学が入っていたため、健診の支援も依頼することになった。</p> <p>&lt;会場準備、事前カンファレンス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグバン入って右側の文化交流ホールが健診会場。</li> <li>気になった家庭についてスタッフが情報共有。</li> </ul> <p>&lt;健診の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取県保健師は問診、母子手帳返却(事後指導?)を担当。</li> </ul> <p>&lt;事後カンファレンス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前カンファレンスにて気になった家庭の健診での様子を、問診をとった保健師が報告。その他にも、健診時気になったケースの情報共有。</li> <li>今後もフォローが必要なケースは、電話や面接を行ったり、心のケアチームに繋ぐこととした。</li> </ul> <p>○第24班への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報交換会及び継続訪問が必要なケースについて引継ぎを行った。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
6/29	<p>【今後考えられること、活動方針】</p> <p>○家庭訪問</p> <p>&lt;訪問場所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害の強かったエリアから順番に地区単位で全戸訪問。</li> <li>三輪田(上)地区の訪問途中。24班からは、三輪田(上)地区の残りを訪問。(不在家庭も含む。)三輪田(上)は地震の被害のみ。山どこと言われる山と田んぼの間に家がある集落。受け入れはよい。</li> <li>次回予定地区 辻堂(準備済み)(一軒訪問済み)・犬森(準備済み)</li> </ul> <p>&lt;聴取内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の全戸訪問では、面会できた人の確認、世帯全員の健康状況、受診状況、運動機能の確認や生活状況(特に独居高齢者)、介護申請状況等の確認、被害の強かった地域からの避難者の有無 に重点を置き聞き取る。</li> <li>今後の方針が要フォローの方について。まず、支所保健師に申し送る。相談の上、鳥取チーム継続、支所の保健師に引き継ぐ、または必要なケースは、医療チームとのカンファレンス(16:00~2階会議室)に提出し、支援方針を協議。</li> </ul> <p>&lt;注意事項&gt;</p> <p>訪問について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問の際は最初に「市役所河北支所から来た保健師です。震災後の健康状態の確認に来ました。」と声をかけると良い。</li> <li>不在の場合→2回目訪問する。2回目以降訪問しても不在であった世帯については「不在家庭用伝言メモ」を配布(ポストに入れる)し終了とする。</li> <li>新たな地区の訪問を開始する時には、初日に、民生委員及び行政委員(区長)宅をまず訪問し、挨拶を行うとともに地区内の気になる家庭等について情報収集を行う。(三輪田上区は区長、民生委員ともに会えなかった)→全戸訪問ではあるが、優先順位を定め適切な支援を行うためには、支所保健師及び上記地区役員から情報を得た上で訪問した方が良い。</li> </ul> <p>報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高島保健師又は西條保健師に毎日の活動報告を行う。</li> <li>活動報告書を印刷し、見て貰いながら報告する。(鳥取県のパソコンからは印刷できないので、USBに落として支所職員のパソコンで印刷すること。西條保健師の一番上の引き出しにUSBがあるため自由に印刷可)</li> <li>活動報告書が当日中に作成出来なかった場合には、翌日手渡すこと。(その場合は県に活動終了の電話を入れておく)</li> </ul> <p>○避難所への訪問活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所の状況は変化しているため、活動期間中1回は避難所を訪問し、常駐の看護師に状況を把握する。</li> </ul> <p>※避難所(ビッグバン)にて鳥取県チームを待っている継続ケースがあり、23班も訪問し、最近の様子の聴取、血圧測定を行った。本ケースは、6月末より仮設住宅に入居予定。引き続き鳥取県保健師に訪問をお願いしたいとのこと。</p> <p>&lt;ケース概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>降圧剤服用中。当初は薬を飲まず、避難所内で飲酒することもあったが、最近は節酒し、服薬自己管理し血圧も安定している。毎日血圧を測定し、手帳に数値を書いて貰っている。</li> </ul> <p>○他県派遣者との情報交換会</p> <p>日時:6月29日(水)16:00~17:00</p> <p>会場:石巻市保健相談センター2階指導室</p> <p>内容:健康支援チームとして全国から派遣されている保健師の意見交換の場。集まった保健師が輪になって、支援の進捗状況を報告。フリートークで日々の活動で困ったこと、辛かったこと、嬉しかったこと、個人が抱えている思いを話せる場となっている。</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在訪問している、三輪田地区は、比較的被害の少なかった地域。家庭訪問開始前に、被害の大きかった旧雄勝町等を視察しておく、訪問時に住民に共感して話が出来る。</li> </ul>

24班	
河上仁美 (岩美町役場) 橋本弘成 (県東部総合事務所) 鳥飼庄三 (県八頭総合事務所)  1日目(6/28) 鳥取→【ANA・JR】→塩釜 2日目(6/29) ホテル(塩釜市) 3日目(6/30) ホテル(塩釜市) 4日目(7/1) ホテル(塩釜市) 5日目(7/2) ホテル(塩釜市) 6日目(7/3) ホテル(仙台市) 7日目(7/4) ホテル→【JR・ANA】→鳥取	<p>6/28</p> <p>6/29 6月29日(水) 天気:晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着 本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:10 被災地(大川小学校・旧雄勝町)視察</p> <p>11:00 ビッグバン訪問(介護予防教室 見学)</p> <p>11:30 三輪田(上区)訪問</p> <p>12:15 昼食</p> <p>13:00 河北総合支所にて記録作成</p> <p>15:00 西條保健師に訪問結果について報告</p> <p>15:15 河北総合支所出発(予定)</p> <p>16:00 他県派遣者との情報交換会に出席(石巻市保健相談センター2階指導室)(予定)</p> <p>17:15 石巻市役所出発(予定)</p> <p>19:15 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○被災地(大川小学校・旧雄勝町)視察</p> <p>・途中の道路も陥没箇所や応急処置箇所があちこちにあった。また、がれきの撤去作業もあちらこちらで行われており、まだまだ復旧の途中段階であった。</p> <p>・道路もダンプトラックや作業車がよく往来し、砂ぼこりがひどかった。</p> <p>○介護予防教室 見学</p> <p>・ビッグバン文化交流ホールにて、石巻市大森在宅介護支援センター主催で実施(河北総合支所は共催)</p> <p>・約30名の参加あり。避難生活が続いている高齢者等にとって、良い会となっている様子。</p> <p>○家庭訪問 (訪問世帯3世帯 うち不在2世帯)</p> <p>(三輪田(上)地区の訪問)</p> <p>&lt;地区の様子&gt;</p> <p>・浸水被害もなく沿岸部に比べ被害ははかり少ない様子であった。</p> <p>・3世代家族等が多く、高齢者が自宅にいる家庭が多い様子であった。</p> <p>&lt;住民の様子&gt;</p> <p>・持病を持つ人がいたが、継続受診できていた。</p> <p>・家族内で会話あり、また協力し合って生活している。</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>・今年は、黒く大きなハエがよく飛んでいる。浜辺からハエが来ているのかどうか分からないが、気になるとのこと。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○運転士、保健師2名、全員元気です。</p> <p>6/30 6月30日(木) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着 本日の活動内容について報告(西條保健師)</p> <p>9:10 三輪田(上区)訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 三輪田(上区)訪問</p> <p>15:00 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 西條保健師に訪問結果について報告</p> <p>17:00 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【昨日(29日)の活動概要】</p> <p>○他県派遣者との情報交換会</p> <p>&lt;参加機関&gt;石巻市、兵庫県川西市、兵庫県芦屋市、福岡市、鳥根県、石川県、大津市、大分県杵築市、東京都、鳥取県</p> <p>&lt;他自治体の支援状況&gt;</p> <p>・大半の自治体が仮設住宅の全戸訪問に入っており、聞き取り票に基づいて状況把握していた。また、多くの自治体が保健師2名・事務職(運転手)1名という組み合わせで支援に来ている。</p> <p>・仮設住宅に入っても、不眠の人が多し。また、飲酒問題があり、入院先を探しているケースも居る。支援の難しさを痛感している。</p> <p>・仮設住宅で独居の場合は、緊急連絡先を必ず聞くようにしている。</p> <p>・仮設住宅の部屋の隙間から虫や雨水が入ってくるということを数件聞いた。また、不安などの声もある。→ その方の氏名や内容等を石巻市役所保健師に連絡して欲しい。</p> <p>・訪問して、どこまで話をしたら良いか分からない。→ 一人一人の話をじっくり聞いて、その時間を大切にしてほしい。</p> <p>・避難所支援をしてきたが、野菜を食べたいという話なども聞いた。</p> <p>&lt;石巻市役所保健師より&gt;</p> <p>・7月1日から、市役所内に「仮設運営管理室」ができる。</p> <p>・石巻市は8千戸必要であるが、6月中に1千戸、7月で1千戸しか出来ない予定。</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○家庭訪問 (訪問世帯20世帯 うち不在3世帯)</p> <p>(三輪田(上)地区の訪問)</p> <p>&lt;地区の様子&gt;</p> <p>・暑い中、日中に畑仕事をしている高齢者が数名いた。また、朝早い時間帯に農作業を済ませている方もいた。</p> <p>&lt;住民の様子&gt;</p> <p>・保健師の受け入れが良い家庭が多かった。</p> <p>・多くの家庭が家中の窓を網戸やカーテンにして風通しを良くして過ごしていた。</p> <p>・訪問時、不在家庭が少なかった。主に高齢者、そして中年女性が自宅に居ることが多かった。</p> <p>・震災前から慢性疾患等でおかかりつけ医を継続受診している高齢者がほとんどであった。また、訪問看護や往診など医療・福祉サービスを利用している家庭が数軒あった。</p> <p>・震災以降、当地区に住んでいるが住民票を移動していない要介護者が居た。しかし、住宅改修ができない状態にあった。→支所保健師へ報告。</p> <p>・震災によって会社が休業となって、震災後自宅に居るという中年男性が居た。</p> <p>・訪問時若い者が会社へ行っているという家庭が多かった。</p> <p>・震災後に体調不良となったが現在は体調が良くなっている方がいた。また、家族は全員無事であったが親戚が亡くなった方や、実母が亡くなったという方もいた。そして、震災から数か月ということもあり、気を張って過ごしてきたという方が居た。長い目で見て、支援が必要と感じた。</p> <p>【その他】</p> <p>○大分県の支援チームが7月1日より、河北総合支所への支援に加わる予定。現在の鳥取県支援チームとともに、訪問地区を分担して、全戸訪問する予定。</p> <p>【職員の体調】</p> <p>○運転士、保健師2名、全員元気です。(訪問時、暑いです)</p>

7/1	<p>7月1日(金) 天気:曇り時々雨 → 晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着 大分県支援チームへ訪問等の方法について情報提供。本日の活動内容について報告(千葉保健師)</p> <p>10:00 三輪田(上区)訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 三輪田(上区)訪問</p> <p>14:30 河北総合支所にて記録作成</p> <p>15:30 支所保健師に訪問結果について報告</p> <p>17:00 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:00 ホテル到着(予定)</p>
7/1	<p>【本日の活動概要】</p> <p>○家庭訪問 (訪問世帯21世帯 うち不在6世帯) (三輪田(上)地区の訪問)</p> <p>&lt;地区の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハエがよく飛んでいる。</li> </ul> <p>&lt;住民の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師の受け入れが良い家庭が多かった。</li> <li>・特に問題の無い家庭が多かったが、下記のとおり支援が必要と思われる家庭が数軒あった。</li> <li>・震災の直接的被害は少なかったが、震災関係の業務に加えて通常の業務をこなさなければならず、また周囲の職員に長期休暇の人もいて負担が大きくなっている。毎晩夜中の12時を回ってから帰宅し、休暇もほとんど取れていない。また、熟睡出来ていない様子。仕事の事など、母に話すことが出来ている。母も心配な日々が続いているが、睡眠は出来ている。→ 支所保健師へ報告。</li> <li>・自分の家族は無事であったが、いとこや親戚が亡くなった。震災後、震災関連のニュースを見る度に気分が落ち込んでしまう。以前から不眠があり服薬していたこともあったが副作用があり、今は通院していない。最近はずっと家事など出来るようになってきている。→ 支所保健師へ報告。</li> <li>・独居の高齢者宅。訪問時、不在。庭にゴミの入った袋が置いてあり、ハエが飛び、異臭がした。隣家の情報によると、デイサービスなど利用しているとのこと。→ 支所保健師へ報告。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○ 運転士、保健師2名、全員元気です。</p> <p>【その他】</p> <p>○ 大分県支援チームは今後、「大谷地区(約900世帯)」を全戸訪問予定。鳥取県支援チームは引き続き「二俣地区(約540世帯)」を継続訪問中。</p> <p>○ 訪問時、陽が当たるとかなり暑いので、帽子があったほうが良い。</p> <p>○ レンタカーの車内が暑くなるため、サンバイザー(前面、側面用)が欲しい。</p> <p>○ 現在、塩竈のホテルから河北支所まで毎日片道1時間30分かかっており職員への負担が大きいため、可能であれば石巻市近くのホテルに泊まれたら良い。</p>
7/2	<p>7月2日(土) 天気:晴れ時々曇り (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着 本日の活動について報告(西條保健師)、家庭訪問準備、データ整理等</p> <p>10:00 三輪田(上区)訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 三輪田(上区)訪問</p> <p>14:00 ビックバン訪問 駐在看護師に状況を確認</p> <p>14:30 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 支所保健師に訪問結果について報告</p> <p>17:00 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○家庭訪問 (訪問世帯18世帯 うち不在8世帯) (三輪田(上)地区の訪問)</p> <p>&lt;住民の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に変わりはないという世帯が多かったが、中には体調不良を訴えられる人が居た。</li> <li>・津波の被害が無く、揺れのみだった地区のため、大丈夫と言われる人が多かった。</li> <li>・震災直後は津波の被災地から家に避難してきていたという世帯が多かったが、現在では大半の世帯で、もう既に仮設住宅に移った、帰ったと言われた。</li> <li>・最近よく詐欺がいるということで、家に来ているのが本当に保健師か疑う人が居た。支所の証明書を見てもまだ納得せず、結局本人から支所へ電話し、自宅に来ている保健師が本物かどうか、確かめた。(24班の訪問で証明書を提示したのは今回が初めて)</li> <li>・震災後、耳鳴りあり。耳鼻科を受診したが、異常なし。ストレスによるものと言われた。その後、通院なし。→ 相談機関や「心の相談会」について、情報提供した。</li> <li>・独居の高齢者宅。昨日不在だったため、本日再訪問。部屋の片付けを手伝ってほしい気持ちがあり、ヘルパー利用を希望された。→ 支所保健師へ報告。</li> </ul> <p>(ビックバンへの訪問、駐在看護師から下記を聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、約200名が避難中。高齢者が多い。7月1日に仮設住宅の抽選があったため、今後更に避難者数が減る予定。</li> <li>・避難者は、仮設住宅への引越の準備に疲れている様子。不眠の方が居る。</li> <li>・避難所の駐在看護師は5名体制。毎日3~4名、血圧測定等でフォローしている。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○ 運転士、保健師2名、全員元気です。</p> <p>【その他】</p> <p>○ 現在の訪問で使用しているゼッケンは、後ろ側しか「鳥取県」の印字がなく、どこから派遣されてきた保健師か分かりにくいという住民の声があった。前面にも「鳥取県 保健師」と印字されているゼッケンが欲しい。</p> <p>○ 本日で、三輪田(上)地区の全戸訪問は終了。7月3日から、辻堂地区を家庭訪問予定。</p>

7/3	<p>7月3日(日) 天気:晴れ時々曇り (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着 本日の活動について報告(西條保健師)</p> <p>9:10 辻堂地区の行政委員(区長)と民生委員に挨拶。民生委員から気になる家庭について聞き取り。</p> <p>9:30 辻堂訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 辻堂訪問</p> <p>14:20 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 支所保健師に訪問結果について報告</p> <p>17:00 25班に引き継ぎ(予定)、河北総合支所出発(予定)、仙台市ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○家庭訪問 (訪問世帯36世帯 うち不在5世帯)</p> <p>(辻堂地区の訪問)</p> <p>&lt;横山民生委員からの情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる家庭が数件あり。支援に急を要するような家庭は少ないと思われる。</li> <li>・独居世帯が数件ある。また、日中は年寄りが多い地区である。</li> </ul> <p>&lt;地区の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地区では本日朝から衛生害虫駆除があり、訪問時、ちょうど散布していた。散布中は、行政委員が自宅前で近所のかた数人と話をしており、保健師が挨拶した。その後、民生委員宅へ行って挨拶した。また、民生委員から気になるケースについて、聞き取った。</li> <li>・住宅一区画が大きく、築数十年という家が多かった。</li> <li>・散布中、とところ、近所の女性高齢者が数人集まって、井戸端会議をしていた。また、近所の仲の良い者同士が自宅居間に集まって、話をしている家庭もあった。話を聞くと、近所で助け合いながら生活できているとのこと。</li> </ul> <p>&lt;住民の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波の被害が無く、揺れのみだった地区のため、大丈夫と言われる人が多かった。</li> <li>・独居の男性。医療機関を受診しているが、眠れない、熟睡感が得られないという人が居た。親族に頼れる人がいる。日中、話をする人がいない。→相談機関や「心の相談会」を情報提供。</li> <li>・震災直後は津波の被災地から家に避難してきていたという世帯があったが、現在は既に帰ったと言われる世帯が多かった。</li> </ul> <p>○第25班への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換会及び継続訪問が必要なケースについて引継ぎを行う。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○運転士、保健師2名、全員元気です。</p>
7/4	<p>【今後考えられること、活動方針】一部抜粋</p> <p>○家庭訪問</p> <p>&lt;訪問場所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害の強かったエリアから順番に地区単位で全戸訪問。</li> <li>・辻堂地区の訪問途中。25班からは、辻堂地区の新規及び不在宅を訪問。(不在家庭も含む。)(不在宅については同じ班が訪問しても良い)辻堂は地震の被害のみ。</li> <li>・次回予定地区・大森(準備済)</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在訪問している辻堂地区は、比較的被害の少なかった地域。家庭訪問開始前に、被害の大きかった旧雄勝町等を視察しておく、訪問時に住民に共感して話が出る。</li> <li>・7月1日から大分県チームも河北支所への支援に合流し、全戸訪問(大谷地区)中。</li> </ul>
25班	
<p>川本かつ代 (県中部総合事務所)</p> <p>加須屋陽子 (県西部総合事務所)</p> <p>田中 勉 (県東部総合事務所)</p> <p>1日目(7/3) 鳥取→【ANA・JR】→塩釜</p> <p>2日目(7/4) ホテル(塩釜市)</p> <p>3日目(7/5) ホテル(塩釜市)</p> <p>4日目(7/6) ホテル(塩釜市)</p> <p>5日目(7/7) ホテル(塩釜市)</p> <p>6日目(7/8) ホテル(仙台市)</p> <p>7日目(7/9) ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>7/3</p> <p>7/4</p> <p>7月4日(月) 天気:曇り時々雨 (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>6:50 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所着 本日の活動内容について報告(千葉保健師)</p> <p>9:10 被災地(大川小学校・旧雄勝町)視察</p> <p>10:20 辻堂地区訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 辻堂地区訪問</p> <p>15:00 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 支所保健師に訪問結果について報告、医療チームとのカンファレンス参加(自己紹介のみ)</p> <p>17:00 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○被災地(大川小学校・旧雄勝町)視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陥没している道路が所々あり、水が溜まっている田畑があったり、田畑に車や船が埋まっている箇所が多く見られた。</li> <li>・シャベルカーでガレキ撤去作業がされているが、大川小学校の場所では、小学校の周りには何も無くなっている光景がより一層今回の悲惨さを増す状況となっていた。</li> <li>・旧雄勝町のガレキはとて多く、あちこちでガレキの撤去を行っているが、広範囲であり、かなりのガレキの量でなかなか片付く状況とはならず、少しは撤去されていたが、3か月経った今も震災当時の状況とあまり変わらず、震災の悲惨が伺えた。(どちらの場所も、河北総合支所周辺とあまりにも違い過ぎる光景で胸が締め付けられる思いがした)</li> </ul> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○家庭訪問 (訪問世帯 10世帯 うち不在1世帯(再訪問でも不在であった))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・24班から引き続いて辻堂地区を訪問</li> </ul> <p>&lt;地区の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家屋の被害が少ないが、所々陥没のための砂利が敷かれた道あり。</li> </ul> <p>&lt;住民の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の訪問では高齢者世帯が多く、かかりつけ医で心臓病、高血圧等の治療を受けている人が多かった。また、中には訪問看護を受けておられる方もあった。</li> <li>・震災直後は子どもや友人が津波の被災地から家に避難してきていたという数世帯があったが、現在は、元の場所に戻ったり、新しいアパートに移っておられた。</li> <li>・祖母が認知症あり、震災前に介護保険申請をされたが、現在介護認定結果待ちという世帯があった。(まだ認知症も進んできていないのでまだ大丈夫とのことだった)</li> <li>・震災時に病院にいた家族(親)が亡くなられたケースや、施設入所している家族(親)の場所が3日浸かってすぐに会いに行けなかったというケースあり。</li> <li>・家の屋根の被害が大きく雨漏り等あり、1か月くらいは体重減で眠れなかったが、今は体重も戻った。米だけは何とか植えたいと思ってようやく植えたが、今は田植えも終わり、何をしたいのか分からないという方もあり。</li> </ul> <p>【職員の体調】</p> <p>○運転士、保健師2名、全員元気です。</p>

7/5	<p>7月5日(水) 天気:くもり時々雨 (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。西條保健師に本日の活動内容を報告  9:00 辻堂地区の訪問活動  12:45 昼食  13:30 辻堂地区の訪問活動  15:00 河北支所に帰着、河北総合支所にて記録作成  16:00 支所保健師に訪問結果について報告  17:00 河北総合支所出発(予定)  19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】  ○家庭訪問 (訪問世帯 17世帯 うち不在3世帯)  &lt;住民の様子&gt;  ・高齢者が多く、田畑に出られている場合もあるが、日中から家でテレビを見たり、何もする気になれないと横になって過ごされている方が多かった。  ・地域で近所との交流があり、お互いを気にかけて、声をかけ合いながら生活されており、独居の方等は安心して過ごせる環境であった。  ・自宅の被害が大きく、解体待ちの住居や、業者による修理中の家屋が多くみられた。震災により家が傾いたり、扉に隙間が出来たため、震災後の衛生状況の悪化と重なり、ハエや虫が入ってきて、特に夜は安心して寝れない方もおられた。  ・孫が震災直後は余震の揺れに敏感になったり不安が大きく、赤ちゃんがえりもみられたという家庭もあったが、現在は少し落ち着いてきた様子であった。  ・皆さん健康への影響は心配ないと答えられるが、寝付きが悪かったり、家屋の被害による片付けの疲労等が見られた。</p> <p>【明日の活動計画(予定)】  ○ビッグバンの避難者訪問  ○辻堂地区訪問(今日の続き)  ○健康支援チームとして全国から派遣されている保健師との意見交換会(石巻保健相談センター)</p> <p>【職員の健康状態】  ・急に雨が降ったかと思えば、また晴れ間が広がり、午後からは気温も上昇し暑くなりましたが、保健師2名、運転手1名全員元気です。</p>
7/6	<p>7月6日(水) 天気:晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:10 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。高島保健師に本日の活動内容を報告。  9:30 ビッグバン訪問 駐在看護師に状況を確認  10:00 継続ケース(仮設入所者)訪問及び辻堂地区訪問  12:30 昼食、石巻市へ移動。車内にて記録作成  (本日の引き継ぎについては、高橋保健師が15時から虐待ケース検討会があるため、翌日に行くこととなった)  15:00 石巻市内の被害状況視察  16:00 他県派遣者との情報交換会に出席(石巻市保健相談センター2階指導室)  17:50 石巻市役所出発  19:30 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】  ○ビッグバンへの訪問、駐在看護師から状況を聞き取り  ・現在(7/5現在)、205名がビッグバンに避難中。(避難者:飯野川中35人、飯野川小69人)  ・日中は、若い人は勤めや片付けに出て、寝るために帰ってくる状況。(訪問時、若い人は少なく高齢者が残っておられた)</p> <p>7/6  ・看護師2名、夜間はボランティア看護師で対応。必要な人に血圧測定等でフォローしている。  ・トイレ、廊下など、石巻保健所感染症情報が増えている。  ・暑い時期は冷房をかけて涼しく暑さ対策に心がけている(体育館、柔道場は冷房が効かないが、扇風機を置いたり窓を開けたりして室温を調整しているとのこと)(今日は風もあり窓を開けて涼しく過ごしやすい環境であったが、夏場では暑いではと感じた)  ・熱中症対策として、水分を取るよう声をかけているとのことであった。  ・また、食中毒には十分注意し、手洗いの励行や弁当等の食品をためないようとして声をかけているとのことであった。  ・網戸はなく、出入り口には虫取り用の薬がかけてあった。(訪問時、ハエは飛んでいなかった)</p> <p>○家庭訪問 (訪問世帯 10世帯 うち不在4世帯)  ・ビッグバンでの鳥取県継続ケースが仮設住宅に移ったため、仮設住宅に訪問するが不在で会えず。  &lt;住民の様子&gt;  ・高齢者の方が日中の特にすることがなく、家の中で過ごされている様子がよく見られた。  ・震災直後に子供の世話で3日間帰って来られなかった保育士や連日災害対応でしていた市の職員があり、家族の方は疲労を心配しておられた。  ・子供が亡くなった娘を心配し、娘のサポートをされていた家族もおられた。</p> <p>○他県派遣者との情報交換会  ・参加機関:石巻市、大分県国東市、三重県、兵庫県、福岡市、石川県、東京都、鳥取県  &lt;他自治体の支援状況(抜粋)&gt;  ・地区や仮設住宅の全戸訪問や乳幼児健診など様々な活動をしている。  ・仮設住宅では、入る前は仮設住宅にいつに入れるのかと不安があるが、入ったら、「段差があって思うように動きがとれない」「配給がこない」「情報が入ってこない」などの不満があがっている。  ・介護認定を受けて仮設住宅に入ったケースでは、仮設が砂利道で危なくて歩けないため、だんだん動くことができなくなった方もあり、自分で訓練しているケースにとっては仮設住宅もよし悪し。  ・各チームで気になるケースの継続支援を行っているが、派遣期間が終わった時に、今後どこまでフォローしていくのか、支援のあり方について課題。  ・避難所の人が少なくなった分、ゆっくり話ができ、今まで言えなかった辛い思いなど話されるようになった。  ・避難所でも仮設住宅でも、ハエや虫が入ってくるため、網戸の設置を望む声があった。</p> <p>&lt;石巻市役所保健師より&gt;  ・避難所の人数が減ってきて、避難所の集約を考えているが、「家の近くがいい」「ゆっくり寝たい」等の声があり、なかなか進まない。  ・仮設住宅に関しては様々な問題があるが、今後、コミュニティづくりに取り組むこととしており、リーダーシップになれる人がいるか、健康相談会の開催等を考えている。  ・市では、今後、サポートセンターを立ち上げることとしており、週1回関係課が打合せを行っている。いろいろな要望に対応するため、まずその入り口として、仮設住宅入居者の全戸調査を行って、現状を聞き取り、そこから、介護保険、障がい、子育て等の関係課につなげていくこととしている。</p> <p>【明日の活動計画】  ○辻堂地区訪問(続き)</p> <p>【職員の健康状態】  ・今日は天気が良い、暑い1日でした。保健師2名、運転手1名全員暑さに負けず頑張ってます。(暑さのため、地元のしみみアイスを食べた人もいました)</p> <p>【その他(大分県の情報)】  ・大分県は、県が福島県、大分市が宮古市、大分県内の市町村が宮城県(石巻市)に保健師を派遣している。  ・宮城県派遣チームは、県が日程だけ調整し、同一市町村が1チーム3人1組(保健師2人、運転手1人)で9日間交代で活動(移動日2日、活動日7日)。各チームでホテルの確保や物品の準備を行っている。  ・報告は、特に県への報告は必要なく、各市町村独自の実績報告様式で、1週間まとめて各市町村に報告されているとのこと。  ・今回、国東市は当初石巻市での活動を予定であったが、急遽河北総合支所へ活動場所が変更となり、戸惑いがあったとのこと。  ・大分県チームは大谷地地区を担当し、全戸訪問している。  ・各チームそれぞれがホテルの確保や物品の準備を行っているため、負担大きく、鳥取県のやり方を見習いたいとのことだった。  ・大分県国東市(くにさき)チームは黄色のゼッケン、鳥取は青色のゼッケンで、黄色と青色の人がうろうろしていると河北支所に電話があったようで、支所の方は「不審者ではありません」と住民の方に伝えておられました。</p>

7/7	<p>7月7日(木) 天気: 晴れ時々曇り (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。西條保健師に本日の活動内容を報告  9:00 辻堂地区の訪問活動  12:00 昼食  13:00 辻堂地区の訪問活動  15:10 河北支所に帰着、記録作成  16:00 支所保健師に訪問結果について報告  17:00 河北総合支所出発(予定)  19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】  ○家庭訪問 (訪問世帯 30世帯 うち不在18世帯)  &lt;住民の様子&gt;  ・本日の訪問区域は集落からやや離れた場所にあり、昨日まで訪問していた昔ながらの家よりは新しい家も多く、家屋の被害は比較的少なかった。また、働き盛り・核家族の世帯が多く不在の家が多かった。  ・解体待ちの家があり、避難先の孫の家から家の片付けや農作業のため、毎日通ってきておられる高齢者の方がおられた。  ・震災時、妊娠中だった方もおられた。産後は不安もあったが、家族や近所の方等の支えもあり、大きなストレスにはなっていないようだった。しかし、震災後3か月経ち、生活も落ち着き安心されたせいか、疲れが出ている様子も見られた。  ・子どもと孫を亡くされた高齢女性。悲しい気持ちもあるが、他の子ども達の声かけも受け、元気でいいといけなく自分を奮い立たせて生きていこうと。  ・今まで4回大きな地震を経験された方は、今回の地震は今までの中でとてもひどい地震だと強く訴え、改めて津波の脅威を感じておられた。</p> <p>【明日の活動計画(予定)】  ○仮設住宅訪問(継続ケース)、辻堂地区訪問(今日の続き)、26班への引継ぎ</p> <p>【職員の健康状態】  活動4日目になり、だいぶ疲労も溜まってきていますが、宮城の美味しいお米を食べ、また被災者の方にもパワーを頂きながら、3人元気に頑張っています。</p> <p>【その他】  ・明日から、大分県2班目が活動されます。2班目は由布市が担当です。ちなみに由布市のゼッケンは青色でした。(鳥取県より鮮やかです)</p>
7/8	<p>7月8日(金) 天気: 晴れ時々曇り (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。西條保健師に本日の活動内容を報告  9:20 仮設住宅訪問活動(継続ケース)  10:20 辻堂地区訪問活動  12:40 昼食 14:00 河北支所に帰着、医療チーム・巡回診療日程確認、記録作成  16:00 支所保健師に活動報告、要フォロー者の対応相談  17:00 26班へ引継ぎ  18:00 河北総合支所出発  20:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】  ○仮設住宅訪問(継続ケース(単身者)1件)  ※仮設住宅入居者については、仮設住宅入居世帯調査票により状況把握実施  ・7/1よりビックバンから仮設住宅へ引越し、3DKの部屋で生活しておられた。  ・仮設住宅の環境は小さい窓しか無く、風通しが悪く暑い。(部屋にクーラーは設置されているが、電気代を心配されてか、使用されていない。)部屋の中にはハエが何十匹も飛んでいた。(網戸をしていても虫が入ってくるとのこと。)  ・食料等の買い物は自家用車で自由に行けるため、不自由さはない。</p> <p>7/8  ・食事に関しては、避難所ではバランスがとれた内容ではないが、スタッフの管理の元摂取できていた。しかし、仮設住宅では独居のため、手軽な内容となりがちで、さらに栄養状態の偏りが生じている。  ○家庭訪問 (訪問世帯 10世帯 うち不在1世帯(隣接の祖父母から状況聞き取り))  &lt;住民の様子&gt;  ・元小学校の校長先生がおられ、避難所の運営の大変さや当時の判断を求められた際のプレッシャーを語られた。  ・地盤が強いため、家屋に大きな被害はない家が数軒あった。  ・家が流され、子どもの家に避難されている方があり、地震当時の津波が襲ってきた光景が頭から離れず、約4か月経つ今でもまだ恐怖を感じておられた。  ・震災直後に更年期障害が悪化し、動悸が治まらず、自分で早めに受診されたケースもあった。</p> <p>【職員の健康状態】  ・3人と元気に最終日を終えることが出来ました。</p> <p>【その他】  ・河北支所は本日午後からクーラーが入りました。(塩竈市情報)  ・宿泊している塩竈市は海水から塩を取り出す釜があったことから、つけられた地名です。塩竈港もかなりの被害があり、今だに水位が高かったです。塩竈市イオン専門店が7月下旬にオープン予定です。</p>
7/9	<p>【今後考えられること、活動方針】一部抜粋</p> <p>○家庭訪問  &lt;訪問場所&gt;  ・被害の強かったエリアから順番に地区単位で全戸訪問。  ・辻堂地区(辻堂は地震の被害のみ)の訪問途中(どの家も1回は訪問済み)。26班からは、辻堂地区の不在宅訪問と大森地区を訪問(新規)。  ・次回予定地区 梨木舟渡、大土、東福田(準備済)</p> <p>&lt;継続ケースについて&gt;  *「★(要更新)訪問実施状況一覧ファイル」の申し送りシートのケースについて  フォロー時期を確認し、訪問日程を組むこと。(7/8現在 継続ケース6人)</p> <p>○避難所への訪問活動  ・避難所の状況は変化しているため、活動期間中1回は避難所を訪問し、常駐の看護師に状況を把握する。  ○母子保健事業への参加(1歳6か月健診)ノ日時:7月12日(火)</p> <p>○その他  ・現在訪問している辻堂地区は、比較的被害の少なかった地域。家庭訪問開始前に、被害の大きかった旧雄勝町等を視察しておく、訪問時に住民に共感して話が出る。  ・7月1日から大分県チームも河北支所への支援に合流し、全戸訪問(大谷地区)中。(現在2チーム目(由布市))</p>

26班  
藤原加奈

7/8

<p>(智頭町役場) 石田千晶 (県東部総合事務所) 坂根 晃 (県中部総合事務所)</p> <p>1日目 (7/8) 鳥取→【ANA・JR】→塩釜</p> <p>2日目 (7/9) ホテル(塩釜市)</p> <p>3日目 (7/10) ホテル(塩釜市)</p> <p>4日目 (7/11) ホテル(塩釜市)</p> <p>5日目 (7/12) ホテル(塩釜市)</p> <p>6日目 (7/13) ホテル(仙台市)</p> <p>7日目 (7/14) ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>7/9 7月9日(土) 天気:晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。高島保健師に本日の活動内容を報告 9:00 被災地視察(大川小学校近辺) 9:30 継続ケース及び辻堂地区訪問活動 11:50 昼食 13:00 河北総合支所にて高島保健師から1歳半健診(12日)のオリエンテーション 14:00 高島保健師に訪問事例報告、要フォロー者の対応相談 14:30 活動記録作成 15:30 ビッグバン視察 16:50 河北総合支所出発 18:40 ホテル到着</p> <p>【本日の活動概要】 ○被災地視察 ・大川小学校に近くにつれ周囲は根こそぎ流されていたり小舟が空き地のような所にあたり階下が何も無い家があったり被害のすごさを改めて実感した。 ○家庭訪問(訪問世帯4世帯 うち不在2世帯) &lt;地区の様子&gt; ・訪問中、車が通ると砂埃が舞い上がる。 ・家屋は大きな被害はなく受け入れよい世帯が多い。 &lt;住民の様子&gt; ・高齢者2人世帯 介護保険申請をしているが震災の関係か手続きが進んでいない。 ・暑いため、ほしがらなくても時間を見計らって家族がお茶等を勧めたり熱中症予防に気をつけているとのこと。 ・受け入れよく話していただいたが、とところろ方言が聞き取れない部分ある。 ○1歳半健診オリエンテーション ・前回は3月8日に実施 ・会場はビッグバン 対象者27人(3地区合同で実施)、鳥取県は問診及び個別指導、母子手帳返却を担当。 ○ビッグバン視察 ・現在は200人弱、ダンボール等で仕切りをしておられたり、ソファをつなげたり工夫しておられる。日中は出かけてる人が多いとのこと。東京歯科医師会が今日は診療をしておられた。 【職員の健康状態】 ○3人とも元気です。</p>
	<p>7/10 7月10日(日) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。千葉保健師に本日の活動報告及び介護保険申請事例について相談 9:10 三輪田(下)地区、辻堂地区訪問活動 12:00 昼食 13:00 辻堂地区訪問活動 14:30 雄勝地区視察 15:00 河北総合支所に帰着、記録作成 16:00 千葉保健師に訪問結果について報告(予定) 17:00 河北総合支所出発(予定) 19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】 ○家庭訪問(訪問世帯22世帯 うち不在6世帯)(継続4世帯 うち不在1世帯) &lt;地区の様子&gt; ・日曜日のせいか在宅者や親戚がきていたりと比較的多くの人がおられた。 ・表札の無い家も多く地図の確認をしながら訪問。 ・ハエが出て気になると言われる家庭もあったが目立つほど飛んでいる家庭は見受けなかった。 ・暑い窓を開け放したりし、暑さ対策に気をつけている様子がうかがえる。 &lt;住民の様子&gt; ・家は壁に一部ひびが入っている等はあるが大きな被害はなく、家人も「変わりないです」と言われる家が多い。 ・高齢者夫婦で旧石巻市から避難している家や、実家に避難している世帯有り。 ・両親とも無職となり、また子供も一時不安定になったり保育料のことが気になったりで4歳児を家でみているという家があった。 &lt;その他&gt; ・訪問中に地震あり少し揺れる。訪問先で一時津波注意報が出たこと等を教えてもらう。 ○雄勝地区視察 ・山を越えると一気に海岸線がみえるが周囲は瓦礫の山となっていてまだ手つかずの状態で被害の大きさに改めて驚愕する。 【職員の健康状態】 ○3人とも元気です。</p>
	<p>7/11 7月11日(月) 天気:晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。本日の活動報告及び継続事例について報告 9:10 大森地区訪問活動開始。地区長及び民生委員に挨拶し優先訪問者の確認 12:00 昼食 13:00 辻堂地区の継続訪問及び大森地区訪問 14:30 総合支所帰着記録作成、パソコン等の機器について鳥取県庁情報センター等へ相談 16:00 高島保健師に訪問結果について報告(予定) 17:00 河北総合支所出発(予定) 19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】 ○家庭訪問(訪問世帯28世帯 うち不在6世帯) ・民生委員に挨拶し、高齢者世帯や単身世帯等の優先訪問宅について教えていただく。高齢者夫婦や独居世帯等気になる家庭の情報を教えていただくが急を要するという家庭はないので全戸まわってもらえばいいとのこと ・区長宅訪問 区長さんは不在で奥様に挨拶し訪問開始する。 &lt;地区の様子&gt; ・被害の少ない地域でありまた大きな家が多い。 ・周囲には田畑があり落ち着いた感じの地域。 ・家の周りで農作業等に従事している人有り声かけをすることが出来た。 &lt;住民の様子&gt; ・家は壁に一部ひびが入っている等で大きな被害ではなかったと言われる方が多い。 ・被害の大きかった地域から避難してきておられる方あり。 ・眠れないことあるが相談や受診を要するほどではないとのこと。 ・震災発生時は妊娠中であつたが無事出産し、現在は母子で住所を移し実家で協力を得ながら子育て中の方あり。 ・高齢者2人で生活しておられる家庭も多い。 ・子育て支援センター開始のお知らせチラシを持参したが該当世帯はなかった。 &lt;その他&gt; ・今朝は高速道路料金所が予想外に混雑した。 ・パソコン1台 起動しなくなり鳥取県庁情報センターに相談し交換予定。 【職員の健康状態】 ○3人とも元気です。</p>

7/12	<p>7月12日(火) 天気:晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着。本日の活動報告及び昨日の訪問事例について報告</p> <p>9:40 1歳半健診準備の為ビッグバンに出発、到着後、会場準備、打合せ</p> <p>11:30 昼食</p> <p>12:30 1歳半健診開始、問診・事後指導の実施</p> <p>14:30 検診終了 後片付け</p> <p>15:00 事後カンファレンス</p> <p>16:30 河北総合支所にて記録作成</p> <p>17:30 河北総合支所出発(予定)</p> <p>19:00 ホテル到着(予定)</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○1歳半健診</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診対象者 27人</li> <li>・スタッフ:小児科医師 東北大派遣1人、歯科医師 東北大派遣1人、保健師 支所保健師3人・派遣保健師4人(鳥取県2人・兵庫県2人)、栄養士 支所2人、歯科衛生士 本庁2人(東北大派遣 1人)、心のケア 東北大派遣 2人、ジャパンハート 2人</li> <li>・受診者 26人</li> <li>・健診の流れ 受付→計測→問診→歯の染め出し→内科診察→歯科診察→栄養指導→事後指導→心のケア</li> <li>・要フォロー者 11人(訪問・2歳児健診等で確認)</li> <li>・語彙数が少ない。</li> <li>・栄養指導 震災後ミルクが主の食事となっている事例あり。</li> <li>・聞こえの確認。</li> <li>・母の要観察 イライラしている等。</li> </ul> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。</p>
7/13	<p>7月13日(水) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着。本日の活動報告</p> <p>9:10 継続事例訪問(三輪田1件 仮設住宅 1件訪問)</p> <p>12:00 昼食</p> <p>12:50 継続事例訪問(三輪田1件訪問)</p> <p>13:20 河北総合支所にて記録作成、引継書作成、西條保健師に訪問結果報告</p> <p>15:00 河北総合支所出発</p> <p>16:00 他県派遣者との情報交換会に出席(石巻市保健相談センター)</p> <p>17:15 石巻市保健相談センター出発</p> <p>17:45 河北総合支所にて第27班に引継</p> <p>19:00 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○家庭訪問 (訪問世帯3世帯 うち不在1世帯)3世帯とも継続事例</p> <p>&lt;住民の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災後、抑うつ感や漠然とした不安感があるまた、何かしなくてはと追われる様な気持ちがあり落ち着かない。実家が震災で流出し、逃げ場がない様にも感じる。子どもはクラブ活動に打ち込み一時的に不安定だったが軽快した。</li> <li>・息子を亡くし、しばらくは何をする気も起こらなかった。人は日にちが経てば少しずつ善くなると言われるが日を追うにつれさらに思われる。以前は人に会いたくなかったがそれは軽快した。今は仕事は休職中、会社から再開したら来て下さいと誘われているがその気になれるか不安。ただ、初孫が出来る予定で、息子の嫁と買い物に行ったりして気分転換している。</li> <li>・1件は不在にて連絡メモを置く。</li> </ul> <p>○他県保健師との意見交換会</p> <p>参加者:29人、参加県・市:9県・市</p> <p>&lt;主な意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設訪問している 茶話会等を開催し住民との交流の機会をつくっている。</li> <li>・仮設では1回目だけでいいので顔合わせの機会を造って欲しいという意見あり。</li> <li>・訪問では話したい人あり1件に時間を要する。</li> <li>・乳幼児健診では母のストレスが目立つ。</li> </ul> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。</p>
7/14	<p>【今後考えられること、活動方針】一部抜粋</p> <p>○家庭訪問</p> <p>&lt;訪問場所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害の強かったエリアから順に地区単位で全戸訪問</li> <li>・辻堂地区(～7月10日)終了</li> <li>・大森地区(7月11日～)訪問中</li> <li>・27班は大森地区(特別養護老人ホーム仁風園は除く)と現在までの要継続ケース訪問</li> <li>・次回予定地区は 梨木船渡 大土 東福田 北境(準備済)</li> </ul>
27班	茂藤由美子
7/13	

<p>(北栄町役場) 山崎幸代 (県医療政策課) 影山要一 (県西部総合事務所)</p> <p>1日目 (7/13) 鳥取—【ANA・JR】—塩釜 2日目 (7/14) ホテル(塩釜市) 3日目 (7/15) ホテル(塩釜市) 4日目 (7/16) ホテル(塩釜市) 5日目 (7/17) ホテル(塩釜市) 6日目 (7/18) ホテル(仙台市) 7日目 (7/19) ホテル—【JR・ANA】—鳥取</p>	<p>7/14 7月14日(木) 天気:晴れ (活動1日目) 【活動スケジュール】 6:50 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。本日の活動報告 9:10 大川小学校周辺 雄勝地区、北上地区視察 11:00 大森地区家庭訪問 12:00 昼食 13:00 大森地区家庭訪問 15:00 河北総合支所にて記録作成、西條保健師に訪問結果報告 16:00 JIMネットの方とミーティング 17:00 河北総合支所出発予定</p> <p>【本日の活動概要】 ○津波被害地区の状況 ・大川小学校周囲は、一瞬何もない沼地に見えるが、よく見ると流されてきた小舟や、家々の土台部分、立ち往生した自動車などがあり、静かな中に津波の爪痕が残っていました。 ・雄勝地区の、雄勝総合支所、雄勝小・中学校、郵便局、商工会があるところ(中心地と思われる)では等建物の外壁はかろうじて残されているものの、窓ガラスはなく、中は空っぽの状態です。家々は根こそぎ流れ姿はなく、家の土台部分に散乱している子供の靴をみると、胸が痛くなります。瓦礫収集作業も一通り終わったのか、近くに大きな大きな瓦礫の山ができていました。一部残っている家の前には、「捜索終了・消毒終了地区」と書かれた看板が立っています。この地域全体が、今は静かな状況です。 ○大森地区家庭訪問 (訪問世帯11世帯 うち不在6世帯) &lt;住民の様子&gt; ・本日も早朝と、10時頃余震があり、その時間も長かったと、不安を訴えられる方があったが、自分なりに気持ちを落ち着かせておられた。 ・市立石巻病院に通院していらっしゃる方は、市立石巻病院が機能しなくなったため医療機関を変更されていたが、特に不自由さは訴えられなかった。 ・地震での家屋の被害は、壁のひび、お風呂のタイルがはがれる程度。 ・両下肢痛を有し、屋内杖歩行、ヘルパーによる家事援助(週2回)を受けている方が、下肢痛のため、「死んだ方がよい」、通院もタクシー代8,000円が負担である、などの訴えあり支所保健師に引き継ぐ。 【職員の健康状態】 ○昼間の訪問は暑かったのですが、訪問で人に会えると元気が出ます。3人とも元気です。</p>
	<p>7/15 7月15日(金) 天気:晴れ (活動2日目) 【活動スケジュール】 6:50 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。本日の活動報告 9:10 大森地区家庭訪問 12:00 昼食 13:00 大森地区家庭訪問 15:00 河北総合支所にて記録作成、西條保健師に訪問結果報告 17:00 河北総合支所出発予定</p> <p>【本日の活動概要】 ○大森地区家庭訪問 (訪問世帯19世帯 うち不在7世帯 面接14人) &lt;住民の様子&gt; ・避難所での生活のストレス、疲労等から脳卒中で震災後に子どもが死亡した母親。たくさんの人が亡くなったのでいつまでもクヨクヨしてはいけないと気丈に振舞っていた。孫や夫の世話、近所の友人との会話で気がまぎれる様子。 ・親戚や同級生が津波で流されショックで立ち直れない等の訴えから、「嫌がらせを受けている。霊的なものが体中のししかかっている」等多弁、話題が次々と転じ、話のまとまりもない、特に治療歴なく、市保健師へ引き継ぐ。 ・港で運送関係の仕事をしている人、3月11日は雄勝地区で行商をすることになっていた人が、たまたまその日は予定を変更され、命拾いされた話を聞いた。 ・震災被害で、医療機関を変更せざるを得なくなった方がいる。もともとバスの利便性があまりよくない地域のように、慢性疾患の定期受診が継続的に出来るか心配である。 ・農業を営んでいる若い男性が、石巻市は福島原発の影響はどうであろうか。出荷野菜等心配である、石巻市も被曝量等調査して欲しいと言われ、市保健師に伝えた。 ・住民の方々は多くの支援者に感謝しておられ、特にこのあたりは水道の復旧が送れた様で、給水車が毎日来てくれたこと、一人暮らしの高齢者宅には家まで水を運んで頂いたと、とても感謝しておられた。また、鳥取県の保健師であることをお伝えすると、鳥取県は早くから支援してくれたと喜ばれた。 【職員の健康状態】 ○訪問先でリボビタミンDや、辛子漬けのきゅうり、お茶をいただきました。訪問する私達の身体の心配をしていただき、大変申し訳なかった。3人とも元気です。</p>
	<p>7/16 7月16日(土) 天気:晴れ (活動3日目) 【活動スケジュール】 6:50 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。本日の活動報告 9:10 大森地区家庭訪問 12:00 昼食 13:00 大森地区家庭訪問 15:00 河北総合支所にて記録作成、訪問結果報告 17:00 河北総合支所出発予定</p> <p>【本日の活動概要】 ○大森地区家庭訪問 (訪問世帯22世帯 うち不在4世帯 面接24人) &lt;住民の様子&gt; ・訪問して面接できた18世帯のうち3世帯は旧石巻市や雄勝地区から避難してきた親族と同居していた。また、避難3世帯を同時に受入れ一時は15人で生活していた世帯もあった。 ・勤務していた会社が被災し休業中の男性。休業手当と復興作業費で生活しているが、生活費や子ども3人の食費等負担が大変と訴えあり。小学校や中学校はパンまたはご飯と、牛乳、ハンバーグが肉団子2個程度の給食であり、中学生はそれだけではならず、弁当を持参している。 ・津波被害で会社が崩壊し、解雇になった人が数人あった。今は瓦礫作業等に携わっている様である。先行きの生活の不安を訴えられる。 ・本日も生死を分けた紙一重の話をいくつも聞いた。石巻の魚市場近くで働いている義母が、一端逃げたものの、会社から家に帰るよう言われ、帰宅途中で津波に流され死亡。2週間探し土葬した後、火葬した話。休暇中だったが、地震により会社のシステムが起動しないことを心配した若い男性が会社に行く途中、津波に巻き込まれ、車で流された。首の下まで海水が来ているところを、二階にいる方がロープを下ろして下り助かった話。車で流されているところアパートの2階からはしごをおろして下さる方があり助かった話。3月11日は石巻市立病院の定期受診日であった。地震がもう少し遅ければ親子3人は死んでいたと話される人など。 ・この地区の若い方は、勤務先で津波に遭遇。高台に逃げ、2日～3日避難所生活をした後、水が胸までである中、電柱等を目印に家に帰り、家族と無事を喜んでいる。 ・津波に流された女性は、ようやく気持ちが落ち着いてきた。しかし、まだ津波のあった地区の方へは行けないとやっている。</p> <p>7/16 ・高校の女性は余震が怖く、一人では眠れない。母親と一緒に寝ている。 ・生死の恐怖の中、それぞれの方が、必死で助けあっていた話もうかがった。 ・訪問世帯の中に、全壊の家が1件あった。 【職員の健康状態】 ○元気です。大分県由布市チーム(3人 10泊11日)は本日で終了し、交替されるそうです。</p>

7/17	<p>7月17日(日) 天気:晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】  6:50 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。本日の活動報告  9:10 仮設住宅(三反走団地)継続ケース訪問、大森地区家庭訪問  12:00 昼食  13:00 大森地区家庭訪問  15:00 河北総合支所にて記録作成、訪問結果報告  17:00 河北総合支所出発予定</p> <p>【本日の活動概要】  (訪問世帯28世帯 うち不在3世帯 面接30人)  ○鳥取県チームの継続ケース訪問  ・7月1日から仮設住宅入居、妻を津波で亡くした後、独居生活となり鳥取県チームの訪問を心待ちにしている。鳥取県に助けられたと何度も繰り返される。10日前、熱中症様の症状があった様であるが、本日は大変元気そう。毎日自分で血圧を図っており、最近は安定している。仮設住宅の中に知り合いはいないが、出かけていくことはしない。独居であるので、誰かそばで見守る人が必要。仮設住宅コミュニティの中でそのような方ができればよいが。  ○大森地区家庭訪問  &lt;住民の様子&gt;  ・3週間程度断水していたため、山水や給水車の水を家に持ち帰るのに、腰や下肢を痛めた人が数人あった。  ○大土地区訪問  ・地震の被害は、壁や、玄関先のセメントに亀裂、家が傾き、障子や襖の建具が動かなくなった程度。  ・勤め先が津波でやられ、解雇された女性もいたが、比較的被害が少ない地域ではあった。  ・高齢男性。孫と買い物に出た際に津波にさらわれた妻が死亡。3月下旬にようやく遺体が見つかり、火葬を終えることができたとして少し安堵の表情をしておられた。  【職員の健康状態】  ○今日の日差しは厳しいものがありました。ペットボトルの水を飲みながら訪問しています。3人元気です。</p>
7/18	<p>7月18日(月) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】  6:50 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。本日の活動報告  9:10 大森、大土地区家庭訪問  12:00 昼食  13:00 大土地区家庭訪問  14:00 河北総合支所にて記録作成、訪問結果報告  16:30 28班への引継ぎ  18:00 河北総合支所出発予定</p> <p>○大森地区全戸訪問終了(7/18)(26班、27班)／世帯数 98世帯、うち不在等21世帯、津波による家族死亡 なし、避難してきた世帯 7世帯、要フォロー者 2名、勤務先で津波に巻き込まれた人 多数  ○大土地区全戸訪問終了(7/18)(27班)／世帯数41世帯、うち不在等 5世帯、津波による家族死亡 2世帯、避難してきた世帯 1世帯、要フォロー者 2名、勤務先で津波に巻き込まれた人 多数</p> <p>【本日の活動概要】  ○大森、大土地区家庭訪問 (訪問世帯34世帯 うち不在4世帯 面接38人)  &lt;住民の様子&gt;  ・家族が買い物途中に津波に巻き込まれ死亡。本人は体調不良のため家事等を任せていたので、今後の生活についての不安が強い。保健師が集落内を歩いているところ、声をかけ涙を流しながら誰かに助けを求めたかったと。また買い物と一緒に出した子どもの精神面も気にしている。要継続訪問。  ・病院機能を失った病院に入院中の家族を、先日火葬し、葬儀を済ませた。  ・在宅酸素療法中の女性、停電となり、酸素ボンベで当日は過ごせたが、石巻赤十字病院に電話し1週間入院。  ・身内に被災者がいなくても、震災後3~4か月はテレビを見ても感情がなかった。ようやく落ち着いたと。  【職員の健康状態】  ○3人元気で活動を終わりました。</p>
7/19	<p>【今後考えられること、活動方針】一部抜粋</p> <p>○家庭訪問  &lt;訪問場所&gt;  ・被害の強かったエリアから順に地区単位で全戸訪問  ・辻堂地区(～7月10日)終了  ・大森地区(～7月18日)終了 大土地区(7月17日・18日)終了  ・28班は梨木船渡 東福田 北境(準備済)  ○避難所・・・鳥取県チームとしての要フォローケース なし  ○ローラー作戦として全戸訪問を実施中／河北エリア 約 3500世帯  ・飯野川地区 1,358世帯中 約582世帯訪問済み 未訪問の集落の訪問の必要性(?)  ・二俣地区 539世帯中 約377世帯訪問済み 未訪問の集落を訪問予定  ・大川地区 714世帯中 約385世帯訪問済み 残りは壊滅  ・大谷地地区 901世帯 7月1日から河北エリアに入った大分県チームが訪問中  ○家庭訪問での鳥取県チームの要フォローケース、7ケース(いずれも精神面のフォロー:家族が死亡4、親族死亡等3)  ○河北エリア内にある仮設住宅入居者(大川地区、雄勝エリアの者)は市保健師が全数面接調査を実施中。(うつ病、PTSDのスクリーニング検査を兼ねる)  ・鳥取県チームは今後、仮設住宅入居者の訪問に切り替わる可能性もある。</p>
28班	
<p>遠藤さやか  (大山町役場)  有田 静  (県東部総合事務所)  長谷川誠  (県日野総合事務所)</p> <p>1日目(7/18)  鳥取→【ANA・JR】→塩釜  2日目(7/19)  ホテル(塩釜市)  3日目(7/20)  ホテル(塩釜市)  4日目(7/21)  ホテル(塩釜市)  5日目(7/22)  ホテル(塩釜市)  6日目(7/23)  ホテル(仙台市)  7日目(7/24)  ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>7/18</p> <p>7/19</p> <p>7月19日(火) 天気:曇り (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:10 ホテル出発  9:00 河北総合支所に到着。本日の活動報告。大川小学校周辺視察  10:30 梨木船渡、北境地区の民生児童委員、行政委員に訪問し、地区の状況収集  12:00 昼食  13:00 梨木船渡地区の家庭訪問  15:00 河北総合支所にて記録作成  16:00 訪問結果報告  17:00 河北総合支所出発予定</p> <p>【本日の活動概要】  (訪問世帯 10世帯 うち不在2世帯 面接8人)  ○大川小学校周辺視察  ・2か月前に一度視察した状況と比較すると、以前は瓦礫や車が散乱していて、手つかず状態の印象だったが、現在はだいぶ瓦礫の仕分け・撤去がすすんでいる。大川小学校をみおろす岡の上に、以前はなかった献花台が作られており、花や食べ物、小学生の持ち物など多くの物が置かれていた。また、私達が視察している間にも、多くの住民の方が来て、手を合わせておられた。  ○梨木船渡・北境地区の民生委員、行政委員からの聞き取り内容  &lt;地区の状況&gt;  ・梨木船渡地区17世帯、北境地区41世帯。  ・水害はなかったものの、地震の揺れにより、全壊4軒、瓦が崩れた家が1軒、ブロックや屋根が崩れた家が5～6軒あるとのこと。震災当日は、水、電気が止まり、生活がままならなかった。</p>

・家が全壊してしまったため、納屋で生活している方もおり、家を建て替えることにしているが、なかなか立て替えの業者が来ず、不安な生活をしている。  
 ・多くの世帯が、家族で住んでおり、高齢の一人住まいは2件ほど。サービスを利用したり、随時家族が様子を見に来たりして、安定した生活が送れている。  
 ・民生児童委員として、なるべく自然に住民の人に声をかけているが、それぞれの家族に複雑な事情があるため、あまり頻回な訪問やつこんだ話はせずに、何か困った時に話してもらえるように顔つきをされているとのこと。  
 ○梨木船渡の家庭訪問  
 <住民の様子>  
 ・水害はなかったものの、家が壊れたりひびが入ってしまったりしている。地震により傾いてしまった家で生活しておられる方もおり、外に出ても平衡感覚がおかしくなるとのこと。  
 ・嫁と孫が避難してきており、不安が強かったのが母親からまったく離れようとせず、トイレまでずっとついて行っていたとのこと。同級生で亡くなった子供達について、先生もはっきりとは子ども達に伝えていない様子だが、小学生の孫が「3人の友だちが学校に来ていないけれど、波にのまれちゃったのかな。」と言っており、子供なりに状況をしっかり把握している様子だった。  
 【職員の健康状態】  
 ○今日は曇りで日差しはでなかったため、気温は快適でしたが、風が強かった。3人とも元気です。

7/20

7月20日(水) 天気:曇り ※暴風警報発令 (活動2日目)  
 【活動スケジュール】  
 7:10 ホテル出発  
 9:00 河北総合支所に到着。本日の活動報告  
 9:30 北境地区の行政委員に訪問し、地区の状況収集  
 10:00 梨木船渡地区・北境地区の家庭訪問  
 13:00 昼食  
 14:00 河北総合支所にて記録作成  
 15:20 河北総合支所出発  
 16:00 石巻市役所にて派遣保健師の情報交換会  
 17:30 石巻市役所出発  
 19:30 ホテル到着  
 【本日の活動概要】  
 (訪問世帯 22世帯 うち不在 5世帯 面接 21人)  
 ○北境地区の行政委員からの聞き取り内容  
 <地区の状況>  
 ・ブロック崩れや建物のひび等の被害はあるが、地震の被害はほとんどなかった地域とのこと。  
 ・震災直後は、被災地域から北境に40人ほど避難してきていた。北境にある施設に炊き出しに行ったり、支援物資の分配を地区の皆さんに手伝ってもらったりした。行政委員だけでは対応が手いっぱいだったことも、地域のみんなの協力体制があったため、助かった。  
 ・親族を地震でなくしたのは、3世帯であり、気持ちを話せば少しは楽になると思うのだが、もしかしたら、まだ話せる心境ではないかもしれないため、訪問の際には少し留意してほしいとのこと。  
 ○梨木船渡・北境地区の家庭訪問  
 <住民の様子>  
 ・息子の嫁は出産予定なので、出産までに何とか仮設住宅に入居したいと思い、以前から応募していたが、なかなか当選しなかった。直接河北支所に電話で問い合わせたところ、「今日中に地域変更すれば入居できるところが1件ある。」とのことだったため、本日申し込みをすることにした。仮設住宅も待っているだけでは、なかなか入居できない。  
 ・仮設住宅に入居中で、日中は家の取り壊しのために、帰ってきて作業している。妻が昨年脳梗塞で入院し、震災直後に退院。現在は、週に1回通院でリハビリを受けている。病院のリハビリは10月で終了となるため、その後は介護保険のリハビリを利用する予定。  
 ・思春期女性。震災のストレスから、震災後生理が止まっており、産婦人科受診でホルモン注射を受けている。河北支所で行われる心の相談会のチラシを渡して、情報提供を行った。  
 【職員の健康状態】  
 ○今日は台風の影響で、梨木船渡地区では強風。まっすぐ歩くのが困難になるほどの風だった。3人とも元気です。

7/21

7月21日(木) 天気:曇り (活動3日目)  
 【活動スケジュール】  
 7:10 ホテル出発  
 9:00 河北総合支所に到着。本日の活動報告  
 9:30 要フォローケース訪問  
 11:00 北境地区の家庭訪問  
 12:00 昼食  
 13:00 北境地区の家庭訪問  
 15:00 河北総合支所にて記録作成  
 17:00 河北総合支所出発  
 19:00 ホテル到着  
 【本日の活動概要】  
 (訪問世帯 15世帯 うち不在 1世帯 面接 14人)  
 ○28班からの引継ぎ要フォローケース(大土地区)の訪問  
 <概要>  
 ・家族を亡くしたという女性と面接。今は、「話すことはあまりない」と言って、保健師との面接には消極的。親戚が心配して、保健師の面接を勧めていたが、無理に話をさせるのではなく、話したいと思った時に話せるように、こころの相談会のチラシと、相談連絡先の一覧表を渡してもらったこととした。  
 ・中年女性。自分の思いを家族に話すことができず、保健師に継続して話を聞いてもらいたいとの希望あり、鳥取県チームが継続してフォローを行うこととする。  
 ○北境地区の家庭訪問  
 <住民の様子>  
 ・雄勝地区に住んでおり家が流されてしまったため、北境の家に二世帯で住んでおられた。家がなくなり、今後の不安がある。早く仮設住居に入りたいと思っているとのこと。  
 ・中年男性。港で仕事をしており、震災当日は、津波で流されていく人々の様子を間のあたりにしており、震災後、津波の光景が浮かんだり、「助けて」という声が耳から離れず、眠れなかった様子。そのうち、お酒を飲むようになり、ずっとお酒が切れない状態となった。かかりつけ内科の医師に相談して、眠剤と精神安定剤を処方してもらってからは安定していき、現在は体調回復して仕事に復帰している。  
 【職員の健康状態】  
 ○今日は肌寒く、長袖でちょうど良いくらいの気温でした。3人とも元気です。

7/22

7月22日(金) 天気:曇り (活動4日目)  
 【活動スケジュール】  
 7:10 ホテル出発  
 9:00 河北総合支所に到着。本日の活動報告  
 9:30 梨木船渡(不在だった家庭)・北境地区の家庭訪問  
 12:00 昼食  
 13:00 東福田の行政委員、民生委員に挨拶、田地区の家庭訪問  
 15:00 河北総合支所にて記録作成  
 17:00 河北総合支所出発  
 19:00 ホテル到着  
 【本日の活動概要】  
 (訪問世帯 34世帯、うち不在 11世帯、面接 25人)  
 ○梨木船渡・北境地区の家庭訪問  
 ・子ども夫婦と孫を亡くされた高齢女性。まだ遺体が見つかっていないため、気持ちが不安定。震災数日前にも、実家に帰ってきて一緒に遊んでいたのに、信じられないと涙ながらに話された。  
 ・夫を亡くした高齢女性。震災直後は精神的に不安定だったが、最近は気晴らしに出られるようになった。しかし、知り合いの人から震災のことを「大変だったね」と声をかけられると、夜に一人で泣いていることもあるとのこと。眠剤は飲まずに最近は何とか眠れている。

	<p>7/22 ○東福田地区の民生委員・行政委員にあいさつ        &lt;地区の状況&gt;        ・震災の被害は家の瓦が落ちたり、壁にひびが入ったりした程度。震災直後は水・電気が2か月以上止まっており、生活に困った。        ・一時避難者が50人以上この地区に避難してきていたが、現在は2組の家族のみが避難してきている。地区の中で震災後、健康状態や精神状態が気になる人は特段いないとのこと。一人暮らしの高齢者もヘルパーを利用しながら、安定した生活を送っておられる。        【職員健康状態】        ○本日も昨日同様に肌寒かったです。3人とも元気です。        ※今後の活動について        ・河北支所付近の地区以外の全戸訪問は東福田で終わります。その後、河北支所付近の地区の全戸訪問を実施するのか、仮設住宅の訪問へ移行するのか、支所保健師さんと要検討です。</p>
	<p>7/23 7月23日(土) 天気:曇り (活動5日目)        【活動スケジュール】        7:10 ホテル出発        9:00 河北総合支所に到着。本日の活動報告        9:30 北境地区(不在だった家庭)、東福田地区の家庭訪問        12:30 昼食        13:30 河北支所にて記録作成、引継ぎ準備        16:30 29班へ引継ぎ        17:30 河北総合支所出発        19:00 ホテル到着予定        【本日の活動概要】        訪問世帯19世帯、うち不在5世帯、面接15人)        ○北境地区、東福田地区の家庭訪問        ・孫夫婦を亡くされた高齢女性。保健師に孫や曾孫の写真を見せながら、孫と孫嫁、曾孫を震災で亡くしたことを、涙ぐんで話された。遺体が見つかった時に、孫婿が曾孫を抱えた状態で発見されたとのこと、必死に曾孫を守ろうとしていたんだらうとのこと。震災後しばらくは眠れず、眠剤を服用していたが、現在はだいぶ落ち着いているとのこと。        ・夫を亡くした中年女性。夫の捜索に毎日出かけていたとのこと。震災直後は、精神的にも体力的にも限界にきており、蕁麻疹が出たりして大変だったが、時間が経ったことで気持ちも落ち着いてきて、今は仕事にも出られるようになったとのこと。        ○梨木船渡地区の全戸訪問終了(7/22)／世帯数19世帯、うち不在等1世帯、津波による家族死亡なし、避難してきた世帯1世帯、要フォロー者なし、勤務先で津波に巻き込まれた人多数        ○北境地区の全戸訪問終了(7/23)／世帯数41世帯、うち不在等5世帯、津波による家族死亡1世帯、避難してきた世帯2世帯、要フォロー者なし、勤務先で津波に巻き込まれた人多数        【今後の活動について】        ・東福田の全戸訪問が終了した後は、支所の付近の飯野川地区のピックアップ訪問(民生委員等から情報収集し、要訪問ケースを把握する)と仮設住宅の訪問を実施する。        ・現在河北支所管内には3か所の仮設住宅(三反走90世帯、追波グランド川前91世帯、追波多目的103世帯)がある。また、もうすぐ450世帯分の大規模な仮設住宅が大森に建設されることになる。        ・当初雄勝地区の入居者は雄勝の担当が訪問する予定だったが、管内の仮設住宅はその地区の担当者が責任をもって訪問することとなり、河北管内の仮設住宅は河北で訪問調査を行うこととなったとのこと。        ・大森地区に建設中の仮設住宅(本来7月中旬には完成し、7月19日に抽選会予定だった)が完成すれば、河北以外の入居者が多数入所するため、把握しにくいとのこと。        【職員健康状態】        ○午後1時34分に震度4、マグニチュード6.55の大きな地震あり。支所がかなり揺れましたが、特に被害なしで、人とも元気です。また、本日も昨日同様に肌寒かったです。</p>
	<p>7/24 【今後の活動について】一部抜粋        ○東福田の全戸訪問が終了した後は、支所の付近の飯野川地区のピックアップ訪問(民生委員等から情報収集し、要訪問ケースを把握する)と仮設住宅の訪問を実施する。        ○現在河北支所管内には3箇所の仮設住宅(三反走90世帯、追波グランド川前91世帯、追波多目的103世帯)がある。また、もうすぐ450世帯分の大規模な仮設住宅が大森に建設されることになる。        ○当初雄勝地区の入居者は雄勝の担当が訪問する予定だったが、管内の仮設住宅はその地区の担当者が責任をもって訪問することとなり、河北管内の仮設住宅は河北で訪問調査を行うこととなったとのこと。        ○大森地区に建設中の仮設住宅(本来7月中旬には完成し、7月19日に抽選会予定だった)が完成すれば、河北以外の入居者が多数入所するため、把握しにくいとのこと。</p>
<b>29班</b>	
<p>荒木美都江        (米子市役所)        角野幸恵        (県中部総合事務所)        植垣政明        (県東部総合事務所)</p> <p>1日目(7/23)        鳥取→【ANA・JR】→塩釜        2日目(7/24)        ホテル(塩釜市)        3日目(7/25)        ホテル(塩釜市)        4日目(7/26)        ホテル(塩釜市)        5日目(7/27)        ホテル(塩釜市)        6日目(7/28)        ホテル(仙台市)        7日目(7/29)        ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>7/23        7/24 7月24日(日) 天気:晴れ (活動1日目)        【活動スケジュール】        7:30 ホテル出発        8:50 河北総合支所に到着。本日の活動報告／大川小学校周辺、雄勝地区視察        11:00 東福田地区の家庭訪問        12:00 昼食        13:00 東福田地区の家庭訪問        15:00 河北総合支所にて記録作成        16:00 訪問結果報告        17:00 河北総合支所出発予定        【本日の活動概要】        ○大川小学校、雄勝地区周辺視察        ・新聞やテレビ報道で見た姿そのものを間のあたりにし、津波の脅威を実感した。雄勝地区は、海岸沿の直ぐそばに集落や病院等生活空間が広がり、全て津波にのみれ壊滅状態。まだまだ崩壊したりあちこちにひっかかった漂流物がそのままに残されている。ハエが車内にも飛んでくる。雄勝地区では、ボランティアの姿や支援車両が多く見られた。所々に避難所の手書き看板が道沿いに掲げられている。        ○東福田地区の訪問、訪問世帯13世帯、うち不在2世帯、面接13人        &lt;地区の状況&gt;        ・地震の揺れにより、塀の倒壊や屋根瓦の破損等の被害があったものの大きな家屋の被害はない地区。震災直後1か月はライフラインが止まり生活が困難であったものの、近くにわき水があり皆がその水でしのいでいたとのこと。「水はなくてはならないものだが、怖いもの」という言葉が印象的であった。        ・訪問家庭の中には、嫁いだ娘の家屋が半壊し、避難してきたとか、一時20人以上が自宅に避難してたとか、健康確認すると息子を震災で亡くしたと目に涙をにじませお返事を下さる姿に深い悲しみを感じた。家は何ともなかったがみんなが被災者だともおっしゃっておられた。        ・本日訪問した方は高血圧等で定期受診されている方はあるが、おおかたは健康状態は良好とのことであった。        【職員健康状態】        ○今日は晴れ。日差しは非常に強かったが、湿度のないさわやかな風がふいていた。3人とも元気。昨日移動中に震度5弱、今朝震度3程度の地震があったが、移動中のためか、3人とも全く気づかなかった。今日は自動車のラジオ情報で知りました。ラジオをかけておくことは情報キャッチに重要であることを再認識しました。</p>
	<p>7/25 7月25日(月) 天気:晴れ (活動2日目)        【活動スケジュール】        7:00 ホテル出発        8:50 河北総合支所に到着。本日の活動報告／女川周辺から石巻市海沿いの視察        11:20 東福田地区の家庭訪問        12:30 昼食        13:30 東福田地区の家庭訪問        15:30 河北総合支所にて記録作成        16:30 訪問結果報告        17:00 河北総合支所出発予定</p>

7/25	<p>【本日の活動概要】  ○女川周辺から石巻市海沿い視察  ・女川地区は海沿いに沿って壊滅状態。石巻市海沿いも津波の被害が大きく、家屋の一階は流されスルー状態の家がそのまま残っている。女川地区では、片付けに多くの重機やトラックが入りしほりが舞っておりハエも多かった。  ○東福田地区の訪問、訪問世帯19世帯、うち不在1世帯  &lt;訪問の状況&gt;  ・昨日の全戸訪問の続きを実施。屋間の方が在宅されているお家が多いのではないかと思います、昼食をめがけ訪問した。結果、不在は、1件であった。  ・大方の者は、健康状態は良いとのこと。また、高血圧等かかりつけ医の通院もきちんとされていた。震災により行きつけの病院や医院が開業できなくなり、医療機関を変えたの方が多かった。初めての医療機関では、最初から病状等説明することが必要であるし、なかなか話ができなかったとお話があった。&lt;個別の状況:主なもの&gt;  ・震災前に手術目的で入院していたら震災があり、歩いて自宅を目指し帰宅したとか、友人宅に遊びに行き震災にあい、家屋が浸水し柱や壁につかまってしのいだ娘さんのお話、今はおちついて夜もよく寝るが、小学校のお子さんは、警報の音が鳴るとびくつとするとお話を聞いた。  ・20年余りから交通事故の後遺症で身体不自由な方で、震災後、足の動きがわるくなり腫れが出てきたこと、介護サービスで理学療法士に訪問していただきハビリティしたら、だいぶ良くなったと。身体機能の障害のある方にとっての震災による機能低下は、注意が必要と感じた。介護サービス利用者への震災後の状況確認が早期になされ、必要なサービスにつながっているように思われた。  ・高齢女性。独居。訪問時、今朝から頭痛と吐気があり休んでいるとのこと。だいぶ良くなった様であるが、再度午後から訪問すると良くなったとのことであった。水分をとること、緊急時の連絡先の有無について確認したところ、近所の従兄弟に連絡できるとのことであった。  ・介護保険の更新手続きの結果が2月から届いていないとの訴えがあり、支所の保健師に報告とする。  【職員の健康状態】  ○今朝震度5弱の地震あり。左右の振られる結構なゆれで時間も長く思えた。3人とも元気。</p>
7/26	<p>7月26日(火) 天気:曇り/雨 (活動3日目)  【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング(2歳児歯科健診)  10:00 2歳児歯科健診準備(会場:ビッグバン)  11:00 スタッフ紹介、要フォロー児経過報告、観察視点等ミーティング  12:30 2歳児歯科健診実施  15:00 健診後ミーティング  16:00 本日の活動記録  17:00 河北総合支所出発予定  【本日の活動概要】  ○2歳児歯科健診  ・該当地区:河北、北上、雄勝ブロック  ・健診対象者:2歳児歯科健診の3月、5月対象者(現2歳8か月~11か月児)、31人予定のところ本日の来所者:24人、うち要フォロー者9人  ・受付→栄養チェック→オリエンテーション→身体計測(体重、身長、カウプ指数)→ブラッシング指導、フッ素説明→問診→歯科診察、個別歯科指導(歯科医師から)→希望者へフッ素塗布→個別栄養指導→個別指導(保健師)  ・終了後のミーティング、ケースカンファレンス  &lt;実施状況&gt;  ・乳幼児健診や1.6健診でフォローしている児が9名あり、健診後の発達状況や今後と支援についてカンファレンスした。2名についてフォロー継続となる。  ・心の健康相談2名あり。今回の対象児ではないが、5歳の兄が震災後ハイテンションやおちつきがない等について、東北大学の精神チーム2名の相談があった。震災後のハイテンションは異常ではなく誰にも起こりうる状況。甘えさせてあげしっかりと抱きしめてあげて欲しい、時間がかかるかもしれないが良くなっていくことを説明されたとのこと。  ・震災によりいろいろな事情を抱えられた家庭があり、心のケアチームが入っている方もあった。  ・フォロー児については、鳥取でも行っている発達、行動、言葉等のおくれについてであり、継続、次回健診でチェック、今回は終了と整理された。  ・健診のスタッフとして、計測や問診、指導を行った。  ・この健診では、保健師、歯科衛生士、栄養士、精神関係相談担当と約10名といった充実したスタッフ体制が組まれていた。  &lt;その他&gt;  ・健診会場のビッグバンは、避難所となっており、100名程度の方がおられるとのこと。(近々仮設住宅に移住予定)  【職員の健康状態】  ○3人とも元気です。</p>
7/27	<p>7月27日(水) 天気:雨/雷/晴 (活動4日目)  【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング(東福田地区、継続ケース訪問)  9:20 飯野川地区(仲町)の区長、民生委員訪問し優先訪問必要者について聞き取り。/東福田地区訪問(5件:東福田地区終了)  12:20 昼食  13:20 継続訪問ケース訪問(不在1件、電話連絡2件も不在)  14:20 本日の活動記録  15:20 ミーティングのため石巻市役所にて派遣保健師情報交換会出席  17:30 石巻市役所出発予定  【本日の活動概要】  ○東福田地区訪問(5件、不在なし)  ・東福田地区の全戸訪問終了。  ○飯野川地区仲町訪問(3件:優先訪問者)  ・本日からこの地区の訪問開始。始めに、区長及び民生委員に地区の状況と気になるケース(独居老人等)の情報収集し、訪問の優先順位を決めた。うち、本日3件の訪問実施済み。  この地区は、95件。  ・河北支所の周辺地区であり、家屋等の被害はほとんどなし。  ・独居の方は、息子の家に3か月お世話になっていたという方もあり。お隣同士で助け合っているという方もあった。  ○継続訪問ケースについて  ・本日不在1件。明日以降の訪問とする。  ・継続訪問ケースが、班を重ねるにつれ、増加。そのたび毎に地区の訪問記録から住宅地図や訪問情報を探すことになるため、煩雑。継続者のファイルを1冊作成しておく必要あり。終了となった場合にもこの地区に戻すという方法がよいと思われる。  ○明日以降の訪問について  ・仮設住宅の訪問と飯野川地区の訪問を同時並行で行うことになった。  【職員の健康状態】  ○今日は、雷がひどかった。雨も降っていたが、訪問時は運良く晴れ。3人とも元気です。</p>
7/28	<p>7月28日(木) 天気:晴 (活動5日目)  【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング  9:20 三反走仮設住宅(継続ケース)訪問/追波グランド(川前)仮設住宅訪問  12:15 昼食  13:15 追波グランド(川前)仮設住宅訪問  14:20 本日の活動記録、引継ぎ準備  16:00 活動報告/第30班への引継ぎ  17:30 河北支所出発予定</p>

7/28	<p>【本日の活動概要】(訪問4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○継続訪問者への電話連絡</li> <li>・2件(都合が悪いとのことで、第30班に引継ぎこととする)</li> <li>○三反走仮設住宅(継続ケース)訪問(1件)</li> <li>・鳥取県チームの継続ケース、状況:健康状態落ち着いており、本日の血圧も安定。内服管理出来ている。毎日、自分で血圧測定を行っている(7月20日からは、未測定)。一人暮らしで、近隣に同じ地区の方がおらず、2週間前は話し相手がないとのことだったが、今では近隣の方と話したりしている。困ったことは無し。鳥取県チームの継続訪問を希望される。状況確認として、2週間後(8月11日)頃に訪問の約束とする。</li> <li>○追波グランド(川前)仮設住宅訪問(3件)</li> <li>・長面地区の方が多く居住している。以前からのつきあいがあり、同じ地区の方との交流はあるし親戚が多いため、心強いとのこと。</li> <li>・訪問すると、震災時の状況や自分がどのように判断し、避難したか、仮設にくるまでにどのように過ごしてきたか、詳細に語られる。大川小学校区でもあり、学校の普段からの避難訓練の実施と学校の判断が大事であること、この災害を記録として、子ども達に語り継ぐ教育が必要であると訴えられる。</li> <li>・登録住所地のために、毎日瓦礫処理や、区長が亡くなり区長としての役割を行っておられる方もあった。</li> <li>・仮設2年居住後の、今後の生活について、考えつつあるとの方もあり。</li> <li>・非常に悲惨な怖い体験をされ、自宅も全壊のかたであり、被害についてたくさんのことを長時間語られたのを傾聴し対応する。</li> <li>○明日以降の訪問について</li> <li>・追波グランド(川前)仮設住宅訪問と飯野川地区の訪問を実施する。</li> <li>【職員健康状態】</li> <li>○今日は、非常に暑かった。3人とも元気です。</li> </ul>
7/29	

**30班**

<p>梅林千恵 (日南町役場) 阿部恵太 (県西部総合事務所) 渡辺 寛 (県中部総合事務所)</p> <p>1日目(7/28) 鳥取→【ANA・JR】→塩釜 2日目(7/29) ホテル(塩釜市) 3日目(7/30) ホテル(塩釜市) 4日目(7/31) ホテル(塩釜市) 5日目(8/1) ホテル(塩釜市) 6日目(8/2) ホテル(仙台市) 7日目(8/3) ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>7/28</p> <p>7/29</p> <p>7月29日(金) 天気:曇り時々雨 (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着(到着前に上品の郷で時間調整)。本日の活動ミーティング</p> <p>9:20 石巻市釜谷～雄勝地区、女川町指ヶ浜の事前視察</p> <p>11:00 活動に必要な備品の購入(A4ファイル、スティックのり、ホッチキス、蛍光ペン、サインペン)→需用費</p> <p>12:20 昼食</p> <p>13:00 追波グランド(川前)仮設住宅訪問</p> <p>15:20 本日の活動記録</p> <p>17:00 活動報告</p> <p>17:30 河北支所出発予定</p> <p>19:20 スマイルホテル塩釜到着予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○事前視察(石巻市釜谷～雄勝地区、女川町指ヶ浜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅を訪問する前に、仮設住宅に住まれている方の地区の被災状況を確認するため視察する。→訪問を円滑にするため。</li> <li>・宮城県ペストコントロール協会が道路等を消毒しているところに遭遇。道中、「捜索終了」「防疫終了」等の立て看板あり。</li> <li>・指ヶ浜の漁港付近の空き地にコンテナを建て生活している方がいた(漁師?)。</li> <li>・北上川の水位は前回派遣時に比べ低くなっており、支所から大川小学校に向かう道路も前回に比べ整備されているが、周辺を見渡すと手つかずの所も散見される。</li> </ul> <p>○追波グランド(川前)仮設住宅訪問(9軒訪問:5軒不在、4軒在宅)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「仮設住宅入居世帯調査票」「うつ病とPTSDのスクリーニングテスト」等を持参し、訪問。「調査票」は聴取者から世帯全体の様子を伺い、「スクリーニングテスト」は訪問時に在宅の方全員に記入していただく。「調査票」は質問項目が多いため、すべてに答えていただくのが難しい面もある。「スクリーニングテスト」で気になる方は、「心のケアチーム」や「心の相談会」を紹介したり、再訪問を約束する。</li> <li>・長面地区の方が多く居住しているため、交流があるとのこと。同じ地区の人が近所に住む利点は知り合いがいることと話される方がいる一方、逆に同じ地区の人が近所にいることで「お互いが分かりすぎて苦労することもある」と話される方もいた。</li> <li>・訪問時、「知らない人から色々なことを尋ねられても何も答えるな」と家族から注意されている」と話される方がおり、支所から来た保健師であることを伝え(証明書を見せる)、了解を得て話を聞かせていただく。「自宅ではカギをかけたことがないのに、今はカギをかけないといけない。窮屈だ」と話される。</li> <li>・追波グランド(川前)仮設住宅は野球場に建設されているため、震災で子どもを亡くされた方の中には、「昔ここで子どもが野球をしていて、ここに住むと思いついてしまっから住めない」と入居を希望されない世帯があるとのこと。</li> <li>・ペットを飼われている世帯に対する苦情あり。「飼い主が留守中に犬がうるさい。どうにかして欲しい」等。しかし、「飼い主も昔から見知った人なので、面と向かって(苦情が)言えない」と話される。→上記相談内容、支所保健師に伝える。</li> <li>・震災で失業し、経済的に苦しく、電気代が気になってクーラーをつけられない世帯あり。訪問した世帯以外でも、日中でもクーラーの室外機が動いていない世帯が多々あり。話を伺うと、扇風機を使い、水分を意識的に多く摂るようにはしているとのこと。→訪問世帯に「熱中症予防」のチラシを配布し、熱中症に注意する様伝える。</li> <li>・「仮設住宅の入居期限(2年)が延長するかもと聞いているが、延長したところで結局は出て行かないと行けない。ただ、どこに出て行けば…。自宅は海の中だし」とつらい胸の内を話される。今から土地を買って、家を建てるのは自分の年齢を考えると不可能、と。</li> <li>・洗濯物は外に干すしかなく、他人の視線を遮る物が無いため、女性は特に干しにくい。雨よけもないので雨天時は外に干せず、怪しい天気の時も洗濯物が気になって外に出られないと話される。また、仮設住宅は壁が薄いので、隣の音が響くとのこと。</li> <li>・多くの方が避難所にいる頃より良いと話されるが、仮設住宅でも「音」「ペット」「近所づきあい」「経済的問題」「洗濯」等、具体的な悩みを持たれながら生活されている方が多々おり、また先の見通しが立たない生活に不安を持たれている方も多い。</li> </ul> <p>○明日以降の訪問について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追波グランド(川前)仮設住宅の訪問。</li> <li>○今後の保健師派遣体制について</li> <li>・現在、支所に派遣中の大分県チームは8月1日以降は石巻市役所に活動の拠点を移すこととなり、支所での活動は鳥取県チームのみとなる。そのため、2チームが支所にいる間になるべく仮設住宅の訪問を重点的にして欲しいと支所保健師から要望あり。→現在:大分県チーム;三反走(サンタンパシ)仮設住宅訪問中、鳥取県チーム;追波(オッパ)グランド仮設住宅訪問中→8月1日以降:大分県チーム;市役所にて活動、鳥取県チーム;河北支所管内の仮設住宅訪問</li> <li>○道路状況について</li> <li>・支所近辺:夏休み、道路工事の影響で交通渋滞が多発。移動に時間がかかる。</li> <li>・高速道路:前回派遣時に比べ、自衛隊車は少なく、県外の警察車両も見受けられない。トラック等は相変わらず多い。午前中は石巻方面に向かって、夕方は仙台方面に向かって渋滞あり。</li> <li>【職員健康状態】</li> <li>○3人とも元気です。</li> </ul>
---	---

7/30	<p>7月30日(土) 天気:曇り時々雨 (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着(到着前に上品の郷で時間調整)。本日の活動ミーティング  9:30 追波グラウンド(川前)仮設住宅訪問  12:00 昼食  13:00 追波グラウンド(川前)仮設住宅訪問  15:00 本日の活動記録  16:30 活動報告  17:00 河北支所出発予定  19:00 スマイルホテル塩竈到着予定</p> <p>【本日の活動概要】  ○追波グラウンド(川前)仮設住宅訪問(14軒訪問:9軒不在、5軒在宅)  ・明日、針岡地区の合同慰霊祭がビッグバンであるため、本日は通夜で不在宅が多い。移動中、喪服姿の遺族を見かけることが多い。  ・ハエが少し目立つが、入居者に何うと以前とは比べものにならないくらい減ったとのこと。また、震災の影響で魚や土地の価格が上がったとのこと。  ・初めて仮設住宅の中に上がらせていただいたが、中は蒸し暑く、木造家屋ではない独特の臭いがした。世帯人数に応じて、1DK(独居等)～2DK～3K(世帯用)の間取りであり、世帯人数が多いところは世帯を分けて住んでいる。  ・1軒当たりの訪問時間は30分前後を要する。</p> <p>7/30  ・震災後、夫は遺体安置所で働いた。慣れない仕事で、精神的にもつらそうだった。飲酒量も増え心配していたが、最近になって趣味の魚釣りを再開したので少し安心した。  ・長面地区は地区全体の地盤が沈下し、以前住んでいた家は海の中にあるとのこと。「震災前はね…」と、震災前の話を懐かしむように話される。その一方、マイホームのローンが残っていて、先行きが不安と打ち明けられる。また、時間があると考え込んでしまうことが増えたとのこと。  ・「自分が震災で亡くなっていたら生命保険が下りて、家族の生活の足しになったんだけど」と涙を流しながら話される。ただ、家族に大病を抱えている方がおられ、「ほっとけないので」と気丈に振る舞われていた。一ゆづり話を伺い、心の相談に関するチラシ等を渡す。  ・仮設住宅は病院や役場が近くて便利と話され、「年寄りにとって病院は欠かせない。近くにあると安心」とのこと。  ・訪問を通して、「医・職・住」の重要性を再認識。  ○明日以降の訪問について  ・支所保健師、大分チームと訪問体制や方法等について打合せ。追波グラウンド(川前)仮設住宅の訪問。針岡地区合同慰霊祭に参加予定。  ○道路状況について  ・支所近辺:渋滞なし。高速道路:昨日に比べ幾分か流れがよい。</p> <p>【職員の健康状態】  ○3人も元気です。</p>
7/31	<p>7月31日(日) 天気:曇り時々雨 (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着(到着前に上品の郷で時間調整)／本日の活動ミーティング  9:30 追波グラウンド(川前)仮設住宅訪問  12:00 昼食  13:00 追波グラウンド(川前)仮設住宅訪問  15:00 本日の活動記録  16:30 活動報告  17:00 河北支所出発予定  19:00 スマイルホテル塩竈到着予定</p> <p>【本日の活動概要】  ○追波グラウンド(川前)仮設住宅訪問(13軒訪問:6軒不在、7軒在宅)  ・本日、合同慰霊祭がビッグバンであったため、喪服姿の遺族を見かけることが多かった。  ・仮設住宅地に入る所に集会場があるが、普段は施錠されている。  ・「仕事をしていると気が紛れる」「気を紛らわすため仕事を始めた」等、仕事が経済面だけでなく、心理的支えになっている。  ・今朝の地震について尋ねると、「大きな地震に慣れたのか、昨日のはたいしたことなかった。でも、この慣れが続くと大きな地震が来ても(大丈夫と)逃げないかも」と話される。  ・仮設住宅は一律の設計で建設されているため、「玄関口の段差(約15cm)が高くて家の中に入るのがやっとのときがある」と話される高齢者もいた。住宅内はフローリングと絨毯敷きから成っており、絨毯敷きの所に畳を敷いている世帯もあった。(畳の生活に慣れているため?)  ・「(仮設住宅を)とりまとめる人がいないので、駐車禁止の所に駐車したり、犬のフンを片付けたりしない人がいる」とのこと。入居から平均1か月が経過しているが、自治組織が形成されておらず、細かなルールがないと話される。また、定期的な集会もなく、集会場もほとんど使われていないとのこと。→支所保健師に伝える。</p> <p>・行政区域ごとに生まれている所が多いが、中には周りに同じ地区の人がいないという方もおられた。ただ、そういう世帯でも少し離れた仮設住宅にいる親族や友人等が時々訪ねてくれると話される。  ・震災で孫を亡くし、話の中で孫の話になると涙を流しながら「まだ気持ちの整理ができない」とつらい胸の内を話される。→傾聴。  ・食事は3食食べている世帯が多いが、男性のみの世帯(兄弟等)では仕事の帰りが遅いので支援物資のレトルト食品や店で買った総菜等に頼ってしまうとのこと。また、缶ビールの空き缶の数が多く見受けられたが、アルコールの話はできなかった。  ・「玄関口に網戸がないので困る。」と話される世帯が数軒あり。  ○大分県チームについて(情報交換)  ・本日より、大分県日田(ひた)市チームが支所で活動を開始し、三反走仮設住宅を継続訪問。8月2日からは、市役所に活動の場を移す予定。以降、三反走を鳥取県が担当。  ・市町村は市町村でチームを組み、引継ぎも市町村(国東市)から市町村(日田市)に行っている。県のチームも石巻市内で活動しているが、鳥取県のように県と市町村の混成チームではないとのこと。  ○明日の活動予定について  ・要継続ケース訪問。  ・追波グラウンド(川前)仮設住宅の訪問。  ・大分県チームから三反走仮設住宅の様子を伺う。</p> <p>○道路状況について  ・支所近辺:渋滞なし。高速道路:渋滞なし。</p> <p>【職員の健康状態】  ○午前3時54分に大きな地震を体感したが、特に影響はなし。本日は肌寒く、長袖が手放せない。3人も元気です。</p>

8/1	<p>8月1日(月) 天気:曇 (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着(到着前に上品の郷で時間調整)／本日の活動ミーティング</p> <p>9:30 三輪田地区要継続ケース訪問／追波グランド(川前)仮設住宅訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 三輪田地区酪農・肥育世帯訪問</p> <p>15:00 本日の活動記録</p> <p>16:30 活動報告</p> <p>17:00 河北支所出発予定</p> <p>19:00 スマイルホテル塩竈到着予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○追波グランド(川前)仮設住宅訪問、4件訪問、2件不在、2件在宅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政区域ごとに担当の支所保健師がおり、鳥取県チームは西條保健師が担当するエリアを訪問し、本日で担当エリアの訪問をほぼ終了する。</li> <li>・コミュニティーを維持するため行政区域ごとに居住しているが、谷地地区の区長に話を聞くと、「長面地区と谷地地区は区長が各地区を取りまとめているが、それ以外の行政区域の所はどうなっているかわからない。回覧物も谷地の物しかもらわないので、長面や谷地以外の人はもらってないのでは」と話される。また、各区長が集まるような定例会もなく、追波グランド(川前)全体を取りまとめる人もいないのが現状。</li> <li>・長面、谷地地区以外の方に話を伺うと、「孫の中学校が近いのでここに住んでいる。本当は別の所なんだけど。同じ地区の人がいないので、仮設住宅での親しい人も少なく、近所づきあひもあいさつする程度です」と話される。→行政区域によって、情報の格差や生活のしやすさに差が生じている可能性あり。支所保健師に相談内容を伝える。→長面地区の前区長が震災で亡くなり、新しい区長を選出したが、選出するまでに約3か月を要した。</li> <li>・高血圧等の持病をもつ方は津波で薬を流され、病院にも通えず、一時期血圧が180～200ぐらいまで上がったが、今は新しい病院に通い、血圧も安定していると話される。</li> <li>・一人でいると震災に遭ったことを思い出すが、話を聞いてもらい、力になってくれる人がいると思ったら心強い。</li> </ul> <p>○三輪田地区要継続ケース訪問(3軒)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問前に事前連絡(午前、午後)するが、3軒とも連絡がつかず、訪問するも不在。3軒のうち1軒は不在連絡票を置いてくる。</li> </ul> <p>○三輪田地区酪農・肥育世帯訪問(2軒)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酪農を営む世帯では、乳牛に稲わらをあげるのが禁止され、業者からエサを購入している。出荷は問題なく行っているが、乳価が下がっているにもかかわらず、エサ代が以前よりかかり、早急に補償をしてもらわないといけないと話される。</li> <li>・肥育を営む世帯では、「出荷が規制されているから、牛にエサを与えるだけで、どうにもできない。いつ出荷できるだろうか。出荷には適正な時期があり、その時期を超えると肉の質が落ちてしまう。JAからは、補償額が5万円／頭と聞いているが、それではエサの足しにもならない。普通に出荷したら平均80万円／頭なのに」と話される。資金繰りに悩まれている様子で、肉牛以外に出荷している米や野菜まで原発の影響で出荷停止になったらどうしようという胸の内を話される。震災後のブランド牛1頭の出荷価格も落ちており、テレビで政府の対応を見て「のりくりしている」と不満を口にされる。今のところ、食事や睡眠は確保できているとのこと。</li> </ul> <p>○明日以降の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要継続ケース訪問。追波グランド(川前)仮設住宅、三反走仮設住宅の訪問。31班への引継ぎ。</li> </ul> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。</p>
8/2	<p>8月2日(火) 天気:曇 (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着(到着前に上品の郷で時間調整)／本日の活動ミーティング</p> <p>9:30 追波グランド(川前)仮設住宅訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 追波グランド(川前)仮設住宅訪問</p> <p>15:00 本日の活動記録</p> <p>16:00 活動報告・引継ぎ</p> <p>17:00 河北支所出発予定</p> <p>19:00 スマイルホテル仙台国分到着予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○追波グランド(川前)仮設住宅訪問、3件訪問、3件在宅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅に入居する方の食料調達方法は、買物や生協、移動販売等である。</li> <li>・鳥取県チームが継続訪問している方→1時間30分ほど話される。</li> <li>・子どもを亡くした高齢女性。数年前にも家族を亡くしている。亡くなった子どもに体の半分が持って行かれたような感じで、他人は「時間が経てば」と言うが時間が経っても癒えない。鳥取県チームの継続訪問については、「時間が合えば」と了解される。→「心の相談会」「心のケア」に関するチラシを渡す。鳥取県31班に引き継ぐ。</li> <li>・高齢男性。1時間ほど話される。「長生きしても良いことがないので、長生きしたくない。津波で子どもの嫁を亡くした」と涙を流しながら話される。また、「人がいるところは行きたくない。憂うつになると外に出たくない。友達もいないし」と話されるので、心のケアや心の相談会、デイケアを紹介するが、希望されない。保健師に対して、笑みを交えながら地元のことを話されるため、鳥取県チームの継続訪問について提案すると、「楽しみに待っています」と喜ばれる。鳥取県31班に引き継ぐ。</li> </ul> <p>○追波グランド(川前)仮設住宅での生きがいデイケアに参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅入口付近にある集会場にて、生きがいデイケアが行われた(1回/2週間のペースで開催)。また、生きがいデイケア後、支援物資の配布が行われた。</li> <li>・鳥取県チームはデイケア終了間近に参加することができ、参加者(高齢者33名)にあいさつを行った。</li> </ul> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。</p>
8/3	<p>【今後の活動について】一部抜粋</p> <p>○家庭訪問</p> <p>&lt;訪問場所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被害の強かったエリアから順に地区単位で全戸訪問</li> <li>・梨木船渡地区(～7月22日)終了、北境地区(～7月23日)終了、東福田地区(～7月27日終了)</li> <li>・現在／飯野川地区(仲町)の優先訪問者を民生委員、行政委員に聴取し訪問(第30班は仮設住宅の訪問を優先したため、訪問できず)。</li> <li>・7月28日から、仮設住宅(追波グランド川前)の1号棟から訪問。西條保健師担当エリアを順次訪問し、8月2日で概ね終了。3日以降は、三反走仮設住宅に活動の場を移す予定(大分県チームから引継ぎ)。</li> <li>・現在までの鳥取県チームの要継続ケース訪問(7名)うち、31班の訪問ケース5件 ※詳細は要フォロー者一覧表参照→要継続ケースは要継続用ファイル(ピンク色)に綴じる。</li> </ul>
31班	前田敦子
8/2	

<p>(三朝町役場)  稲田千明  (県中部総合事務所)  住田大介  (県西部総合事務所)</p> <p>1日目 (8/2)  鳥取→[ANA・JR]→塩釜  2日目 (8/3)  ホテル(塩釜市)  3日目 (8/4)  ホテル(塩釜市)  4日目 (8/5)  ホテル(塩釜市)  5日目 (8/6)  ホテル(塩釜市)  6日目 (8/7)  ホテル(仙台市)  7日目 (8/8)  ホテル→[JR・ANA]→鳥取</p>	<p>8/3 8月3日(水) 天気:くもり一時雨のち晴れ (活動1日目)  【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング  9:30 石巻市釜谷・雄勝地区、大川小学校の事前視察  11:20 三反走仮設住宅訪問  12:00 昼食  13:00 三反走仮設住宅訪問  14:30 本日の活動記録  15:30 ミーティングのため石巻市役所にて派遣保健師情報交換会出席  17:30 石巻市役所出発予定</p> <p>【本日の活動概要】  ○事前視察(石巻市釜谷～雄勝地区、大川小学校)  ・三反走仮設住宅を訪問する前に、仮設住宅に住まれている方の地区の被災状況を確認するため視察する。  ・大川小学校のあたりは小学校の一部との1つの建物以外は、ほぼ壊滅状態で、流木等が高く積まれていて、すべて津波にのまれていた。  ○三反走仮設住宅訪問／7件訪問、4件不在、3件在宅  ・大分県が行っていた地区。今日より鳥取県が開始する。三反走仮設住宅は大川小学校近くの住所の人が仮設住宅に入居。  ・「仮設住宅入居世帯調査票」「うつ病とPTSDのスクリーニングテスト」等を持参し、訪問。「調査票」は聴取者から世帯全体の様子を伺い、「スクリーニングテスト」は簡単な2問であり、訪問時に在宅の方全員に記入していただく。「スクリーニングテスト」で気になる方は、「心のケアチーム」や「心の相談会」を紹介したり、再訪問を約束する。  ・子どもと孫(大川小学校)を亡くした高齢女性。話の中で涙される。海から5キロも離れており、津波が来るとは誰も予想しておらず、逃げない人も居たし、避難所の大川小学校に逃げた人もいた。  ・ビッグバンでの「鳥取県の保健師」との出会いを感謝の気持ちで語られていた。友達がビッグバンにも来てくれて、救われたと話しておられた。  ・高齢の母の介護をされていた方は「ビッグバン」では、夜に何度もトイレに行く介助があり眠れなかった。仮設に来たら、自分でトイレに行くことができたが、認知症の症状が進行し介護保険の変更申請により、週2回のデイサービス利用となっている。  ○明日以降の訪問について  ・引き続き三反走仮設住宅の訪問。  ○道路状況について  ・高速道路:朝は渋滞で1時間以上かかる。</p> <p>【職員の健康状態】  ○雨も降り少し肌寒かった。3人ともチームワーク良く元気です。</p>
	<p>8/4 8月4日(木) 天気:雨のち晴れ (活動2日目)  【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング  9:30 三反走仮設住宅訪問  12:00 昼食  13:00 三反走仮設住宅訪問  14:20 本日の活動記録  16:30 活動報告  17:00 河北支所出発予定  19:00 スマイルホテル塩釜到着予定</p> <p>8/4 【本日の活動概要】  ○三反走仮設住宅訪問／9件訪問、4件不在、5件在宅  ・地区の方がまとまって入居しているため、交流があるとのこと。同じ地区の人が近所に住んでいるので、話しもできるので良い点はある。行き来もできている。訪問に対して親切に、家の中に通して下さり、震災当時の話をじっくりして下さる方が多かった。津波で自宅が流され、何も残っていない人が多く、近所の人が半分以上亡くなっておられた。  ・子どもを亡くされた女性。気丈に話されていたが、思い出の品が家の中にたくさん置いてあり、気持ちが落ち込むことは毎日ある、時間で解決するものではないと感じた。  ・ビッグバンの避難所で、5か月の子どもと一緒に過ごしたが、ミルクやおむつなど足りないし、母乳も出なくなり、大変だった。避難所には子どもを亡くされた人がおられ、複雑な気持ちで過ごしたと話される。  ・敷きわらから、セシウムが検出された所をいつも散歩していて、被爆したのではないかと心配しておられる人がおられ、口内炎・湿疹ができたりさらに尿から出血し精密検査に行っていると放射能の影響を心配しておられる人もおられた。  ・訪問世帯に「熱中症予防」のチラシを配布し、熱中症に注意する様伝える。  ○明日以降の訪問について  ・三反走仮設住宅の訪問。継続訪問者の訪問  ○道路状況について  ・午前中は石巻方面に向かって、夕方は仙台方面に向かって渋滞あり。</p> <p>【職員の健康状態】  ○今日は天気になり、青空を見ました。蒸し暑く急に温度が上がりました。3人とも元気です。</p>
	<p>8/5 8月5日(金) 天気:雨のち晴れ (活動3日目)  【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング  9:10 三反走仮設住宅訪問  12:00 昼食  13:00 三反走仮設住宅訪問  15:00 本日の活動記録  16:30 活動報告、土・日の活動の打合せ  17:00 河北支所出発予定  19:00 スマイルホテル塩釜到着予定</p> <p>【本日の活動概要】  ○三反走仮設住宅訪問(26件訪問:20件不在、6件在宅)  ・今日は長面地区の合同慰霊祭がビッグバンであるため、不在の方が多くまた喪服姿の遺族を見かけるが多かった。  ・初めての私達にも快く家の中に入れて下さり、住宅の中の風呂等を見せて下さる人もおられた。(ほとんど全員の人に家の中に入れていただき、保健師活動の浸透性を感じた。)  ・仮設住宅は、場所でも色々違いがあり内装が違っていた。また世帯人数に応じて、1DK(独居等)～2DK～3K(世帯用)の間取りであり、世帯人数にあわせて住んでおられる。  ・仮設住宅の位置で、風通しなども違い、洗濯物をどこに干すのかも気を遣われていた。  ・7月は暑くて、冷たい物を食べて胃腸を壊したり、咳が出たり今まで病気をしたことが、なかった人が体調を崩し、自分の健康に不安を感じておられた。放射能のことや仮設住宅のシックハウス症候群や気になり出すという気になり始める。車が流され、買物にも行きにくくなりとても困っている。車がないと出かける予定もなくなり、1日が何となく過ぎていき、気分的に落ち込むこともある。訪問し保健師と話をすることで、元気になり、「やはり、話をするといいですね。玄関先でも話すと違いますが」と実感されていた。  ・集会所で何かあれば参加したい人が、多くおられた。手芸などがあれば、話しもできるし参加したいと話されていた。  ・1階が浸水し、2階で過ごし自衛隊の人に助けてもらった。避難所では本当に食べる物もなく、朝ご飯は毎2つ・昼ご飯はなし・夜もなしなど、大変だった。でも今は前向きに考えるようになった。</p>

	<p>・津波を見ていないが、大きな地震で位牌が将棋倒しのように倒れ、位牌を持って逃げようと思ひ、まとめて持って逃げた。今はそれが良かったと思う。家は土台もないが、山はあるので山菜を採りに行ったりしようと思う。一人は楽しいことがあるのは元気につながる。疾病予防とさらには元気づくりも大切。</p> <p>○継続訪問の電話連絡(3件。都合が悪く32チームに引き継ぐことにする。)</p> <p>○明日以降の訪問について</p> <p>・土曜日・・・避難所訪問、日曜日・・・仮設住宅訪問・引継ぎ</p> <p>○道路状況について</p> <p>・高速道路:朝・夕は霧がいつもあり、所によっては雨も降っていた。渋滞はいつもあり混雑している。高速道路脇にはゆりの花が満開。</p> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○朝は雨、昼には晴れ、夕方には雨と天気がころころと変わる。気温は23度から昼間には28度ぐらいで、過ごしやすい。3人とも食欲もあり元気です。</p>
8/6	<p>8月6日(土) 天気:曇りのち晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:30 ホテル出発</p> <p>9:20 ビッグバン避難所訪問</p> <p>11:00 ビッグバン出発し南三陸町へ視察</p> <p>12:30 昼食</p> <p>13:30 南三陸町出発し石巻市日和山公園から石巻港周辺視察</p> <p>17:30 本日の活動記録</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○ビッグバン避難所</p> <p>・被災当初には700人の被災者がいたが、現在49名の25世帯が避難所に生活。</p> <p>6歳から82歳の方で、雄勝地区の人が半数を占めている。仮設住宅待ち状態で、身体面でのニーズは低く自立している。看護師は相談活動をしながら常駐しており、ボランティア(看護師・介護士)も活動している。</p> <p>・避難所の看護師の声→「被災当時に、保健師が行った地区のマップや健康状態の基礎データが、非常に役立った。」「知らない土地や知らない人、さらには極限の精神状態の方への対応が適切になされるのは、さすが、保健師さんと思った。」</p> <p>・仮設住宅に入居が決まった人の中には、避難所では毎日の健康チェックや緊急時の対応があったが仮設住宅ではどのような対応がしてもらえるのか、心配であると訴える方もいたとのこと。→避難所看護師と支所の保健師の連携が必要</p> <p>○南三陸町の視察</p> <p>・リアス式海岸特有の地形により、災害の甚大なところと、免れたところとの差が大きかった。</p> <p>・防災対策庁舎は鉄骨のみになっており、津波の勢いのすごさを感じた。防災対策庁舎付近の河川の捜索もしてもらい、お盆までに1人でも発見できるよう全力を尽くしてもらった。</p> <p>・全壊流出した家の跡地で、喪服の方が手を合わせておられる姿を見かけた。所々で、瓦礫撤去ボランティアの姿を見かけた。</p> <p>○日和山公園からの石巻港視察</p> <p>・お盆前であり、お寺の土砂をボランティアが撤去されていた。震災後約5か月が経過し、少しずつ復興への兆しが見られているように感じた。</p> <p>○明日以降の訪問について</p> <p>・継続者への訪問、引継ぎ</p> <p>○道路状況について</p> <p>・高速道路:土曜日であり渋滞はなく流れがよい。</p> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。</p>
8/7	<p>8月7日(日) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着/本日の活動ミーティング</p> <p>9:30 三反走仮設住宅訪問</p> <p>10:30 本日の活動記録・活動報告・引継ぎ準備</p> <p>13:00 河北支所出発予定</p> <p>13:00 昼食</p> <p>16:00 塩竈ホテルにて引継ぎ</p> <p>19:00 スマイルホテル仙台国分到着予定</p> <p>8/7 【本日の活動概要】</p> <p>○三反走仮設住宅訪問(4件訪問:4件在宅 2件再度訪問)</p> <p>・日曜日であり、車の数が多い。中学生が玄関先に座って涼んでいたり、幼児は家の外で遊んでいたり、近所に遊びに行く姿がみられる。(少しずつ日常化してきている)</p> <p>・1度訪問したお宅へ、支援物資のミルク・おむつ・おしりふきを持って訪問。(支所ではおむつやお尻ふき・ミルク等をもらえるとのこと)気温変化があり、10か月のベビーは、熱はないが少し風邪気味だとのこと。</p> <p>・血尿の再検査の確認のために訪問。検査結果は異常なし、1年後再検査。ほっとしたがどうして血尿だったのかと心配だけが残る。やっぱり放射能のことが気になるとのこと。</p> <p>・北上町で被災。2軒だけ津波に遭い家が全壊し、柱につかまり助かった。その恐怖で、いつも動悸がうつと災害時の様子を話されました。仮設住宅は知り合いがないので、少し寂しいが、毎日足が弱らないように歩いている。介護保険申請中。</p> <p>・訪問時近所で大きな物音が、玄関を閉めてしまわれた家あり。(32班へ引き継ぐ)</p> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○良い天気で暑くなりました。3人とも元気です。</p>
8/8	<p>【今後の活動について】一部抜粋</p> <p>○家庭訪問</p> <p>&lt;訪問場所&gt;</p> <p>・被害の強かったエリアから順に地区単位で全戸訪問。</p> <p>・梨木船渡地区(～7月22日)終了、北境地区(～7月23日)終了、東福田地区(～7月27日)終了。</p> <p>・仮設住宅(追波グランド川前)の1号棟から訪問し8月2日終了。</p> <p>・飯野川地区(仲町)の優先訪問者を民生委員、行政委員に聴取し訪問(第31班は仮設住宅の訪問を優先したため、訪問できず)</p> <p>【現在】三反走仮設住宅西條保健師担当エリアを活動の場を移し訪問(大分県チームから引継ぎ)。</p> <p>・現在までの鳥取県チームの要継続ケース訪問(7名)うち、31班の訪問ケース3件(電話連絡のみ) ※詳細は要フォロー者一覧表参照</p> <p>→要継続ケースは要継続用ファイル(ピンク色)に綴じる。(現在6冊あり)</p>
32班 芦崎和恵	8/7

<p>(倉吉市役所) 酒嶋里美 (県東部総合事務所) 本田和昭 (県日野総合事務所)</p> <p>1日目(8/7) 鳥取→【ANA・JR】→塩釜 2日目(8/8) ホテル(塩釜市) 3日目(8/9) ホテル(塩釜市) 4日目(8/10) ホテル(塩釜市) 5日目(8/11) ホテル(塩釜市) 6日目(8/12) ホテル(仙台市) 7日目(8/13) ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>8/8 8月8日(月) 天気:晴れ (活動1日目) 【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:20 大川小学校の事前視察 9:05 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング 9:45 継続ケース訪問(追波グランド川前) 12:40 昼食 13:40 三反走仮設住宅訪問 14:40 本日の活動記録、まとめ 16:20 活動報告 17:00 河北支所出発予定 19:00 スマイルホテル塩釜到着予定 【本日の活動概要】 ○事前視察(大川小学校) ・仮設住宅を訪問する前に、以前住んでいた地区の被災状況を確認するため視察する。 ・大川小学校のあたりは小学校の一部と1つの建物以外はほぼ壊滅状態で、流木等が高く積まれていて、すべて津波にのまれていた。 ・堤防の修復作業が進んでいて、堤防の上の道が通れる状態になっていた。 ○継続ケース訪問(追波グランド川前仮設住宅)1件 ・息子を亡くされた高齢女性。震災から4か月経ち生活が少し落ち着いて、息子の死が現実と受け止めつらくなった。間もなく孫が生まれる予定もあり、気持ちが和らぐことには繋がると思う。現在は、眠れなく眠れるようになった。 ○三反走仮設住宅訪問(5件訪問:4件不在、1件在宅) ・第31班から引継ぎ、未訪問世帯の訪問を実施。 ・不在の世帯が多い。 ・訪問した1軒は、仮設住宅に引っ越して1週間程度で、まだ生活が落ち着かない状況だが、同じ仮設住宅に顔見知りの方がいること、娘の訪問が頻回にあり、通院、買物等に連れて行ってもらえているとのこと、笑顔がたくさん見られた。 ○今後の訪問について ・引き続き三反走仮設住宅の訪問。(明日は3歳児健診のため、訪問は休止) ○道路状況について ・高速道路:朝は渋滞で1時間半近くかかる。 【職員の健康状態】 ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	<p>8/9 8月9日(火) 天気:晴れ (活動2日目) 【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング 9:15 仮設住宅入居者の住民基本情報の確認、印刷 9:50 三歳児健診会場準備、事前カンファレンス(ヒックバンへ移動) 11:30 昼食 12:30 三歳児健診、事後カンファレンス 16:20 本日の活動記録 17:00 活動報告 17:10 河北支所出発予定 19:10 スマイルホテル塩釜到着予定 【本日の活動概要】 ○三歳児健診 ・対象者:17人(河北地区:13人、北上地区:3人、雄勝地区:1人) ・受診者:16人/結果…健康13人、その他(用精密、経過観察等)3人 ・スタッフ:保健師5人(3地区1人ずつ+鳥取県2人)、栄養士3人(3地区1人ずつ)、歯科衛生士2人、JIMネット医師2人、小児科医師1人、歯科医師1人、看護師1人 ・要フォロー児の確認を中心とした事前カンファレンスがあり、健診前にスタッフ全員で情報共有を行った。 ・健診では、身体計測、問診、結果説明と保健指導を担当した。 ・事後カンファレンスで、要フォロー児も含めた健診結果を共有し、今後の方針を決定した。 ・今回は、こころの健康相談票を事前郵送し、希望者は心理士による心の相談を受けられる体制が取られていた。 ○明日以降の訪問について ・引き続き三反走仮設住宅の訪問。 ○道路状況について ・高速道路:朝は渋滞で1時間半近くかかる。 【職員の健康状態】 ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
	<p>8/10 8月10日(水) 天気:晴れ (活動3日目) 【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング 9:30 三反走仮設住宅訪問 12:00 昼食 13:00 三反走仮設住宅訪問 14:15 本日の活動記録 15:30 派遣保健師情報交換会出席(石巻市役所にて) 17:30 石巻市役所出発予定 19:30 スマイルホテル塩釜到着予定 8/10 【本日の活動概要】 ○三反走仮設住宅訪問/21世帯(22件)訪問:6世帯在宅、15世帯不在 ・本日から新しい心の健康質問票(5項目に増えた)を使用。 ・2回続けて不在の世帯には、訪問連絡票を残す。(9件) ・訪問した6件のうち1件は、介護が必要な方がいる世帯で、介護ベッドが入れられるよう広い所(同じ仮設住宅の別の部屋)に引っ越し中であったため、8月12日に改めて訪問することを約束する。 ・他の5件は、1人世帯が2件、家族で生活している世帯が3件だった。 ・独居女性、今回の震災で同居家族や親族を亡くし、自らも津波に流されたが、何とか助かったという状況を話された。ご自身の辛い気持ちは、親戚にも、子どもにも話せない、知人等にはそのことに触れずにいてもらえるので気が楽だと話されたものの、保健師に初めて自分の気持ちを話したと涙ながらに言われ、ずっと耐えてこられた様子が伺えた。 ・妻を亡くされた中年男性。子どもと2人暮らし。以前から仲が良かった男性(独居)が、現在も同じ仮設住宅に住んでいるのでお互い行き来があり、笑顔もたくさん見られた。心の健康質問票を見ても、該当する項目は何もないと言ひ、訪問後も2人一緒に出かけて行かれた。 ○派遣保健師情報交換会 ・鳥取県の他、千葉県、兵庫県、東京都、福岡県、福井県、大分県、石川県の各支援チームと石巻市保健師、石巻保健所保健師が参加。 ・他県は、保健師、栄養士、衛生技師、事務職員等2~5人でチームを組み、5日~2週間支援活動を行っている。</p>

	<p>&lt;石巻保健所保健師から&gt;  ・保健師等の支援活動について、県は9月中は支援を希望したいと話している。  ・しかし、厚生労働省はなかなか厳しく、現在、県内で人を集めて足りない分を補う形も考えている。</p> <p>&lt;石巻市保健師から&gt;  ・震災当日、先ず地震が起こった直後に避難所を開設し、保健師も駆けつけた。  ・その1時間後に津波が発生し、通信が途絶え、各避難所等にも連絡が取れなくなったが、それぞれのところで、それぞれの職員が判断し、活動してきた。  ・4月11日から4月中旬まで、ほとんどの職員が泊まり込みの状態だった。5月になり交替で週1回、7月前から週2回の休みが取れるようになり、8月からの土曜日閉庁は急に決まった。  ・土曜日は終日、日曜日は13時以降閉庁だが、ご理解、ご協力をお願いしたい。  ・また、石巻市はお盆を大事にする地域であるため、訪問もできないことから支援活動も中止とした。  ・仮設住宅には、説明会後1週間以内に入居することになっているが、光熱費が自己負担になること、人とのつながりが切れることなどから、当選しても直ぐに入居しない人が多い。  ・避難所は、9月末に閉鎖すると言っている。今後、15次、16次の仮設住宅の建設も始まる。このため、仮設住宅への入居は10月までずれ込むことが予想される。  ・石巻市としては、9月、10月(数が減っても)も、支援をお願いしたい。県内陸部の保健師にも応援を依頼しているが、縁故避難等もあり難しいと思っている。  ・仮設住宅の訪問は、説明会の2～3週間後に計画している。訪問時の調査のみではなく、孤独死、自殺等を予防するためにコミュニティーづくりを行う予定。9月後半には、コミュニティーセンターを作る予定だが、それまで、健康相談会等を計画したり、個別支援の継続を行っている。</p> <p>【今後の訪問について】  ・引き続き三反走仮設住宅の訪問。</p> <p>【道路状況について】  ・高速道路:朝は渋滞で1時間半近くかかる。</p> <p>【職員の健康状態】  ・保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
8/11	<p>8月11日(木) 天気:晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:50 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング  9:15 要継続ケースへの電話連絡  9:45 三反走仮設住宅訪問  12:10 昼食  13:10 三反走仮設住宅訪問  15:10 本日の活動記録、まとめ  16:20 活動報告  17:00 河北支所出発予定  19:00 スマイルホテル塩竈到着予定</p> <p>【本日の活動概要】  ○継続ケースへの電話連絡  ・2件連絡するが、1件は盆で忙しくしており、1件は本人不在であるため、8月18日頃に電話連絡した上で訪問することにする。(第34班に引き継ぐ予定)  ○三反走、追波多目的仮設住宅訪問 15世帯訪問:在宅4世帯(4件)、不在11世帯  ・調査項目の中の「自治会等役割」について、役員はしたくないが、サークルやグループには参加したいと答える人が多く、仮設住宅でも近隣のつながりを大切に考えている人が多かった。併せて、避難所では、他の人の顔が見え、すぐに声をかけることができていたが、仮設住宅はそのようなことが無くなったので寂しいという声も聞かれた。  ・避難所では、食事の準備をする必要がなかったが、仮設住宅に移ってからは、毎日調理をしなければならず、ペースがつかめなくて大儀と話された人があった。  ・三反走仮設住宅は、周囲に田んぼ、川があるせいか、小さな虫が多く、窓には網戸があるが、玄関には網戸がないため、開けられなくて困るという要望が複数あった。</p> <p>○その他  ・仮設住宅及び家庭訪問未実施地区の住民基本情報の検索、印刷の作業を行った。(運転手)</p> <p>【今後の訪問について】  ・三反走仮設住宅の不在4世帯(1回のみ)の訪問、約束している1世帯を訪問。追波多目的仮設住宅を訪問。</p> <p>【道路状況について】  高速道路:朝は渋滞で1時間半近くかかる。</p> <p>【職員の健康状態】  保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
8/12	<p>8月12日(金) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】  7:00 ホテル出発  8:45 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング  9:15 三反走仮設住宅訪問  12:20 昼食  13:10 本日の活動記録、まとめ、引継ぎ準備  16:20 活動報告  17:00 河北支所出発予定  19:30 スマイルホテル仙台到着予定</p> <p>【本日の活動概要】  ○三反走、追波多目的仮設住宅訪問 7世帯訪問:在宅4世帯(6件)、不在3世帯  ・60代男性(独居)、高血圧あり、避難所生活中に意識を失ったことがあったにも関わらず、受診に拒否的、要フォローとした。  ・「避難所生活中、気分が悪くなり、救急車で入院、その後心臓の手術を受けた」「避難所から仮設住宅に転居後急に歩けなくなった」などの高齢者あり。いずれも、主治医からは、避難所でのストレスが影響していると指摘されたとのこと。  ・家族の多い世帯は、仮設住宅を2部屋借りて隣同士に住んでいるが、家族内でもできるだけストレスがかからないように部屋割りをしているとのこと。</p> <p>○その他  ・家庭訪問未実施地区の訪問状況一覧表のシート作成作業を行った。(運転手)</p> <p>【今後の訪問について】  ・三反走仮設住宅の訪問は本日で終了、追波多目的仮設住宅を継続訪問。</p> <p>8/12 【道路状況について】  高速道路:朝は渋滞で1時間半近くかかる。</p> <p>【職員の健康状態】  ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>

8/13	<p>○家庭訪問…現在休止</p> <p>&lt;訪問場所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害の強かったエリアから順に行政地区単位でローラー(全戸)訪問</li> <li>8月12日現在、40行政地区のうち27行政地区の全戸訪問終了。(詳細は別添)残り13行政地区のうち、4行政地区については、訪問台帳作成済み。1行政地区については、訪問台帳作成中。(世帯票印刷途中)</li> <li>飯野川仲町については、優先訪問者を民生委員、行政委員に聴取済。</li> </ul> <p>○仮設住宅訪問…現在進行中</p> <p>&lt;訪問場所&gt; 河北地区の仮設住宅は4か所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>追波グラウンド川前(91世帯):全世帯訪問済</li> <li>三反走(90世帯):全世帯訪問済</li> <li>追波多目的(103世帯):8月11日から訪問開始</li> <li>大森(450世帯):8月中旬完成予定</li> </ul> <p>&lt;聴き取り調査内容&gt;</p> <p>①「仮設住宅入居世帯健康調査票」(別紙参照)…世帯で1枚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記載マニュアルあり</li> </ul> <p>②「こころの健康 質問表」…面接した人全員(一人1枚)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアル(?),こころの健康判定ガイドライン(案)あり。</li> </ul> <p>&lt;事前準備(台帳作成)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世帯票の印刷:仮設住宅入居者一覧を元に検索して印刷し、部屋番号を振る。(ピンクマーカーで記載)</li> <li>訪問時持ち出しファイル(水色ファイル)作成:仮設住宅入居者一覧と世帯票を綴る。</li> </ul> <p>&lt;事後処理&gt;</p> <p>=訪問済みの世帯=</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>持ち出しファイル及び仮設住宅別ガバットファイルの入居者一覧の名前をマーカー(緑)で塗り、日付を記載する。</li> <li>「仮設住宅入居世帯健康調査票」、「こころの健康 質問表」、世帯表を各仮設住宅別ガバットファイルに綴る。</li> <li>仮設調査票の記載内容をパソコンに入力する。</li> <li>こころの健康判定ガイドライン(案)に基づいて、陽性判定(9点以上/24点)する。(全くない:0, 少しだけ:1, ときどき:2, たいてい:3, いつも:4)</li> </ul> <p>=不在の世帯=</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>持ち出しファイルの入居者一覧に日付、不在と記載する。(2回目不在の世帯には、訪問連絡票を残して帰る。)</li> </ul> <p>○訪問時の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各家庭の訪問時は「河北総合支所から依頼を受け、鳥取県から来た保健師です。震災後の健康状況を確認させていただきため訪問させていただきます」等声かけをする。</li> <li>訪問時持参品:血圧計、「不在家庭用伝言メモ」、保健師証明書、訪問台帳、各種お知らせ、チラシ等、色マーカー、バインダー</li> </ul>
------	--

33班 (お盆のため派遣中止/宮城県より中止したい旨連絡有)

34班	
<p>藤木尚子 (鳥取市役所)</p> <p>高橋由佳 (鳥取市役所)</p> <p>秋田進一 (県西部総合事務所)</p> <p>1日目(8/17) 鳥取→[ANA・JR]→塩釜</p> <p>2日目(8/18) ホテル(塩釜市)</p> <p>3日目(8/19) ホテル(塩釜市)</p> <p>4日目(8/20) ホテル(塩釜市)</p> <p>5日目(8/21) ホテル(塩釜市)</p> <p>6日目(8/22) ホテル(仙台市)</p> <p>7日目(8/23) ホテル→[JR・ANA]→鳥取</p>	<p>8/17</p> <p>8/18 8月18日(木) 天気:雨 (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着。本日の活動ミーティング</p> <p>9:15 仮設住宅入居者の住民基本情報の確認</p> <p>9:30 仮設住宅(追波多目的)入居者訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 仮設住宅(午前同様)入居者訪問</p> <p>15:00 本日の活動記録</p> <p>16:30 活動報告</p> <p>17:00 河北支所出発</p> <p>19:10 スマイルホテル塩釜到着予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:11件(在宅:7件、不在:4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの世帯が7月末に入居され、生活状態は落ち着きつつある。受け入れもよく、家族状況や健康状態等、「仮設住宅入居世帯健康調査票」と「こころの健康質問表」をもとに聞き取りを行う。</li> <li>被災後1か月ほどは精神的にかなり落ち込まれたり、不安がつづいていた。仮設に入居して、家族はようやく落ち着いたが、これから先のことを考えると不安になることがあるとはなされていた。</li> <li>仮設での災害時避難場所が分からないので、周知して欲しいとの要望あり。</li> </ul> <p>&lt;鳥取県チームの継続訪問&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前チームからの継続ケース/訪問を継続して受けるようになったことで、血圧のことを気にしなくてはいけなかつたと思うようになった。仮設に移ったが、避難所の生活の延長で、調理をすることがおっくうになっている。</li> <li>&lt;鳥取チームの訪問対象外のより訪問依頼を受ける&gt;</li> <li>自律神経失調症のため通院中。内服管理もできている。震災の後、精神的な疲れからか入院加療。現在は落ち着いている。本人、母親に健康相談実施。河北支所保健師さんに報告し、訪問担当の雄勝支所保健師さんに連絡してもらった。</li> </ul> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。今日は涼しいくらいでした。</p> <p>8/19 8月19日(金) 天気:雨後曇り (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着。</p> <p>9:00 仮設住宅(追波多目的)入居者訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 仮設住宅(午前同様)入居者訪問</p> <p>15:00 本日の活動記録</p> <p>16:50 活動報告</p> <p>17:30 河北支所出発予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:20件(在宅:8件、不在:12件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2回続けて不在の世帯には不在連絡票を残す(2件)。</li> <li>60歳以上の夫婦世帯3件あり、疾病等もあるため、日常の不安もあった。</li> <li>仮設住宅の川側が車両侵入禁止になった為、荷物を運んだり、駐車場までの出入り等に負担感を感じているとの声があった。(台風により頭部外傷手術後、治療中)</li> <li>玄関戸の網戸を付けて欲しいとの要望あり。</li> <li>独居で体調不良を繰り返している人が、精神的な落ち込みが強く、面接中も涙を流されている。調理等も意欲無く、食欲も低下している。体重減少はなし。同じ仮設に元同僚や知り合いがおり、声をかけてくれる。人と話をしたり買物に出ると少し気が晴れる。こころの健康質問票でリスク高いため、支所保健師に相談とする。</li> <li>若い夫婦の世帯は、周囲との交流は無いが、友人と交流あり。3歳児健診を受けていないので、日程を確認してもらった。</li> <li>疾患はあっても前向きに考えて過ごしておられる人もあり、こちらも励まされました。</li> </ul> <p>※訪問中、震度5弱の地震あり。大きな地震に大変驚き、不安になりました。訪問先の人も表情が変わり、地震に対する不安や恐怖心が大きく残っているのを感じました。</p> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。大きな地震に驚きました。</p>

8/20	<p>8月20日(土) 天気:曇り (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>8:00 ホテルにて活動日報集計作業</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 東松島市周辺沿岸部を視察</p> <p>17:00 本日の活動記録</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○活動日報の集計/3月末から6月末までの訪問実績を日報を確認しながら、対応内容別に入力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援活動当初は、避難所や被災のひどかった所を優先的に訪問しているため、生活相談が多かった。また、精神疾患等の対応もあった。</li> <li>・被災当初から今でも心のケアが必要な人は多い。生活が落ちついてから心の問題が表れるケースもある。</li> <li>・被災の当初は、生存確認等の問い合わせ等の対応もあった。</li> </ul> <p>○引継書(案)作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動をまとめ、第35班への引継書を作成</li> </ul> <p>○東松島市視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸部に近くなるにつれ、被害の程度は大きくなっていった。がれきや漁船等が集められて復興に向かっていく様子を感じた。</li> <li>・海沿いの観光地では土産物屋などが再開されていたが、130cmほどの高さまで水が押し寄せ、店が大きな被害を受けていた時の写真等を飾っていた。現在は人の賑わいも感じられる。</li> <li>・避難経路を示す看板や避難所までの距離を示した案内板なども町のあちこちに見られた。</li> <li>・初日に大川小学校や雄勝町・女川町を視察し、被害の大きさや壊滅的な状態を目にしていたので、東松島市の被害が少ないように感じた。町を歩くと、至る所で歩道が隆起していたり、コンクリートが崩れるなど細かな被害の状況が見えた。</li> </ul> <p>○明日の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅(追波多目的)の訪問と記録、継続訪問者への連絡、石巻港周辺の視察予定</li> </ul> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。涼しくて過ごしやすいです。</p>
8/21	<p>8月21日(日) 天気:雨 (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:30 ホテル出発</p> <p>9:00 支所にて本日の活動予定を報告 継続訪問ケースへ電話連絡</p> <p>9:30 活動</p> <p>12:20 支所へ帰庁し報告</p> <p>12:45 石巻市内、漁港等視察</p> <p>16:30 ホテル到着</p> <p>17:00 本日の活動記録</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○鳥取県継続ケースへの連絡/3件ともそれぞれ都合が悪く訪問約束はできず。体調は良いとのこと。又来て欲しいとの意向あり。次チームへ引き継ぐこととする。</p> <p>○仮設住宅(追波多目的)家庭訪問/訪問世帯数:9件(在宅:5件、不在:4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅5件中2件が独居。年金生活の人は将来の不安を口にされていた。</li> <li>・以前より物忘れがあったが、震災後ひどくなったように家族が感じている人があった。人との交流が多くないので、進行するのではと不安があった。また、膝痛のために動くことがおっくうになっていた。震災以降受診していないので、先ずは受診してみることを勧める。介護保険について情報提供する。</li> <li>・乳がんの既往がある人が震災後にまだ受診できていなかった。自己触診や検診等を勧める。</li> <li>・日中は仕事のため仮設に不在のため、片付けに忙しかたおられた。</li> <li>・40代の男性の一人暮らし。今日会えたが、疲労しておられる様子。平日は仕事のため、日曜の訪問を伝え、次チームに引き継ぐこととする。</li> </ul> <p>○次チームの訪問準備・引継書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在訪問している追波多目的のうち半分は他支所(又は他県チーム)が訪問の予定であったが、現段階での未訪問を鳥取県が引き継ぐことになった。(約20件ほど)世帯票の印刷とファイリング。</li> </ul> <p>○石巻市周辺、漁港等視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広範囲にわたり被害が大きく、がれきをまとめているところが何か所あり、ほこりっぽい環境であった。</li> <li>・避難所を立ち上げている渡波小・中では学校の教室内に洗濯物が干されていたり、グラウンドにはテントがはられていた。</li> <li>・地名と合わせながら実際の被災状況を視察することで、話の内容理解やイメージへの手助けとなった。</li> <li>・全壊、あるいは傾いているなどの家が多い中、コンビニや小さなマーケットが再開し生活の助けとなっていた。人の往来が思ったより多かったのが印象的であった。</li> </ul> <p>○明日の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設住宅(追波多目的)の訪問と記録、35班へ引継ぎ、活動終了し仙台へ移動。</li> </ul> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。私達の班は石巻に来てからずっと雨です。とても涼しいです。</p>
8/22	<p>8月22日(金) 天気:雨 (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着。</p> <p>9:00 仮設住宅(追波多目的)入居者訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 仮設住宅(午前同様)入居者訪問</p> <p>14:50 昨日・本日の活動記録</p> <p>16:00 活動報告</p> <p>16:30 引継ぎ予定</p> <p>17:00 河北支所出発予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:27件(在宅:9件、不在:18件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都合が悪い方もあったので、次チームで対応。</li> <li>・移動販売や夕方催されるバーベキューなどの準備にNPOなどの人が多く集まり賑やかだった。</li> <li>・震災後、トイレやお風呂を一人では行くことができなくなり、両親が見守りながらできない児童があった。仮設に入居後も同様で、学校も始まった為、母親の不安も聞かれたので、支所保健師さんに報告、相談先を紹介。</li> <li>・地震に敏感になった。夜中何度か目が覚めて熟睡できないことがあると言われていた。仕事も退職し、生活環境の違いに慣れつつあるが、精神的な不安もあるのではないかとと思われる。</li> <li>・被災前の同じ地区住民が近くにおられ、安心感もあるようだった。</li> </ul> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。今日も雨でした。とても冷えましたが。予定通りに活動できました。</p>

**35班**

渡辺好美 (境港市役所) 盛山絵理 (江府町役場) 原田 豊 (県精神保健福祉センター) 入江賢一 (県日野総合事務所)	8/22	8月23日(火) 天気:くもり (活動1日目)
1日目 (8/22) 鳥取-【ANA・JR】→塩釜 2日目 (8/23)	8/23	<p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北支所着</p> <p>9:00 母子保健事業(1歳児よちよち相談)事前打ち合わせ</p> <p>10:00 会場設営</p> <p>11:30 昼食</p> <p>12:15 1歳児よちよち相談受付開始/計測(身長、体重)及び問診、保健指導</p> <p>15:00 健診終了、片付け、スタッフ事後カンファレンス/要フォロー児についてスタッフ全員で確認</p> <p>16:30 河北総合支所にて記録作成</p> <p>17:15 河北総合支所出発</p>

<p>ホテル(塩釜市) 3日目(8/24) ホテル(塩釜市) 4日目(8/25) ホテル(塩釜市) 5日目(8/26) ホテル(塩釜市) 6日目(8/27) ホテル(仙台市) 7日目(8/28) ホテル【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>8/23【本日の活動概要】 ○ 母子保健事業(1歳児よちよち相談)へ参加 ・対象家庭:21組 出席:20組 欠席:1組 ・スタッフ:保健師5名(河北、雄勝、北上各地域から1名、鳥取県2名)、栄養士3名(河北、雄勝、北上各地域から1名)、歯科衛生士(石巻本所)1名、精神科医師(鳥取県1名)、東北大学2名(精神科医師、臨床心理士)、ジャパンハート複数名 ・ビッグバンにて事業実施。 ・事業の流れとしては、受付→ブラッシング指導→計測→問診・保健指導→栄養指導。鳥取県保健師は計測及び問診・保健指導を担当。 ・1歳児相談ではブラッシング指導と離乳時期に伴う栄養指導が中心だが、発達や育児不安等についても保健師が関わり、気になる家庭については1歳6か月児健診や訪問、保健所の発達相談等によりフォローする。 ・震災後、すべての母子保健事業において、こちらの健康相談票を対象家庭に送付し記入してもらおう。震災以後のメンタル面においても相談票に基づいて聞き取りを行い、必要時には心のケアチームや心の相談会等につなげる。 《職員健康状態》 ○4人とも元気です。 【原田報告】 ○本日は、ビッグバンで、河北町・雄勝町・北上町合同よちよち相談(12-13か月児)でした。午前中は準備して、午後から相談です。事前の予定とされていた、すくすく赤ちゃん相談はありませんでした。 ○来談者は、20人。鳥取の保健師2名は、身長・体重の計測を分担、私は、一緒にカウプ指数の計算をしていました。身長・体重の全員の計測が終わると、鳥取の保健師2名も、相談対応に回りました。希望者には、栄養士さんが、栄養相談をしてくれます。メンタルに関しては、定期的に検診・相談に東北大学精神神経学分野の医師、臨床心理士、および、NPOジャパンハートが参加しています。 ○終了後、カンファレンスをしました。私のほうから見て、1人、発達が気になる子がいました。要フォローです。カウンセリング希望者はいませんが、河北町の保健師さんが様子を見て、一人、ジャパンハートのほうで面接をうけられました。また、ジャパンハートで参加されていた岡山県在住の小児科医師も、一人、相談に乗られました。 ○避難所ですが、仮設住宅の開設に伴い、8月3日に、飯野川第一小学校及び飯野川中学校の避難所は閉鎖されました。一部の残っていたら、行き先のない方10人程度は、ビッグバンに移されました。ビッグバンは、今は、3-40人程度になりました。1階の重症者で埋まっていたトレニングルームや寝たきりのひとがいた柔剣場はすでに空っぽです。大きなアリーナの中には、2組くらいです。2階の廊下にはもう避難者はおられず、和室に数組おられる程度です。3階は、1組だけでした。多目的ホールには、数組おられました。今のビッグバンは、洗濯以外は、3食・掃除つき、食事も配給され、果たして、この人たちが、自分で何でもしないといけない仮設に入れるのかは不安とか。ちなみに、ビッグバン避難所も、9月末には閉鎖予定です。 ○仮設住宅ですが、飯野川高校のグラウンド横にできた仮設住宅は、雄勝町住民を対象としているので、河北町内にありますが、鳥取県チーム・河北町の訪問対象外です。雄勝地区住民がうまくまとまっているとのことですが、交通の便が不便で断られた方も言われるようです。なお、仮設住宅は、抽選であっても、誰がこの部屋に入居するのかは、それまでの人間関係を考えた上で、町の皆さんが配慮をしているようで、近所の中の良い人同士をくっつけたり、逆に、仲の悪い人は離したりと、部屋の配置にもぜひいぶんと配慮をしているとのこと。 ○河北町の仮設住宅ですが、 ・追波グラウンド川前:飯野川中学校避難所からの人が多く、河北町長面、雄勝町の人が多い。避難所から来た人同士は、仲良く助け合っているが、家族を亡くして親戚宅に住んでいた人や他の地区から来た人の中には、なじみずまだ孤立的な人もいる。 ・追波多目的:3分の2が雄勝町の人、残りの半分くらいが、河北町の人という感じ? ・三反走:ビッグバンに避難していた人が多い、釜谷、長面、尾崎などの出身。 ・多くの仮設住宅は、玄関と向かいの家との距離が狭い感じがある。一定の地区に多くの仮設住宅を建てないといけないということもあるが、駐車場の確保されていないが、1人に1台の時代なので、駐車場が足らなく、トラブルが起きている。仮設地区をひとつの行政区とみずかどうかは今後の課題。行政区において、班長を立てて、回覧などもきちっと回すことも必要かと。 ・大森地区には、450世帯が入る巨大な仮設住宅が建設されているが、まだ、入居はない。入居予定は、50人ほど決まっているらしいが、個人情報の問題から、明らかにされていない。これまでに河北町で避難所にいた人、住居が全壊した人の多くは、すでに仮設住宅に入居している。大森地区は、いろいろな地区から入居し、半壊状態だが、自分で立て直せない人が多く入ってくるのではとも。今後、大森地区の入居が始まるが、これまでと異なり、河北地区以外からのさまざまな入居者があるので、把握がしづらくなる。</p>
	<p>8/24 8月24日(水) 天気:晴れ(活動2日目) 【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。 9:00 仮設住宅(三反走・追波多目的)入居者訪問準備 9:30 仮設住宅(三反走・追波多目的)入居者訪問 12:45 昼食 13:45 活動記録 15:00 活動報告 15:20 河北総合支所出発 16:00 他県派遣者との情報交換会(石巻市役所にて) 17:00 石巻市役所出発 【本日の活動概要】 ○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:14件(在宅:5件、不在:9件) ・午前中の訪問だったせいか、不在や都合が悪い方があり、明日の訪問や次のチームでの対応。 ・お葬式が終わって仮設住宅に入り、生活が少し落ちついてきてはいるが、写真を見ると悲しくなるので写真を伏せていると言われる方や、震災後、仕事も退職しいろいろな手続きを1人でしないとイケないので自分自身のことを考える余裕が無いと言われるが、被災前の同じ地区住民が近くにおられ、安心感もあるようです。 《職員健康状態》 ○4人とも元気です。予定通りに活動できました。 【原田報告】 ・三反走仮設住宅で、2件訪問するも、いずれも留守。ただ、家族を亡くされたという高齢者夫婦を訪問、同じ仮設内に子ども夫婦が住んでおられ、週1日は、高齢者デイサービスに通っているとのこと、元氣とのこと。 ・以前、夫が行方不明にて、鳥取県チームが訪問したとき、うつ状態だったという高齢女性を訪問。夫は行方不明だが、先日区切りをつけて葬儀を済ませたとのこと、前回訪問時よりは、表面的には安定している。 ・追波(おっぱ)仮設住宅を訪問。留守の家が多い。夫を亡くした女性を訪問、面接。県外の実家に当初は帰ろうかと思っていたが、仮設に入って、地元の人や避難所で知り合った人たちと助け合っていて、今はここにしようかと思う。仏壇も買い揃えた。自分なりに満足のいくような仏壇とか、整理ができて安心している。 ・大川小学校では、多くの児童がなくなっているが、各地区単位で慰霊祭があったり、全体で慰霊祭があったりする。遺族の会もできつつあるらしい。</p>
	<p>8/25 8月25日(木) 天気:晴れ (活動3日目) 【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。 9:00 前日の報告 9:30 仮設住宅(追波多目的)入居者訪問 12:00 昼食 13:00 仮設住宅(午前同様)入居者訪問 14:30 本日の活動記録 16:30 活動報告 17:00 河北支所出発予定 【本日の活動概要】 ○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:5件(在宅:4件、不在:1件) ・追波多目的仮設住宅に訪問する。(新規3、継続1) ・約束をして訪問した方もありましたが、前回不在で訪問したら会えた方が3件あり。 ・一人暮らしの中年男性はアンケートには答えてくれるが震災の影響を聞くのを口を閉ざしてしまう。 ・継続訪問の寝たきりに近いおじいさんは訪問リハやデイサービスに行くようになり歩けるようになり、介護しているおばあさんも週1回整形外科を受診しながらおじいさんの介護をしているが負担が軽減された。お風呂が高くて大変である。 ・仕事も退職し、生活環境の違いに慣れつつあるが、精神的な不安もあるのではないかとと思われる。</p>

8/25	<p>・夫婦2人暮らしの妻はがんの手術をし、年1回経過を見てもらっているが血圧の方は高いが受診していない。被災前の同じ地区住民が近くにおられ、行き来はあるが、心の健康チェックは13点で高値のため要フォロー。</p> <p>・夫婦と息子の3人暮らしで夫は9月から仕事復帰する。</p> <p>○原田は、河北町保健師と同伴訪問</p> <p>・訪問世帯数: 4件(三和田2件、三反走2件)</p> <p>《職員健康状態》</p> <p>○4人も元気です。今回は前回不在で会えなかった方と会い、予定通りに活動できました。</p> <p>【原田報告】</p> <p>・追波多目的仮設住宅及び三反走仮設住宅訪問、ゆっくりと話ができたのは3世帯だが、いずれも、ビックバンに避難していた人たち。</p> <p>・仮設に移ってから、何らかの形で位牌を置く場所ができ、お線香を上げる場所もできた。初盆も終わり、それぞれが、少し一息つかれたという印象がある。今回の震災で、ペットを失ったという人も多く、仮設住宅に移ってから、ペットを飼いだしたという世帯もある。</p> <p>・別の高齢者夫婦は、かつて、ビックバンのトレーニングルームにおられた方。ビックバンではほとんど寝たきり状態で、オムツをつけたままだったが、ビックバンの時から介護士がボランティアなどで入り、現在は、自力で歩行でき、トイレにも自分で通える。週に1回デイサービスにも通うなど、とても回復していて驚いた。仮設住宅内の風呂は、高くて危なくて入れないので、入浴はデイスーパーのみ。</p> <p>《午後》</p> <p>・保健師2名は、引き続き、追波多目的仮設住宅の訪問。私は、河北町保健師と同伴訪問。</p> <p>○河北町高島保健師との同伴訪問(三輪田上地区戸別訪問)。</p> <p>・1名は、23班が訪問し、要フォローの事例。高齢者夫婦を訪問。本人の誕生日に死亡届を出した。23班が訪問したときは、鳥取の保健師チームに話を聞いてもらってうれしかった。息子の妻と孫がいるので、自分たちもがんばっていかないとけないと思う。23班訪問時よりは、表面的な症状は安定している。</p> <p>・もう1名も、23班が訪問し、要フォローの高齢女性。旧石巻市で被災した息子と4日間連絡が取れず不安な日々を過ごす。息子が自宅に戻り、ほっとしたが、それ以降、震災の話を聞かされると、胸が苦しくなって、不安になってくる。23班が訪問したときは、鳥取の保健師チームに話を聞いてもらってうれしかった。今頃は、ようやく症状も安定して来た。今回の震災でも、自宅は、全く津波の来ない場所だが、不安が高い。</p> <p>※今回は2人も、23班が訪問し、話を聞いてもらってとても助かりましたという人でした。河北町の保健師さんも、気になっていて、電話では時々連絡をしていたようですが、今回、私と同伴訪問して、症状は、それなりに軽減してきているということで、安心した感じです。</p> <p>○河北町千葉保健師(介護保険担当)と同伴訪問(三反走仮設住宅)</p> <p>・若い女性。避難所に入所していたが、リーダーのような感じで働く一方で頑張りすぎてオーバーワーク気味に。時々、誰かに話を聞いてもらい、クールダウンすることも必要かも。</p> <p>・高齢者夫婦。妻と面接。震災後、津波に対して、妻は自転車(三輪)、夫はバイクで逃げた。車で逃げた人は皆津波に飲み込まれ、妻は、ずっと木にしがみついていたが、周囲で「助けて、助けて」という声が聞こえていた。結局、友達がほとんど死んでしまって、自分だけが生き残った。あの声は、死んだ友達の声だったかと思うと、時々、その声が聞こえてくる。しばらく、県外の子どもの家に避難、このたび、仮設住宅に入ることになり戻ってきた。自宅は、高台にあったため、1階は津波でやられたが、2階は残った。最近、泥棒が横行し、自宅に戻るたびに、大切にしていたものが無くなってショックを受けている。震災直後から、不眠が続く。</p>
8/26	<p>8月26日(金) 天気:くもり (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着。</p> <p>9:00 雄勝支所保健師と雄勝地区仮設訪問の打合せ</p> <p>10:00 仮設住宅訪問(三反走、追波多目的)</p> <p>13:00 昼食</p> <p>14:00 本日の活動記録・引継書作成</p> <p>16:30 活動報告</p> <p>17:00 河北支所出発予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数: 5(在宅: 2件、不在: 3件)</p> <p>・震災後、片付けや仮設住宅に入る準備で体調を崩したり、血圧が高くなってしまった人がおられた。しかし、自分で適宜休みながら動いているとのこと。また、親類も亡くなっており、一人で仕事に行く車の中で思い出して泣いているが、泣くことで少しは発散しているとのこと。血圧高いため、再度8月31日(水)に訪問予約。</p> <p>・子どもを亡くされた女性。仮設住宅の中に仏壇を作り供養しているという話をされた。涙を流しながら当時のことを話されたが、遺骨も見つかりこれからお葬式をして、これからはお墓を守る役目があると話された。また、人の役に立つ仕事をしたいと力強く話されていた。</p> <p>《職員健康状態》</p> <p>○4人も元気です。予定通りに活動できました。</p> <p>【原田報告】</p> <p>《午前》 雄勝町保健師との打ち合わせかた、雄勝地区の様子を聴きました。私のお聞きした内容なので、一部、誤認があるかも知れませんが、</p> <p>・震災当日、雄勝支所の状況について。地震があり、近くの作業所の障害者も支所内に避難して来た。支所は3階建てで、津波のことも考慮して、3階に灯油なども運んでいた。しかし、実際に津波が来ると、3階まで上がってきて、皆で、屋上に避難した。屋上もだんだん危ない雰囲気、障音のある人々を皆で、給水タンクの方まで押し上げた。どれくらいの時間かわからないけど、山のほうには明かりが見えて、あそこにも避難をしているんだと思った。津波が引いてから、3階に残された水浸しになった毛布や簡易トイレなどを利用して、しばらく3階で生活をした。簡易トイレはダンボールでできてるが、水でぬれているので座るとへしやげてしまう。障害者の人がトイレに行く度に、スタッフ数人で体を持ち上げてトイレをさせていた。寒さのため、再三、皆がトイレに行っていた。</p> <p>・支所の横には、雄勝病院があった。雄勝病院は、少し支所より低いため、屋上も津波が来て、当時、雄勝病院にいた医師や看護師、事務職員や患者さんなどで、助かったのは、男女各1名だけだった。山に登った人は、患者さんを屋上に避難させて、津波に襲われていくのを見ていた。</p> <p>・支所・雄勝病院の前には、数mの防波堤があったが、今は何もなくなってしまった。当初は支所の前で、臨時の支所を作ったが、防波堤もない状態で、再度津波が来たという恐怖感もあり、今の老人施設を借りて支所を開いた。</p> <p>・現在、雄勝地区には7箇所の仮設住宅がある。それぞれ小規模で、地元地区の人がそのまま住んでいるので、コミュニティはできている。また、河北町内の石巻北高校飯野川校のグラウンドにある仮設住宅も、雄勝住民専用になっている。</p> <p>・当初は、雄勝に戻りたいという人は30%くらいだが、今は50%くらい。しかし、郵便局も、何も無い状態なので、車がないと生活ができない。今月に入って、ようやく、自動販売機が1台設置された状況。漁業などを行っている人は戻ってくるが、子どもが学校にいる世帯はそのまま河北町や旧石巻市に住んでいる。</p> <p>・石巻北高校飯野川校には、雄勝中学校、船越小学校、河北中学校に雄勝小学校が入っている。なお、雄勝地区の仮設住宅に関しては、7か所、小規模のものがあり現時点で鳥取県が依頼されている仮設は、①立浜・旧立浜小学校跡地(立浜字寺下)24戸、②峠崎・雄勝峠崎自然公園駐車場(船越字杉の浜)15戸の2か所。もともと、地元に住んでいた人で、親戚・知人宅や飯野川中学校に避難していた人が大半。①立浜は、支所から歩いていける距離だが、②峠崎は、少し離れて遠いところにある。</p> <p>○仮設は、不在のところを含め、一通り回りましたが、不在のところや、まだ多く、やはり日中はおられないところが多い。</p> <p>○2か所の仮設住宅を訪問。</p> <p>・子どもを亡くされた中年女性。仮設の中には、子どもの遺影があり、最初にお線香をあげさせていただきました。遺体があがったときは県内では火葬ができず、夫婦でドライアイスを買って歩き、それぞれ県外(東北地方内)で火葬をすませたとのこと。</p>
8/27	<p>8月27日(土) (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>9:30 雄勝支所保健師と雄勝地区仮設訪問の打合せ</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 仙台へ出発</p> <p>15:00 36班へ引継ぎ</p> <p>【原田報告】</p> <p>○雄勝支所に視察。</p> <p>・もともとの雄勝支所は、津波によって利用できなくなり、現在は、もとの雄勝支所から海沿いに少し走ったところの高台にある老人施設デイスーパーセンター「雄心苑」にて業務を行っている。雄心苑は被災により、現在も利用されていない。</p> <p>・雄勝町には、仮設住宅が7カ所あり、これまで一部は兵庫県チームが調査・訪問に入っている。このうち、2カ所(立浜地区、峠崎地区)の調査・訪問の依頼を受ける。</p>

8/27	<p>・雄勝地区は、今月に入ってようやく自動販売機が一台支所の前に設置されたとのことで、飲食品を購入する場所はなく、ゆうちょ銀行のATM設置の工事が行われている。</p> <p>・峠仮設住宅(15戸、雄勝峠先自然公園駐車場)視察。支所から大浜に行き、そこから林道に入り車で15分程度の静かな木に囲まれた場所で周囲には何も無い。自然公園駐車場に建てられているが、人の気配はなく(まだ、全戸が埋まっていない)、1軒だけ洗濯物が干してある。駐車場にも車はなく、ここでの生活は車がないとできない様子。携帯は、何とかdocomoなら通じると聞きました。駐車場のトイレは、使用禁止になっている。立浜仮設住宅(24戸、旧立浜小学校跡地)視察。支所から大浜を通り海岸沿いに車で7-8分のところにあり、何人かの住人の方もおられ、洗濯物を何か所かで干してあり、こちらの方は生活感がある。海岸沿いの道路には、トラックやタクシーなどが時々行き交っている。</p> <p>・雄勝地区の仮設住宅は、小規模単位のものが多く、地元の住民が入っているため、当初から顔見知りでコミュニティも最初からしっかりとしているとのこと。</p>
8/28 引継	<p>○運転士付きの派遣は、35班で終了です。今後は、ホテル〜河北支所・雄勝支所の移動はタクシー、各支所から各仮設住宅への移動は、徒歩、自転車、タクシーとなります。</p> <p>・雄勝地区旧立浜仮設は、支所から徒歩で行けませんが、峠崎仮設は離れています。雄勝地区内での移動は、すぐにタクシーが呼べない可能性がありますので、雄勝町保健師さんなどに送迎をお願いすることも必要になってくるかもしれません。翌週の計画(いつ、雄勝町に行くのか)を、雄勝町の予定を聞いて、前の週の班が計画を立ててもよいかもしれません。タクシー移動になるので、石巻市の保健師交流会への参加は、時間的に余裕になります。9月以降、参加チームもへり、保健師交流会への参加は、やめてもよいかなと思っています。次回の交流会のときに、伊藤保健師と相談してください。ただ、大森仮設への訪問がどのような形で行われるのかまだ不明な点も多く、その都度、相談をしてみてください。</p> <p>・9月28日(日)は、多目的の不在世帯を中心に訪問してください。</p> <p>・9月から、運転士なしの派遣になりますので、それを念頭に9月以降の派遣スケジュールを検討してみてください。なお、火曜日は、健診のある週と、ない週があります。【今後の予定】を参考にしてください。</p> <p>【今後の予定】</p> <p>○事業等</p> <p>・8月30日(12:30~):3~4か月健診(3~4か月児)</p> <p>・9月1日から癌検診開始</p> <p>・9月15日から特定健診開始</p> <p>○活動方針等</p> <p>・追波多目的の半分を他支所(他県チーム)が担当していたが、現段階で未訪問について鳥取県チームが引き継ぐことになった。</p> <p>・現在の所大森の仮設住宅の情報なし。仮設住宅がある河北総合支所が担当することになってはいるが、他地域からの入居者もあるため、他支所の保健師との分担について検討が必要と思われる。</p> <p>・現在、仮設住宅の訪問を優先的に実施しているが、その後、各行政地区のローラー訪問を再開するかは未確定。</p> <p>・雄勝支所より、雄勝地区の仮設住宅2カ所を訪問してほしいとのこと。</p> <p>【その他】</p> <p>・初日にそれぞれの携帯番号を支所保健師さんに伝えること。</p> <p>・65歳以上は、地域包括支援センターが全戸訪問するため、「仮設住宅入居世帯調査票」は詳細も入力する。</p> <p>・仮設住宅に訪問する前に、仮設住宅に入居している行政区域の被災状況を事前に視察しておく、訪問時に共感して話が出来る。</p> <p>・土曜日は閉庁となるため、統計事務(日報の累計)をする。USBに入っている「保健師活動実施報告書(日報)」に1日1行で入力。入力後はCDドライブにも書きしておく。</p> <p>・日曜日は9:00~13:00まで支所が開いている。活動実施する。報告は翌日でよい。</p>

**36班**

<p>小村明子 (県健康政策課)</p> <p>植木芳美 (県西部総合事務所)</p> <p>芦尾武治 (県日野総合事務所)</p> <p>1日目(8/27) 鳥取-【ANA・JR】→塩釜</p> <p>2日目(8/28) ホテル(塩釜市)</p> <p>3日目(8/29) ホテル(塩釜市)</p> <p>4日目(8/30) ホテル(塩釜市)</p> <p>5日目(8/31) ホテル(塩釜市)</p> <p>6日目(9/1) ホテル(仙台市)</p> <p>7日目(9/2) ホテル-【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>8/27</p> <p>8/28</p>	<p>8月28日(日) 天気:晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:15 ホテル出発</p> <p>8:40 河北総合支所に到着/千葉保健師に本日の活動計画について報告</p> <p>9:00 河北エリアの仮設住宅視察(4カ所)</p> <p>9:30 鳥取県保健師チーム継続支援者の訪問(三反走仮設住宅)</p> <p>10:30 仮設住宅訪問(追波多目的)</p> <p>12:20 千葉保健師に活動結果報告・訪問記録作成</p> <p>13:00 河北総合支所出発・昼食</p> <p>14:00 大川小学校付近、雄勝総合支所並びに雄勝エリア仮設住宅等視察</p> <p>16:30 ホテル帰着・活動報告の作成</p> <p>18:00 活動終了</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:2(在宅:2件、実人数3人)</p> <p>・鳥取県保健師チームがビッグバン入所時(第5班)から継続支援をしている者を訪問。仮設住宅に入居して2か月経過。日焼けし元気そうな様子。仏壇を購入し、妻の遺影を置き、送り盆(8月末)が終わったら納骨し、9月になったら仕事に出たいと話す。自炊も洗濯もしているとよい部屋の中も片付いている。血圧も落ち着いており、現在は困りごともないとのことだった。→「今回で支援終了」</p> <p>・2回不在で不在票を置いた世帯を訪問。雄勝地区から入居されている夫婦に面接。聞き取り調査をする中で、震災当日から現在に至るまでの生活状況や気持ちの変化、今後の生活に向けての不安、行政への不満等話された。</p> <p>・仮設住宅の新たなコミュニティづくりには参加したくない、ここは終の棲家ではないから。インターネットの接続環境が未整備で情報を取りたくても取れない等々。</p> <p>・仮設住宅入居後、「悪夢にうなされての寝言(震災当日の生々しい状況)」が続いている。</p> <p>○秋晴れの中、河北総合支所隣の飯野川中学校グラウンドで中学校の運動会が開催されていた。</p> <p>【職員の健康状態】</p> <p>○3人とも元気です。日差しは強いものの風は爽やかで秋の気配です。</p>
	8/29	<p>8月29日(月) 天気:くもり時々晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着/西條保健師に昨日の活動報告並びに本日の活動計画(雄勝総合支所エリアの仮設住宅訪問)報告</p> <p>10:00 雄勝総合支所にて八森保健師に本日の活動計画報告/仮設住宅岬崎団地・仮設住宅立浜団地の入居状況、要支援者の把握</p> <p>10:30 仮設住宅訪問(岬崎団地)</p> <p>12:30 昼食</p> <p>13:30 仮設住宅訪問(立浜団地)</p> <p>15:00 活動記録・訪問記録の作成(支所保健師不在のため活動報告は後日)</p> <p>16:30 雄勝総合支所出発予定(支所保健師から早めに退庁するよう助言あり)</p> <p>18:30 ホテル帰着予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:12世帯(在宅:3件、実人数5人、不在:9世帯)</p> <p>・雄勝総合支所では住民基本台帳を閲覧・プリントアウトすることができず、仮設住宅入居申込名簿を元に訪問。</p> <p>&lt;岬崎団地&gt; 15世帯中8世帯が入居済み。(残る7世帯は入居予定未定。)</p> <p>・人里離れた峠崎自然公園駐車場(峠の上)に位置し、車がないと生活できないため、比較的若い世代が入居。昼間は1世帯を除き、仕事に出ていて不在のため、閑散としている。(中には、自宅が半壊で、完全に住居を移していない世帯もあるとのこと。)</p> <p>・唯一在宅の1世帯から、残る7世帯の生活状況の詳細を把握することができた。入居者は全て「船越」の住民であり、一体感がある。立地場所から行政からの情報入手が困難なこと以外は訴えなし。</p> <p>・高齢の女性は、歩行がやや困難であるが、震災後の生活機能悪化もなく、介護サービス利用のため関係者の訪問を受ける予定とのことだった。→雄勝総合支所介護保険担当保健師に引継ぎ予定。</p> <p>・夫は養殖業を営んでいたが被災、妻は自営業で元旦以外は仕事をしていたとのことだったが、「どうしようもないこと」と気丈に振舞っておられた。(養殖業の被災については「災害保険」に加入していたため救済された。)</p> <p>&lt;立浜団地&gt; 24世帯すべてが入居済み。</p> <p>・雄勝総合支所保健師から把握した要支援の2世帯を優先訪問したが不在。</p> <p>・男性の独居世帯(成人・高齢者)を訪問したが、入居者が「立浜」「大浜」の住民のため、顔見知りが多く、日常的な声かけ等交流があり、現在の生活に不安はない様子だった。</p>

	<p>・知り合いから新鮮な魚が手に入りやすく、野菜や米も購入しなくても困らないとのことだった。将来の生活設計についても楽観的な印象を受けた。</p> <p>○雄勝総合支所エリアの震災前の住宅地図を見ることで、まち全体がいかに壊滅的な被害を受けたのかを再認識することができた。また、旧雄勝町住民の独特の連帯感の強さを感じた。</p> <p>《職員健康状態》 ○3人も元気です。</p>
8/30	<p>8月30日(火) 天気:くもり時々晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。西條保健師に昨日の活動報告並びに本日の活動ミーティング 10:00 3~4か月健診会場準備、事前カンファレンス(ビックバンへ移動) 11:30 昼食 12:30 3~4か月児健診 15:00 事後カンファレンス 16:00 本日の活動記録 17:00 活動報告 17:10 河北支所出発予定 19:10 ホテル到着予定</p> <p>【本日の活動概要】 ○3~4か月児健診/対象者:20人(対象者17人、他地区等3人)受診者:14人 ・結果…健康13人、その他(発達経過観察)1人 ・スタッフ:保健師5人(3地区1人ずつ)+鳥取県2人)、栄養士3人(3地区1人ずつ)、東北大学小児科医師1人、東北大学精神科医師1人、東北大学臨床心理士1人 ・要フォロー児の確認を中心とした事前カンファレンスがあり、健診前にスタッフ全員で情報共有を行った。(こころの健康相談票の結果や新生児訪問で母親の産後うつが心配なケース、震災による環境の変化でストレスが大きいと思われるケース等) ・健診では、身体計測を担当した。 ・事後カンファレンスで、要フォロー児も含めた健診結果を共有し、今後の方針を決定した。 ・震災後、生活環境が安定せず、転入や転出が相次いでおり、健診後の支援継続に配慮を要する状況が続いている。 ○雄勝総合支所や北上総合支所は庁舎自体が壊滅的被害を受けており、今後の母子保健事業の実施について、河北総合支所を含め本所での集中実施を希望する声がスタッフから上がっていた。</p> <p>○その他 ・雄勝エリアの仮設住宅入居者の住民基本台帳をプリントアウトし訪問準備を行った。 ・河北総合支所に9月から、神奈川県平塚市の保健師1名が派遣されることが決まったとのこと。(平成24年3月末まで) ・石巻保健所は、現在の専修大学から9月末に元庁舎に戻る予定。</p> <p>《職員健康状態》 ○保健師2名、運転手、全員元気です。</p>
8/31	<p>8月31日(水) 天気:くもり(活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 8:50 河北総合支所に到着。 9:00 仮設住宅(追波川前グランド・追波多目的・三反走)入居者訪問 12:00 昼食 13:00 仮設住宅(三反走)入居者訪問 14:45 訪問記録 15:15 活動報告 15:20 河北総合支所出発 16:00 他県派遣者との情報交換会(石巻市保健相談センターにて) 17:15 石巻市保健相談センター出発 19:00 ホテル到着/活動報告書作成、引継書準備</p> <p>【本日の活動概要】 ○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:10世帯(在宅:6世帯、実人数:8人、不在:4世帯) ・鳥取県の継続支援者を訪問するも不在。→37班以降に引き継ぐ。 ・支所保健師が訪問し不在だった世帯、要フォロー世帯を訪問した。「三反走」仮設住宅は、大川小学校区の集落住民が入居しており、本日訪問した者の集落はほとんどの家屋は全壊したが高台や山に避難し、死者が少なかったため、仮設住宅においても自治会役員を交えずに会合等を開いているとのことだった。退職前、漁業で境港等山陰の港に寄港するなど交流があった者は、鳥取県チームの訪問を喜び様々な思い出話をした後、「頑張れ！」と言われても「若い者とは違いもう何も頑張ることがない」と辛い胸の内を話された。 ・大川小学校に通っていた孫が、たまたま体調が悪く早退したために無事だった世帯は、多くの死者や未だ数人の行方不明者もあることから母親が震災後精神的に不安定であったことや学校の対応への不満を口にされていた。</p> <p>○情報交換会 ・石巻市で支援活動中のチームが一同に会して情報交換を行った。(出席者は、派遣チームの東京都・兵庫県・福岡県・鳥取県の4チーム。石巻市役所・保健師、石巻保健所保健師。) 仮設住宅により、入居者の抱える課題の違い等があり、各チームが活動する中で把握したニーズや、今後、必要と思われるサービスについて石巻市に直接伝える機会となっている。 ・9月は、更に派遣チームが減る予定とのこと。(東京都、福岡県・鳥取県・鳥根県が半月の計3.5チーム)石巻市は本情報交換会の意義を感じており、参加チームが減っても9月末までは継続したいとの意向だった。</p> <p>《職員健康状態》 ○3人も元気です。朝のみ小雨が降りました。田んぼの稲穂が垂れて色づきはじめ秋の風景です。</p>
9/1	<p>9月1日(木) 天気:くもり時々雨(活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】 7:00 ホテル出発 9:15 雄勝総合支所に到着。 9:00 雄勝総合支所仮設住宅訪問台帳作成・門間保健師に活動計画報告 9:30 仮設住宅(立浜)入居者訪問 12:00 昼食 13:00 仮設住宅(立浜)入居者訪問 14:00 訪問記録・門間保健師に活動報告 14:45 雄勝総合支所出発 15:15 河北総合支所にて活動報告書・引継書作成 16:30 西條保健師に活動報告 17:15 河北総合支所出発予定 19:15 仙台ホテル到着予定</p> <p>【本日の活動概要】 ○立浜仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:7世帯(在宅:3世帯、実人数:4人、不在:4世帯) ・被災後、息子夫婦の通勤や孫の通学等で別居となり高齢者世帯になった女性は、命は助かったが家族が離れ離れになったことで「寂しさ」を隠し切れない様子だった。 ・高齢女性。県外の子どもの所に避難していたが、仮設住宅に入居、雄勝に帰ってきたことで、畑仕事に精を出し、「100歳までは生きたい」「人とお茶を飲んで話をする時間があれば畑仕事をしての方がよい」等明るい表情だった。 ・夫を亡くした女性。最近まで夫の写真を見ることができなかったが、お盆が過ぎて仏壇に遺影を置き、ようやく話しかけることができるようになったとのことだった。 ・仮設住宅全体で連帯感があり、一人も孤立することなく、食材も日常的に分け合う等交流があり仮設住宅に入って気持ちが楽になったと話す人が多い。 ・ワカメやホタテの養殖再開に向けての準備がすすめられており、高齢者を含め復興への活気を感じます。</p> <p>《職員健康状態》 ○3人も元気です。無事に5日間の活動を終えました。</p>

	<p>9/2 ○雄勝支所の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧立浜小学校跡地、雄勝峠自然公園駐車場の仮設住宅訪問依頼あり。(雄勝峠自然公園駐車場は1件しか訪問していないが、他の世帯は仕事等のため日中に会えない)</li> <li>・どちらの住宅も前地区が同じだった人が入るように調整されており、仮設入居者同士の関係が比較的よい。</li> <li>・雄勝支所には何時までいてもよいと聞いていますが、ホテルから距離があり、雨の時は浸水等があるので、早めに帰宅して下さい。</li> <li>・自動販売機しかないの、お弁当を買って行って下さい。トイレも限られています。</li> </ul> <p>○大森仮設は9月10日説明会(100戸程度対象)、以後毎週金曜に説明会開催される。説明会で鍵を受け取り、2週間以内に入居することになっている。→調査については要相談。</p> <p>○乳幼児健診の補助</p> <p>【今後の予定(河北管内)】</p> <p>○事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月1日から癌検診開始</li> <li>・9月15日から特定健診開始</li> </ul> <p>○活動方針等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河北支所(仮設住宅)</li> </ul> <p>大森の仮設住宅:具体的な情報なし(100世帯程度入所、氏名等分らない)。</p> <p>仮設住宅がある河北総合支所が担当することになってはいるが、他地域からの入居者もあるため、他支所の保健師との分担について検討が必要。その他の仮設住宅:概ね訪問終了。不在宅は平日日中に出会えないことが多い。支所保健師の依頼により、訪問すること有り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雄勝支所(仮設住宅)／旧立浜小学校跡地:5件終了。峠自然公園駐車場:1件以外は平日日中不在。(今後、訪問は不要です)</li> <li>・現在、仮設住宅の訪問を優先的に実施しているが、その後、各行政区のローラー訪問を再開予定なし。</li> </ul>
--	--

**37班**

<p>米塚美智代 (湯梨浜町役場) 福田由貴子 (県中部総合事務所)</p> <p>1日目(9/4) 鳥取→ANA・JR→塩釜</p> <p>2日目(9/5) ホテル(塩釜市)</p> <p>3日目(9/6) ホテル(塩釜市)</p> <p>4日目(9/7) ホテル(石巻市)</p> <p>5日目(9/8) ホテル(石巻市)</p> <p>6日目(9/9) ホテル(石巻市)</p> <p>7日目(9/10) ホテル→JR・ANA→鳥取</p>	<p>9/4</p> <p>9/5 9月5日(月) 天気:くもり時々晴れ (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:40 石巻市役所に到着／大須保健師より今週前半の活動計画打合せ(石巻市役所エリアの仮設住宅訪問)</p> <p>10:00 仮設住宅訪問(日本製紙団地)</p> <p>11:30 昼食</p> <p>12:30 仮設住宅訪問(日本製紙団地)</p> <p>16:20 大須保健師に活動結果報告</p> <p>16:50 石巻市役所出発(支所保健師から早めに退庁するよう助言あり)</p> <p>18:30 ホテル帰着・活動報告書の作成</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問／訪問世帯数:8世帯(在宅:3件、実人数4人、不在:5世帯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月15日に入居説明会があり、その後2週間以内に入居となっている38世帯が今回の訪問対象。(本日訪問予定とした14件中6件は未入所)</li> <li>・仮設住宅申込書をもとに訪問実施(本日が訪問初日)。</li> <li>・石巻市総合体育館駐車場横で高台に位置していて、急で長い坂道の往復となるため、自動車がないと生活づらい状況にあり、特に高齢者にとってはタクシー利用が必要となっている。</li> <li>・もともと杉林だった場所に仮設住宅が建設されているため、虫が発生し、洗濯物に付着していたり、住宅内に侵入したりして困る等環境面の改善を求める要望が多く聞かれた。→市役所保健師へ伝え、環境部門の対応を依頼してもらった。</li> <li>・それまでバラバラだった家族がいっしょに生活できるようになったことや、避難所と違いプライバシーの確保、充分な居住スペースの確保ができるようになったことなど、仮設住宅に入居することで安心して生活できるようになったと話されていた。</li> <li>・入居者同士のつながりが少なく、あいさつ程度のつきあいにとどまっていた、交流等は今後の取組が必要(市役所保健師も必要性を感じているとのこと)。</li> </ul> <p>○石巻市役所は、石巻駅の正面に立地している。約2年前に撤退したデパート跡地(建物含め)の2階～6階を市役所庁舎として活用(使用)されている。1階部分はテナント(雑貨店、飲食店など)が入っている。</p> <p>《職員の健康状態》</p> <p>○2人とも元気です。</p> <p>9/6 9月6日(火) 天気:くもりのち晴れ(朝のうち小雨) (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:40 石巻市役所に到着／大須保健師に昨日の活動報告書提出及び本日の活動計画報告(石巻市役所エリアの仮設住宅訪問)</p> <p>9:30 仮設住宅訪問(日本製紙団地)</p> <p>12:30 昼食</p> <p>13:30 仮設住宅訪問(日本製紙団地)</p> <p>16:30 大須保健師に活動結果報告</p> <p>16:50 石巻市役所出発</p> <p>18:30 ホテル帰着・活動報告書の作成</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問／訪問世帯数:28世帯(在宅:9件、実人数12人、不在:20世帯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日訪問しなかった世帯、及び新たな世帯への訪問実施。</li> <li>・訪問調査するにあたり、面接した方々の被災された当時の心身の状況やこれまでの気持ちの変化、住居を含めた生活の変化等を聴き、人それぞれの捉え方があること、みなさんが前向きに進んでいこうとしておられる様子を強く感じた。</li> <li>・また、現在の仮設住宅に入居して2週間前後と日が浅く、まだ落ちついていないと話される方もあった。</li> <li>・何度目かの抽選でようやく仮設住宅入居となり安心されていると同時に、入居期限が2年間と聞いておられ、今後の生活に対する不安・心配を話されていた。</li> <li>・住宅に対する不満、要望(玄関がなくて靴の置き場所がない、洗濯干し場が狭いなど)を出されることで、住宅を住みやすい場所にしたいとの意気込みが伝わってきた。</li> <li>・不在世帯は、ほとんどが若い年代であり、勤務、何らかの活動のために日中留守であることが予想される。→不在世帯の対応は市役所保健師へ引継ぐ。</li> <li>・要フォローケースについては、市役所保健師へ引継ぎ、今後の対応をお願いした。</li> </ul> <p>○石巻市役所周辺も地震及び津波による被害があり、約1.5メートルの浸水が数日間続き、支援物資を届けるのにボートを使った、とのお話でした。また、塩竈から石巻市役所の往復で国道45号線を使ったのですが、途中、稲穂が垂れて黄色く色づいた田と、津波の被害により荒地同様の田が地域によって分かれていて、津波の影響の範囲の広さを感じました。</p> <p>《職員の健康状態》</p> <p>○2人とも元気です。</p> <p>9/7 9月7日(水) 天気:快晴 (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>7:00 ホテル出発</p> <p>8:40 石巻市役所に到着／大須保健師に昨日の活動報告書提出及び本日の活動計画報告(石巻市役所エリアの仮設住宅訪問)</p> <p>9:00 仮設住宅訪問(日本製紙団地)</p> <p>12:30 昼食</p> <p>13:30 津波の被害状況を視察(石巻市日和山公園)</p> <p>15:30 大須保健師に活動結果報告及び記録作成／明日活動計画概要の打合せ</p> <p>16:15 他県派遣者との情報交換会(石巻市保健相談センター)</p> <p>17:00 石巻市役所出発</p> <p>17:30 ホテル帰着・活動報告書の作成</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問／訪問世帯数:4世帯(在宅:4件、実人数4人、不在:7世帯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の訪問約束した世帯と、前日・前々日に訪問しなかった世帯を対象に訪問実施。</li> <li>・高齢男性(独居)。被災当日車で避難しようとして津波に遭い、子どもとともに4日間水の中で過ごす。ようやく抜けだしたが、多数人のいる避難所は善手で病院の待合で1か月半過ごした。仮設住宅に入居することが決まったが、頼る人がない、話しをする親しい人がない等生きていく意味が見つからないと深刻な話しをされた。→石巻市保健師を通して心のケアチームへ引継ぎ、フォローしてもらった。</li> </ul>
---	--

	<p>9/7 ○情報交換会  ・石巻市で支援活動をしているチームが一同に会して情報交換を行った。  ・出席者(鳥取県2名(保健師)他)、主催 石巻市役所総括保健師、宮城県1名(県内保健所から保健師)、東京都2名(保健師、健康安全研究センター職員)、保健所への支援が中心、千葉県3名(保健師2名、事務職1名);物生地区内の仮設住宅訪問活動が中心、神奈川県平塚市1名(保健師);石巻市と災害協定を結んでいることから24年3月末まで2週間交替で派遣。河北総合支所での活動。  ○派遣する自治体、職種によって支援内容はさまざまであるが、各チームの支援活動内容等を直接石巻市に伝える機会となっている。  ○津波被害の大きかった門脇町を中心に、高台である石巻市日和山公園から視察した。震災被害から約半年経っているにもかかわらず、流された家屋の土台部分のみが多く残されていたり、撤去された瓦礫がヤマのように積み上げられていた。  《職員健康状態》  ○2人とも元気です。</p>
	<p>9/8 9月8日(木) 天気:快晴 (活動4日目)  【活動スケジュール】  8:00 ホテル出発(本日からホテルルートイン石巻からの出発)  8:30 石巻市役所に到着/阿部保健師より本日の活動計画打合せ(石巻市役所エリアの仮設住宅訪問)  9:10 仮設住宅現地までタクシー移動  9:30 仮設住宅訪問(渡波北部第5団地)  12:00 昼食  13:00 仮設住宅訪問(渡波北部第2公園)  15:30 石巻市役所へタクシー移動  16:00 阿部保健師に活動結果報告及び記録作成/明日活動計画概要の打合せ  17:00 石巻市役所出発  17:30 ホテル帰着・活動報告書の作成  【本日の活動概要】  ○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:5世帯(在宅:5件、実人数5人、不在:16世帯)  ・昨日活動した地区とは異なる地域で、新興住宅地の中に仮設住宅が建設されており、周囲には新築の家が建ち並んでいる状況。  ・午前中は、8月末に入居説明会があった仮設渡波北部第5団地の8世帯を対象に訪問実施。3世帯在宅で調査実施できたが、その他は不在及び未入居で調査未実施。  ・同居家族を津波で亡くされているのに、その感情を表出できていないと思われる方があり、フォロー必要とした。→石巻市役所保健師へ引き継ぐ(健康相談実施時にフォローをお願いする)  ・生活費に困っておられ(当面、あるいは退去期限の2年後)、必要な時期に相談ののっていくことが必要な方があった。→石巻市役所保健師へ引き継ぐ(健康相談実施時にフォローをお願いする)  ・家族数の多い世帯は、2部屋使用されていて、間の壁をドアにする工事を昨日すませ、便利になったとの話があった。  ・午後は、仮設渡波北部第2公園で、7月に訪問し不在だった世帯を対象に訪問実施。  ○同じ石巻市エリアの仮設住宅であるが、建設されている地域によって、間取りや使い方が異なっていた。また、入居している方が抱える問題も地域によって異なっていると感じた。  《職員健康状態》  ○2人とも元気です。</p>
	<p>9/9 9月9日(金) 天気:晴れ (活動5日目)  【活動スケジュール】  8:30 ホテル出発  9:00 徒歩にて仮設住宅訪問(蛇田西部2号、蛇田西部1号)  12:00 昼食  13:00 徒歩にて仮設住宅訪問(蛇田中央地区)  14:30 石巻市役所へタクシー移動  15:00 石巻市役所にて活動報告書・引継書作成  16:00 佐藤保健師に活動報告  17:00 石巻市役所出発予定  17:30 ホテル帰着予定  【本日の活動概要】  ○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:5世帯(在宅:5件、実人数5人、不在:13世帯、拒否:1世帯)  ・これまでの訪問調査で不在となっている世帯を中心に訪問実施。不在であっても何度か訪問して面接すると、何らかの対応が必要な方が把握できる。  ・午前は、仮設住宅2か所(仮設蛇田西部2号・仮設蛇田西部1号)を、午後は、仮設蛇田中央地区を訪問。  ・高齢者は、住んでいる環境が変わったことにより出かける場所が少なくなっていることから心身両面の機能低下が危惧されるため、フォローを必要とする。→石巻市保健師へ引き継ぐ(包括支援センターのかかりをお願いしたい)  ・震災後から精神科受診をし、現在も通院治療中の方、まだ状態不安定な時期と思われるためフォローが必要。→石巻市保健師へ引き継ぐ  ・仮設住宅に入居している人同士のつながりが少なく、情報が得られにくいことや、回覧板の回し方が決まっていな生活に密着した自治会のシステムが動いていない。今後の取組がなされていくことを期待されている方が多い。  《職員健康状態》  ○2人とも元気です。無事に5日間の活動を終わりました。</p>
38班	
<p>吉川由里子  (日南町役場)  片平志保  (県西部総合事務所)</p> <p>1日目(9/11)  鳥取→【ANA・JR】→石巻  2日目(9/12)  ホテル(石巻市)  3日目(9/13)  ホテル(石巻市)  4日目(9/14)  ホテル(石巻市)  5日目(9/15)  ホテル(石巻市)  6日目(9/16)  ホテル(石巻市)  7日目(9/17)  ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>9/11</p> <p>9/12 9月12日(月) 天気:晴れ (活動1日目)  【活動スケジュール】  8:00 ホテル出発(本日からホテルルートイン石巻からの出発)  8:20 石巻市役所に到着/市役所保健師より38班の活動内容について、報告。/活動物品(パソコン、筆記用具、ゼッケン等)を受けとり、雄勝へ移動。  8:50 タクシーにて雄勝支所へ移動。  10:00 雄勝支所到着。八森保健師からオリエンテーション。/本日の活動について打合せを実施。  10:20 仮設住宅訪問(立浜小学校跡地)。八森保健師に送迎依頼。  12:00 昼食  13:00 仮設住宅訪問(立浜小学校跡地)。  15:10 雄勝支所保健師に活動結果報告及び記録作成/明日活動計画概要の打合せ  16:00 雄勝支所出発(高潮の影響により、支所を早めに出発するよう指示あり)。  17:00 ホテル帰着・活動報告書の作成  【本日の活動概要】  ○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:7世帯(在宅:4件、実人数5人、不在:3世帯)  ・36班の活動に引き続き、雄勝地区の仮設住宅の訪問を行った。  ・7件中、4件が在宅で、3件は仕事等のため不在であった。  ・今回訪問した仮設住宅は、もともと同じ地区に住んでいた方々が入居されており、お互いに行き来したり、相談できる環境にあり、心強いと皆が話されていた。  ・中年女性は、津波に遭ったときの状況を涙ながらに話されていた。  ・健康状態については、高血圧や高脂血症の治療を継続されていたり、糖尿病の治療を受けておられる方があったが、通院はできており、症状は安定しているとのことであった。  ・事前に雄勝支所保健師より服薬管理等について注意が必要であると情報のあった方の訪問をしたところ、自己判断で薬を中断する(痛み止め)旨の話も聞かれたが、糖尿病の治療薬は服薬できており、食事も自分なりに気をつけているということが確認できた。  ・仮設住宅では、ボランティアの活動もあり、住民同士の交流もあるが、仮設住宅内の決め事や、困り事、普段から感じていることについての話し合いをする場が欲しいという要望もあり、支所の保健師に伝達した。  《職員健康状態》  ○2人とも元気です。</p>

9/13	<p>9月13日(火) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>8:15 ホテル出発</p> <p>8:50 河北総合支所に到着。高島保健師から本日の活動オリエンテーション</p> <p>10:00 1歳6か月健診会場準備、事前カンファレンス(ビックバンへ移動)</p> <p>11:30 昼食</p> <p>12:30 1歳6か月児健診</p> <p>15:00 事後カンファレンス</p> <p>9/13 16:00 明日の訪問準備(世帯票打ち出し等)</p> <p>17:00 本日の活動記録作成</p> <p>17:10 河北支所出発予定</p> <p>18:00 ホテル到着予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○1歳6か月児健診/対象者:11人 受診者:9人</p> <p>・結果…健康2人、育児不安4人 ことばフォロー4人(育児不安と重複あり)。疾病フォロー1人</p> <p>・スタッフ:保健師5人(3地区1人ずつ+鳥取県2人)、栄養士2人 歯科衛生士3人 歯科医師1人 東北大学小児科医師1人、東北大学精神科医師1人 東北大学看護師1人(心のケアチーム)</p> <p>・要フォロー児の確認を中心とした事前カンファレンスがあり、健診前にスタッフ全員で情報共有を行った。(育児不安の強い母親。予防接種が未接種の児。他地区からの転入児等について)</p> <p>・健診では、身体計測を担当した。</p> <p>・事後カンファレンスで、要フォロー児も含めた健診結果を共有し、今後の方針を決定した。</p> <p>・育児の疲労感が強い母親や、震災後時間がたつてから、部分PTSDの症状が出ている母親があった。</p> <p>・母の育児不安等については、心のケアチームの精神科医が面接し、受診の必要性の有無等を判断。今回の健診では、早急に受診の必要性のある者はなかったが、訪問等の経過観察の必要性があがった。</p> <p>・ことばの発達フォロー児が3名、ことばおよび対人関係のフォローが必要な児が1名あり。</p> <p>・今回の健診では、人数が9名と少ないながらも、フォロー児が多いという結果であった。</p> <p>○明日からは、河北地区の仮設住宅のうち、不在等で調査が未実施の家庭を訪問する予定。</p> <p>《職員健康状態》</p> <p>○保健師2名元気です。</p>
9/14	<p>9月14日(水) 天気:曇り (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>8:15 ホテル出発</p> <p>8:40 河北総合支所に到着/本日訪問する仮設住宅の確認</p> <p>9:30 多目的グラウンド仮設住宅訪問(高島保健師に送ってもらう)</p> <p>12:15 昼休憩</p> <p>13:30 河北総合支所到着(タクシーにて)</p> <p>13:40 訪問活動についての記録/西條保健師に本日の活動について報告</p> <p>15:00 河北総合支所出発(石巻市保健相談センターへ)</p> <p>16:00 保健師チーム合同ミーティング</p> <p>17:30 ホテル帰着・活動報告書の作成</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:14世帯(在宅:3件 実人数4人 不在:11世帯)</p> <p>・多目的グラウンドで訪問が未実施の家庭を訪問。</p> <p>・14件訪問するが、不在のお宅が多い。</p> <p>・精神科通院中の方も、数名おられる。訪問途中に、精神科治療を受けておられる女性から、相談あり。「今朝から体調が悪い。頭がふらふらとする。」等の訴えがあったため、仮設の自宅に訪問し、ご家族とともに面接。震災後、親戚の家に同居していたが、思うような生活ができず、調子を崩したとのこと。仮設住宅に来てからも調子が落ちつかず。医療機関は受診しているが、母の疲労感もあり、対応が必要、支所保健師が継続的に関わっているケースであるため、要相談ケースとした。</p> <p>・留守の家庭については、今後調査依頼の紙をポストに入れておくなどのやり方の工夫について、支所保健師と話し合いを行った。</p> <p>○保健師合同ミーティング</p> <p>・千葉県、東京都、鳥根県、神奈川県、福井県から派遣されている保健師チームと、本庁保健師で活動報告及び情報交換会を行った。</p> <p>・主に仮設住宅の健康調査と、乳幼児、特定健診の支援を行っているとの報告あり。</p> <p>・半島の部落地区の仮設住宅では、同じ地区の住民が入居しており、コミュニティの力が感じられたという報告が聞かれた。</p> <p>・今後の保健師活動においては、健康調査を踏まえて、仮設住宅の中で必要な保健活動を考えていくうえで派遣保健師の力が必要であるとのことであった。</p> <p>《職員健康状態》</p> <p>○2人とも元気です。</p>
9/15	<p>9月15日(月) 天気:曇りのち晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>8:15 ホテル出発</p> <p>9:00 雄勝支所到着</p> <p>9:30 仮設住宅訪問(立浜小学校跡地)。(支所職員さんに送迎してもらう)</p> <p>12:00 昼食(雄勝支所)</p> <p>13:00 仮設住宅訪問(立浜小学校跡地)。</p> <p>14:10 雄勝支所にて、記録作成。</p> <p>15:30 八森保健師に本日の活動報告</p> <p>16:00 雄勝支所出発(高潮の影響により、支所を早めに出発するよう指示あり)。</p> <p>17:00 ホテル帰着・活動報告書の作成</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○仮設住宅家庭訪問/訪問世帯数:13世帯(在宅:6件 実人数8人 不在:5世帯 調査票記入依頼:2件)</p> <p>・13世帯訪問し、6世帯が在宅であった。来客中の世帯と、仕事に出かけられる世帯があり、調査票を渡して記入を依頼した。</p> <p>・独居の高齢者世帯では、隣に住む親戚の方が訪問されたり、家族(子)の訪問が毎週2日程度あるとのことで、孤立はなく、コミュニティのなかで支えられている様子が窺われた。</p> <p>・ほとんどの世帯が内科的な治療(服薬治療)をされていたが、受診等は定期的に来ていたとのことであった。</p> <p>・本日は午後2時からボランティアによる足湯のサービスがあり、住民さん達が多く参加されていた。その中で、血圧測定も実施した。</p> <p>・ボランティアの方々の話によると、孤独死や自殺などを防ぐために色々なサービスを仮設住宅内で行っているとのことであった。</p> <p>・生活上の問題としてあがったのは、野良猫が4~5匹おり、住宅内にも入ってくるとのこと。猫よけの柵を設置している家庭もあった。</p> <p>○要フォローケースについて</p> <p>・先日、要フォローとしてあげたケースについては、支所保健師の関わりにより入院となったとの報告あり。</p> <p>○検討事項</p> <p>・9月19日からの活動について、祝日が2日間あるため、その間の活動内容について、支所保健師と要相談。→次回からは河北支所を中心とした活動になる予定。</p> <p>《職員健康状態》</p> <p>○2人とも元気です</p>
9/16	<p>9月16日(金) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>8:15 ホテル出発</p> <p>9:00 雄勝支所到着 雄勝支所保健師に本日の活動について報告</p> <p>9:30 仮設住宅訪問(立浜小学校跡地、峠崎)。(支所職員さんに送迎してもらう)</p> <p>12:00 昼食(雄勝支所)</p> <p>13:30 仮設住宅訪問(森林公園)。</p> <p>15:30 雄勝支所にて、記録作成。</p> <p>16:00 雄勝支所保健師に本日の活動報告</p>

9/16	<p>16:30 雄勝支所出発。 17:30 ホテル帰着 【本日の活動概要】 ○仮設住宅家庭訪問 ○訪問世帯数: ・立浜仮設住宅:7世帯(在宅:0件 不在:7件・不在票を投函)、残りの7世帯を訪問したが、不在であったため、不在票を投函。立浜仮設住宅については、本日で終了。 ・峠崎:7世帯(在宅:0件 不在:7件・不在票を投函)、36班が訪問し、不在であった世帯を訪問するも、不在であった。本日で終了。 ・森林公園:3世帯(在宅:2件 不在:1件)の訪問を行った。 ・高齢男性(独居)。津波に遭い怪我し、県外に住む子どもの所と仮設住宅を行ったり来たりしながら、過ごしているとのこと。男性の一人暮らしであり、食事(栄養面)等での不安も感じられた。要フォローとして支所保健師に報告。 ・高齢女性(独居)。地震後のストレスで肺に水が溜まり、現在も治療中。他地区に住む子どもが尋ねてきておられた。服薬中の薬のためか体のだるさがあり、通院中の病院で薬の相談をしてみるとのことであった。心理面からくるだるさの可能性もあり、要フォローとして支所保健師に報告した。 ○来週の活動について ・19日、23日が祝日のため、雄勝支所しか開いておらず、祝日の活動は、雄勝支所にて、健康調査の入力作業をする予定としている。 ・20日～22日は、河北総合支所で、大森仮設住宅の訪問に向けて住基票の打ち出し等の準備を行い、準備が出来次第訪問の予定(河北支所保健師と相談の上行う)。 《職員健康状態》 ○2人とも元気です。</p>
9/17 引継	<p>【活動スケジュール】 ※次週月曜、金曜は祝日のため、雄勝支所しか開いておりません。月曜、金曜は雄勝支所で、健康調査の入力を行ってください。火曜日～木曜日の日程は以下のとおり(目安です、詳細は現地で確認してください)。 8:00 ホテル出発 8:30～9:00 河北支所または雄勝支所到着 活動について支所保健師と打合せ 10:00 活動→12:00 昼食→13:00 活動 15:00 遅くともこの時間までには河北総合支所に帰着し記録作成 16:00 支所保健師に訪問結果について報告 17:00 河北総合支所出発 17:40 ホテル到着 ※雄勝支所で活動をする場合は、16時くらいには出発するようにしてください(高潮のため)。 ○雄勝支所の活動 ・依頼のあった雄勝支所の仮設住宅訪問は、38班で終了。 ・祝日(9月19日、9月23日)は、開いているのが雄勝支所のみのため、雄勝支所で健康調査票のパソコン入力作業をしてください。(19日は、雄勝支所保健師が直当の予定ですので、入力については、保健師の指示に従ってください) ・雄勝支所には何時までいてもよいと聞いていますが、ホテルから距離があり、雨の時は浸水等があるので、早めに帰宅して下さい。 ・自動販売機しかないので、お弁当を買って行って下さい。 ○大森仮設は9月10日説明会(100戸程度対象)、以後毎週金曜に説明会開催される。説明会で鍵を受け取り、2週間以内に入居することになっている。→9月20日～調査を行う予定のため、住民台帳の印刷等の作業が必要になると思われます。河北支所保健師と相談のうえ行ってください。</p>

**39班**

<p>西村恵子 (八頭町役場) 田中洋子 (県東部総合事務所)</p> <p>1日目(9/18) 鳥取→【ANA・JR】→石巻 2日目(9/19) ホテル(石巻市) 3日目(9/20) ホテル(石巻市) 4日目(9/21) ホテル(石巻市) 5日目(9/22) ホテル(石巻市) 6日目(9/23) ホテル(石巻市) 7日目(9/24) ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>9/18</p> <p>9/19 9月19日(月) 天気:曇り時々雨 (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】 8:00 ホテル出発 9:00 雄勝支所到着 雄勝支所保健師に本日の活動について確認 9:30 現状把握、健康調査結果入力 12:00 昼食(雄勝支所) 13:15 健康調査結果入力、世帯情報調べ 15:45 雄勝支所にて、報告書作成。 16:00 雄勝支所保健師に本日の活動報告 16:10 雄勝支所出発。 17:10 ホテル帰着。 【本日の活動概要】 ○現状把握 ・雄勝地区の人口4,300人中、死者、行方不明者300人。現在地区に残っている人、帰ってきた人併せて約1,000人。帰ってきているのは漁業に取り組もうとしている比較的元気な人達。残っている地区の人の中には、障害者、要介護者有り。 ・雄勝支所全壊。元特老「雄心苑」に、役場、社協、消防、銀行などが臨時設置されている。支所内に救護所あり、医師派遣有り。 ・雄勝病院は全壊、職員も訪問看護に出ているなどで看護職11人が残ったのみ。患者43人は全員死亡。再開の目処立たず。10月から、医師1名、看護職3名、事務1名で仮設診療所開設予定。 ・保育所、小、中学校全壊。児童生徒は河北に間借り状態。何人帰ってくるか予想できず、再開の目処立たず。学童で死亡したのは1名。親を亡くした児童数名。 ・地区ごとで被害状況の差が大きい。 ○健康調査結果入力 ・これまでの避難所訪問で行った健康調査結果の入力作業。 ○世帯情報調べ ・大森仮設住宅の訪問に向けて住基票の打ち出し等の準備。 《職員健康状態》 ○2人とも元気です。</p>
	<p>9/20 9月20日(月) 天気:雨 (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】 8:00 ホテル出発 8:30 河北総合支所到着 西條保健師に本日の活動について確認 10:00 仮設大森第2団地訪問(タクシー移動) 12:00 昼食(二俣保育所にて) 13:00 仮設大森第3団地訪問 14:40 河北総合支所にて、報告書作成。 16:30 高島保健師に本日の活動報告 17:00 河北総合支所出発。 17:30 ホテル帰着。【本日の活動概要】 ○仮設大森団地訪問、健康調査 ・31件訪問、在宅8件、不在23件。在宅8件中1件は外出予定のため書類のみ渡し、9月26日以降再度訪問希望された。2件は「健康だからいい」「引越して作業中で忙しい」と面接拒否。5件に健康調査実施。3件は男性の一人暮らし。1件は高齢の夫婦2人暮らし、1件は祖母と孫2人(隣に娘家族入居)で暮らしていた。 ・1棟に数世帯ずつの入居。半分も入居者がなく、入居者が決まっても、まだ引越していない部屋も多い。 ・元の住所も様々で、ほとんどの人が仮設団地内に知人はなく、せいぜいあいさつ程度のつきあい。 ・旧仙台市内からの入居者は、元の住所の近くの仮設に当たらず、仕方なくこの仮設に入居した、と不満そうな口ぶりあり。 ・9月以降の入居で、まだ近隣の情報が乏しく、車がないと買物など日常生活も不便とのこと。 ・面接した7人中高血圧治療中の方が4人あったが、全員きちんと通院治療していた。 ・独居男性に咳症状有り。経過確認するがいつ頃からかはつきりせず。受診しているというが、呼吸器の診察受けているかはつきりせず。確認要。</p>

	<p>○世帯情報調べ ・大森仮設住宅の訪問に向けて、昨日できなかった分の住基票の打ち出し等の準備。 《職員健康状態》 ○雨が降り、急に気温も10度くらい下がりましたが、2人とも元気です。</p>
9/21	<p>9月21日(水) 天気:雨 (活動3日目) 台風による大雨警報発令。石巻市役所の指示にて仮設訪問は午前中のみとし、午後予定されていた派遣保健師の交流会も中止となる。午後は支所内で健康調査情報入力や事務を行う。 【活動スケジュール】 8:00 ホテル出発 8:30 河北総合支所到着、訪問準備。 9:50 仮設大森第3団地訪問(タクシー移動) 12:15 昼食(河北総合支所にて) 12:45 河北総合支所にて、事務、健康調査情報入力。 16:30 高島保健師に本日の活動報告 17:00 河北総合支所出発。 17:30 ホテル帰着。 【本日の活動概要】 ○仮設大森団地訪問、健康調査 ・16件訪問、在宅4件、不在12件。／3件に健康調査実施。3件とも独居(男性1件、女性2件)。継続ケース1件。 ・昨日からの継続ケースは、昨日支所保健師が福祉事務所と連絡し、状況把握。現在実施中の癌検診受診勧奨を行う。 ・高脂血症治療中1件、糖尿病治療中1件は2人ともきちんと通院治療されている。健康1件。雨の中の訪問を気の毒がられて、皆さん部屋へ入れて下さる。 ○所内事務 ・これまでの訪問のまとめ、健康調査情報の入力 《職員健康状態》 ○台風による雨、風が強いですが、2人とも元気です。 《その他》 ○台風による大雨のため沼が氾濫し避難所が設置される。保健師他現地に派遣。</p>
9/22	<p>9月22日(木) 天気:雨 (活動4日目) 【活動スケジュール】 8:00 ホテル出発 8:30 河北総合支所到着、訪問準備。 9:30 仮設大森第3団地訪問(タクシー移動) 12:15 昼食 13:00 仮設大森第3団地訪問 14:00 河北総合支所帰着 16:30 高島保健師に本日の活動報告 17:00 河北総合支所出発。 17:30 ホテル帰着。 【本日の活動概要】 ○仮設大森団地訪問、健康調査 ・13件訪問、在宅5件、不在8件。5件に健康調査実施。2件が独居(男性1件、女性1件)。老夫婦世帯2件(うち1件は夫がグループホーム入所中)。1件は3世帯6人家族。 ・大森仮設住宅第3団地28、29棟は北上地区からの入居者が多く、顔見知りの方もあり、「お茶っこ」など交流が始まっている人もある。 ・要治療者は、通院できている。 ・住民からの意見。「仮設に置いてあった鍋や食器が大きい。小鍋、小皿を買い足した。」「敷布がなかった。」「ゴミ出しのゴミをカラスが散らかしている。ネットが欲しい。」「台所が狭い(1K)」「 ・雨の中の訪問を気の毒がられて、皆さん部屋へ入れて下さる。 ○所内事務／これまでの訪問のまとめ、健康調査情報の入力。 《職員健康状態》 ○2人とも元気です。</p>
9/23	<p>9月23日(金) 天気:晴 (活動5日目) 【活動スケジュール】 8:00 ホテル出発 9:00 雄勝支所到着、健康調査情報入力 12:00 昼食 13:00 健康調査情報入力 15:00 報告書作成 16:00 雄勝支所保健師に活動報告 16:10 雄勝支所支所出発。 17:10 ホテル帰着予定。 【本日の活動概要】 ○健康調査結果入力 ・高齢者は高血圧が多かった。 ・治療は継続されていた。 ・果物が手に入りにくいのか毎日食べてない人が多かった。 ・震災後歯科治療の中断者が数名有り。 ・大森仮設に比べて独居が少なかった。</p>
9/24	<p>【活動スケジュール】 ※月曜は、雄勝支所に行ってください。健康調査の入力(追波川運動公園が付箋以降入力できていません。北高も確認して下さい)と現地視察をして、午後は河北支所に移動してください。大森仮設第3団地の継続ケース1件と調査票回収1件の訪問をお願いします。(要フォロー者ファイルの継続ケース9。21に名簿があります) ○大森仮設は9月10日以降、毎週金曜日に100戸程度ずつ説明会が開催される。説明会で鍵を受け取り、2週間以内に入居することになっている。→9月20日～健康調査開始。住民台帳の印刷等の作業が必要。河北支所保健師と相談のうえ行ってください。 ○活動方針等 ・河北支所(仮設住宅) ・大森の仮設住宅:9月17日に初めて入居世帯情報が支所に届く。他地域からの入居者もあるが、仮設住宅がある河北総合支所が担当することになっている。不在宅は平日日中に出会えないことが多い。 ・その他の仮設住宅:概ね訪問終了。継続ケース、支所保健師の依頼により、訪問すること有り。 ・雄勝支所(仮設住宅)／旧立浜小学校跡地:24件中(16件終了。1件入居未。7件は不在票投函済み。今後訪問は不要です)。岬崎自然公園駐車場:1件以外は平日日中是不在。(今後、訪問は不要です) ・現在、仮設住宅の訪問を優先的に実施している。 ・石巻市内の仮設入居者の60歳男性(独居)が1名自殺後1週間して発見された事例有り。</p>

40班  
藤原静香

9/25

<p>(琴浦町役場) 梶川敦子 (県中部総合事務所)</p> <p>1日目(9/25) 鳥取→【ANA・JR】→石巻 2日目(9/26) ホテル(石巻市) 3日目(9/27) ホテル(石巻市) 4日目(9/28) ホテル(石巻市) 5日目(9/29) ホテル(石巻市) 6日目(9/30) ホテル(石巻市) 7日目(10/1) ホテル→【JR・ANA】→鳥取</p>	<p>9/26 9月26日(月) 天気:晴 (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】 8:00 ホテル出発 9:00 雄勝支所到着/健康調査情報入力/河北総合支所に向けて移動(タクシー) 12:15 昼食 13:00 訪問準備、訪問(タクシー) 15:40 報告書作成 16:00 西條、高島保健師に活動報告 17:00 河北総合支所出発。 17:30 ホテル帰着</p> <p>9/26 【本日の活動概要】 (1)健康調査結果入力 7月～8月調査分の一部を入力 (雄勝支所の状況) ・沿岸部があり津波による被害甚大、支所は特別養護老人ホーム「雄心苑」に臨時的に設置。 ・雄勝支所管内の仮設住宅は比較的高台にありこのたびの台風による浸水はなし。 ・管内の避難所には住民が2人おられるが9月一杯で閉鎖予定。 ・支所職員は約40人だが管内の居住者は2人。その他の職員は仮設住宅に入居しないで管外のアパート等借りて入居しており1時間以上かけて通勤している。 ・そのため危機管理対策として休日夜間を職員全員で日直当直を行っており休暇の取得は1か月に2回程度。 (2)大森仮設住宅訪問 ・訪問世帯数2世帯(在宅:2件 実人数2人) ○39班から引き継いだケースを訪問 ・1件:肺がん検診再度受診勧奨。 ・1件:先週配布されている健康調査票の回収。 ・車がなく買物に不便さを感じておられる人、COOPの注文により食料など調達しておられる人あり。 《職員の健康状態》 ○2人とも元気です。</p>
	<p>9/27 9月27日(火) 天気:晴 (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】 8:15 ホテル出発 8:40 河北総合支所着 9:30 2歳児歯科健診オリエンテーション、河北総合センターへ移動(公用車)/会場準備、要フォロー児についての打合せ 11:30 昼食 12:30 受付開始～2歳児歯科健診 15:30 健診終了～ケースカンファレンス(約20名について検討) 17:15 河北総合センター出発(公用車) 17:30 河北総合支所出発 18:00 ホテル着、活動報告書作成</p> <p>9/27 【本日の活動概要】 ○2歳児歯科健診[歯科検診+フッ素塗布+発育状況チェック+こころの相談(震災関連)] (1)概要 ・対象者:河北、北上、雄勝地区44名 ・スタッフ:保健師8名(石巻市4 松島市1 平塚市1 鳥取県2) 栄養士3名、歯科医師1名、歯科衛生士3名、東北大学心のケアチーム2名(看護師、PSW) ・健診の流れ:受付→計測→問診→歯科診察→フッ素塗布→歯科、栄養、保健指導、必要に応じてこころの相談〔※鳥取県は他市保健師と計測、問診を担当〕 (2)結果 ・受診者:33名(内、こころの相談件数9件) ・言葉の遅れ、対人関係、発達全体に問題がありフォローを必要とする児が8人、家庭訪問、保育所訪問、電話、3歳児健診等でフォローしていくことが確認された。 ・震災によるこころに関する相談については、この健診を機会に本人だけでなく兄弟、母親等家族に関する相談もあり助言と共に、心のケアチームが訪問、スクールカウンセラーに連携、必要に応じ児童精神科医に受診勧奨等今後の対応方針が確認された。 ・本人が地震速報に怯えたり姉が津波の夢を見て怖がる。 ・母親が小学生の時宮城県沖地震を体験、今回2回目で精神的に不安定。 ・中学生の姉が遺体だらけ中で親友の遺体を見てしまい感情の表出がなくなった。 ・母親が頻度は減ってきているが津波の渦を思い出す等フラッシュバック有り。 《職員の健康状態》 ○2人とも元気です。</p>
	<p>9/28 9月28日(水) 天気:晴 (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】 8:15 ホテル出発 8:40 河北総合支所着、前日の活動報告、仮設住宅訪問準備 9:30 大森第3仮設住宅へ移動(タクシー)～訪問 12:00 昼食～訪問 15:00 河北総合支所着(タクシー)、石巻市保健相談センターへ移動(市公用車)～他県派遣者との情報交換会 17:15 石巻市保健相談センター発(タクシー) 17:30 ホテル着、活動報告書作成</p> <p>9/28 【本日の活動概要】 (1)仮設住宅訪問 訪問件数9世帯(在宅:4世帯 実件数6件、不在:5世帯) ○肉親との死別、失業など悲しみを抱えながらも仮設住宅に入居し、何とか生活再建に前向きに取り組もうとする気持ちを感じられた。友人、親戚等相談ができる者はあるが、入居期間も短く近所同士のつながりは見られない。 ○身分証明を求める人もあり、河北総合支所の証明書を提示することにより初めて納得された。 〔訪問内容から〕 ・隣近所に対する物音一つにも遠慮が必要だが娘宅に身を寄せていた時より気持ちが楽になった。テレビ等新しい機器に慣れるのが大変だった。(独居高齢者) ・両親、祖父母が震災で死亡、育児が心の支えになっている。 ・自宅の取り壊しを市に申請中、かたづけ早く落ち着きたい。 (2)他県派遣者との情報交換会 ○千葉県、東京都、神奈川県平塚市等の保健師と情報交換を行った。 ○石巻市役所保健師からの情報提供 ・6月から仮設住宅の建設、入居が始まり現在131団地(7～500世帯/団地)、9月30日最終説明会、10月中旬まで入居が続く。 ・避難所は39カ所、1,399人登録中、仮設住宅の入居が決まっていらない者、決まっても立地条件が悪く断る者、家のリフォーム待ち等。10月11日を退所の最終期限としているが間に合わない者も考えられるため「待合所」として存続することを検討している。 ・沿岸部は私有地の提供によりその地域の者がそのまま入居したためコミュニティーは比較的良好。市内は様々な地域からの入居者のため難しい。今後健康相談や茶話会の開催等行いながらコミュニティーづくりを力を入れていく。 ・厚生労働省経由の千葉県、鳥取県は10月末で派遣終了。派遣チーム数の減少により情報交換会は今回で終了 ・別途10月～京都市(3か月)、東京都(6か月(公衆衛生チームとして保健所へ))から派遣がある予定 《職員の健康状態》 ○2人とも元気です。</p>

9/29	<p>9月29日(木) 天気:晴 (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:15 ホテル出発        8:40 河北総合支所着、仮設住宅訪問準備        9:30 大森第3仮設住宅へ移動(タクシー)～訪問        12:00 昼食～訪問        16:00 河北総合支所着(タクシー)～記録、高島保健師に報告、継続訪問の可否について検討        17:15 河北総合支所発        17:30 ホテル着、活動報告書作成</p> <p>【本日の活動概要】        仮設住宅訪問 訪問件数25世帯(在宅:9世帯 実件数11件、不在:16世帯)        (仮設住宅の状況)        ○不在の家が多いこと、特に午前中は人通りが少ないため全体的にひっそりしている印象。入居説明会も殆ど終わりに近く、午後は避難所から引越して来られる新たな入居者の姿も見られた。        ○周辺に店舗がないため、独居で自家用車がない、運転免許がない人は通院、買物が不便との声が多く、同じ避難所からこの仮設住宅に入居した知人を頼ったり、災害移動支援ボランティアを利用していた。        ○耳が聞こえにくい人からは来客があってもノックではわからないためチャイムがあると良いという声が聞かれた。        (主な事例)        ○3か月の乳児がいる家庭へは支所から4か月健診の通知が届いていたが、第1子で育児不安が大きいことが考えられる、夫の会社が被災し不眠の訴えがあること等から支所が継続訪問を行うことになった。</p> <p>9/29 ○医療機関が被災したため治療が中断している者や抗がん剤治療が必要なため通院可能な距離にある医療機関を探している者があり、受診勧奨を行うと共に支所看護師が継続して訪問し受療行動を支援することになった。        《職員健康状態》        ○2人とも元気です。</p>
9/30	<p>9月30日(金) 天気:曇り、小雨 (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:15 ホテル出発(タクシー)        8:40 河北総合支所着～記録、訪問台帳整理        12:00 昼食～健康調査票の入力        17:00 河北総合支所発(タクシー)        17:20 ホテル着予定</p> <p>【本日の活動概要】        ○訪問記録の整理、ケース引継書の作成        ○今まで訪問し作成した健康調査票の入力作業        ○訪問予定の仮設住宅入居者一覧から世帯票の印刷        《職員健康状態》        ○2人とも元気です。無事終了できそうです。</p>
10/1	<p>【活動スケジュール】        ※月曜は、8:40頃までに河北総合支所に行ってください。        ・40班に引き続き大森仮設住宅第2、第3の訪問を行ってください。        ・大森第3仮設住宅の方を1度訪問しましたが、家族が不在のため話ができないということで41班が改めて訪問すると約束していますので早めに訪問をお願いします。</p> <p>【活動方針】        ・河北総合支所        ○仮設住宅の訪問が中心        ○大森第2、第3仮設住宅を鳥取県チームが訪問する。第4仮設住宅は宮城県保健師が訪問を行う予定。(他地域からの入居者もあるが、仮設住宅がある河北総合支所が担当することになっている。不在は平日日中に出会えないことが多い。)        ○その他の仮設住宅は概ね訪問終了。継続ケース、支所保健師の依頼により訪問すること有り。        ・雄勝支所        ○仮設住宅の訪問は終了、健康調査票の内容をコンピューター入力作業が中心        ○10月10日(月)祝日は河北総合支所は閉庁となるため第42班は雄勝支所で活動することになります。そのため10月7日(金)の午後は雄勝支所に移動し視察と入力作業を行いモバイルパソコンを置いて帰ってください。        &lt;雄勝支所の状況&gt;        ・雄勝支所は津波被害で全壊しており、雄心苑という施設で役場業務が行われています。        ・自動販売機しかないので、お弁当を買って行くか、河北総合支所近くで食事をすませて行って下さい。        ・タクシー移動に1時間近く必要です。        [鳥取県の継続ケースについて]        ・現在までの鳥取県チームの要継続ケース訪問:6名(個別ファイル:ピンクファイルは6名、一覧簿はモバイルパソコン内にあります。)9月以降訪問等ができていませんのでお願いします。</p> <p>【交通手段】        ○ホテル～本庁(河北総合支所・雄勝総合支所)への移動はタクシー。        連絡先:置石観光タクシー、活動中の移動は、徒歩、自転車、タクシーとなります。        河北総合支所の近くのタクシーは、富士タクシー、松山観光。        ○大森仮設は9月10日以降、毎週金曜日に100戸程度ずつ説明会が開催される。説明会で鍵を受け取り、2週間以内に入居することになっている。→9月20日～健康調査開始。        【他県派遣者との情報交換会(毎週水曜日)】        時間 16:00～17:00(河北総合支所を15:20頃出発のこと)        場所 石巻市保健相談センター2階指導室(石巻市医師会の2階)        内容 健康支援チームとして全国から派遣されている保健師の意見交換の場、集まった保健師が輪になって支援の状況等を報告、フリートークで日々の活動で困ったこと、辛かったこと、嬉しかったこと、個人が抱えている思いを話せる場になっている。9月末で引き上げる自治体も多いようです。39班は台風のため中止になりました。</p>
<b>41班</b>	
<p>平戸由美        (鳥取市役所)        長谷川恭子        (県東部総合事務所)</p> <p>1日目(10/2)        鳥取→[ANA・JR]→石巻        2日目(10/3)        ホテル(石巻市)        3日目(10/4)        ホテル(石巻市)        4日目(10/5)        ホテル(石巻市)        5日目(10/6)        ホテル(石巻市)        6日目(10/7)        ホテル(石巻市)        7日目(10/8)        ホテル→[JR・ANA]→鳥取</p>	<p>10/2</p> <p>10/3</p> <p>10月3日(月) 天気:晴のち曇り (活動1日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:10 ホテル出発        8:40 河北総合支所着(タクシー)        9:00 引継ぎ、訪問準備        10:00 大森第二住宅訪問(タクシー)        15:05 河北総合支所にて報告書作成        16:00 千葉保健師に活動報告        17:00 河北総合支所出発予定        17:30 ホテル帰着予定</p> <p>【本日の活動概要】        大森第2仮設住宅訪問 訪問件数2世帯(在宅:2世帯 実件数2件)        (仮設住宅の状況)        ○9月29日に説明会(鍵渡し)を受けた方は2週間以内に引越してきてくる予定。まだ入居されていない方も多い。        ○大規模な仮設住宅であるが、入居者がまだまばらであり、全体的に静かな印象。        ○最後まで避難所に残っていた方の入居。要フォロー者の入居が多い。        ○精神科にて通院治療中の方、中断されている方もおられ、支所保健師に引き継いでいます。        《職員健康状態》        ○2人とも元気です。</p>

10/4	<p>10月4日(火) 天気:晴 (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>8:10 ホテル出発(タクシー)</p> <p>8:40 河北総合支所着</p> <p>8:45 西條保健師に前日・本日の活動報告、千葉保健師より要フォローケースの引継ぎ</p> <p>9:00 移動(タクシー)大森第2仮設住宅訪問</p> <p>12:30 昼食</p> <p>13:00 大森第3仮設住宅訪問</p> <p>15:10 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:45 西條保健師に本日の活動報告、明日の活動予定報告</p> <p>17:10 河北支所出発予定(タクシー)</p> <p>17:30 ホテル着予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○大森第2、第3仮設住宅訪問</p> <p>・訪問件数8世帯(在宅:5世帯(内1世帯拒否) 不在:3世帯)</p> <p>(集会所の状況)</p> <p>○大森第3団地の集会場には、管理人が入っていた。社会福祉協議会が大森団地を訪問しており、昼食時休憩していた。</p> <p>○集会所にて、先日入居者の交流会「お茶っ飲み会」が開かれた様子。参加者は高齢者が多いとのこと。</p> <p>(本日訪問ケースの傾向)</p> <p>○同居高齢者が4世帯あり。</p> <p>○また、同じ避難所で顔見知りになっていた方が近くの仮設住宅に入り、行き来がある様子。</p> <p>○自宅は、流出(津波に流されて残っていない)、全壊、半壊となっているが、家族を亡くされた方はおられなかった。</p> <p>10/4 (主な事例)</p> <p>○高齢独居男性。石巻市の自宅が全壊。要支援1で訪問看護、訪問介護利用。</p> <p>○高齢独居女性。入居前日より、じんましんが体中に出て、全身痒み酷かったが、主治医を受診し、服薬により少し良くなってきている。家族の様子を見に来てくれ、1週間くらい泊まっていくくれる。</p> <p>《職員の健康状態》</p> <p>○2人とも元気です。</p>
10/5	<p>10月5日(水) 天気:曇り (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>8:15 ホテル出発(タクシー)</p> <p>8:40 河北総合支所着</p> <p>8:50 西條保健師に本日の活動報告</p> <p>9:00 訪問準備、要フォローケースに電話連絡</p> <p>10:00 移動(タクシー)大森第3仮設住宅訪問</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 移動、追波グラウンド仮設住宅訪問</p> <p>15:10 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 西條保健師に本日の活動報告、明日の活動予定報告</p> <p>17:00 河北支所出発予定(タクシー)</p> <p>17:30 ホテル着予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○要フォローケース訪問(大森第3仮設住宅、追波グラウンド仮設住宅)</p> <p>・訪問件数3世帯(在宅:3世帯)</p> <p>(主な事例)</p> <p>○県外(東北地方)に避難、9月下旬に仮設に入居された男性。アルコールの問題あり、避難先の保健師も関わりあり。最近では落ちついてきたとのことだが、仮設入居後早急に要訪問と依頼があった。訪問時、保健師の受け入れ良かったが、バスで外出予定であったため短時間で面接となる。→保健師の再訪問での血圧測定は希望されたため、継続フォローとする。</p> <p>○震災後、認知症と診断された高齢女性。県外(東北地方)に避難し、9月下旬に仮設入居。県外で、要介護認定を受けており、こちらでも受診及びサービスを利用したい希望あり。→河北支所介護保険担当保健師に引継。</p> <p>(その他)</p> <p>○石巻市社会福祉協議会が、河北町の仮設住宅を巡回訪問し、家庭状況、困り事を確認している。(大森第3集会所を拠点としており、代表の方と話をした。)被災した雄勝病院、石巻市立病院の看護師とも連携しており、その場で対応できることはしていきたいとのこと。</p> <p>○社会福祉協議会の訪問後、鳥取保健師訪問となった場合、仮設入居者から「さっきも同じようなことを聞かれた」と言われることあり。</p> <p>○川前仮設、三段走仮設住宅の集会所では、</p> <p>・ミニデイ…2週間に1回、社会福祉協議会に委託。</p> <p>・健康相談会…1か月に1回、支所保健師・栄養士が巡回。</p> <p>《職員の健康状態》</p> <p>○2人とも元気です。</p>
10/6	<p>10月6日(木) 天気:雨のち曇り (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>8:15 ホテル出発(タクシー)</p> <p>8:40 河北総合支所着</p> <p>8:50 西條保健師に本日の活動報告</p> <p>9:00 訪問準備、移動(タクシー)大森第3仮設住宅訪問</p> <p>11:30 追波多目的仮設住宅、要フォローケース訪問</p> <p>13:00 昼食、タクシーにて移動</p> <p>13:30 要フォローケース訪問</p> <p>15:15 河北総合支所にて記録作成</p> <p>16:00 本日の活動報告、明日の活動予定報告</p> <p>17:00 河北支所出発予定(タクシー)</p> <p>17:30 ホテル着予定</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>○大森第3仮設住宅訪問、要フォローケース訪問(追波多目的仮設住宅、戸別訪問)</p> <p>・訪問件数3世帯(在宅:3世帯)</p> <p>(面接時の様子)</p> <p>○被災状況は様々であるが、「橋の上に登り、一晩明かした。」「全壊した自宅に戻ると、死体が溝の中に挟まっていた」と、皆さんが震災直後の壮絶な体験をとめどなく話される。</p> <p>○家族は無事の方も、大切なペットが津波や地震の影響で亡くされた方がおり、残して逃げてきた自分を振り返ると涙を流される場面があった。</p> <p>(主な事例)</p> <p>○うつっぽい質問表で高得点、高血圧だが未受診の女性。訪問時、震災当時の壮絶な体験を話して下さる。夫は仕事で、日中は自分1人になるが、最近は、ウォーキングに参加したり、同級生とのやりとりがある。仮設住宅の人間関係もあり、以前と人が変わって付き合い辛い人もいる。大勢の人と話すのは苦手。人前では血圧も上がり、病院も苦手。保健師が訪問し、話を聞いてくれるのは有り難いので、近くに来たらまた寄って欲しい。</p> <p>○震災後、友人らの体験を聴くことが多く、抑うつ、不眠があった女性。保健師の訪問を快く受け入れて下さる。現在は、全てが元通りになっている訳ではないが、気持ち的には落ちついている。夜間も良く眠れる。</p> <p>《職員の健康状態》</p> <p>○2人とも元気です。</p>

10/7	10月7日(金) 天気:晴れ (活動5日目) 【活動スケジュール】 8:15 ホテル出発(タクシー) 8:40 河北総合支所着～引継書作成、記録・訪問台帳整理 12:00 昼食 13:30 雄勝支所(雄心苑)に移動 14:30 雄勝支所にて引継書の作成 16:15 雄勝支所発予定(タクシー) 18:00 ホテル着予定 【本日の活動概要】 <午前> 河北総合支所 ○西條保健師に前日の活動報告。要フォローケースの相談。 ○訪問記録の整理、引継書の作成 ○訪問予定の仮設住宅入居者一覧から世帯票の印刷 <午後> 雄勝支所(雄心苑) ○要フォローケースの確認 ○引継書の作成 ○42班に引継ぎ 《職員健康状態》 ○2人とも元気です。
10/8	

42班

廣田智子 (米子市役所) 余村洋子 (県西部総合事務所)	10/9	
1日目(10/9) 鳥取→【ANA・JR】→石巻 2日目(10/10) ホテル(石巻市) 3日目(10/11) ホテル(石巻市) 4日目(10/12) ホテル(石巻市) 5日目(10/13) ホテル(石巻市) 6日目(10/14) ホテル(石巻市) 7日目(10/15) ホテル→【JR・ANA】→鳥取	10/10	10月10日(月・祝) 天気:晴れ (活動1日目) 【活動スケジュール】 8:00 ホテル出発 8:50 雄勝支所(雄心苑)着～引継ぎ物品確認、健康調査票入力 12:20 昼食 13:00 追波多目的仮設住宅に移動～仮設住宅訪問 15:30 雄勝支所へ移動 16:00 報告書作成 17:00 雄勝支所出発 18:00 ホテル着 【本日の活動概要】 <午前> 雄勝支所(雄心苑) ○雄勝支所栄養士より引継ぎ物品を受け取り、物品の確認。 ○「追波川運動公園」の健康調査票を入力。 <午後> 追波多目的仮設住宅 ○不在で訪問できていない世帯への訪問。訪問件数:11件、うち在宅4件(1件は来客中で面接できず)、不在7件(仮設住宅の状況) ○平日に不在の世帯は、休日でも仕事や外出で不在にしているところが多い。 ○同じ地区など、ももとの知り合いが、同じ仮設住宅にいる人が多く、住民同士で言葉を交わすところが多く見られた。 ○震災当時は身体的、精神的に影響を受けた人でも、現在は徐々に落ちついてきているという言葉が多く聞かれた。 【その他】 ○ボランティアが仮設住宅に訪問した際に話が盛り上がった声に対し、隣の住民が壁をたたいて抗議し、その音に周りの住民も反応しその棟全体のトラブルになった話を聞いた。 ○民間の仮設住宅には支援の手が入らないことを気遣う声を聞いた。 《職員健康状態》 ○2人とも元気です。
	10/11	10月11日(火) 天気:くもり (活動2日目) 【活動スケジュール】 8:15 ホテル出発 8:45 河北総合支所着 9:15 3歳児健診説明 9:45 河北総合支所出発 10:00 ビッグバン(健診会場)到着～会場準備、要フォロー事例共有 11:00 昼食 12:00 健診 15:00 健診後カンファレンス 16:20 河北総合支所到着 【本日の活動概要】 <午前> 河北総合支所→ビッグバン ○西條保健師より健診の説明を受ける。 ○ビッグバンに移動し、健診会場準備後、要フォロー事例の共有。 <午後> ビッグバン ○3歳児健診(3歳5か月～7か月) ・対象者:23名 受診者:17名/スタッフ:保健師5名(各地区1人づつ、鳥取県2人)、栄養士2名、歯科衛生士2名、医師2名、心理士1名、看護師1名/※鳥取県は計測、問診、母子手帳の返却を担当 (事前の要フォロー事例)9名 ・保育所から上がった事例 ・兄弟が大川小学校で無くなった事例→母もあわせて要確認 ・2歳児健診で要フォローとなった事例(結果) ・対人で要フォロー2名 ・子どもを震災で亡くされた親については心理士の面接を勧め、面接された方もあったが、周りに相談できる人がある(同じ境遇の人や家族など)という親が多かったため、要フォローとなった事例は無かった。 ・子どもが津波遊び(人形を亡くした人と助かった人に分ける)をするという相談あり。→子どもなりの表出なので無理にやめさせなくていい。だが、親がそれを見て苦しいようなら相談してもらおうと勧める。 ・震災後、家族や住まいなど環境が変化した子が多かった。震災直後は精神的に影響を受けたが、現在は落ちついてきている子が多かった。 ・震災で母子手帳を無くし、再発行した子もあり。また、亡くなった兄弟の母子手帳の再発行をする親もあり。 《職員健康状態》 ○2人とも元気です。

10/12	<p>10月12日(水) 天気:晴れ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:15 ホテル出発        8:45 河北総合支所着        9:00 河北総合支所出発        9:15 大森仮設住宅2号訪問        10:00 見守り隊にあいさつ        11:00 大森仮設住宅訪問        12:00 昼食        13:00 訪問        15:15 河北総合支所到着        16:00 報告        17:00 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】        &lt;午前&gt; 大森仮設住宅2号、3号        ○不在で訪問できていない世帯への訪問        ○3号の集会場にて見守り隊にあいさつ、情報収集        &lt;午後&gt; 大森仮設住宅2号、3号        ○要フォロー事例を見守り隊から情報提供を受け訪問。        ○高齢者で独居世帯を中心に訪問。訪問14件、うち在宅7件(5件聞き取り、2件来客などでできず)、不在7件(集会所の状況)        ・援助物資の衣服が並んでおり、自由に持ち帰り可能。        ・社会福祉協議会の職員が20名程度在駐しており、見守り隊として活動。仮設住宅を訪問し、相談相手、訪問希望聴取、希望者へのボランティア手配等をしている。→その中で気になる世帯の情報を提供してもらい、鳥取保健師が訪問。        (見守り隊からの大森仮設についての情報)        ・市立病院の看護師も独居の世帯を中心に訪問している。        ・交通の便が悪い、店や病院が遠い、コミュニティがない。        ・他の仮設住宅の抽選にはずれた人、最後まで避難所に残っていた人の入居が多い。→マスコミの注目度が高い。        ・厚労省の職員が先日来所され、サッシから風が入るなどの意見を伝えた。        ・情報共有の困難さを感じているが必要だと考えている。        (本日訪問ケースの傾向)        ・見守り隊からの情報提供で精神疾患の人へ訪問ができた。        ・長期の避難所生活のストレスを訴える人が多かった。        ・入居したばかりで環境的にも、精神的にも落ちついてない人が多かった。        ・震災で世帯構成が変わらず、家族役割の変化はない人ばかりだった。        ・渡波の避難所での過酷な生活であり(大森仮設は、渡波の避難所からきた人が多い)一介入が必要な世帯が多い。        ・本日訪問ケースの傾向から、交流・健康管理を目的とした男性限定の体操教室の開催を考慮しておられた。        《職員健康状態》        ○2人とも元気です。</p>
10/13	<p>10月13日(木) 天気:くもり (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:15 ホテル出発        8:45 河北総合支所着        9:00 河北総合支所出発        9:15 大森仮設住宅3号訪問        12:00 昼食        13:00 大森仮設住宅3号訪問        15:30 河北総合支所到着        16:00 報告        17:00 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】        &lt;午前&gt; 大森仮設住宅3号        ○見守り隊から情報提供のあった要フォローケースへの訪問        ○訪問9件、うち在宅4件(2件聞き取り、2件忙しいなどの理由で面接できず)、不在5件        &lt;午後&gt; 大森仮設住宅3号        ○見守り隊から血圧測定依頼のあったケースへの訪問        ○訪問2件、うち在宅1件、不在1件(鳥取県フォローケース)        (本日訪問ケースの傾向)        ・見守り隊から訪問が必要なケースの情報提供を受け、訪問するという流れができた。        →調査を進められないという欠点もあり。(未訪問の世帯から要フォローケースを拾い上げるという役割のはずが、、、)        ・独居以外の世帯への訪問を進める予定だったが、ほぼ不在で進まず。        ・震災での喪失感、孤独感を訴える人多かった。        (仮設住宅での課題)        ・交通の便が悪い(バスの本数が少ない、バス停の場所がわからない)。        ・情報が行き渡ってない。(移動販売の時間、支援物資の配布、各種相談会、お茶会など)        ・外鍵と中鍵が連動しておらず、緊急時に中に入れない。        ・緊急通報装置が無いことへの不安。(警察に相談済み)        (移動販売車)※週2回別の店が来る。今日は仙台からの店。        ○生協→毎週月曜日の12時30分に3棟横に来る。        ○仙台からの店→毎週木曜日の午後(14時頃)に来る。        ・野菜が基本だが、リクエストがあれば翌週持ってくる。        ・来たことがわかるようラジカセで音楽を流し、声かけをしてみられる。        (高島保健師との協議)        ・見守り隊から鳥取チームが訪問済みの世帯へ訪問依頼があった場合は、河北保健師に引継ぐ。→鳥取チームは未訪問の世帯の調査を優先する。        ・アルコール依存対応スタッフが今後介入予定。→飲酒している人全員への対応はせず、必要ケースのみに介入してもらう。        《職員健康状態》        ○2人とも元気です。</p>

10/14	<p>10月14日(金) 天気:くもり (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:15 ホテル出発        8:45 河北総合支所着        9:20 河北総合支所出発        9:50 大森仮設住宅3号訪問        12:30 昼食        13:30 大森仮設住宅3号訪問        15:30 河北総合支所到着        16:00 報告、引継ぎ        17: 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】        &lt;午前&gt;大森仮設住宅3号        ○見守り隊からのフォロー要請世帯、血圧測定依頼のあった世帯(本人から)を訪問。        ○訪問4件→全件在宅で聞き取り。        &lt;午後&gt;大森仮設住宅3号        ○鳥取県のフォロー世帯、独居高齢者世帯の訪問/訪問2件→全件在宅で聞き取り。        (本日訪問ケース)        ・渡波小学校の避難所にて、最近大森仮設に移動された方が多かった。→震災まで渡波から出たことがなく、なじみのない土地に来てしまい不安が残る方もあり。渡波小学校の避難所同士のつながりがあり、仮設に入ってから声もかけあっているよう。        ・避難所にいたときに保健師、看護師に継続的に血圧を測ってもらっていた方が多かった。→仮設に移ってから計測できていないので、測って欲しいとの要望あり。        (その他)        ・新たに移動販売車(魚)が来る。今日初めて来たが、これから毎週来る予定。        (高島保健師との協議)        ・鳥取チーム内での引継ぎケース、見守り隊から受けたケース等、要フォローケースは全て市立病院Nsに引き継ぐ。→要フォローケースを高島保健師に引き継ぐ。        ☆1件だけは43班で訪問してから市立病院看護師に引き継ぐ。        《職員健康状態》        ○2人とも元気です。</p>
10/15	

**43班**

岩田全広  
 (三朝町役場)  
 高橋千晶  
 (県日野総合事務所)  
 原田 豊(10/17のみ)  
 (県精神保健福祉センター)

1日目 (10/16)  
 鳥取→[ANA・JR]→石巻  
 2日目 (10/17)  
 ホテル(石巻市)  
 3日目 (10/18)  
 ホテル(石巻市)  
 4日目 (10/19)  
 ホテル(石巻市)  
 5日目 (10/20)  
 ホテル(石巻市)  
 6日目 (10/21)  
 ホテル(石巻市)  
 7日目 (10/22)  
 ホテル→[JR・ANA]→鳥取

10/16	10月17日(月) 天気:くもり (活動1日目)
10/17	<p>【活動スケジュール】        8:00 ホテル出発        8:30 河北総合支所着        9:20 河北総合支所出発        9:50 大森仮設住宅3号訪問        12:00 昼食        13:00 大森仮設住宅3号訪問        15:00 河北総合支所到着        16:00 報告、引継ぎ        17:00 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】(精神保健福祉センター原田所長が同行)        &lt;午前&gt;大森仮設住宅3号        ○見守り隊に挨拶/石巻社会福祉協議会職員や、市立病院看護師等も巡回している。見守り隊からのフォロー要請世帯を回っていると、新規訪問ができなくなるため、鳥取県チームとしては、健康調査のローラー作戦を優先させることとする。(河北支所保健師との相談の結果)        ○訪問5件、うち在宅3件→聞き取り実施。2件は訪問不在票を入れておいた。        &lt;午後&gt;大森仮設住宅3号        ○訪問2件、うち1件調査実施、1件はヘルパー訪問中であり後日訪問約束する。        ○大森仮設住宅2号の、鳥取県チームフォローケースで、まだ市立病院看護師に引き継いでいないケース1件訪問するが、来客中であり後日訪問するよう約束する。        (本日訪問ケース)        ・避難所閉鎖と共に10日前位に大森第3に移ってきた方が多かった。最後まで避難所に残っていた独居ケースや、生活保護受給者が多い。元々、旧市内に居住して河北には馴染みがないが、同じ避難所にいた人同士、部屋が近くに配置してある。</p>
10/17	<p>・まだこちらの生活に慣れていない様子であり、高齢者は電化製品の使い方や、バスの乗り方、ゴミの捨て方などがわからない様子であった。        ・今までの主治医からは遠くなり、通院が不便になった方が多い。        (その他)        ・12時30分頃から移動販売車(魚)が来る。毎週月曜日に来る予定。        ・社協、市立病院看護師等の訪問が入り、一部重なりも出てきている。        ・要フォロー事例の訪問状況は、支所保健師を通じて市立病院看護師と共有していく。        《職員健康状態》        ○2人とも元気です。</p> <p>【原田報告】        ・大森仮設団地は第1～第4まで有り、鳥取県チームは、第3地区(入居者170名)を担当。第3地区集会場に行った後、仮設を巡回。石巻市社会福祉協議会が見守りたいとして仮設を巡回、石巻市立病院看護師も健康相談で巡回し、短期間に複数の機関が訪問・巡回することがあり、入所者の中には、「この前も、聞かれた」といわれるところも有る。        ・大森地区は、交通の弁も不便で、車がないと生活は難しい。好んで入居したというよりも、希望の仮設に入れなかった、最後まで避難所で生活し避難所の閉鎖に伴い入居したなど不本意な感情で入居したものもあり、これまでの仮設と状況が異なる。また、河北町以外からの入居で、河北町のことが良くわからないといわれる方も。河北支所も、入居者の事前情報はあまり把握されない。同じ避難所にいた人(避難所の閉鎖時までいた人同士)が近隣で生活できるような配慮がなされているが、それ以外は、ほとんど知らないもの同士が入居しているので、仮設入居者同士の交流はあまり見られない。中には、入居が決まったものの生活をせず、荷物だけを置いて、親戚などのところで実質、生活をしている人もいるらしい。        ・不在、未入居の方も多く、4件訪問面接。いずれも、もともと一人暮らし。高齢者で、支社で年金・生活保護の人。生活保護も、ワーカーは、旧石巻市から河北に移り、担当者も変わる。旧石巻市内の開北小学校避難所、明友館の閉鎖(石巻市内の避難所は、10月11日を持って全所閉鎖)にともない、この1～2週間の間に入居したため、まだ、片付けも十分にできていない。車などを所有していると買い物や通院(高血圧や心臓疾患で、旧石巻市内に通院していた)も可能だが、交通手段のない人には生活は難しい。避難所閉鎖時に、食料品をたくさんもらっで、いまだにそれを使っている人もいる。仮設入居に伴い、おそらく説明は受けているとは思われるが、ごみの日やバスの便のことなど十分に把握してない。        ・石巻市立病院が、一部診療所機能を残した状態になり、看護師が余剰状態、退職の促しなども行われている。避難所の常駐・健康管理などの業務などを行っていたが、避難所の閉鎖に伴い、教務が少なくあり、仮設住宅への健康管理、巡回などが検討されている。</p>

10/18	<p>10月18日(火) 天気:晴れ (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:00 ホテル出発        8:30 河北総合支所着        9:30 よちよち相談のオリエンテーション        10:00 相談会場(ビッグバン)へ移動、会場準備        11:10 昼食        12:00 よちよち相談受付開始        14:00 相談終了、カンファレンス、後片付け        14:30 河北総合支所帰着        17:00 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】        &lt;午前&gt;        ○河北総合支所到着後、昨日の訪問事例をパソコンでデータ入力        ○「よちよち相談」について高島保健師よりオリエンテーションを受ける。        石巻市では、乳幼児のう歯罹患率が高いため、1歳児相談を実施しブラッシングの習慣や、良い生活リズムの意識付けに力を入れている。        ○ビッグバンに移動し、会場準備        &lt;午後&gt;        ○よちよち相談(11か月～12か月)ノ対象者:9名、受診者:7名        ・母子保健事業については河北地区・北上地区・雄勝地区が合同で実施している。ノスタッフ:保健師3名、栄養士2名、歯科衛生士1名、鳥取県保健師2名。毎回、東北大学心のケアの医師が入るが、今回は欠席。        ・流れ:受付→口腔チェック→身体計測→問診→個別栄養指導→集団ブラッシング指導→保健指導(母子手帳返却)。鳥取県保健師は、身長・体重計測とカウプ指数とパーセントイル値の記録と、計測終了後は、保健指導・母子手帳返却を実施した。        ○カンファレンス実施        ・経過観察:1名(独歩未。運動発達について、12月頃担当保健師から電話で確認し、必要に応じて対応)        ・心のケアの希望:様子をみて必要であれば心のケア相談考えるという人が3名位あった。(上の兄弟が最近甘える、親から離れないという事例や、夜泣き等)        ○河北総合支所帰着後、仮設住宅入居世帯健康調査票綴へのファイリングと世帯票の整備を実施する。</p> <p>《職員の健康状態》        ○2人とも健康状況は良好</p>
10/19	<p>10月19日(水) 天気:くもり (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:00 ホテル出発        8:30 河北総合支所着        9:00 河北総合支所出発        9:15 大森仮設住宅3号訪問        12:00 昼食        13:15 大森仮設住宅3号訪問        15:30 河北総合支所到着        16:30 報告、引継ぎ        17:00 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】        &lt;午前&gt; 大森仮設住宅3号        ○見守り隊に挨拶        ○訪問4件、うち4件面接、うち1件は市保健師の依頼により、精神のフォローケースに訪問した。残りの3件は健康調査実施する。        &lt;午後&gt; 大森仮設住宅3号        ○訪問5件、うち中3件面接、うち1件は、上記精神ケースの母(隣)に面接。残りの2件に、健康調査実施する。また、再び42班からの引継ぎ事例(大森仮設第2)に訪問するが、不在であり家族に再度訪問することを伝えた。        (本日訪問ケース)        ・本日訪問したケースも、独居高齢者で生活保護世帯が多かった。市街地近くの仮設に希望していたものの、なかなか抽選に当たらず、結局、商店や医療機関から遠い大森の仮設に入らざるを得なかったため、不公平感を感じている。        ・健康調査を実施した中で、脳梗塞後遺症のケース2名、独居なので市立病院看護師が今後訪問継続する。        ・精神の継続事例は、隣人から交流の状況を聴き、近況を確認する。児童相談所や保健師等が連携して関わっている。        (その他の状況)        ・仮設団地の中で、カーシェアリングの配車あり、前日までに予約すれば、ガソリンの補充のみで借りることができる。        ・見守り隊リーダーから、昨日社協の連絡会議があり、外部からの支援者に対して見守り隊が直接情報提供するのではなく、保健師を通じて情報交換をする方針を確認したとのことで、今後は見守り隊から直接の訪問依頼はないと思われる。</p> <p>《職員の健康状態》        ○2人とも健康状態は良好。</p>
10/20	<p>10月20日(木) 天気:晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:00 ホテル出発        8:30 河北総合支所着、記録類整理        9:30 河北総合支所出発        9:45 大森仮設住宅3号訪問        12:00 昼食        13:00 大森仮設住宅3号訪問        15:15 河北総合支所到着        16:30 報告、引継ぎ        17:00 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】        &lt;午前&gt; 大森仮設住宅3号        ○見守り隊に挨拶        ○訪問3件、中2件面接、健康調査を実施する。        &lt;午後&gt; 大森仮設住宅3号        ○訪問        ・訪問3件、うち2件面接ノ不在1件は、42班の引継ぎ事例(大森仮設第2)であるが、不在であり、明日訪問するメモを入れておく。残りの2件に、健康調査実施する。        (本日訪問ケース)        ・本日訪問したケースも独居が多く、またいろいろな健康課題を抱えている人が多かったため、面接に時間がかかった(精神疾患、アルコール依存など)。        ・また、今後の生活に対する不安感や、震災後の不眠など、心身の状態に変化が出ている人も多かった。        ・入居について、高齢者や医療機関の通院がある人を優先して、市街地の仮設に入れるべきだと訴える人もあった。        (その他の状況)        ・集会所でお茶会や、健康相談等がたまにある様子だが、まだあまり参加者を見かけない。また、住民同士の交流の状況もあまり見られない。        ・高齢者や独居が多く、健康課題を持っている人も多いので、なかなか自治会組織やグループができていく状況にある。入居してまだ間がない人も多いので、今後の課題である。        ・社会福祉協議会の見守り隊は、第3仮設の集会所を拠点に、河北の仮設全体に訪問している。見守り訪問の希望の有無や頻度を聞いて回っている。</p> <p>《職員の健康状態》        ○2人とも健康状態は良好</p>

10/21	10月21日(金) 天気:くもり (活動5日目) 【活動スケジュール】 8:00 ホテル出発 8:30 河北総合支所着、記録類整理 9:00 河北総合支所出発 9:15 大森仮設住宅3号訪問 12:00 昼食 13:00 河北総合支所到着 16:30 報告、引継ぎ 17:00 河北総合支所出発 【本日の活動概要】 <午前>大森仮設住宅3号 ○見守り隊に挨拶 ○訪問8件、うち5件面接。42班からの継続ケースは、母の入院先に出かける前に、短時間面接できた。面接できた残りの4件は、新規ケースで、健康調査を実施した。また、昨日訪問したケースについて、支所保健師が実施予定の「生活不活発病予防教室」への誘いに行ったが不在であった。残りの2件は、在宅であったが、面接は拒否された。 <午後>河北総合支所に帰り、記録物整理、引継ぎ準備をする。 (本日訪問ケース) ・本日訪問したケースは独居でありながら、自分なりに前向きに生活に取り組んでいる方が多かった。 ・鳥取チームの継続ケースで、1件のみ残っていたケースも、本日、面接することができて、市立病院看護師の訪問について本人の了解を得た。 (その他の状況) ・集会所管理人は、朝から、ゴミ出し場の清掃やゴミの分別で忙しそうであった。ゴミ出しのルールが周知徹底されていない。ゴミ出し場に看板等の設置があるとよい。 ・本日は、移動図書館(北海道からのボランティア)が集会所に巡回し、住民が気に入った本を持ち帰っていた。 ・いろいろな業者やボランティアが入りつつある。(お茶会、エステなども) ・支所保健師の方では、活動不活発病予防とコミュニティーづくりの目的で大森仮設団地で健康教室を実施する予定(10月29日・30日)。来週あたり、市立病院看護師が事前調査と勧誘に入る予定。今後、運動教室などにつなげていく計画である。 《職員員の健康状態》 ○2人とも健康状態は良好
10/22	次週:活動計画 ※24日は午前中大森仮設第4集会所で、市立病院看護師等とのミーティングあり、保健師と共に参加する。来週実施のDVT健診の案内チラシ配布・勧誘と一緒に実施。 ※26日から28日の3日間は、第2、3、4号の未訪問の家庭に訪問する。 ※26日から28日の3日間のうちのいずれかで、雄勝地域等の被災状況も見えて欲しい。 ※最終日には、鳥取県の荷物をすべて引き上げる整理が必要。

44班

岡島久美子 (岩美町役場) 朝倉貴子 (県健康政策課)	10/23	10月24日(月) 天気:くもり (活動1日目)
1日目(10/23) 鳥取-【ANA・JR】→石巻 2日目(10/24) ホテル(石巻市) 3日目(10/25) ホテル(石巻市) 4日目(10/26) ホテル(石巻市) 5日目(10/27) ホテル(石巻市) 6日目(10/28) ホテル(石巻市) 7日目(10/29) ホテル-【JR・ANA】→鳥取	10/24	10月24日(月) 天気:くもり (活動1日目) 【活動スケジュール】 8:00 ホテル出発 8:30 河北総合支所着 9:10 河北総合支所出発 9:30 大森仮設住宅ミーティング 12:30 昼食 13:30 大森仮設住宅3号訪問 15:30 河北総合支所到着 16:00 報告、引継ぎ 17:00 河北総合支所出発 【本日の活動概要】 <午前> 大森仮設住宅ミーティング ○市立病院看護師等とのミーティング/参加者:東日本これからプロジェクトチーム2人、石巻立病院看護師9人、河北総合支所保健師2人、鳥取県2人。 ・今後、1回/月のミーティングとし、来月の予定などを情報共有する。健康相談:11/10(川前仮設)、11/17(三反走仮設)、心の運動教室:11/11、11/25、わくわく元氣教室:11月以降も1回/月(第3木)、栄養相談会:1回/月調理実習など、栄養士チームの派遣あり個別訪問も予定。 ・VDI検診(生活不活発病予防検診)、10/20午前(大森仮設第2)午後(大森仮設第4)、10/30午前・午後(大森仮設第3)、チラシの配布:見守り隊に依頼、鳥取県派遣チームの訪問時に配布・勧誘、問診票の作成:仮設住宅入居調査からのピックアップ、見守り隊からの情報。 ・様々なボランティア団体が仮設住宅で活動している/仕事に出ている人は支援が受けられないなど不公平なこともある ・事例検討/中長期の目標を立て、看護の視点をもった支援をしていくこと。提案→集会所をオープンスペースとし、気軽に集える場所とする。通所看護を復興特区で実施する。 ○見守り隊に挨拶 <午後> 大森仮設住宅3号 ○訪問17件、うち在宅3件→聞き取り実施。14件は訪問不在票を入れておいた。 ○大森仮設住宅3号の、未訪問世帯、これまでの不在世帯を訪問。 (本日訪問ケース) ・独居ケース2例(50代・70代)、生活保護受給者・独居1例(80代)。 ・高血圧・糖尿病などの治療中のケースは、定期受診ができています。 ・独居だが、周囲がよくしてくれる、息子がくる、従兄弟がくる、など相談できる者がいる。 ・夫と子どもを亡くした女性は、従兄弟の孫をあずかり屋前から夕方まで、子守をしている。今は、子守で気がまぎれている感じであるとのこと。 (その他) ・移動販売車が来ており、野菜などを購入している。 ・不在宅が多かった。 《職員員の健康状態》 ○2人とも健康状態良好です。

10/25	<p>10月25日(火) 天気:くもり/雨 (活動2日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:00 ホテル出発        8:30 河北総合支所着、昨日の記録、調査票入力        9:30 相談会場(ビッグバン)へ移動、会場準備        11:30 昼食        12:30 3~4か月健診受付開始        15:00 相談終了、カンファレンス、後片付け        16:30 河北総合支所帰着        17:00 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】        &lt;午前&gt;        ○河北総合支所到着後、昨日の訪問事例をパソコンでデータ入力        ○ビッグバンに移動し、会場準備        &lt;午後&gt;        ○3~4か月        ・対象者:17名 受診者:20名        ・母子保健事業については河北地区・北上地区・雄勝地区が合同で実施している。        ・スタッフ:保健師3名、栄養士1名、鳥取県保健師2名、平塚市保健師2名、東北大学学生2名        ・流れ:受付→オリエンテーション→栄養指導→身体計測→問診→診察→個別栄養指導→保健指導(母子手帳返却)、鳥取県保健師は、身長・体重計測とカウプ指数とパーセントイル値の記録。        ・カンファレンス実施、経過観察:5名(家族環境2名、母子関係2名、疾病1名、担当保健師から電話で確認または次回健診などで確認)        ○河北総合支所帰着後、鳥取県保健師活動日報整理。        《職員健康状態》        ○2人とも健康状態は良好です</p>
10/26	<p>10月26日(水) 天気:はれ (活動3日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:00 ホテル出発        8:30 河北総合支所着        9:00 河北総合支所出発        9:15 大森仮設住宅3号訪問        12:00 昼食        13:00 大森仮設住宅3号訪問        15:30 河北総合支所到着        16:30 報告、引継ぎ        17:00 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】        &lt;午前&gt;大森仮設住宅3号        ○見守り隊に挨拶        ○訪問        ・訪問10件中5件面接        ・うち1件は市保健師の依頼により、VDT検診(生活不活発病予防検診)勧奨と問診のための訪問を実施。残りの3件は健康調査実施する。        &lt;午後&gt;大森仮設住宅3号        ○訪問        ・訪問5件中1件面接、健康調査実施する。        ○見守り隊のリーダーから仮設住宅入居者の現在の状況について聞く        (本日訪問ケース)        ・本日訪問したケースは、無職、生活保護世帯が多かった。        ・市街地近くの仮設に希望していたが、商店や医療機関から遠い大森の仮設に入らざるを得なかったため、不満を感じている。        ・同じ避難所(住吉中)から、同じ仮設(大森)にきた仲間が、隣の部屋となり、会話を交わしている様子。        ・健康調査を実施した中では、高血圧・心疾患の治療中で通院中の者あり。膝の痛みなど気になるという者には、DVT検診の勧奨をする。継続訪問者はなし。        ・本日の面接者の中には、こころの問題、アルコールの問題でフォローが必要な者はなし。</p> <p>(その他の状況)        ・見守り隊リーダーからの説明        ①今後の寒さ対策について、二重窓、玄関の覆い、電気ストーブ、ホットカーペットなどを用意していくとのこと。        ②見守り隊の役割が明確化された。        ③仮設住宅入居者の家族関係について。        《職員健康状態》        ○2人とも健康状態は良好</p>
10/27	<p>10月27日(木) 天気:晴れ (活動4日目)</p> <p>【活動スケジュール】        8:00 ホテル出発        8:30 河北総合支所着、記録類整理・準備        9:30 河北総合支所出発        9:45 大森仮設住宅3号訪問        12:00 昼食        13:00 大森仮設住宅3号訪問        15:15 河北総合支所到着        16:30 報告、引継ぎ        17:00 河北総合支所出発</p> <p>【本日の活動概要】        &lt;午前&gt; 大森仮設住宅3号        ○見守り隊に挨拶        ○訪問、2世帯3件面接、健康調査を実施する。        &lt;午後&gt; 大森仮設住宅3号        ○訪問 10世帯中7世帯不在、3世帯4件面接、健康調査実施する。        (本日訪問ケース)        ・本日訪問したケースも独居が多かった。糖尿病・高血圧・透析など健康問題を抱えながら生活しているが、定期受診され、安定している様子。        ・一方、中には、通院できていない難病の方がおられ、要フォローとした。        ・震災後、不登校傾向にある中学生が仮設で過ごしているが、中学校の先生の訪問もあり、来週から学校に行くこと本人からの発言もあり、母少し安心している。        ・仮設住宅に入り、少し落ちついたという声も聞かれたが、眠れない時に薬を服用している者もある。        ・足の腫れのある方へDVT検診の勧奨・問診をすると、行って相談してみたいとのこと。</p> <p>(その他の状況)        ・仮設住宅内で交流をあまりしていない者を見かける。        ・仮設住宅の玄関前が、水はけが悪く、すのこのようなものを敷いている場所もある。        ・寒い時期が近づき、部屋内の結露を気にしている。        ・積極的に、集会所を訪れ、見守り隊のリーダーと話しをする男性もいた。        《職員健康状態》        ○2人とも健康状態は良好</p>

10/28	<p>10月28日(金) 天気:晴れ (活動5日目)</p> <p>【活動スケジュール】</p> <p>8:00 ホテル出発</p> <p>8:30 河北総合支所着、データ入力・記録類整理・荷物の片付け等</p> <p>12:00 昼食</p> <p>13:00 雄勝地域等の被災状況視察、石巻市役所挨拶</p> <p>【本日の活動概要】</p> <p>&lt;午前&gt; データ入力・記録整理等／仮設住宅入居世帯健康調査票データ入力／保健師活動実施報告書入力／厚生労働省報告入力等、鳥取県荷物整理</p> <p>&lt;午後&gt; 雄勝地域視察、雄勝地域・女川地域の被災状況視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻市役所挨拶:健康増進課長、技術課長補佐伊藤保健師へ挨拶</li> <li>&lt;その他:鳥取県からの保健師派遣(3月29日から10月28日まで)について&gt;</li> </ul> <p>○河北支所西條保健師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の保健師は、目先のことでいっぱい、先を見通しての活動ができなかったが、鳥取県の保健師の活動の中で、今後どのような活動が必要か、助言があったことが良かった。例えば、避難所マップの作成、心のケアについてのリーフレットの渡し方、要支援の事例など。</li> <li>・また、保健師と同行した精神保健福祉センターの所長にもケースの相談ができたり、支援の方向性についての助言がいただけたことが良かった。</li> </ul> <p>○市役所伊藤保健師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大変助かった。自分達だけでは、どうにもならなかった。これからは、大変になるだろうが、今後、自立にむけて頑張りたい。</li> </ul> <p>《職員の健康状態》</p> <p>○2人とも健康状態は良好</p>
10/29	<p>&lt;&lt;派遣終了&gt;&gt;</p>



石巻市役所河北支所保健師と第44班の保健師